

小 阪 合 遺 跡

—八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査—
(昭和59年度 第4次調査報告書)

1988年

(財)八尾市文化財調査研究会

小 阪 合 遺 跡

—八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査—
〈昭和59年度 第4次調査報告書〉

1988年

(財)八尾市文化財調査研究会

序 文

八尾市は、河内平野の中央部よりやや南寄りに位置し、東に生駒山地の景観をみる温暖で肥沃な土壌を有する地域であり、早くから人々が生活の場として住みはじめたところです。それらの先人が残した大切な遺構・遺物が多く存在しております。

今回、報告します小阪合遺跡は、昭和57年度より実施して来ました八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業の区画街路・公共施設等の建設に伴う発掘調査に関するもので、本書は昭和59年度第4次調査の結果報告を刊行するものであります。この遺跡は、旧大和川の幾多の洪水等による氾濫で沖積された河内平野上に位置し、現在、弥生時代中期から近世に至る遺構・遺物が多量に検出しています。

ここに改めて、本調査に関し、事業者をはじめ関係各位の文化財保護の立場から充分ご理解を賜わり、ご協力いただきましたことを、ここに心から感謝を申し上げます。

今後、この報告書が広く文化財保護にご活用いただければ、この上もない幸せに存じます。

今後共、当調査研究会に対して尚一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本書作成にあたって、御協力・御指導をいただきました関係各位に深く感謝の意を表します。

昭和63年3月

財団法人八尾市文化財調査研究会
理事長 福島 孝

例 言

1、本書は、大阪府八尾市南小阪合町・青山町・山本町南に所在する八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う昭和59年度小阪合遺跡の第4次調査の報告書である。

1、本書で報告する発掘調査は、八尾市教育委員会の指示のもとで財団法人八尾市文化財調査研究会が八尾都市整備室南小阪合土地区画整理事務所の委託を受けて実施したものである。

1、本書に要した費用はすべて八尾都市整備室南小阪合土地区画整理事務所が負担した。

1、本調査は、昭和59年6月15日～昭和59年11月15日の期間で実施した発掘調査である。なお、出土遺物の整理作業及び報文作成業務は、昭和62年1月6日～同年3月25日までである。

1、本調査並びに本報告に関係した者は下記のとおりである。

理事長 山崎 悦司 (昭和62年8月6日まで)

福島 孝 (昭和62年8月7日から昭和63年3月現在)

事務局長 児玉 生一 (昭和59年4月1日～昭和61年3月31日まで)

市森 管笠 (昭和61年4月1日～昭和63年3月現在)

事務員 富田よしの (旧姓森本)

中谷 暎子

調査員 高萩 千秋

1、本調査の参加諸氏は、笹井伸彦・中野健太郎・山西嘉彦・徳谷眞正・西森忠幸・中谷伸・米野茂幸・高井裕之・木曾直美・岩本多貴子・徳谷久美子・中西由起子・中村百合・北村教江・中西隆子・横山真鶴であり、内業整理は上記に加えて、村田英子・村田圭子・杉本尚子・山中智美・岡田清一・八元聡志・森本啓二郎・柏本幸寿・松村富子・岡田聖一・並河聡也・若竹慶弘・田中明美である。

1、本書の執筆は高萩が担当したが、出土遺物観察表は村田(英)・村田(圭)が作成した。

1、遺物実測は杉本・徳谷・高井・岩本、遺物写真撮影は高萩、トレースは岩本が行った。

1、遺構実測図の方位は、すべて真北を示している。

1、遺物実測図は、断面の表示によって次のように分類した。弥生式土器・土師器・瓦器・瓦・埴輪一白、須恵器一黒、石類・木製品一斜線。

1、本書掲載の地図は国土地理院発行の1/2500、八尾市発行の1/2500・1/10000を使用した。

1、本書で用いた高さの値は海拔である。

1、本調査に際しては、写真・実測図の他にカラースライドも多数作成している。市民の方々が、広く利用されることを希望する。

本文目次

八尾市埋蔵文化財分布図

序文

例言

第1章	はじめに	1
第2章	調査の概要	4
第1節	調査の方法	4
第2節	調査地の地区割	4
第3節	調査区の概要	6
第3章	調査の結果	11
第1節	第1調査区	11
I	基本層序	11
II	検出遺構・出土遺物	11
III	遺構に伴わない出土遺物	27
第2節	第2調査区	31
I	基本層序	31
II	検出遺構・出土遺物	31
III	遺構に伴わない出土遺物	39
第3節	第3調査区	47
I	基本層序	47
II	検出遺構・出土遺物	47
III	遺構に伴わない出土遺物	47
第4節	第4調査区	49
I	基本層序	49
II	検出遺構・出土遺物	49
第5節	第5調査区	51
I	基本層序	51
II	検出遺構・出土遺物	51
III	遺構に伴わない出土遺物	63

第6節 第6調査区	64
I 基本層序	64
II 検出遺構・出土遺物	64
第7節 第7調査区	66
I 基本層序	66
II 検出遺構・出土遺物	66
III 遺構に伴わない出土遺物	101
第8節 第8調査区	107
I 基本層序	107
II 検出遺構・出土遺物	107
第9節 第9調査区	109
I 基本層序	109
II 検出遺構・出土遺物	109
III 遺構に伴わない出土遺物	129
第10節 第10調査区	133
I 基本層序	133
II 検出遺構・出土遺物	133
III 遺構に伴わない出土遺物	138
第11節 第11調査区	143
I 基本層序	143
II 検出遺構・出土遺物	143
III 遺構に伴わない出土遺物	144
第12調査区	147
I 基本層序	147
II 検出遺構・出土遺物	147
第4章 出土遺物観察表	153
第5章 まとめ	269

插图目次

第1图	调查地区位置图	2
第2图	调查地区剖模式图	5
第3图	第1调查区~第9调查区遗構配置图	9·10
第4图	第10调查区~第12调查区遺構配置图	9·10
〈第1调查区〉		
第5图	基本層序柱状图 (S=1/20)	11
第6图	SK1平断面图	12
第7图	SK1出土遺物実測图	12
第8图	SD1檢出遺物平断面图	13·14
第9图	SD1断面图	15
第10图	SD1 (B層) 出土遺物実測图1	16
第11图	SD1 (B層) 出土遺物実測图2	17
第12图	SD1 (B層) 出土遺物実測图3	18
第13图	SD1 (B層) 出土遺物実測图4	19
第14图	SD1 (B層) 出土遺物実測图5	20
第15图	SD1 (B層) 出土遺物実測图6	21
第16图	SD1 (A層) 出土遺物実測图1	22
第17图	SD1 (A層) 出土遺物実測图2	23
第18图	SD1 (A層) 出土遺物実測图3	24
第19图	SD1 (A層) 出土遺物実測图4	25
第20图	包含層出土遺物実測图	28
第21图	遺構平面图	29·30
〈第2调查区〉		
第22图	基本層序柱状图 (S=1/20)	31
第23图	SE1平断面图	33
第24图	SF.1出土曲物底実測图	33
第25图	SK3出土遺物実測图	34
第26图	SK5出土遺物実測图	35

第27图	S P10·S P14出土遺物実測図	35
第28图	小穴列1平断面図	36
第29图	小穴列2平断面図	36
第30图	S D5出土遺物実測図	38
第31图	第7層土器集積平断面図	39
第32图	第7層出土遺物実測図	40
第33图	第7層出土木製品実測図	41
第34图	包含層出土遺物実測図1	42
第35图	包含層出土遺物実測図2	43
第36图	包含層出土遺物実測図3	44
第37图	遺構平面図	45・46
〈第3調査区〉		
第38图	基本層序柱状図(S=1/20)	47
第39图	包含層出土遺物実測図	47
第40图	調査区平面図	48
〈第4調査区〉		
第41图	基本層序柱状図(1/20)	49
第42图	遺構平面図	50
〈第5調査区〉		
第43图	基本層序柱状図(S=1/20)	51
第44图	S E1平断面図	52
第45图	S E1出土遺物実測図	53
第46图	S E1出土木製品実測図1	54
第47图	S E1出土木製品実測図2	55
第48图	小穴列1平断面図	56
第49图	S K2北部検出遺物平断面図	57
第50图	S K2出土遺物実測図	58
第51图	河川1出土遺物実測図	59
第52图	河川2出土遺物実測図	60
第53图	遺構平面図	61・62
第54图	包含層出土遺物実測図	63

(第6調査区)

第55図 基本層序柱状図 (S=1/20) 64

第56図 調査区平面図 65

(第7調査区)

第57図 基本層序柱状図 (S=1/20) 66

第58図 S D 1 検出遺物平断面図及び断面図 69・70

第59図 S D 1 出土遺物実測図 1 71

第60図 S D 1 出土遺物実測図 2 72

第61図 S D 1 出土遺物実測図 3 73

第62図 S D 1 出土遺物実測図 4 74

第63図 S D 1 出土遺物実測図 5 75

第64図 S D 1 出土遺物実測図 6 76

第65図 S D 1 出土遺物実測図 7 77

第66図 S D 1 出土遺物実測図 8 78

第67図 S D 1 出土遺物実測図 9 79

第68図 S D 1 出土遺物実測図 10 80

第69図 S D 1 出土遺物実測図 11 81

第70図 S D 1 出土遺物実測図 12 82

第71図 S D 1 出土遺物実測図 13 83

第72図 S D 1 出土遺物実測図 14 84

第73図 S D 1 出土遺物実測図 15 85

第74図 S D 1 出土遺物実測図 16 86

第75図 S D 1 出土遺物実測図 17 87

第76図 S D 1 出土遺物実測図 18 88

第77図 S D 1 出土遺物実測図 19 89

第78図 S D 1 出土遺物実測図 20 90

第79図 S D 1 出土遺物実測図 21 91

第80図 S D 1 出土遺物実測図 22 92

第81図 S D 1 出土遺物実測図 23 93

第82図 S D 1 出土遺物実測図 24 94

第83図 S D 1 出土遺物実測図 25 95

第84図 S D 1 出土遺物実測図 26 96

第85図	S D 1 出土遺物実測図27	97
第86図	河川1 出土遺物実測図	98
第87図	S E 1 出土遺物実測図	98
第88図	包含層出土遺物実測図	102
第89図	第1・第2調査面遺構平面図	103・104
第90図	第3・第4調査面遺構平面図	105・106
〈第8調査区〉		
第91図	基本層序柱状図 (S=1/20)	107
第92図	河川1 出土遺物実測図	107
第93図	遺構平面図	108
〈第9調査区〉		
第94図	基本層序柱状図 (S=1/20)	109
第95図	S D 1 検出遺構平断面図	111・112
第96図	S D 1 平断面図	113
第97図	S D 1 出土遺物実測図1	114
第98図	S D 1 出土遺物実測図2	115
第99図	S D 1 出土遺物実測図3	116
第100図	S D 1 出土遺物実測図4	117
第101図	S D 1 出土遺物実測図5	118
第102図	S D 1 出土遺物実測図6	119
第103図	S D 1 出土遺物実測図7	120
第104図	S D 4 出土遺物実測図	121
第105図	S E 1 平断面図	122
第106図	S E 1 出土遺物実測図	122
第107図	S K 8 平断面図	124
第108図	S K 8 出土遺物実測図	125
第109図	S P 16 出土遺物実測図	126
第110図	包含層出土遺物実測図	130
第111図	遺構平面図	131・132
〈第10調査区〉		
第112図	基本層序柱状図	133
第113図	埴輪円筒椀平断面図	134

第114図	朝顔形埴輪実測図	135
第115図	円筒埴輪実測図	136
第116図	第6層検出木製品平面断面図	138
第117図	包含層出土遺物実測図	139
第118図	第6層出土木製品実測図	140
第119図	遺構平面図	141・142
〈第11調査区〉		
第120図	基本層序柱状図 (S=1/20)	143
第121図	遺構平面図	145・146
〈第12調査区〉		
第122図	基本層序柱状図 (S=1/20)	147
第123図	第1調査面遺構平面図	149・150
第124図	第2調査面遺構平面図	151・152

表 目 次

第1表	既往調査の一覧表	3
第2表	調査区一覧表	4
〈第2調査区〉		
第3表	第1調査面小穴 (SP) 一覧表	32
第4表	第2調査面小穴 (SP) 一覧表	36・37
〈第5調査区〉		
第5表	第1調査面小穴 (SP) 一覧表	56
〈第7調査区〉		
第6表	SD1出土土器器種別割合表	68
第7表	SD1甕分類表	68
〈第9調査区〉		
第8表	第1調査面小穴 (SP) 一覧表	110
第9表	第2調査面小穴 (SP) 一覧表	126
〈第12調査区〉		
第10表	第1調査面溝 (SD) 一覧表	148

図 版 目 次

図版一	第1調査区	第1調査面(南から) E II-b 6~c 6区SD1遺物検出状況(西から)
図版二	第1調査区	SD1遺物検出状況(西から) SD1遺物検出状況(南から)
図版三	第1調査区	SD1完掘(南から) 第2調査面全景(南から)
図版四	第2調査区	第1調査面全景(東から) D II-i 8~j 8区SK1(西から)
図版五	第2調査区	D II-i 9区第1調査面(西から) D II-i 9区第7層遺物検出状況(南から)
図版六	第2調査区	第2調査面全景(東から) D II-j 6~j 7区SK3(南から)
図版七	第2調査区	D II-i 10区遺構状況(東から) D II-i 1区SD3(南から)
図版八	第2調査区	D II-i 1区小穴検出状況(南から) D II-i 2区小穴列2(南から)
図版九	第2調査区	D II-i 8区SE1(南から) D II-i 8区SE1木製品検出状況(南から)
図版十	第3調査区	第3調査区全景(西から)
	第4調査区	第4調査区全景(南から)
図版十一	第5調査区	第1調査面全景(北から) G IV-b 5区小穴列1(南西から)
図版十二	第5調査区	F IV-j 5区SE1(東から) F IV-j 5区SE1底部付近木製品検出状況(上から)
図版十三	第5調査区	F IV-j 5区SK2(北から) F IV-j 5区~G IV-a 5区SK3(東から)
図版十四	第5調査区	G IV-b 5区SD2(北から) G IV-b 5区SK5・SK6(西から)
図版十五	第6調査区	第6調査区全景(南から)
	第7調査区	第1調査面全景(西から)

図版十六	第7調査区	GN-d 2区SD1上層遺物検出状況(西から) GN-d 2区SD1下層遺物検出状況(東から)
図版十七	第7調査区	GN-d 3区SD1完掘(東から) 第2調査面全景(西から)
図版十八	第7調査区	第3調査面全景(西から)
	第8調査区	第4調査面全景(西から)
図版十九	第9調査区	第1調査面全景(北から) GN-f 3区SD1遺物検出状況(東から)
図版二十	第9調査区	GN-f 3区SD1完掘(西から) 第2調査面全景(北から)
図版二一	第9調査区	GN-g 3区SE1(西から) GN-g 3区SE1井戸側(西から)
図版二二	第9調査区	GN-f 3区SK8(西から) GN-d 3区SP19柱根検出状況(南から)
図版二三	第9調査区	第3調査面全景(北から)
	第10調査区	第10調査区北部(南から)
図版二四	第10調査区	第10調査区南部(北から) AV-f 10区埴輪円筒棺(東から)
図版二五	第10調査区	AV-f 10区埴輪円筒棺の朝顔形埴輪(南東から) AV-f 10区埴輪円筒棺の円筒埴輪(南東から)
図版二六	第10調査区	AV-i 1区木製品検出状況(西から)
	第11調査区	遺構面全景(南から)
図版二七	第12調査区	第1調査面全景(南から) 第1調査面全景(北から)
図版二八	第12調査区	第2調査面全景(南から) CV-f 7区足跡状遺構検出状況(東から)
図版二九	第1調査区	出土遺物 SD1(4~9)
図版三十	第1調査区	出土遺物 SD1(10~15)
図版三一	第1調査区	出土遺物 SD1(16~19・21・24)
図版三二	第1調査区	出土遺物 SD1(25~30)
図版三三	第1調査区	出土遺物 SD1(31~34・36・37)
図版三四	第1調査区	出土遺物 SD1(49・55~58・63)

- 図版三五 第1調査区 出土遺物 S D 1 (65・68~71・78・86・90)
- 図版三六 第1調査区 出土遺物 S D 1 (91・94・96・104・109・112・114・120)
- 図版三七 第1調査区 出土遺物 S D 1 (121・127・129~133・138)
- 図版三八 第1調査区 出土遺物 包含層 (140・142・145~147・149)
- 図版三九 第1調査区 出土遺物 包含層 (150・151・153・155~159)
- 図版四十 第1・第2調査区 出土遺物 第1調査区包含層 (160・163~165)
第2調査区包含層 (21~23)
- 図版四一 第2調査区 出土遺物 包含層 (24・25・45・58・59・62・79~81)
- 図版四二 第5調査区 出土遺物 S E 1 (2・5・8~11)
- 図版四三 第5調査区 出土遺物 S E 1 (13) S K 2 (27・28)
河川1 (33・39) 包含層 (54・63・64)
- 図版四四 第7調査区 出土遺物 S D 1 (1~5・11)
- 図版四五 第7調査区 出土遺物 S D 1 (12・15・24・32・33・35~37)
- 図版四六 第7調査区 出土遺物 S D 1 (38・40・43・44・47・51・53)
- 図版四七 第7調査区 出土遺物 S D 1 (54・57~61・66)
- 図版四八 第7調査区 出土遺物 S D 1 (67~72)
- 図版四九 第7調査区 出土遺物 S D 1 (73~78)
- 図版五十 第7調査区 出土遺物 S D 1 (79~83・85)
- 図版五一 第7調査区 出土遺物 S D 1 (130・148・155・158・159・200・208・217)
- 図版五二 第7調査区 出土遺物 S D 1 (218・236・240・243・245・246)
- 図版五三 第7調査区 出土遺物 S D 1 (265・267・269・274・285・288)
- 図版五四 第7調査区 出土遺物 S D 1 (291・304・305・307・308・311)
- 図版五五 第7調査区 出土遺物 S D 1 (312・319・320・322・324・325)
- 図版五六 第7調査区 出土遺物 S D 1 (328・329・332・337~338)
- 図版五七 第7調査区 出土遺物 S D 1 (340~345・347)
- 図版五八 第7調査区 出土遺物 S D 1 (348~355)
- 図版五九 第7調査区 出土遺物 S D 1 (356~358・361・362・364)
- 図版六十 第7調査区 出土遺物 S D 1 (365~368・370・371・378・380)
- 図版六一 第7調査区 出土遺物 S D 1 (381・383~385・389・391・394・395)
- 図版六二 第7調査区 出土遺物 S D 1 (396・397・408~413)
- 図版六三 第7調査区 出土遺物 S D 1 (414・416~418・423~426)
- 図版六四 第7調査区 出土遺物 S D 1 (427~432・435・451)

- 図版六五 第7調査区 出土遺物 SD 1 (453・456~458・463~467)
- 図版六六 第7調査区 出土遺物 SE 1 (468)
包含層 (487・489~493・499・500)
- 図版六七 第9調査区 出土遺物 SD 1 (1~5・20)
- 図版六八 第9調査区 出土遺物 SD 1 (23・43・48~50・69)
- 図版六九 第9調査区 出土遺物 SD 1 (70・72・73・76~78)
- 図版七十 第9調査区 出土遺物 SD 1 (81・82・88・91・102・107・119・120)
- 図版七一 第9調査区 出土遺物 SD 1 (123・124)
SD 4 (125・128・129・132)
- 図版七二 第9調査区 出土遺物 SK 8 (134・141)
- 図版七三 第9調査区 出土遺物 SK 8 (142・143・146~149・152・153)
- 図版七四 第10調査区 出土遺物 朝鮮形埴輪 (1)
- 図版七五 第10調査区 出土遺物 円筒埴輪 (2)
- 図版七六 第10調査区 出土遺物 包含層 (6~10)
- 図版七七 第10調査区 出土遺物 包含層 (11~18)
- 図版七八 第1・第2調査区 出土遺物 (木製品) 第1調査区 SD 2 (139)
第2調査区 SE 1 (2)
- 図版七九 第2・第5調査区 出土遺物 (木製品) 第2調査区 SD 2 (28)
第5調査区 SE 1 (15)
- 図版八十 第5調査区 出土遺物 (木製品) SE 1 (16~19・21)
- 図版八一 第10調査区 出土遺物 (木製品) 第6層 (23・24)

第1章 はじめに

今回の発掘調査は、昭和57年度から継続事業として実施している八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴うもので、当調査研究会が小阪合遺跡内で実施した第4次調査にあたる。

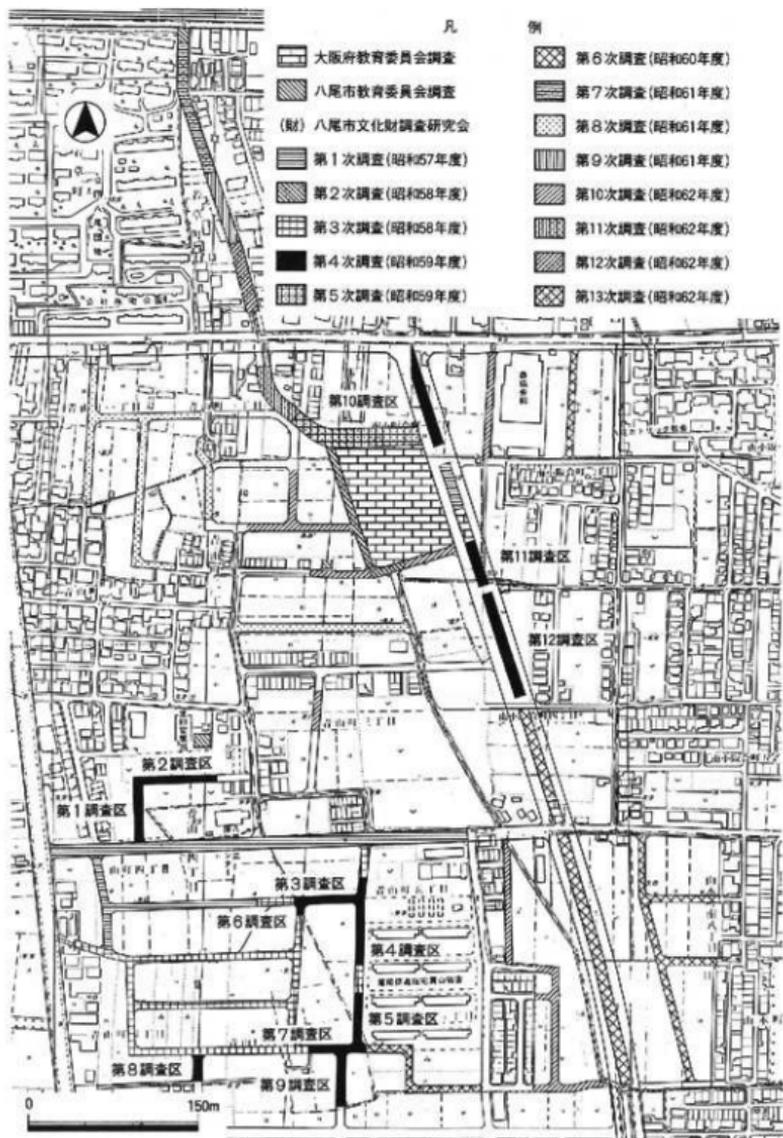
当遺跡は、八尾市の中央部にあたる南小阪合町・青山町・若草町・山本町南一帯に広がる弥生時代～江戸時代にかけての複合遺跡である。当遺跡は旧大和川の主流である玉串川と長瀬川に挟まれた沖積地上に位置している。同・沖積地上には多くの遺跡が存在している。当遺跡の周辺に限っても、西方には矢作遺跡・成法寺遺跡、南方には東弓削遺跡・中田遺跡、北方には東郷遺跡・萱振B遺跡が存在している。

当遺跡の発見の契機は、昭和30年に若草町で実施された大阪府住宅供給公社山本団地の建設工事に際して、古墳時代の土器が出土したことによる。しかし、その後、八尾市教育委員会が当遺跡内で数回の試掘調査を実施したが、その実態は不明であった。

昭和56年度に当遺跡内の南小阪合地区を中心として区画整理事業が施工されることになった。八尾市教育委員会は埋設している遺跡の実態を把握する目的で、計画予定地内の調査を実施することが決定された。そして、昭和57年度から当調査研究会及び大阪府教育委員会・八尾市教育委員会で、それぞれ発掘調査が実施された。現在（昭和62年度）までには当遺跡内で区画整理事業及び関係事業に伴う発掘調査が19回実施されている。その内訳は大阪府教育委員会が3回、八尾市教育委員会が2回、当調査研究会が14回（第1次～第14次調査）の発掘調査である（第1表）。調査の結果では弥生時代中期～近世に至る遺構・遺物を検出している。特に古墳時代前期に比定される遺構・遺物が当遺跡内に広く分布していることが明らかになった。

今回の調査地は区画整理事業の計画道路の予定地内（約1500㎡）で、青山町4丁目・5丁目内の区画街路に9箇所と、南小阪合町4丁目内の幹線道路に3箇所の計12箇所である。この調査地は昭和57年度第1次調査・昭和58年度第3次調査地に接している。発掘調査は既往調査と同様の経緯を踏まえて当調査研究会が実施することになり、区画整理事業事務所・八尾市教育委員会・当調査研究会の三者間で調査に関わる契約を締結し、現地調査に着手した。調査期間は昭和59年6月15日から同年11月15日である。なお、昭和59年9月7日に八尾市内の市立中学校（社会科）教師の依頼により、資料を作成し、現地説明会を実施した。参加者は25人であった。

内業整理については、昭和61年度内業整理業務として、発掘調査と同様の経緯を踏まえて区画整理事業事務所・八尾市教育委員会・当調査研究会の三者間で契約を締結し、昭和62年1月6日から3月25日までの期間を昭和59年度第4次調査の内業整理として実施した。ただし、報告書の印刷は、昭和62年度の内業整理事業に計上して、刊行した。



第1図 調査地位圖

第1表 既往調査の一覧表

年度	調査地	調査原因	調査主体	調査面積	主な検出遺構・出土遺物	備考
57年度	青山4丁目町内と南小阪合町1丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第1次調査)	約1900㎡	弥生時代後期一土坑・小穴。古墳時代前期一井戸・溝。多量の土器出土。古墳時代中期一土坑・小穴等。奈良時代一建物・井戸等。	当調査研究会報告9
58年度	南小阪合町1丁目内	橋根川切換え工事	当調査研究会(第2次調査)	約600㎡	鎌倉時代一小穴・溝。江戸時代一自然河川。	当調査研究会報告10
	青山町4丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第3次調査)	約1500㎡	弥生時代後期一土坑・小穴・溝。多量の遺物出土。古墳時代前期一方形埴輪墓・溝等。庄内式古相一布留式古相の土器を多量に出土。	当調査研究会報告10
	南小阪合町1丁目内	小阪合ポンプ場建設	大阪府教育委員会	約5000㎡	古墳時代前期一溝・自然河川。平安時代一鎌倉時代一溝・自然河川。	
59年度	青山町4丁目内と南小阪合町1丁目・4丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第4次調査)	約1500㎡	古墳時代前期一土坑・小穴・溝。庄内式古相一布留式古相の土器が多量に出土。古墳時代中期一初期須恵器の出土。平時代末期一井戸・土坑・小穴。	今回の報告
	南小阪合町1丁目内	柏原・八尾幹線下水管渠築造工事	大阪府教育委員会	約200㎡	鎌倉時代一水田。	
	青山町4丁目	徳岡西電力鉄塔工事	八尾市教育委員会	約56㎡	古墳時代中期一土坑・溝・小穴。	八尾市文化財調査報告11
60年度	南小阪合町1丁目内	流域下水道工事	当調査研究会(第5次調査)	約636㎡	弥生時代後期一古墳時代一溝。平安時代後期一井戸・小穴・溝。鎌倉時代一溝。	当調査研究会報告8
	山本町南8丁目と南小阪合町4丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第6次調査)	約2500㎡	弥生時代後期一土坑。古墳時代前期一土坑・溝。鎌倉時代一水田・溝。室町時代一自然河川。	当調査研究会報告8
	南小阪合町1丁目・4丁目	下水道工事	大阪府教育委員会	約200㎡	古墳時代一溝。鎌倉時代一近世一溝。	
	小阪合町1丁目内	小阪合ポンプ場放流渠築造工事	八尾市教育委員会	約20㎡	中世一自然河川。	八尾市文化財調査報告12
61年度	青山町1丁目・3丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第8次調査)	約1000㎡	古墳時代前期一土坑・溝。古墳時代中期一溝・小穴・河川。奈良時代一溝・小穴。平安時代一鎌倉時代一井戸・土坑・小穴・溝。	当調査研究会報告9
62年度	小阪合町1丁目・2丁目内	小阪合ポンプ場放流渠築造工事	当調査研究会(第9次調査)	約480㎡	室町時代一自然河川。	昭和63年度事業報告
	南小阪合町1丁目と青山町3丁目・5丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第10次調査)	約1023㎡	弥生時代後期一土坑・溝。古墳時代前期一土坑・溝・自然河川・土器集積。平安時代末期一溝。鎌倉時代一近世一溝。	昭和63年度事業報告
	南小阪合町1丁目内	小阪合ポンプ場放流渠築造工事	当調査研究会(第11次調査)	276㎡	室町時代一自然河川。近世一自然河川。	昭和63年度事業報告
63年度	小阪合町2丁目内	小阪合ポンプ場放流渠築造工事	当調査研究会(第12次調査)	400㎡	室町時代一自然河川。	昭和63年度事業報告
	青山町5丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第13次調査)	260㎡	弥生時代後期一溝。古墳時代前期一土坑・溝・土器集積。自然河川。古墳時代中期一土坑・溝・小穴。平安時代一土坑。鎌倉時代一溝。	昭和63年度事業報告
	南小阪合町4丁目内	特殊入孔築造工事	当調査研究会(第14次調査)	30㎡	遺構・遺物なし。	昭和63年度事業報告
	青山町1丁目内	府道拡充工事	大阪府教育委員会		弥生時代後期一土坑。古墳時代前期一溝。鎌倉時代一溝・小穴。	

第2章 調査の概要

第1節 調査の方法

今回の調査地は、区画街路の予定地内に幅2mのトレンチ（第1調査区～第9調査区）、幹線街路の予定地内に幅6mのトレンチ（第10調査区～第12調査区）の計12箇所である（第2表）。掘削に際しては既往調査（昭和57年度第1次調査・昭和58年度第3次調査）の調査結果をもとにして、現地表下0.3～0.5mまでの土層を機械掘削した。これより以下の土層については人力による掘削を実施し、遺構・遺物の検出に努めた。

第2節 調査地の地区割

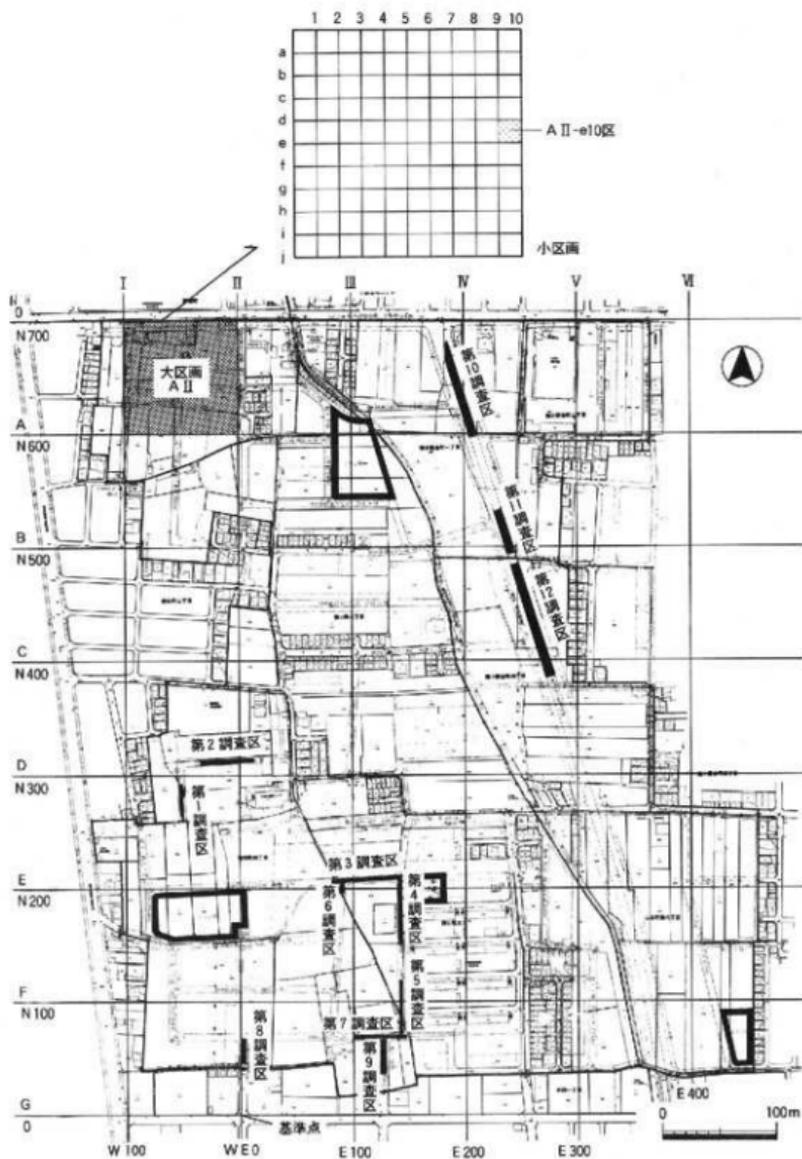
今回の調査地は、各調査区が細長い（南北・東西方向）トレンチで広範囲に点在している。南部には弥生時代～中世にかけての複合遺跡である中田遺跡が接しており、当遺跡と位置関係を把握する目的などを考慮に入れ、昭和47～49年度曙川北区土地区画整理事業に伴う中田遺跡の発掘調査で使用された地区割プランの図D-Ⅲラインの交点を基準点として、区画整理事業区域内に東西線・南北線を設けた。地区名は100m四方を1区画とした大地区を設け、区画整理事業区域内の北西角（基準点から北へ700m・西200m）から東西線（北からA～G）、南北線（西からI～Ⅳ）と付称した。この大地区をさらに10m四方に小区画して北西角から東西線（北からa～j）、南北線（西から1～10）の小地区を設定して各調査区に付称した。地区の表示は大地区と小地区をあわせ、第2図のようにAⅡ-e10区と表した。

なお、基準点は区画整理事業区域内の保健センターに設置されている三角点（国土座標の値）から国土座標を求めた。基準点はX=-152.728 990、Y=-35.328.342を測る。当区画整理事業区域内に設定した地区割の南北線は国土座標の南北線より西へ2度ふっている。

第2表 調査区一覧表

※単位：m

調査区	計画道路番号	規模	調査区	計画道路番号	規模
第1調査区	18号線（南北方向）	29×2	第7調査区	28号線	46×2
第2調査区	18号線（東西方向）	61×2	第8調査区	29号線	26×2
第3調査区	22号線	60×2	第9調査区	30号線	32×2
第4調査区	23号線（北部）	60×2	第10調査区	中央線（北部）	72×6
第5調査区	23号線（南部）	45×2	第11調査区	中央線（中央部）	37×6
第6調査区	25号線	10×2	第12調査区	中央線（南部）	102×6



第2図 調査地区割模式図

第3節 調査区の概要

今回の調査地は幅2mと幅6mの細長いトレンチの調査であったが、この調査においても多大な調査成果をあげることができた。また、既往調査で検出した弥生時代後期～近世に至る遺構などと関連するものが多くみられた。

以下、今回の調査で検出した遺構・遺物について各調査区ごとに概説してみる。

第1調査区（18号線）

区画整理事業区域内の西部中央に設定した南北に長い調査区（長さ29m）で、今回実施した調査区内で最も西端部にあたる。調査面積は約78㎡を測る。当調査区では2面の調査面を実施した。その結果、下面調査では、古墳時代前期（布留式古相）～中期に比定される土坑1基（SK1）・溝3条（SD1～SD3）を検出した。SD1では下層から布留式古相に比定される土器、上層から古墳時代中期に比定される土器が出土している。上面調査では、鎌倉時代に比定される土坑1基（SK1）・溝7条（SD4～SD11）を検出した。

なお、SD1の広がりを見るために拡張（南北10m、東西2m）を実施した。

第2調査区（18号線）

第1調査区の北端部から東へ伸びる東西に長い調査区（長さ61m）である。調査面積は約122㎡を測る。当調査区では2面の調査を実施した。その結果、下面調査では古墳時代前期（布留式古相）に比定される土坑2基（SK1・SK2）・小穴8個（SP1～SP8）を検出した。上面調査では古墳時代中期～奈良時代に比定される小穴57個（SP9～SP65）、平安時代に比定される曲物を備えた井戸1基（SE1）を検出した。下層調査では第7層内から畿内第V様式～庄内式古相に比定される土器が出土している。

第3調査区（22号線）

第1調査区の南東約150mに設定した東西に長い調査区（長さ60m）で、昭和58年度第3次調査の22地区の東部にあたる。調査面積は約126㎡を測る。当調査区では現地表下0.5mで古墳時代前期の包含層を確認した。直下の土層上面を調査面としたが、遺構は検出されなかった。なお、西側に位置する昭和58年度第3次調査22地区では当調査区の同一面から弥生時代後期～古墳時代前期に至る土坑・小穴・溝が検出されている。

第4調査区（23号線北部）

第3調査区の東部に設定した東北に長い調査区（長さ約60m）で、昭和58年度第3次調査の25地区の東部（約50m）にあたる。調査面積は約120㎡を測る。当調査区では1面の調査を実施した。その結果、古墳時代前期に比定される土坑2基（SK1・SK2）を検出した。

第5調査区 (23号線南部)

第4調査区の南側から約35mに設定した南北に長い調査区(長さ45m)である。調査面積は約90㎡を測る。当調査区では2面の調査を実施した。その結果、下面調査では古墳時代前期(庄内式新相～布留式古相)に比定される井戸1基(SE1)・土坑1基(SK1)・小穴列1箇所(小穴列1)・小穴4個(SP1・SP5～SP7)を検出した。上面調査では古墳時代前期に比定される土坑4基(SK2～SK5)・自然河川1条(河川1)と、平安時代に比定される自然河川1条(河川2)を検出した。

第6調査区 (25号線)

第4調査区の南部に設定した南北に長い調査区(長さ約10m)である。調査面積は約20㎡を測る。当調査区では1面の調査を実施した。その結果、第3調査区と同様に遺構は検出されなかった。南側に接する昭和58年度第3次調査の25地区では、当調査区と同一面から弥生時代後期～古墳時代前期に比定される土坑・溝が検出されている。

第7調査区 (28号線)

第5調査区の南部に設定した東西に長い調査区(長さ約46m)で、昭和58年度第3次調査の28地区の東部にあたる。調査面積は約92㎡を測る。当調査区では4面(下から第1面～第4面)の調査を実施した。その結果、第1面の調査では古墳時代前期に比定される溝2条(SD1～SD2)と、平安時代に比定される河川1条(河川1)を検出した。SD1内からは庄内式新相～布留式古相に比定される土器が多量に出土している。第2面の調査では鎌倉時代に比定される井戸1基(SE1)・土坑2基(SK1・SK2)・溝2条(SD3・SD4)を検出した。第3面の調査では鎌倉時代～室町時代に比定される溝6条(SD5～SD10)を検出した。第4面の調査では江戸時代以降の溝8条(SD11～SD18)を検出した。

第9調査区 (30号線)

第7調査区の南部に設定した南北に長い調査区(長さ32m)である。調査面積は約64㎡を測る。当調査区では3面(下から第1面～第3面)の調査を実施した。その結果、第1面の調査では古墳時代前期～中期に比定される小穴13個(SP1～SP13)・溝4条(SD1～SD4)を検出した。SD1では上層から初期須恵器、下層から庄内式新相～布留式古相に比定される土器が多量に出土している。第2面の調査では鎌倉時代に比定される井戸1基(SE1)・土坑10基(SK1～SK10)・小穴20個(SP14～SP33)・溝18条(SD5～SD22)を検出した。第3面の調査では江戸時代以降の溝3条(SD23～SD25)を検出した。

第10調査区 (中央線)

当調査地で最も北部に設定した南北に長い調査区(長さ約72m)で、昭和57年度第1次調査のC-Ⅱ地区の北部にあたる。また当調査区の西側には昭和59年度第5次調査地が接している。

調査面積は約432㎡を測る。当調査区では1面の調査を実施した。その結果、平安時代後期～鎌倉時代に比定される溝14条（SD1～SD14）と、古墳時代中期に比定される土坑1基（SK1）埴輪円筒棺1基を検出した。

第11調査区（中央線）

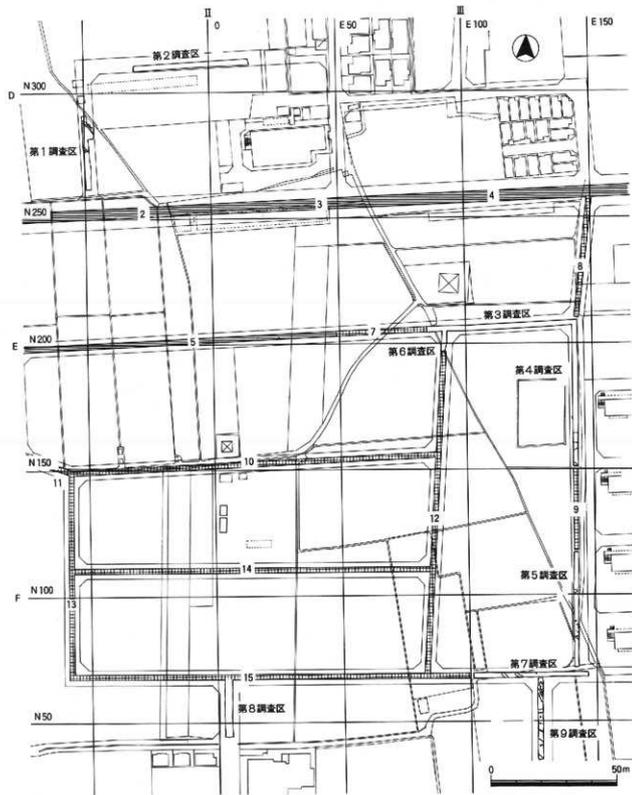
第10調査区の南部約100mに設定した南北に長い調査区（約37㎡）で、昭和57年度第1次調査のC-II地区の南部（約50m）にあたる。調査面積は約222㎡である。当調査区では1面の調査を実施した。その結果、鎌倉時代に比定される土坑1基（SK1）・小穴3個（SP1～SP3）・溝6条（SD1～SD6）を検出した。

第12調査区（中央線）

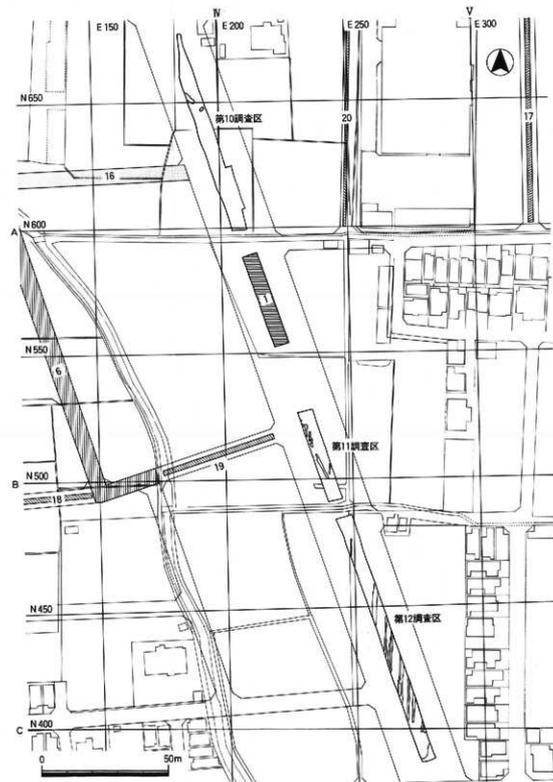
第11調査区の南部に約15mに設定した南北に長い調査区（長さ102m）である。調査面積は約612㎡を測る。当調査区では2面の調査を実施した。その結果、下面調査では鎌倉時代に比定される溝10条（SD1～SD10）を検出した。上面調査では鎌倉時代に比定される足跡状遺構を検出した。

凡 例（第3回・第4回）

1 第1次調査C-II地区	8 第3次調査23-I地区	15 第3次調査28地区
2 第1次調査A-II地区	9 第3次調査23-II地区	16 第5次調査地
3 第1次調査A-III地区	10 第3次調査24-1地区	17 第6次調査第6調査区
4 第1次調査A-IV地区	11 第3次調査24-2地区	18 第10次調査第3調査区
5 第1次調査22地区	12 第3次調査25地区	19 第10次調査第4調査区
6 第2次調査地	13 第3次調査26地区	20 第10次調査第6調査区
7 第3次調査22地区	14 第3次調査27地区	



第3図 第1調査区～第9調査区遺構配置図



第4図 第10調査区～第12調査区遺構配置図

第3章 調査の結果

第1節 第1調査区

当調査区は今回実施した調査地内で最も西端部に設定した南北に長い調査区(29m)である。調査面積は78㎡を測る。北東側へ約30mには第2調査区がある。また、昭和57年度第1次調査のA-II地区の北部にあたる。

I 基本層序

当調査区で普遍的にみられる7層を基本層序とした。現地表面は標高8.5mを測る。

第1層 耕土：層厚10～20cm。この土層は、調査寸前まで耕作していた層である。

第2層 暗灰褐色粘質土：層厚8～10cm。この土層は、耕土の床土である。

第3層 淡灰褐色粘質土：層厚18～26cm。この土層内から古墳時代～近世にかけての遺物の小片がごく少量出土している。

第4層 黄褐色粘土：層厚5～12cm。この土層内から古墳時代から鎌倉時代にかけての遺物が少量出土している。

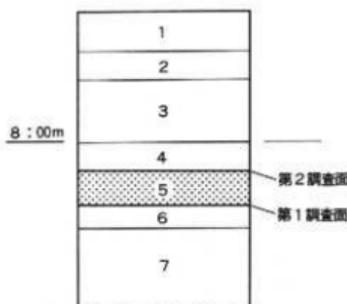
第5層 黄褐色砂質土：層厚12～25cm。この上面は標高7.9mを測り、鎌倉時代に比定される溝が検出されている。この上面を第2調査面とした。

第6層 灰褐色～黄灰褐色シルト：層厚10cm。この上面は標高7.8mを測り、古墳時代前期～中期に比定される遺構が検出されている。この上面を第1調査面とした。

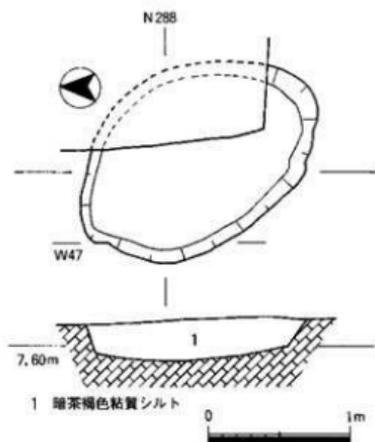
第7層 暗灰色～灰白色シルトと粗砂の互層：層厚30cm以上。

II 検出遺構・出土遺物

当調査区では2面を調査面とした。その結果、第1調査面では古墳時代前期～中期に比定される土坑1基(SK1)・小穴2個(SP1・SP2)・溝3条(SD1～SD3)を検出した。第2調査面では鎌倉時代に比定される土坑1基(SK2)・溝8条(SD4～SD11)を検出した。以下、各調査面で検出した遺構について概説する。



第5図 基本層序柱状図 (S=1/20)



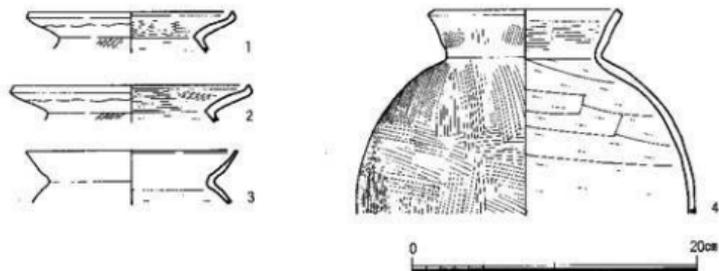
第6図 SK1 平断面図

第1調査面

土坑 (SK)

SK1

EⅡ-b 6区東隣付近で検出した土坑である。平面は検出部で半楕円形を呈する。東部は調査区外に至り全容は不明である。規模は検出部で、東西0.78m、南北2.24m、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈し、中央部でやや窄む。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は、土坑内の中央部の窪んだ箇所から土器の小片が少量出土している。器種はすべて甕で、庄内式甕(1・2)・布留式甕(3)・甕(4)がある。時期は布留式古相に比定されよう(第6図・第7図)。



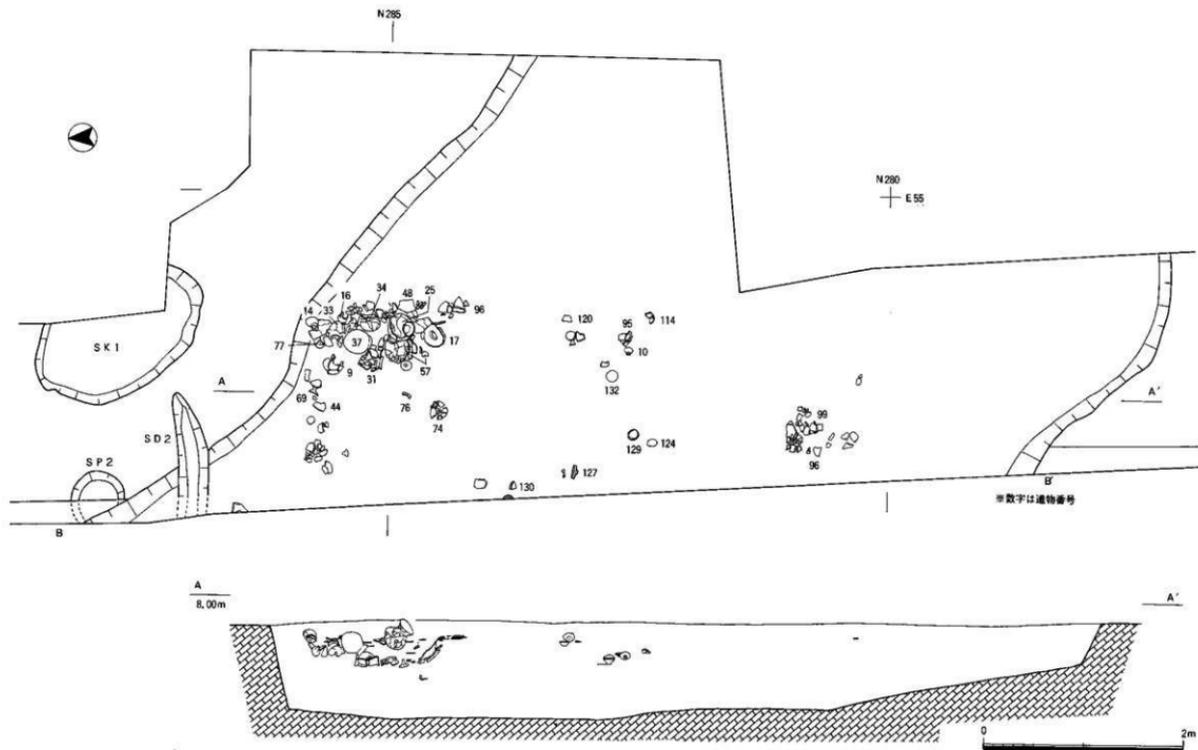
第7図 SK1 出土遺物実測図

SP1

EⅡ-b 6区で検出した。東部は調査区外に至る。平面は半円形を呈する。規模は検出部で、東西25cm以上、南北35cm、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は、堆積土内から布留式古相に比定される土師器の小片がごく少量出土している。器種には、甕・高杯がある。

SP2

EⅡ-b 6区で検出した。西部はSD1に切られている。平面はほぼ半円形を呈する。規模は検出部で、東西45cm以上、南北径54cm、深さ14cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は



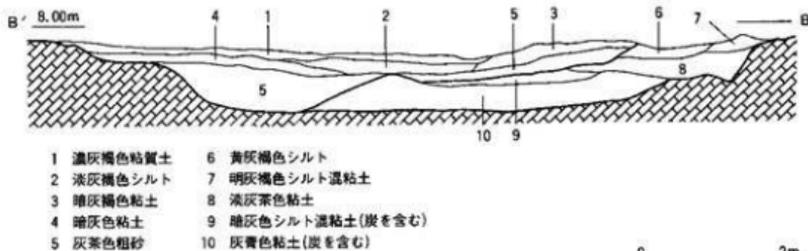
第8図 SD1 検出遺物平面図

暗茶褐色粘質シルトである。遺物は、堆積土内から布留式古相に比定される土師器の小片がごく少量出土している。

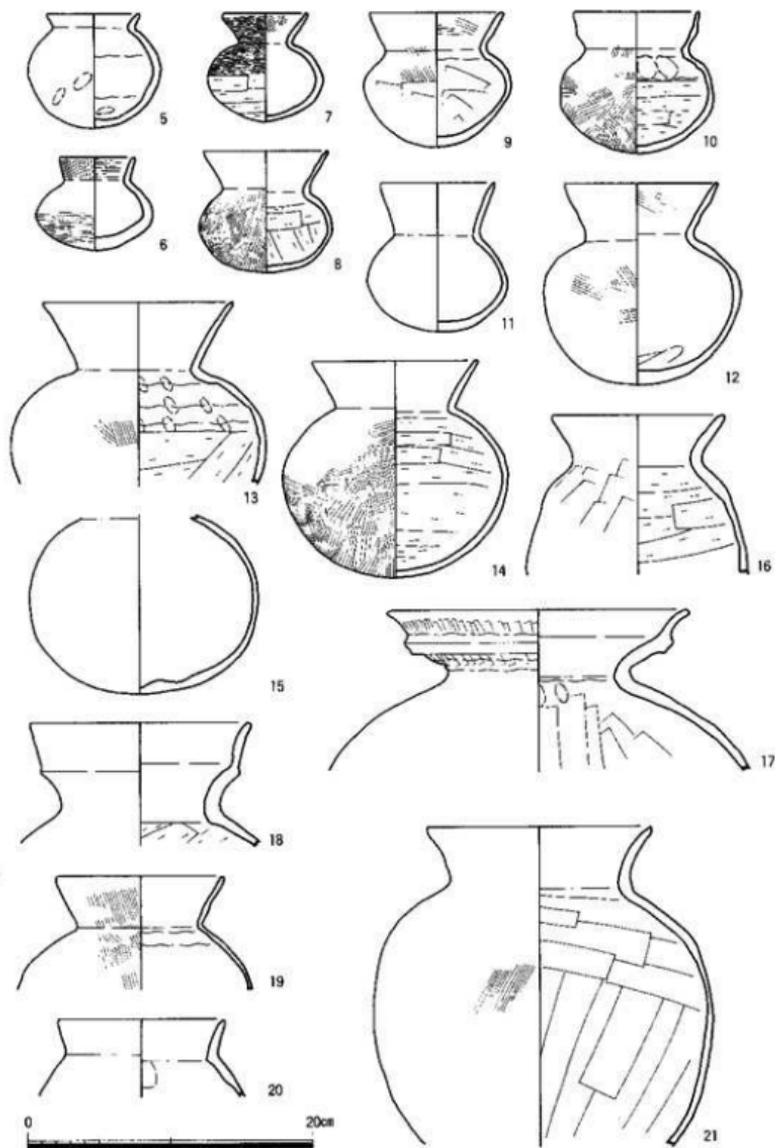
溝 (SD)

SD 1

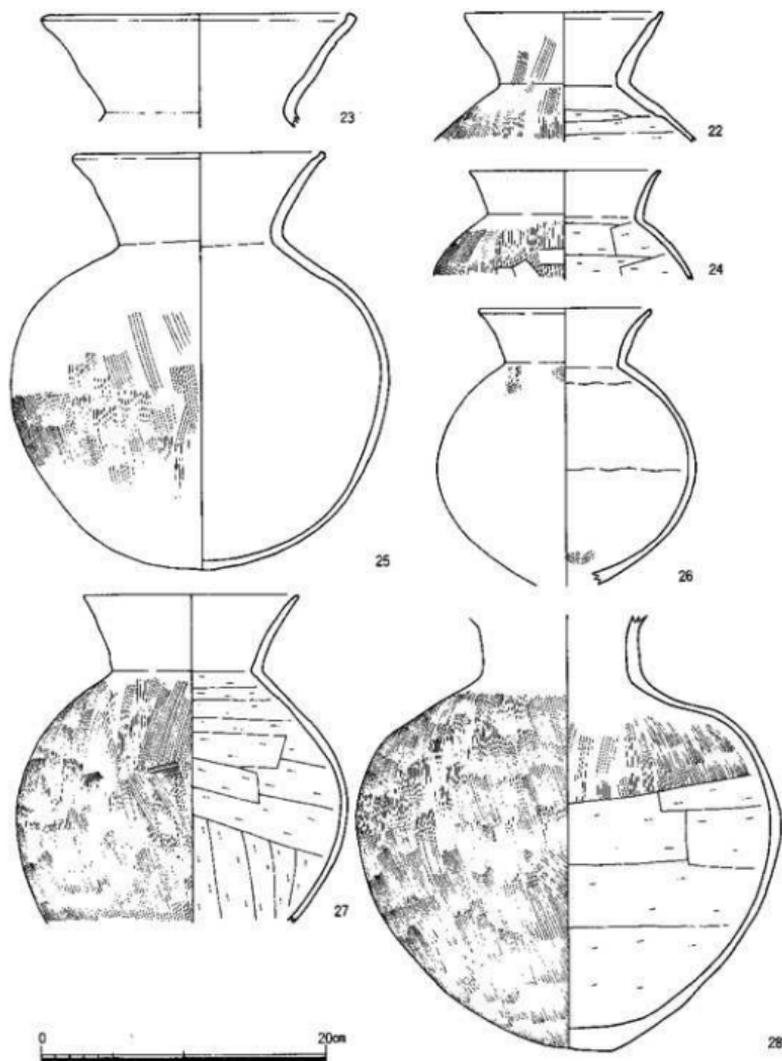
E II - b 6 - c 6 区で検出した溝である。方向は東南—北西の方向を示す。規模は検出部で、幅 9 m、深さ 24~77 cm を測る。断面は浅い逆凸形を呈する。堆積土は、上方から第 1 層濃灰褐色粘質土・第 2 層淡灰褐色シルト・第 3 層暗灰褐色粘土・第 4 層暗灰色粘土・第 5 層灰茶色粗砂・第 6 層黄灰褐色シルト・第 7 層明灰褐色シルト混粘土・第 8 層淡灰茶色粘土・第 9 層暗灰色シルト混粘土 (炭を含む)・第 10 層灰青色粘土 (炭を含む) で構成されている。堆積状況は断面観察及び出土遺物からみると、A 層 (第 1 層~第 5 層) と B 層 (第 6 層~第 10 層) の 2 つに大きく分かれる。出土量はコンテナ箱にして約 7 箱分 (A 層 3 箱分・B 層 4 箱分) を数える。B 層からは古墳時代前期 (布留式古相) に比定される土器片が出土している。そのうち、図示できたものは 58 点である。器種には壺 (5~29)・鉢 (64)・高杯 (65~77)・布留式甕 (30~63) 等がある。複合口縁壺 (29) には体部外面に竹やつるなどのもので編んだと考えられる籠の目の痕跡がみられる。A 層からは古墳時代中期に比定される土器片が出土している。図示できたものは 62 点 (土師器 48 点と須恵器 13 点) である。器種には土師器の小型壺 (78)・壺 (81)・第 V 様式系甕 (79・80)・甕 (82~104・106~109)・布留式甕 (105)・小型丸底壺 (110~111)・鉢 (112・113)・杯 (114・115)・大型の鉢 (116)・高杯 (117~125)・須恵器の杯蓋 (126~128)・杯身 (129~130)・鉢 (131)・甕 (132)・高杯 (133)・大型器台 (134)・甕 (135~138) がある。須恵器は陶色編年による I 型式 1~2 段階に比定されるものである。その他の遺物には、用途不明の木製品 (139) や自然木などが出土している。木製品 (139) は全長 49.7 cm を測り、両端は欠損する。形状は断面方形 (長さ 28.5 cm、一辺 4 cm) の角材と断面 L 字形 (長さ 21.2 cm、幅 13 cm、厚み 4 cm) で、L 字形の部分にはそれぞれ長方形のほぞ穴 (6.5 × 3.2 cm) 1 箇所があり、丁寧に加工している (第 8 図~第 19 図)。



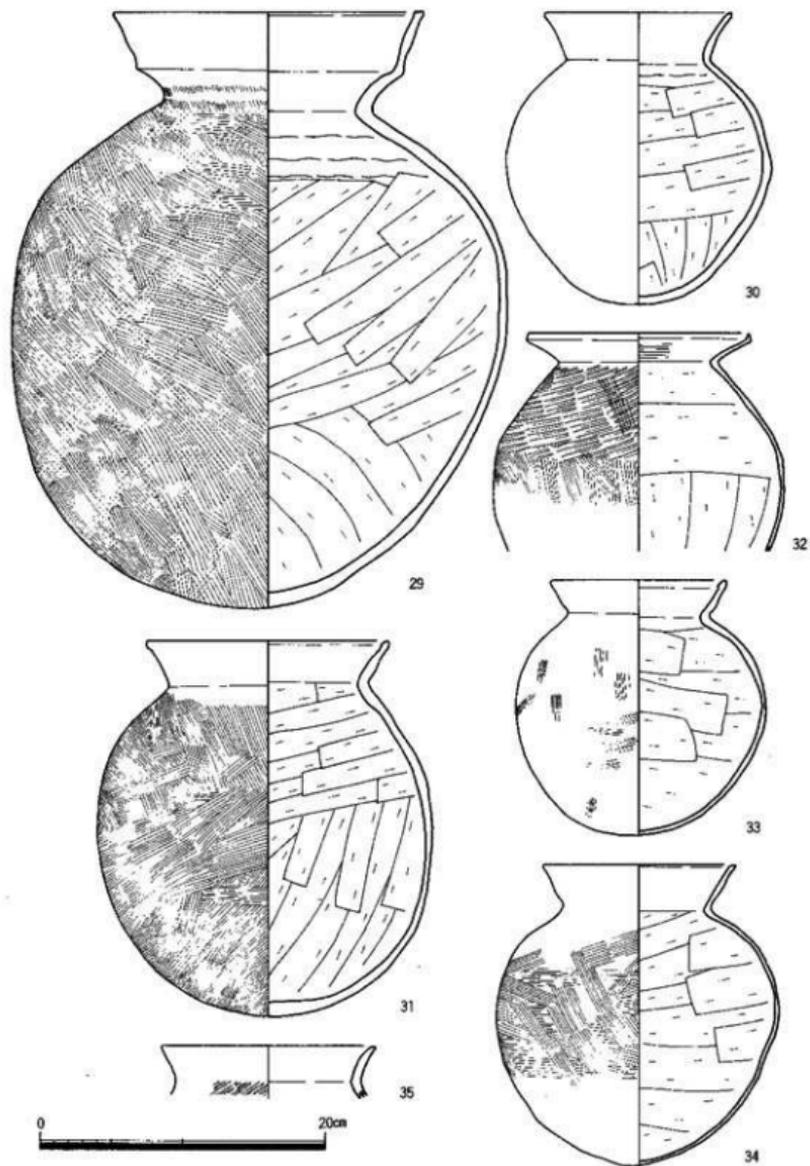
第9図 SD 1 断面図



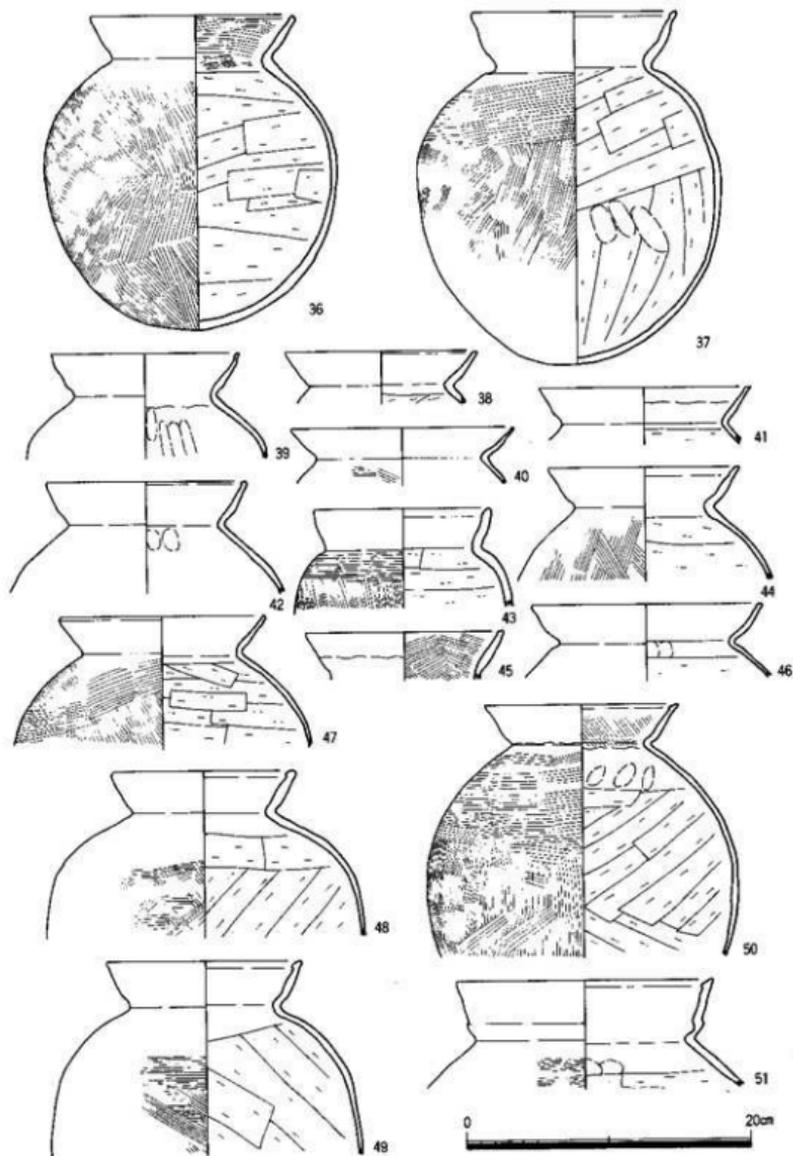
第10图 S D 1 (B 层) 出土文物实例图 1



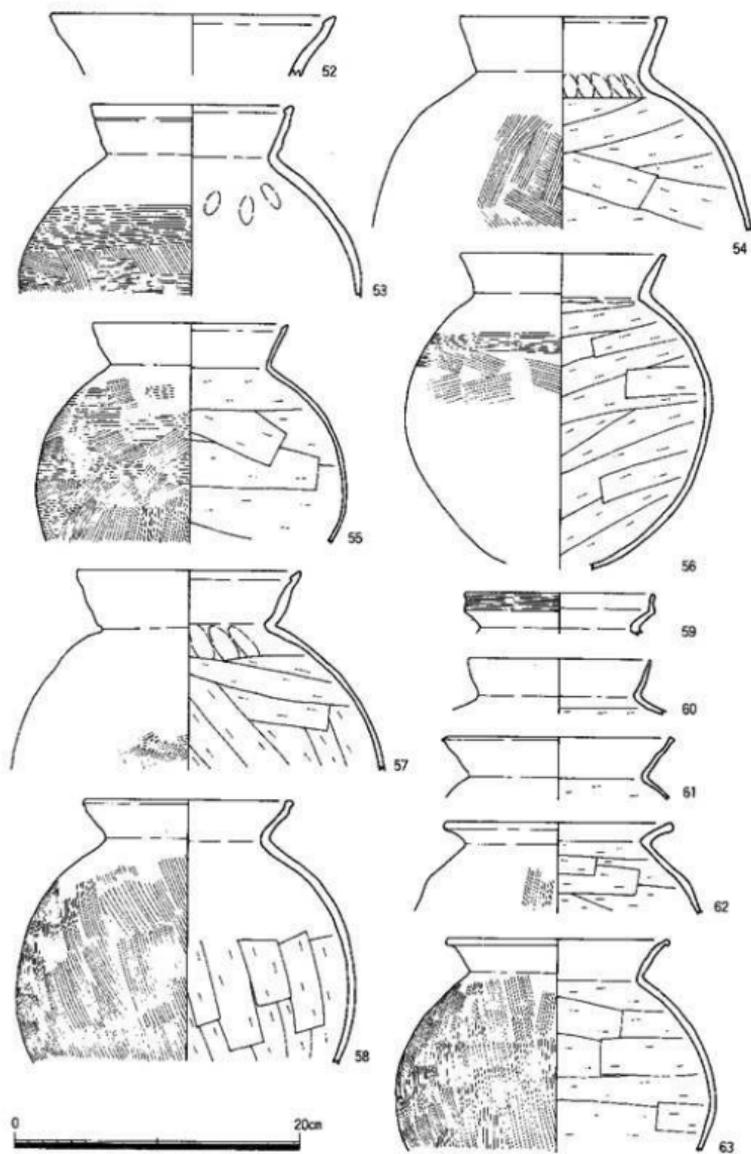
第11図 SD1 (B層) 出土遺物実測図2



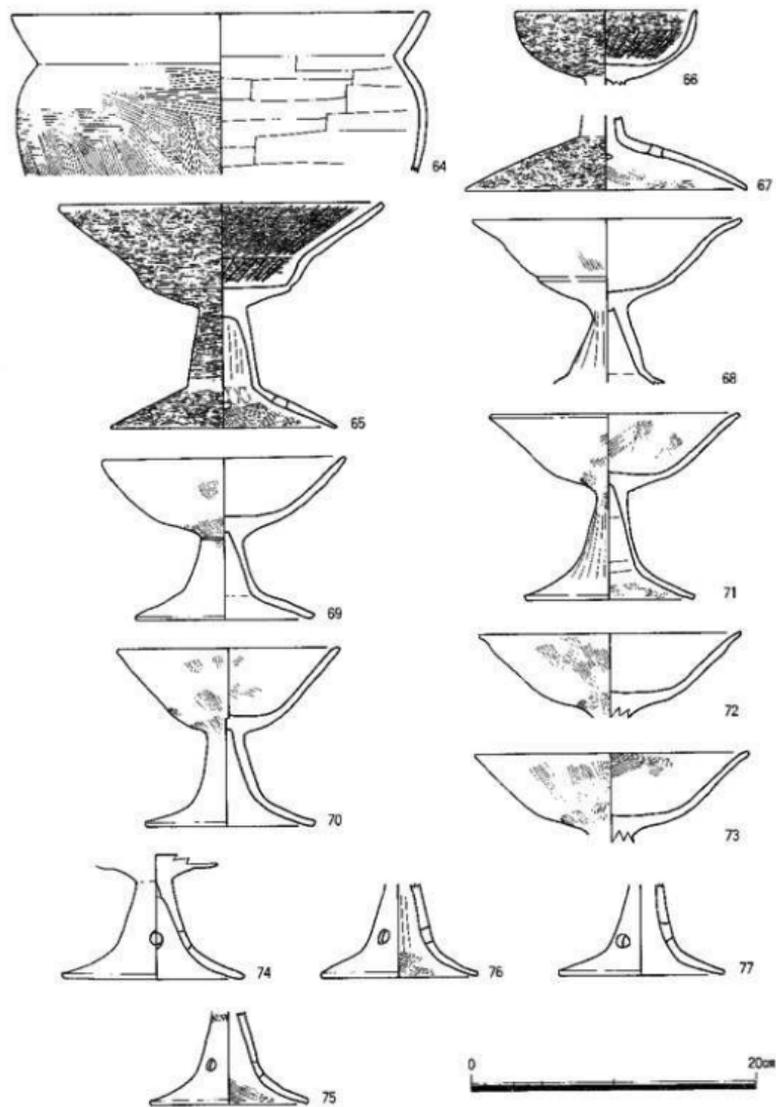
第12图 SD1 (B層)出土遺物実測図3



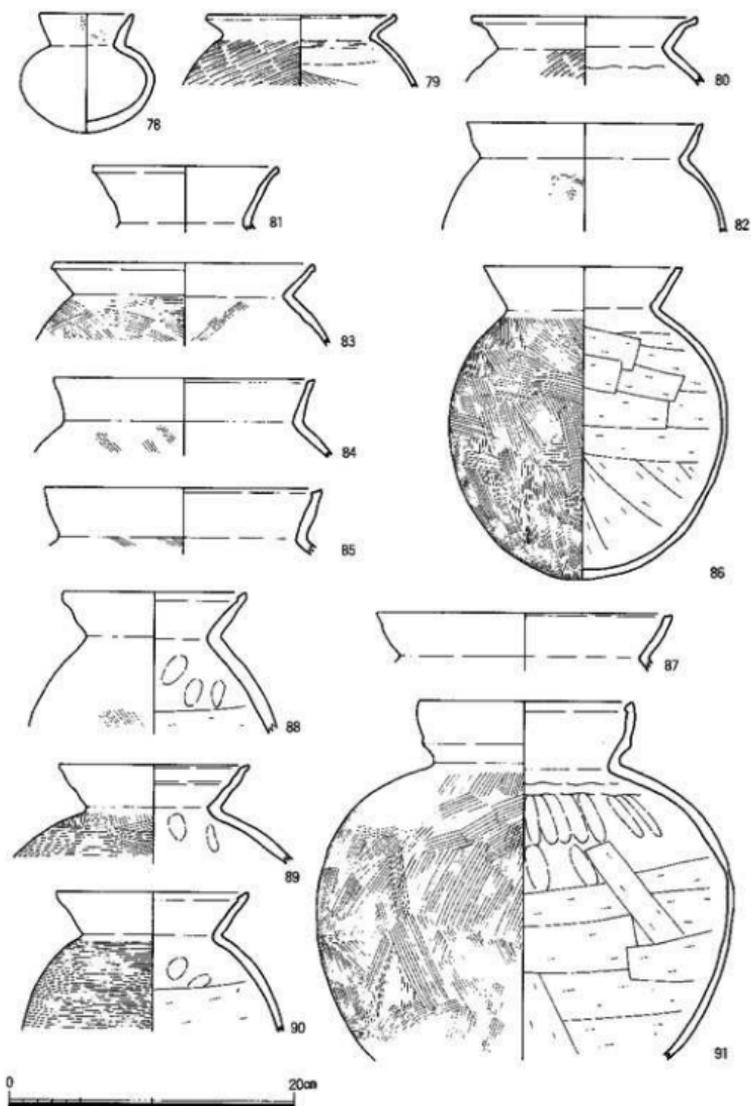
第13図 SD1 (B層) 出土遺物実測図4



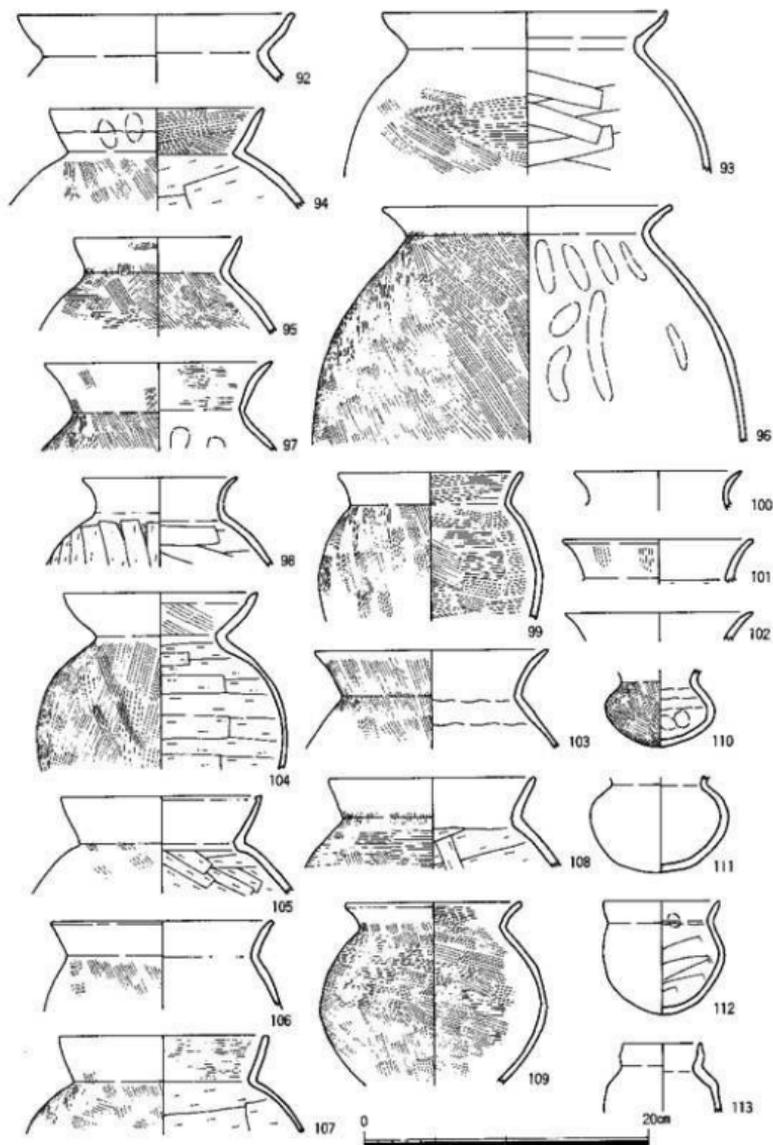
第14圖 SD1 (B層) 出土遺物実測図5



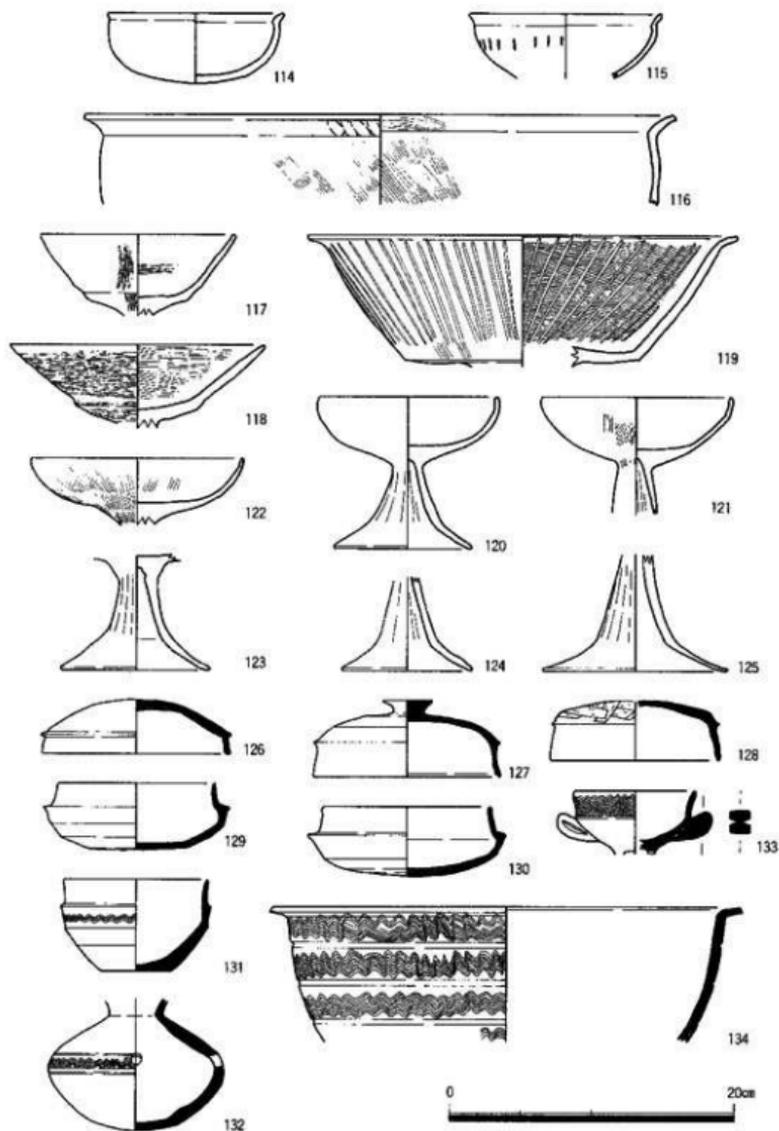
第15図 SD1 (B層)出土遺物実測図6



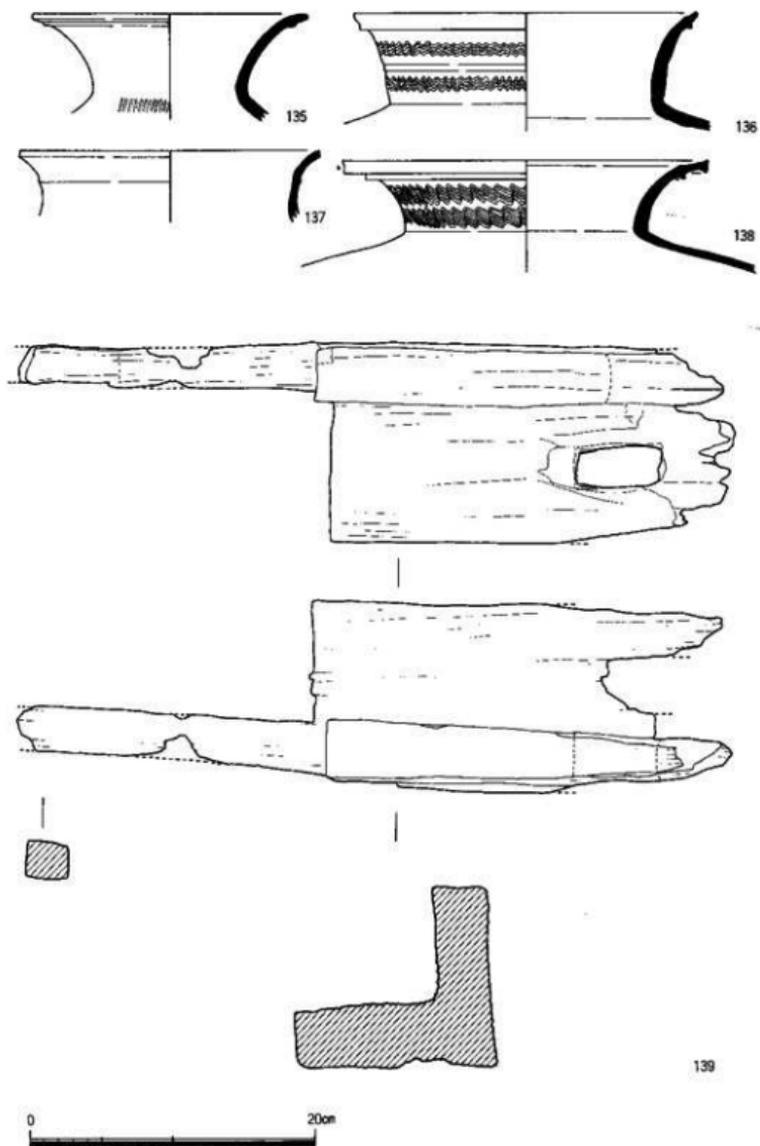
第16图 SD1 (A層)出土遺物実測図1



第17図 SD2 (A層) 出土物実測図2



第18圖 SD1 (A層) 出土遺物実測図3



第19図 SD1 (A層)出土遺物実測図4

SD2

EⅡ- b 6区で検出した溝である。方向はほぼ東西方向を示す。規模は検出部で、幅18~38cm、深さ11cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘土である。遺物は出土していない。

SD3

EⅡ- c 6区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。規模は検出部で、幅40cm、深さ11cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘土である。遺物は出土していない。

第2調査面

土坑 (SK)

SK2

EⅡ- d 6区の西壁付近で検出した土坑である。平面は楕円形を呈する。規模は検出部で、南北2.24m、東西0.64m、深さ7cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は淡灰褐色細砂泥粘土である。遺物は出土していない。

溝 (SD)

SD4

EⅡ- b 6区で検出した溝である。方向は南東-北西を示し、調査区外に至る。規模は検出部で、幅2m以上、深さ9cmを測る。北東側の肩は調査区外に至り、不明である。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

SD5

EⅡ- b 6区で検出した溝である。方向はSD4と平行する南東-北西を示し、南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅18~34cm、深さ9cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

SD6

EⅡ- b 6区で検出した溝である。方向はSD5と平行する南東-北西を示す。北側ではSD8と合流する。規模は検出部で、幅14~36cm、深さ8cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

SD7

EⅡ- b 6-c 6区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。規模は検出部で、幅40cm、深さ7cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

SD8

EⅡ-b 6区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示し、北側はSD6と合流する。規模は検出部で、幅2～38cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

SD9

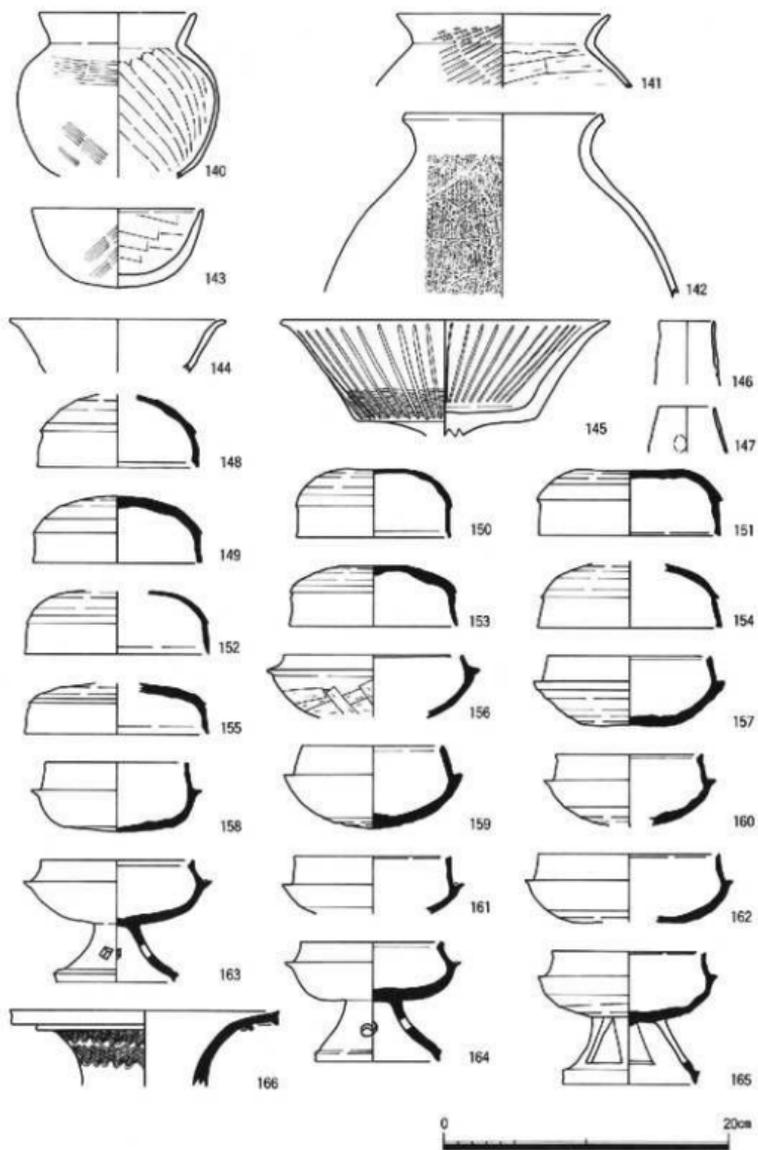
EⅡ-d 6区で検出した溝である。方向はほぼ東西方向を示し、東西とともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅20～28cm、深さ4cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

SD10

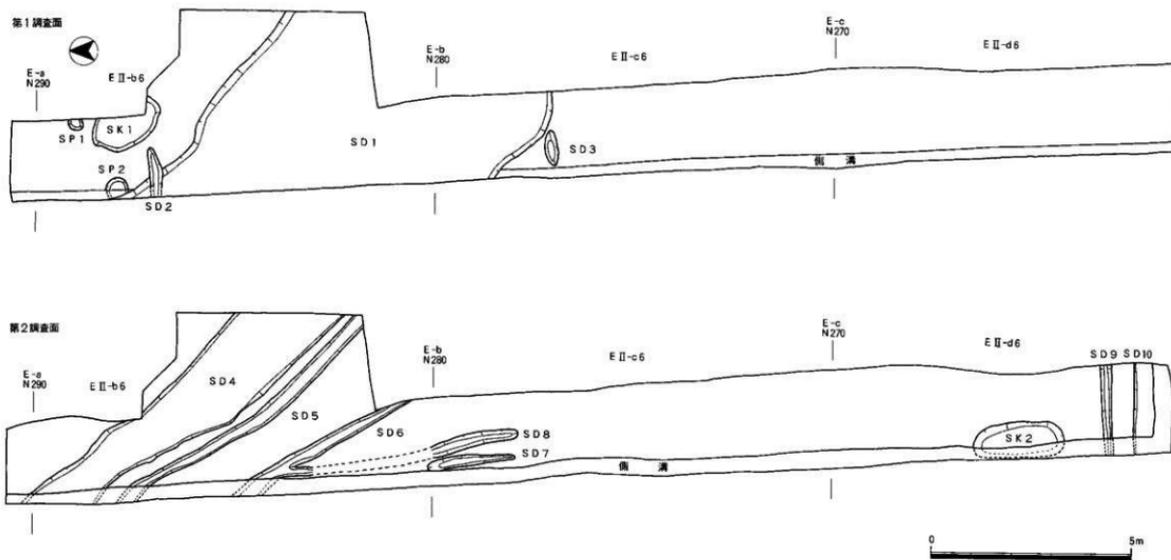
EⅡ-d 6区で検出した溝である。方向はほぼ東西方向を示し、東西と溝の南肩が調査区外に至り、不明である。規模は検出部で、幅52cm以上、深さ8cmを測る。断面は逆台形を呈すると思われる。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

Ⅲ 遺構に伴わない出土遺物

当調査区では第3層～第5層内で古墳時代前期から鎌倉時代にかけての遺物が出土しているが、第3層・第4層内で出土した遺物は摩滅した小片がごく少量出土しているだけであった。遺物は主に第5層内から古墳時代前期～中期にかけての土器が出土した。出土量はコンテナ箱にして約2箱分を数える。図示できたものは土器27点である。器種には土師器の壺(140)・庄内式甕(141)・鉢(143)・高杯(144・145)、韓式糸土器(142)、製塩土器(146・147)、須恵器の杯蓋(148～155)・杯身(156～162)・高杯(163～165)・壺(166)がある。須恵器は陶色編年によるⅠ型式1段階～4段階に相当する(第20図)。



第20回 包含層出土遺物実測図



第21図 遺構平面図

第2節 第2調査区

第1調査区の北部から東へ約30mに設定した東西に長い調査区（長さ61m）である。調査面積は約122㎡を測る。

I 基本層序

当調査区で普遍的にみられる8層を基本層序とした。現地表面は標高8.7mを測る。

第1層耕土：層厚20～40cm。調査前までは耕

されていた耕作土である。昭和54年に土を入れ整地している。

第2層旧耕土：層厚8～22cm。この土層は整地される昭和54年前まで耕作されていた土層である。

第3層茶褐色灰色粘質土：層厚10～26cm。この土層内から古墳時代～江戸時代にかけての摩滅した土器片が少量出土している。この土層はDⅡ-j 9区から西側に堆積し、西側へ行くに従い厚く堆積する。

第4層茶褐色灰色砂質土：層厚10～20cm。この土層内には古墳時代の土器片が少量含まれている。層厚は東側が薄く、西側へ行くに従い厚く堆積する。

第5層茶褐色粘質土～暗茶褐色砂礫混砂質土：層厚10～30cm。DⅡ-j 9区の一部に堆積する土層で、西側へ低くなり、砂礫混じりとなる。この上面を第2調査面とした。

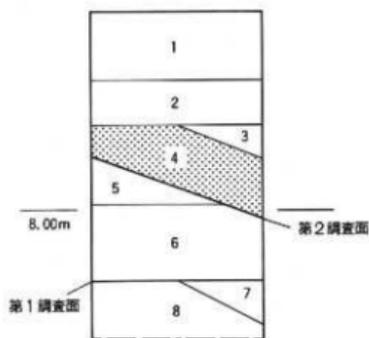
第6層暗茶褐色粘質土：層厚20～40cm。この土層は、DⅡ-j 9区の一部より西側で第2調査面となる。

第7層暗茶褐色粘質土：層厚10cm以上。この土層は、東側の一部で検出した。層内から弥生時代後期～古墳時代前期にかけての土器片が出土している。

第8層暗茶褐色粘質シルト：層厚30cm以上。DⅡ-j 10～DⅢ-i 2区で検出された土層で、標高7.6～7.7mを測る。上面には古墳時代前期に比定される遺構が検出された（第1調査面）。

II 検出遺構・出土遺物

第5・6層上面（第2調査面）と第8層上面（第1調査面）を調査面とした。その結果、第1調査面では古墳時代前期に比定される土坑2基（SK1・SK2）・小穴8個（SP1～SP8）を検出した。第2調査面では平安時代に比定される井戸1基（SE1）と、古墳時代中



第22図 基本層序柱状図（S=1/20）

期から平安時代にかけての土坑4基（SK3～SK6）・小穴57個（SP9～SP65）・小穴列2箇所（小穴列1・小穴列2）・溝5条（SD1～SD5）を検出した。井戸（SE1）に関しては第4層から切り込まれていた。

第1調査面

土坑（SK）

SK1

DⅡ-i 8～j 8区で検出した。平面は楕円形を呈する。規模は検出部で、東西94cm、南北1.1m、深さ25cmを測る。断面は半円形を呈する。堆積土は暗灰青色粘質土である。遺物は堆積土内から古墳時代前期（庄内式新相）に比定される土器の小片がごく少量出土している。

SK2

DⅡ-i 10区で検出した。南部は調査区外に至る。平面はほぼ半楕円形を呈する。規模は検出部で、東西2.24m、南北1m以上、深さ31cmを測る。断面は半円形を呈し、底面には起伏がみられる。堆積土は暗灰褐色シルト粘質土である。遺物は、堆積土内から古墳時代前期（庄内式新相）に比定される土器の小片がごく少量出土している。

小穴（SP1～SP8）

当調査区の中央部で8個を検出した。平面の形状には円形のもの5個（SP1・SP3～SP7）、楕円形のもの1個（SP2）、方形のもの1個（SP8）がある。規模は検出部で、径22～32cmを測る小さいもの、径44～136cmを測る大きいもの2つに分けられる。前者はSP2・SP5・SP6で、後者はSP1・SP3・SP4・SP7・SP8である。深さは15～27cmを測る。堆積土は暗青灰色粘質土である。遺物は、堆積土内から古墳時代前期（庄内式）に比定される土器の小片が少量出土している。

第3表 第1調査面小穴（SP）法量一覧表

※ 単位：cm

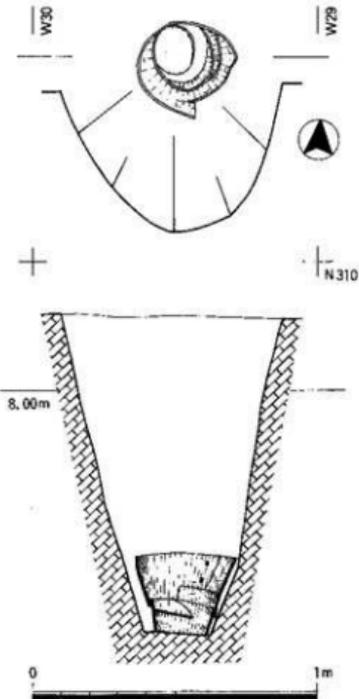
遺構番号	地 区	平 面 形	断 面 形	径	深 さ	堆 積 土	出土遺物
SP1	DⅡ-j 8	円 形	逆台形	44～48	21	暗青灰色粘質土	土師器片
SP2	DⅡ-j 8	楕 円 形	U字形	26～32	27	暗青灰色粘質土	土師器片
SP3	DⅡ-j 8	円 形	逆台形	48～52	25	暗青灰色粘質土	土師器片
SP4	DⅡ-j 9	円 形 ?	逆台形	23～56	16	暗青灰色粘質土	土師器片
SP5	DⅡ-j 9	円 形	逆台形	24～25	14	暗青灰色粘質土	土師器片
SP6	DⅡ-j 9	円 形	逆台形	22～25	9	暗青灰色粘質土	土師器片
SP7	DⅡ-j 9	円 形	逆台形	40～84	14	暗青灰色粘質土	
SP8	DⅡ-j 9	方 形	逆台形	136	12	暗青灰色粘質土	

第2調査面

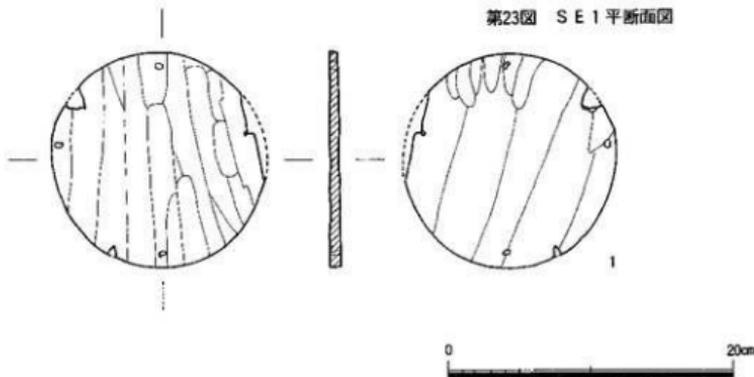
井戸 (S E)

S E 1

D II - i 8 区の北壁付近で検出した曲物を備えた井戸である。北部の掘形は調査区外に至り、全容は不明である。平面は検出部で、半楕円形を呈する。掘形の規模は、東西0.78 m、南北0.5 m以上、深さ1.14 mを測る。断面はほぼ逆台形を呈する。掘形は第4層上面からの切り込みで、ここから約0.84 mの下に円形を呈する曲物の上端部を検出した。曲物は、2段(上段が径35 cm、厚み7 mm、高さ15 cmと、下段が径23 cm、厚み7 mm、高さ15 cmを測る)に積重ねて井戸側として備えている。曲物は検出された時点で上段の曲物が下段の曲物の中位付近まで下がった状態であった。また、下段は良好な状態で検出しているが、上段の上端は腐敗していた。堆積土は、埋土が暗灰褐色細砂混粘土で、井戸側内が暗青灰色粘質シルトである。遺物は、埋土内から摩



第23図 S E 1 平断面図



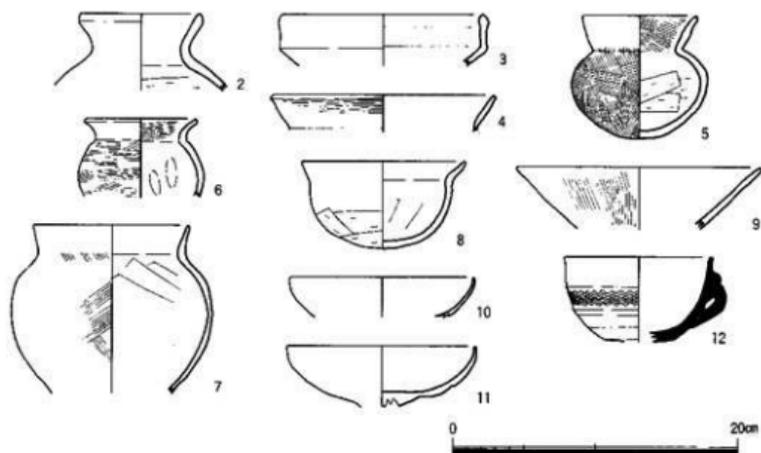
第24図 S E 1 出土曲物底実測図

滅した土器の小片がごく少量出土している。曲物内からは上位で須恵器の甕の体部片と人頭大の石(径20~30cm)2点が出土している。下位の底部付近からは土師器の葎、木製品(1)が出土した。木製品は曲物底板と思われる円形の板(径17cm、厚み5mm)で、縁には円形(径3mm)の穿孔が4箇所みられる。時期は平安時代後期ごろであろう(第23図・第24図)。

土坑(SK)

SK3

DⅡ-j 6~j 7区で検出した土坑である。南北部はともに調査区外に至り全容は不明である。平面はほぼ楕円形を呈する。規模は検出部で、東西約3m、南北2m、深さ0.42mを測る。断面はやや深い逆台形を呈し、弥生時代後期に堆積したと思われる砂層上面から切り込まれている。堆積土は暗茶灰色砂質土・暗灰茶色粘質土の2層に分れる。遺物は、堆積土内から古墳時代中期に比定される土器片が少量出土している。器種には土師器の壺(2・6)・甕(3・4・7)・鉢(8)・高杯(9~11)、須恵器の取手付平底鉢(12)がある(第25図)。



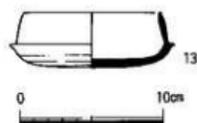
第25図 SK3 出土遺物実測図

SK4

DⅡ-i 9区で検出した土坑である。北部はSK5と近代の井戸によって切られている。平面は検出部で半円形を呈する。規模は検出部で、東西0.36m、南北0.36m、深さ0.27mを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は、堆積土内から土師器の小片が少量出土しているが、時期を確定するものはない。

SK5

DⅡ-i 9区で検出した。南部はSK4を切り、東部は攪乱されている。北部は調査区外に至る。平面は検出部で、半円形を呈する。規模は東西92cm、南北36cm、深さ27cmを測る。堆積土は暗灰茶色粘質土である。遺物は、堆積土内から古墳時代中期に比定される須恵器の破片がごく少量出土している。器種には杯身(13)がある(第26図)。



第26図 SK5出土遺物実測図

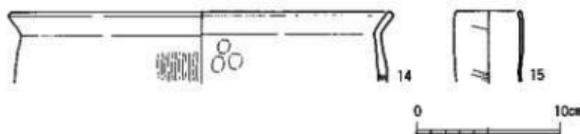
SK6

DⅡ-i 10区で検出した土坑である。平面は不定形を呈する。南北部はともに調査区外に至る。規模は検出部で、東西0.98m、南北2.24m、深さ31cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面には起伏がみられる。堆積土は暗灰茶色粘質土である。遺物は出土していない。

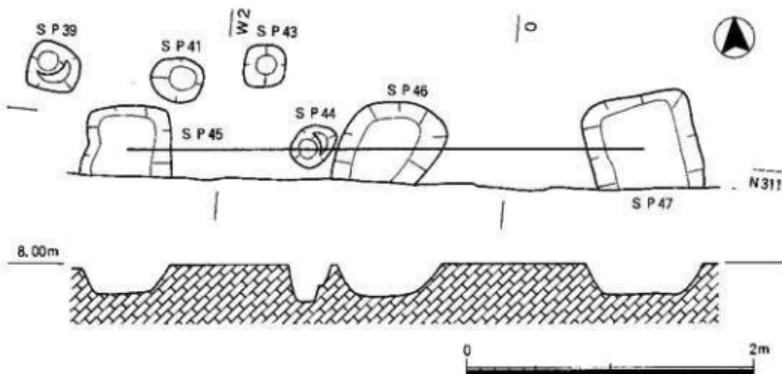
小穴群(SP)

小穴57個を検出した。平面の形状には楕円形のもの(15個)、円形のもの(26個)、隅丸方形のもの(12個)、隅丸三角形のもの(2個)、不定形のもの(2個)がある。規模は大きいもの(44個)で径30~60cm、小さいもの(13個)で径10~25cmを測る。断面の形状には逆台形のもの(21個)、U字形のもの(14個)、逆凸形のもの(11個)、半円形のもの(10個)があり、深さ15~40cmを測る。逆凸形を呈する小穴には下段に平面円形を呈する柱痕がみられ、径約10cmを測る。これらの小穴の中には建物等の柱穴と考えられるものもある。また、小穴列が2箇所(小穴列1・小穴列2)でみられた。小穴列1は、DⅡ-i 10区で検出した。SP45・SP46・SP47で構成している(第28図)。方向は東西方向を示し、1.6mの等間隔である。小穴列2は、DⅢ-i 2区で検出した。SP60・SP61・SP62で構成している(第29図)。方向は東西方向を示し、1.6mの間隔である。

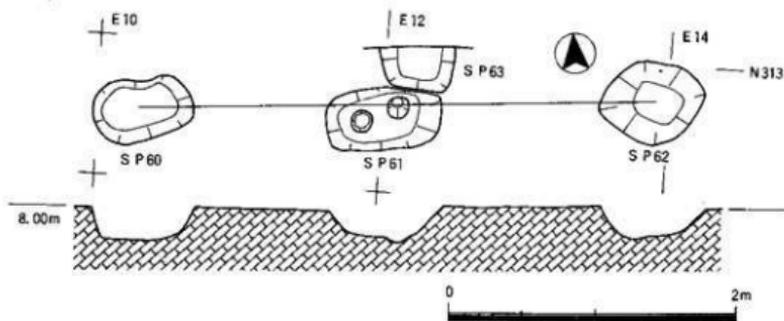
遺物は、小穴の堆積土内から土師器の小片がごく少量出土しているが、小穴の堆積土内には無遺物のものもある。図示できたものは2点である。SP10は甌(14)、SP14は製塩土器(15)が出土した(第27図)。なお、個々の小穴の法量・形状等については第4表に記した。



第27図 SP10(14)・SP14(15)出土遺物実測図



第28圖 小穴列1 平断面圖



第29圖 小穴列2 平断面圖

第4表 第2調査面小穴(SP)一覽表

※ 単位:cm

遺構番号	地区	平面形	断面形	径	深さ	地 積 土	備 考
SP 9	DⅡ-j 6	楕円形	逆台形	40~50	20	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
SP 10	DⅡ-j 7	隅丸方形	逆台形	46~58	16	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
SP 11	DⅡ-j 7	隅丸方形?	逆台形	24~66	16	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
SP 12	DⅡ-j 7	楕円形	半円形	25~32	20	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
SP 13	DⅡ-j 7	楕円形	半円形	44~50	17	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
SP 14	DⅡ-i 7	楕円形	半円形	32~48	17	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
SP 15	DⅡ-j 7	隅丸三角形	半円形	12~14	9	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
SP 16	DⅡ-i 8	隅丸方形	逆凸形	46~64	10	暗灰褐色	粘質土 土師器片 柱痕(径16~20)
SP 17	DⅡ-i 8	隅丸三角形	逆台形	56~60	6	暗灰褐色	粘質土 土師器片
SP 18	DⅡ-i 8	楕円形	半円形	39~42	13	暗灰灰色	粘質土
SP 19	DⅡ-i 8	円形	逆台形	42~44	12	暗灰灰色	粘質土 土師器片
SP 20	DⅡ-i 9	円形	逆台形	56~68	15	暗灰灰色	粘質土 土師器片

通稱番号	地区	平面形	断面形	径	深さ	地 横 土	備 考
SP21	D II-i 9	楕円形	U字形	22~32	25	暗茶灰色 粘質土	土師器片
SP22	D II-i 9	円形	U字形	42~45	28	暗茶灰色 粘質土	土師器片
SP23	D II-i 9	円形?	逆台形	33	17	暗茶灰色 粘質土	土師器片
SP24	D II-i 9	円形	U字形	16~17	22	暗茶褐色 粘質土	土師器片
SP25	D II-i 9	円形	U字形	14~15	22	暗茶褐色 粘質土	土師器片
SP26	D II-i 9	不定形	逆凸形	59~66	18	暗茶褐色 粘質土	土師器片 柱根(径21~28)
SP27	D II-i 9	円形	逆凸形	44~46	10	暗茶褐色 粘質土	柱根(径18)
SP28	D II-i 8	円形	U字形	14~16	19	暗灰褐色 粘質土	
SP29	D II-i 9	円形	逆台形	14~16	18	暗灰褐色 粘質土	
SP30	D II-i 10	円形	逆凸形	14~16	13	暗灰褐色 粘質土	
SP31	D II-i 10	円形	U字形	9~13	10	暗灰褐色 粘質土	
SP32	D II-i 10	楕円形	半円形	12~13	7	暗灰褐色 粘質土	
SP33	D II-i 10	楕円形	逆台形	26~28	9	暗灰褐色 粘質土	柱根(径10)
SP34	D II-i 9	楕円形	U字形	12~14	9	暗茶褐色微砂混粘土	
SP35	D II-i 10	不定形	逆凸形	27~28	9	暗灰褐色 粘質土	柱根(径10)
SP36	D II-j 10	円形	逆凸形	43~44	18	暗灰褐色 粘質土	土師器片 柱根(径15~22)
SP37	D II-i 10	円形	逆台形	33~34	14	暗灰褐色 粘質土	
SP38	D II-i 10	円形	逆台形	28~30	12	暗灰褐色 粘質土	
SP39	D II-i 10	隅丸方形	逆凸形	35~37	33	暗灰褐色 粘質土	柱根(径13)
SP40	D II-i 10	円形	U字形	15~22	16	暗茶灰色 粘質土	
SP41	D II-i 10	円形	半円形	32~36	17	暗灰褐色 粘質土	
SP42	D II-j 10	円形?	逆凸形	54	27	暗灰褐色 粘質土	柱根(径8~16)
SP43	D II-i 10	隅丸方形	半円形	29~30	16	暗灰褐色 粘質土	
SP44	D II-i 10	楕円形	逆凸形	26~35	25	暗灰褐色 粘質土	土師器片 柱根(径12~14)
SP45	D II-i 10	隅丸方形	逆台形	50~58	20	暗灰褐色 粘質土	土師器片・小穴列1
SP46	D II-i 10	楕円形	逆凸形	64~66	24	暗灰褐色 粘質土	土師器片・小穴列1
SP47	D II-i 1	隅丸方形	逆台形	68~76	24	暗茶灰色 粘質土	土師器片・小穴列1
SP48	D II-i 1	楕円形	U字形	53~64	57	暗灰褐色 粘質土	土師器片
SP49	D II-i 1	隅丸方形	逆台形	50~54	22	暗灰褐色 粘質土	土師器片
SP50	D II-j 10	円形	U字形	30~31	28	暗灰褐色 粘質土	
SP51	D II-i 1	円形?	逆台形	50	22	暗灰褐色 粘質土	
SP52	D II-i 1	円形	逆台形	44~46	32	暗灰褐色 粘質土	土師器片
SP53	D II-i 1	円形	逆台形	36~38	33	暗灰褐色 粘質土	土師器片
SP54	D II-i 1	円形	半円形	38~39	22	暗灰褐色 粘質土	
SP55	D II-i 10	円形	逆台形	18	8	暗茶灰色 粘質土	
SP56	D II-j 10	円形	逆台形	26~34	21	暗灰褐色 粘質土	
SP57	D II-i 1	隅丸方形	逆凸形	32~64	35	暗灰褐色 粘質土	土師器片 柱根(径19)
SP58	D II-i 1	楕円形	U字形	18~24	18	暗灰褐色 粘質土	
SP59	D II-j 8	楕円形	U字形	24~32	36	暗茶灰色 粘質土	土師器片
SP60	D II-i 1	楕円形	逆台形	42~50	23	暗茶灰色 粘質土	土師器片・小穴列2
SP61	D II-i 8	隅丸長方形	逆凸形	44~82	25	暗茶灰色 粘質土	柱根2つ(径15と径16)
SP62	D II-i 8	隅丸方形	U字形	60	29	暗茶灰色 粘質土	土師器片・小穴列2
SP63	D II-j 8	円形?	逆台形	50	22	暗茶灰色 粘質土	
SP64	D II-i 2	隅丸方形	半円形	46~47	24	暗灰褐色 粘質土	土師器片
SP65	D II-i 2	円形	U字形	28~32	30	暗茶灰色 粘質土	土師器片

溝 (SD)

SD 1

D II-j 6区で検出した溝である。方向は南西-北東方向を呈し、北端は途中で切れる。西部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅42cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰色細砂混粘土である。遺物は出土していない。

SD 2

D II-i 9区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。南北部はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅1.1m、深さ25cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰色粘質土である。遺物は、堆積土内から土師器・須恵器の小片が少量出土している。

SD 3

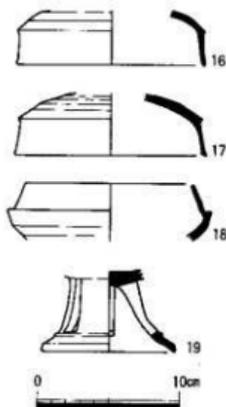
D II-i 10区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。南北部はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅1.3m、深さ34cmを測る。断面はU字形を呈し、底面には凹凸がみられる。堆積土は、上方から淡灰茶色砂質土・暗灰茶色砂質土・茶灰色粘質土・暗茶灰色粘質シルトで構成されている。遺物は、堆積土内から土師器の小片が少量出土している。

SD 4

D III-i 1区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。東部はSD 5と合流する。規模は検出部で、幅22cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰色粘質土である。遺物は出土していない。

SD 5

D III-i 1区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示し、SD 4と合流する。南北部はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅11cm、深さ50cmを測る。断面は逆凸形を呈する。堆積土は、上方から暗茶灰色粘質土・暗灰茶色粘質土・暗灰褐色粘質土で構成されている。遺物は、堆積土内から土師器・須恵器の小片が少量出土している。図示できたものは須恵器の杯蓋(16・17)・杯身(18)・高杯(19)である。須恵器は陶色編年によるI型式2~3段階に比定されるであろう(第30図)。

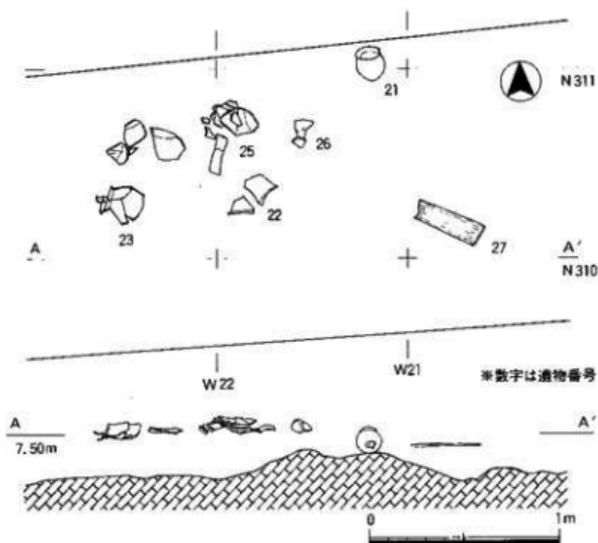


第30図 SD 5出土遺物実測図

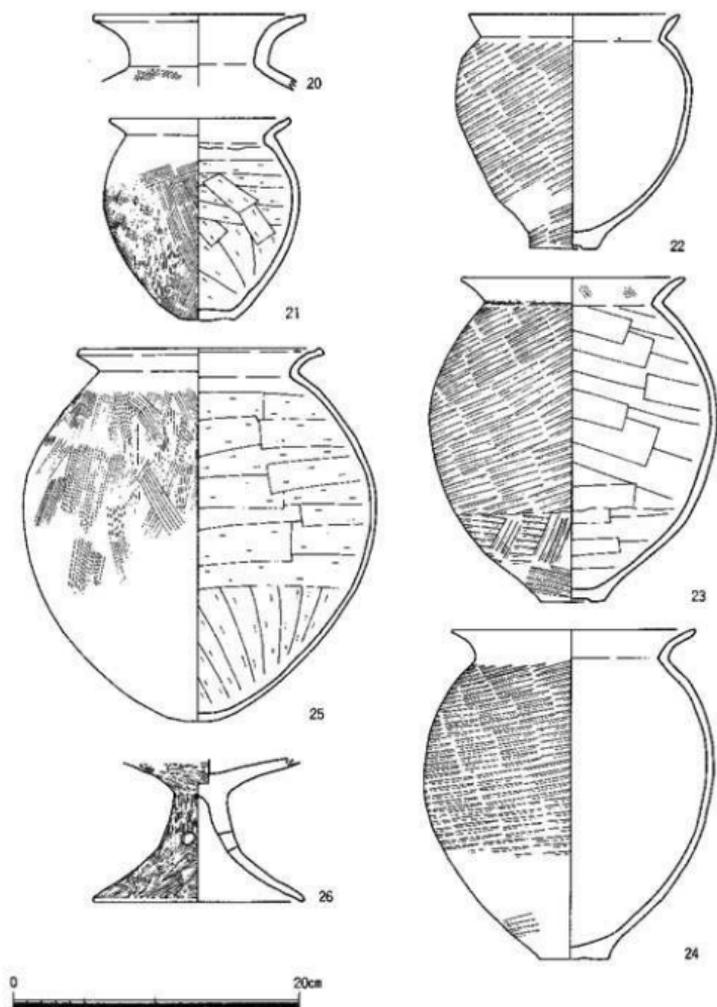
Ⅲ 遺構に伴わない出土遺物

第2層～第7層には遺物が含まれていたが、第4層と第7層内からの出土量が多かった。第7層は当調査区の西側にだけ堆積がみられる層である。この層内から弥生時代後期～古墳時代前期（畿内第Ⅴ様式～庄内式古相）に比定される遺物が出土している（第31図）。器種には壺（20）・甕（21・25）・畿内第Ⅴ様式甕（22～24）・高杯（26）がある（第32図）。その他には木製品（27）1点が出土している。木製品は長方形の板（34×12×2.6cm）で、片面には加工痕がみられる（第33図）。

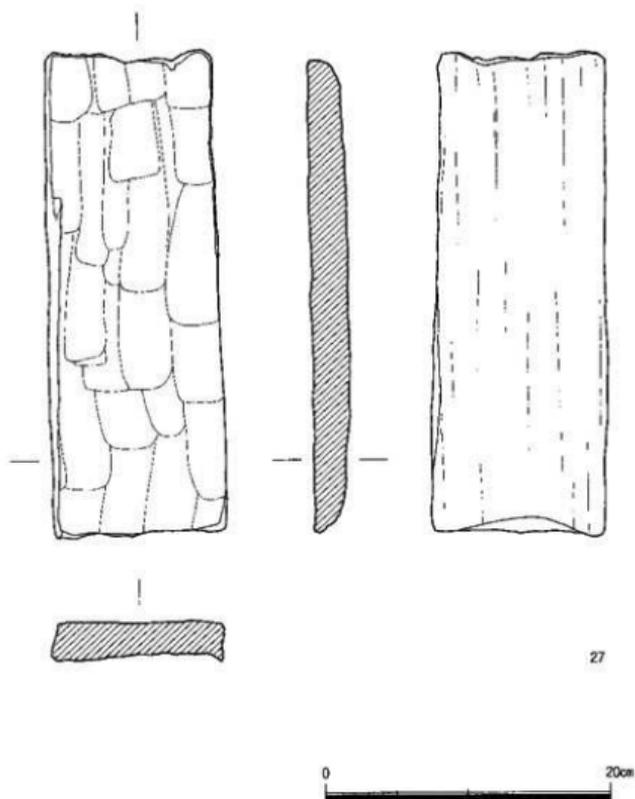
第4層は当調査区の全体に堆積がみられる層である。層厚は10～20cmを測り、西側へ行くに従い厚く堆積する。この層（包含層）内からは弥生時代後期～奈良時代に至る遺物が出土している。器種には畿内第Ⅴ様式～庄内式古相に比定される壺（28～33）・畿内第Ⅴ様式甕（34～38・40・42）・庄内式甕（39・41・43～48）・鉢（60～63・67）・有孔鉢（64）、布留式古相に比定される甕（49・50・53・56）・布留式甕（51・52・54・55）・吉備系甕（57）・小型丸底壺（58・59）・鉢（65）、古墳時代中期に比定される土師器の鉢（66）・高杯（68～76）、製塩土器（77）、甌（78）、須恵器の杯蓋（79～81）・杯身（82）、古墳時代後期に比定される須恵器の杯身（83）がある（第34図～第36図）。



第31図 第7層土器集積平断面図

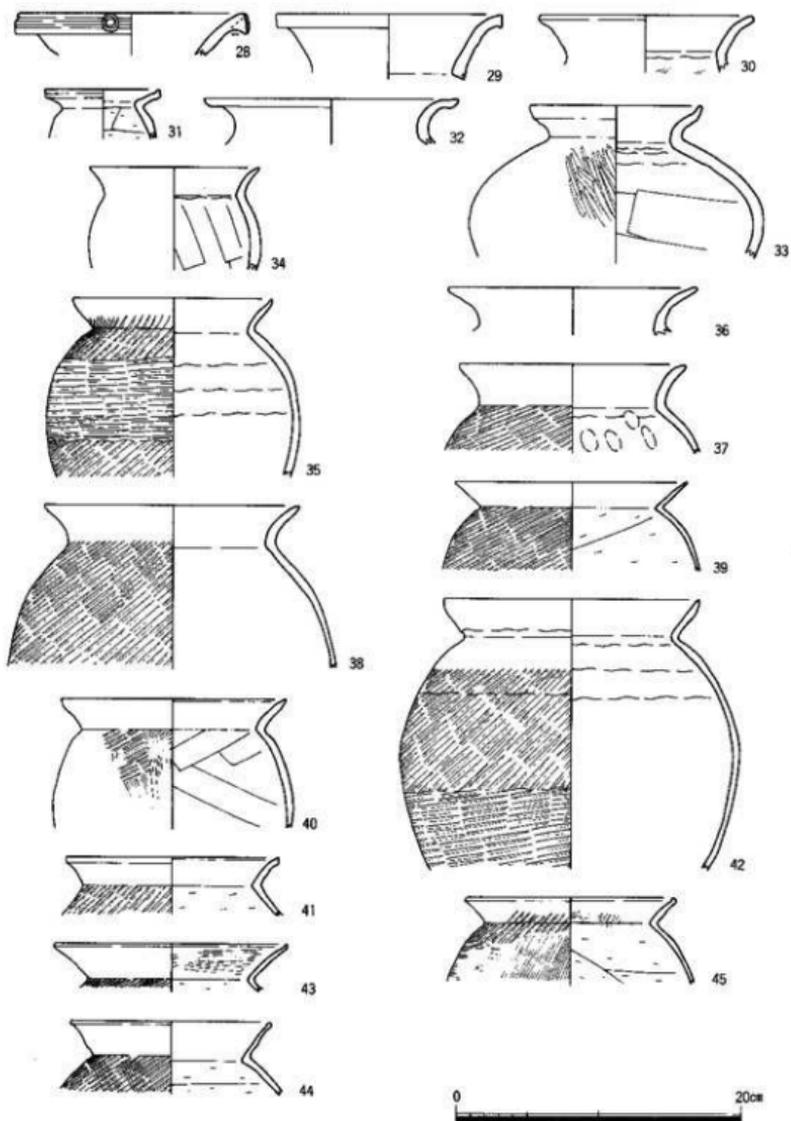


第32図 第7層出土遺物実測図

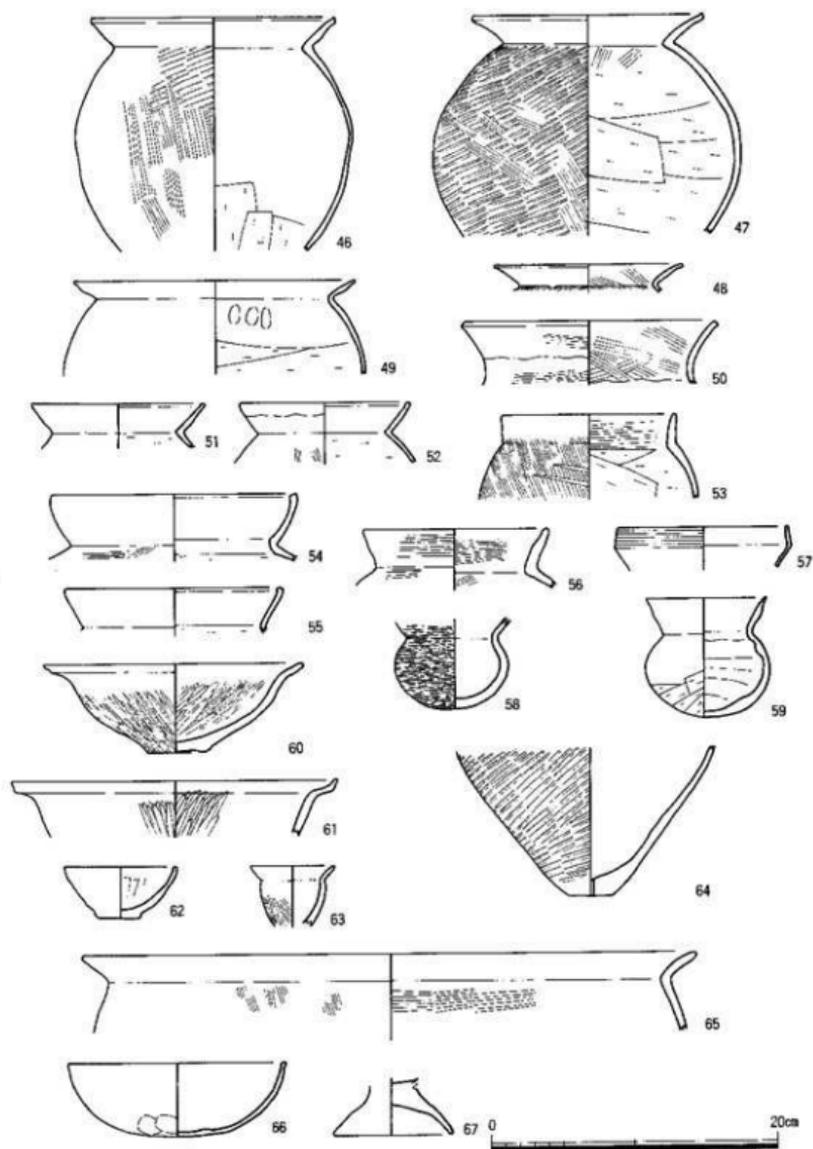


27

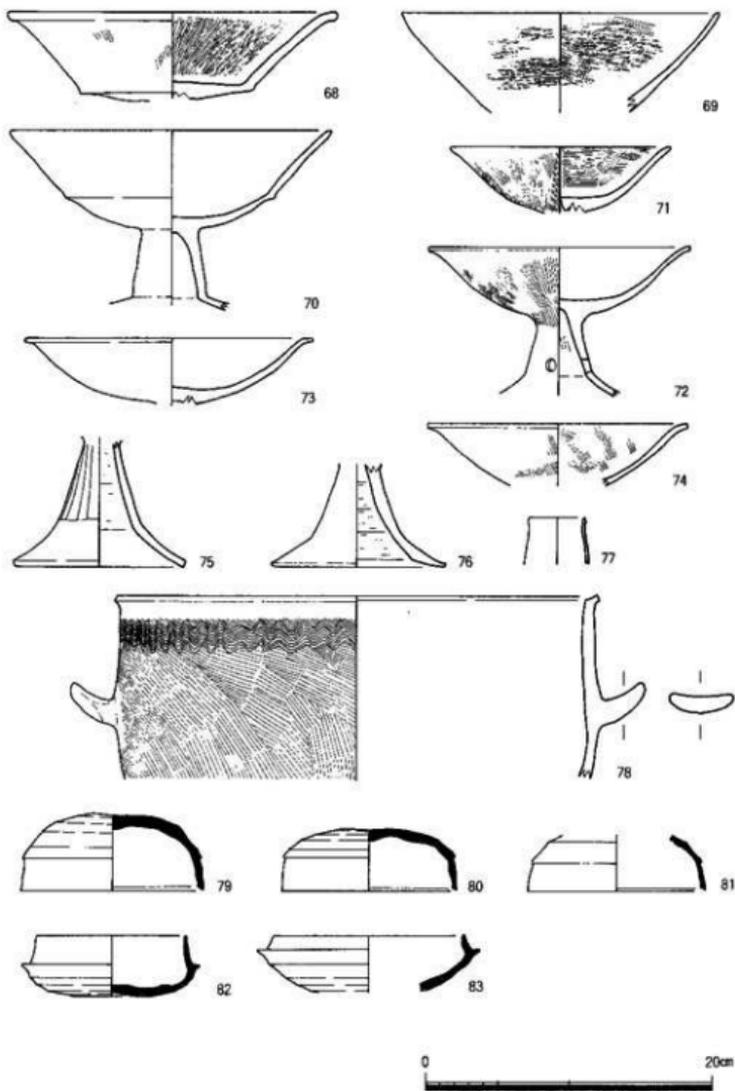
第33图 第7层出土木製品実測図



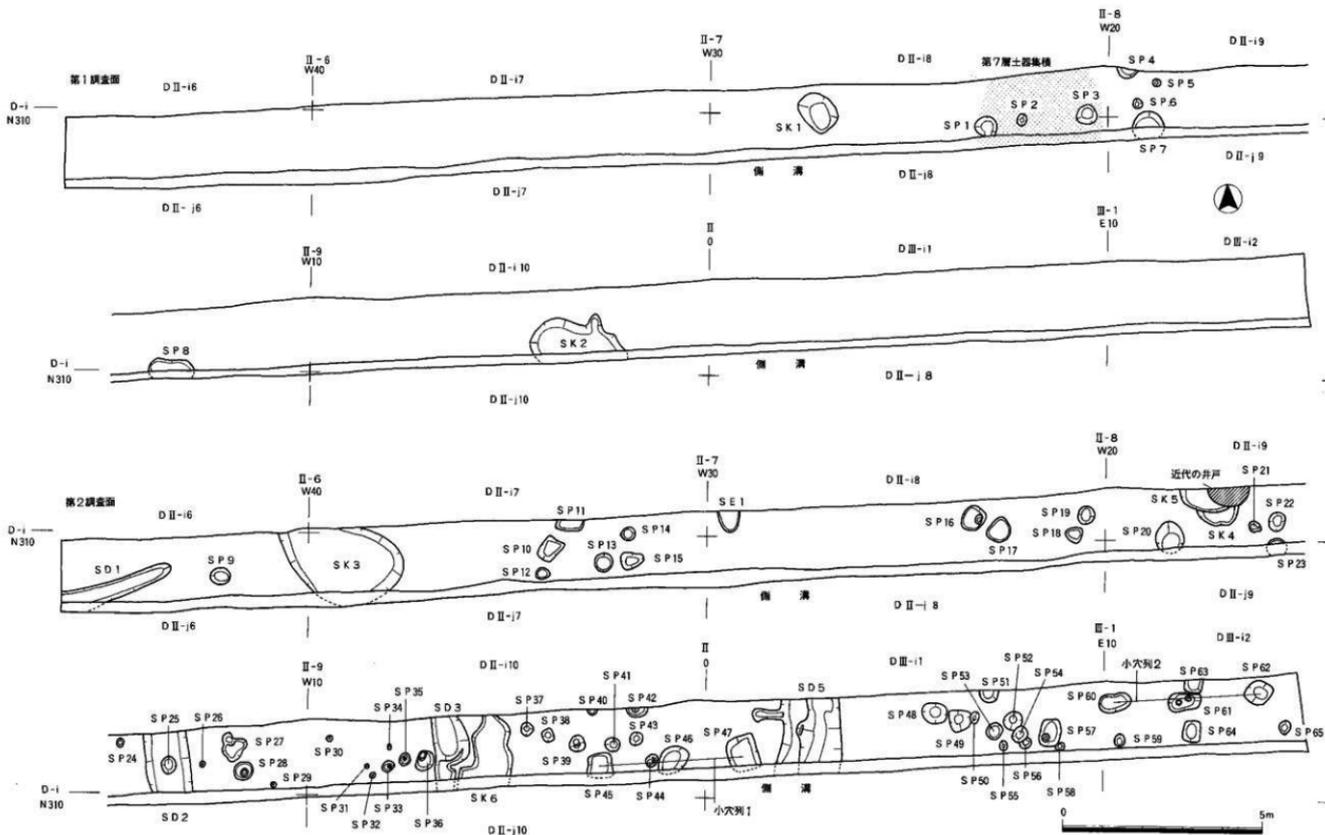
第34图 包含层出土遗物实测图1



第35图 包含層出土遺物実測図2



第36图 包含層出土遺物実測図3



第37図 遺構平面図

第3節 第3調査区

第1調査区の南東側へ約160mに設定した東西に長い調査区（長さ60m）である。調査面積は約120㎡を測る。当調査区は昭和58年度第3次調査の22地区の東側にあたる。

I 基本層序

当調査区で普遍的にみられる6層を基本層序とした。現地表面は標高8.8m前後を測る。

第1層耕土：層厚10～20cm。調査前まで耕されていた耕作土である。

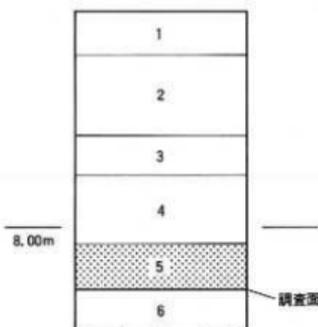
第2層灰褐色粘質土：層厚10cm。EⅣ-i 1区より西側に存在する土層で、耕土の床土である。土層内より摩滅した土器の小片がごく少量出土している。

第3層茶灰色微砂：層厚30～40cm。この土層からは鎌倉時代に比定される遺物が少量出土している。

第4層灰茶褐色粘土：層厚10～40cm。東に行くに従って厚く堆積する。

第5層褐灰色粘土：層厚20～30cm。古墳時代前期に比定される土器片を含む層である。

第6層茶灰褐色～明灰茶色粘質土：層厚20cm以上。粘性の強い層である。この上面は標高7.7mを測る。調査対象面とした。



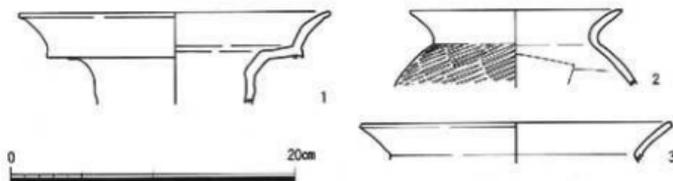
第38図 基本層序柱状図 (S=1/20)

II 検出遺構・出土遺物

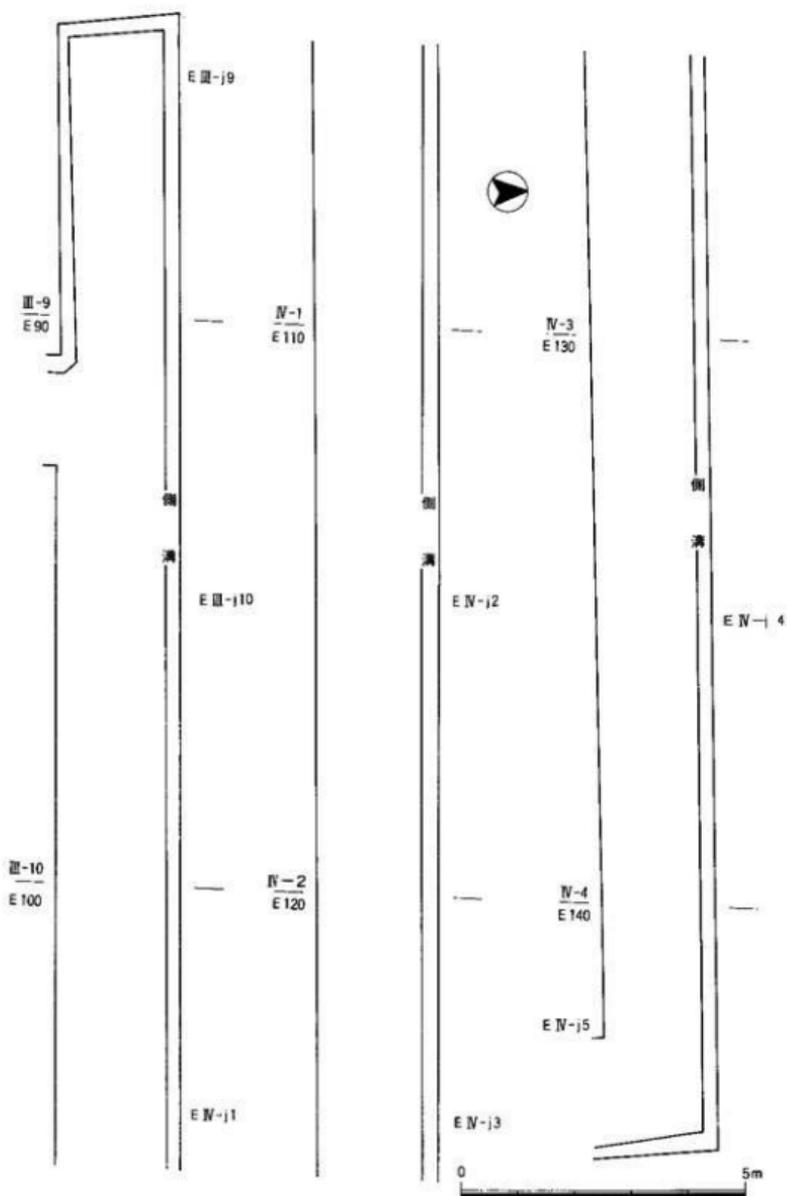
当調査区では、遺構は検出されなかったが、古墳時代前期に比定される包含層（第5層）を確認している。以下、包含層内で出土した土器について述べることにする。

III 遺構に伴わない出土遺物

第5層（包含層）内からは古墳時代前期（庄内式古相～布留式古相）に比定される土器の小片が出土している。出土量はコンテナ箱にして約半箱分である。土器の器種には壺・第Ⅴ様式系変・庄内式変・鉢・高杯などがある。図示できたものは3点で、複合口縁の壺（1）・第Ⅴ様式系変（2）・庄内式変（3）である（第39図）。



第39図 包含層出土遺物実測図



第40图 第3调查区平面图

第4節 第4調査区

第3調査区の東側から南へ伸びる南北に長い調査区（長さ60m）である。調査面積は120㎡を測る。

I 基本層序

当調査区で普遍的にみられる7層を基本層序とした。現地表面は標高8.8m前後を測る。

第1層 耕土：層厚10～20cm。調査前まで耕されていた耕作土である。

第2層 灰褐色粘質土：層厚20～30cm。耕土の床土である。

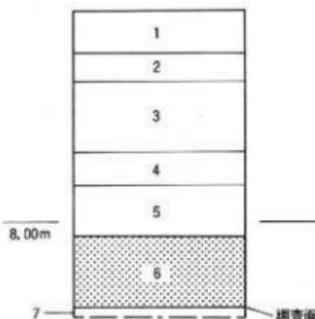
第3層 茶灰色微砂：層厚10～15cm。鎌倉時代に比定される土器片が少量出土している。

第4層 淡灰茶色微砂混粘土：層厚10～18cm。第3層よりやや粘性が高い。

第5層 灰褐色細砂混粘土：層厚15～20cm。古墳時代～鎌倉時代の遺物が少量出土している。

第6層 褐色細砂混粘土：層厚20～30cm。古墳時代前期の包含層である。

第7層 褐色粘質土：層厚20cm以上。この上面を調査面とした。



第41図 基本層序柱状図 (S=1/20)

II 検出遺構・出土遺物

当調査区では、第7層上面（標高7.7m）を調査面とした。その結果、古墳時代前期に比定される土坑2基（SK1・SK2）を検出した。

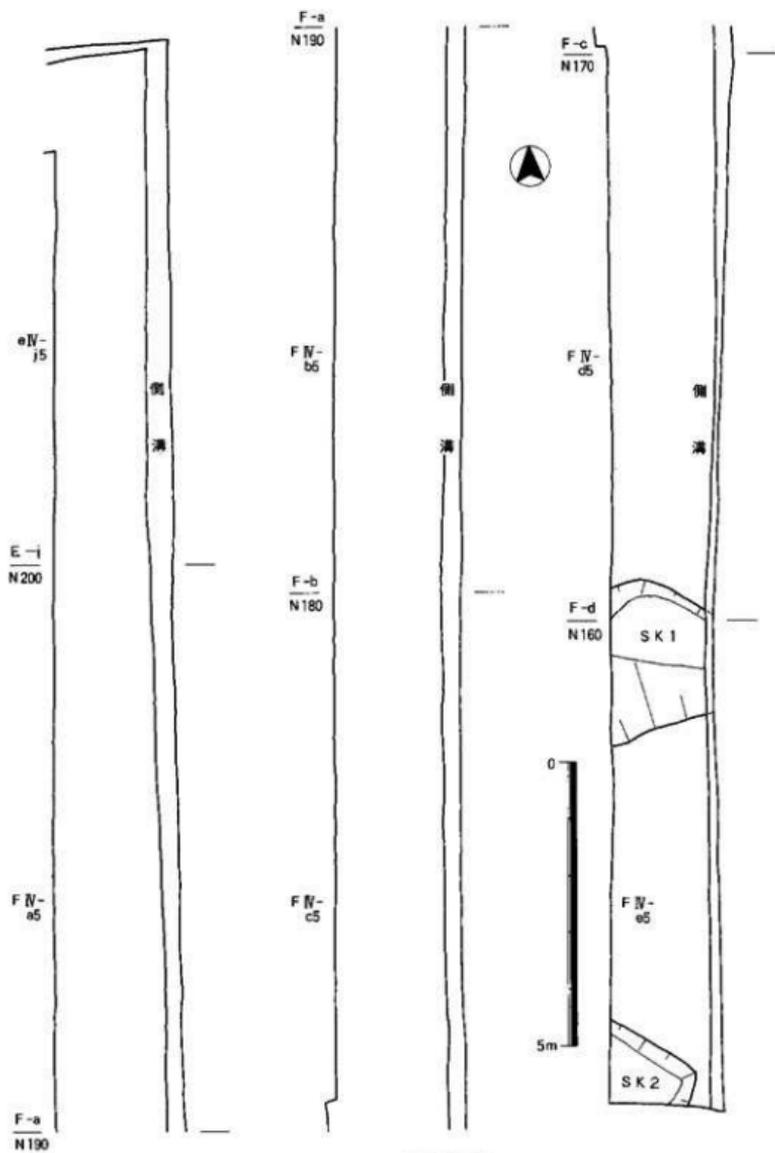
土坑（SK）

SK1

FⅣ-d～e 5区で検出した土坑である。東西部は調査区外に至る。平面の形状は不明である。規模は検出部で、東西2m、南北2.3m、深さ18cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘土である。遺物は、堆積土内から古墳時代前期（庄内式古相）に比定される土師器の小片が少量出土している。

SK2

FⅣ-e 5区で検出した土坑である。南部・西部はともに調査区外に至る。平面の形状は不明である。規模は検出部で、東西1.5m、南北1.5m、深さ20cmを測る。断面は逆台形を呈するものと思われる。堆積土は灰褐色粘土である。遺物は、堆積土内から古墳時代前期（庄内式）に比定される土師器の小片が少量出土している。



第42図 遺構平面断面図

第5節 第5調査区

当調査区は第4調査区の南端から約35m南側に設定した南北に長い調査区(長さ45m)である。調査面積は約90㎡を測る。

I 基本層序

当調査区で普遍的にみられる6層を基本層序とした。現地表面は標高8.2mを測る。

第1層 耕土：層厚10～40cm。調査前まで耕されていた土層である。当調査区の東側の半分は攪乱されている。

第2層 灰茶褐色砂質土：層厚10～25cm。耕土の床土である。

第3層 黄褐色粘質土：層厚14～28cm。この上層内から古墳時代～鎌倉時代にかけての摩滅した土器の小片が少量出土した。

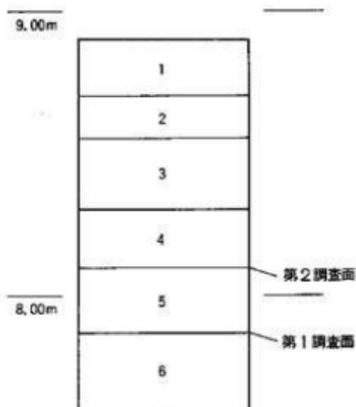
第4層 黄茶褐色微砂泥粘土：層厚16～22cm。この土層内から古墳時代前期～中期にかけての土器の小片が出土している。この上面から平安時代に比定される自然河川が切り込んでいる。この上面は標高8.3mを測る。

第5層 淡黄灰色粘質土：層厚20～26cm。この土層内から古墳時代前期に比定される土器片が出土している。この上面は標高8.1m前後を測る。

第6層 黄灰色粘土：層厚20～40cm。この上面で、古墳時代前期の遺構を検出した。標高は7.8mを測る。

II 検出遺構・出土遺物

当調査区では、第5層上面(第2調査面)と第6層上面(第1調査面)の2面を調査面とした。その結果、第1調査面では古墳時代前期(庄内式新相)に比定される井戸1基(SE1)・小穴列1箇所(小穴列1)・小穴4個(SP1・SP5～SP7)・土坑1基(SK1)を検出した。第2調査面では第4層上面から切り込む平安時代の自然河川(河川1)、第5層上面から切り込む古墳時代前期(庄内式新相～布留式古相)に比定される土坑4基(SK2～SK5)・溝2条(SD1・SD2)・自然河川(河川2)を検出した。



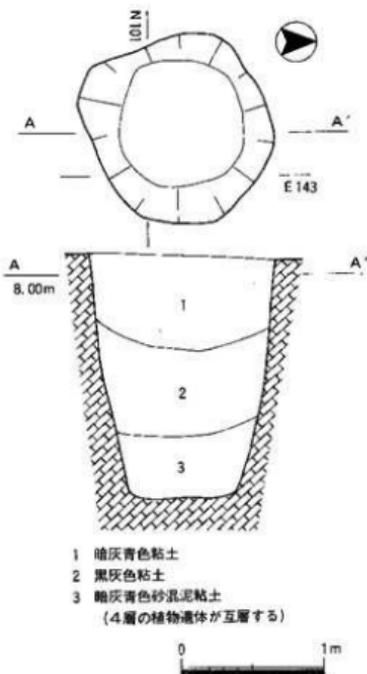
第43図 基本層序柱状図 (S=1/20)

第1調査面

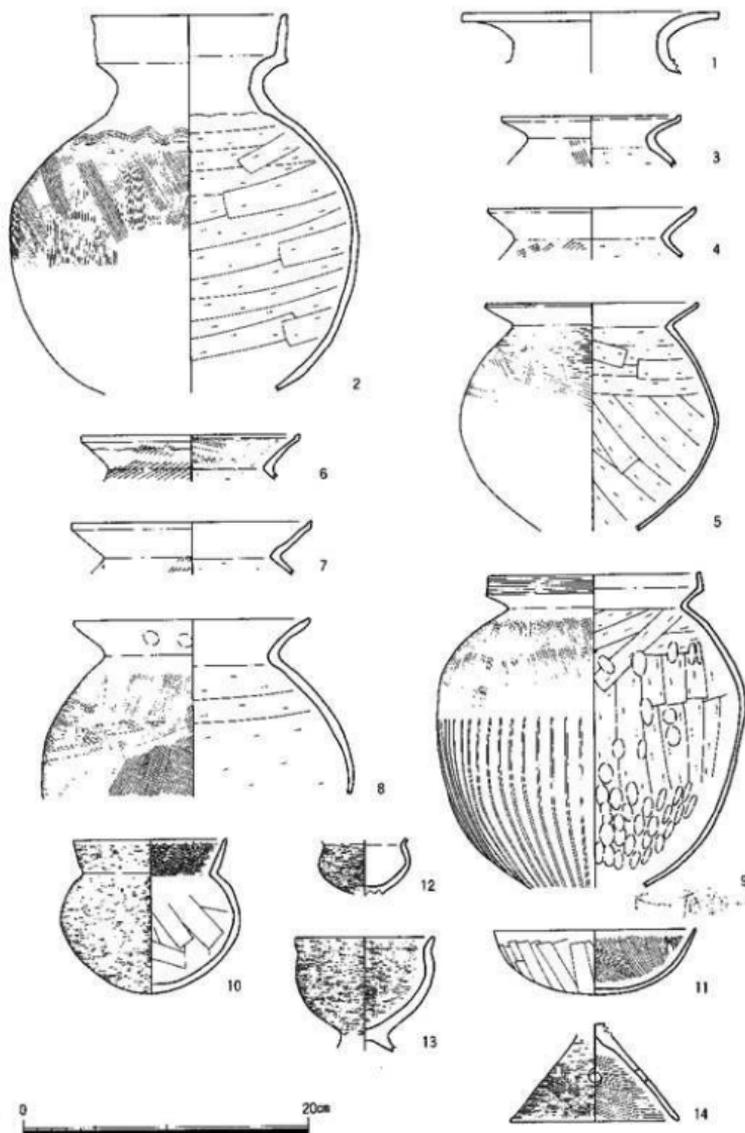
井戸 (SE)

SE1

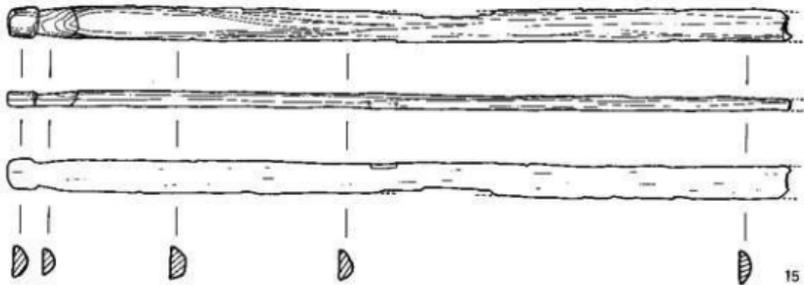
IV-j 5地区の西壁付近で検出した素掘りの井戸である。平面はほぼ円形を呈する。規模は、径1.34~1.4m、深さ1.3mを測る。断面はU字形を呈する。底面は平面円形で径0.5mを測る。堆積土は、上方から第1層暗灰青色粘土・第2層黒灰色粘土・第3層暗灰青色砂混泥粘土(4層の植物遺体が互層する)で構成されている。遺物は、第2層~第3層内からコンテナ箱にして3箱分が出土した。出土遺物には土器と木製品がある。土器は庄内式新相に比定されるもので壺(1)・二重口縁壺(2)・庄内式甕(3~7)・甕(8)・吉備系甕(9)・小型壺(10)・鉢(11)・台付鉢(12・13)・浴台(14)がある。木製品は焼け焦げている自然木とともに出土している。木製品は7点(15~21)を出土した。15は棒状で、長さ54cm、幅2.3cm、厚み1cmを測り、断面は半円形を呈する。一端は欠損し、もう一端は先端から3cmを残し、丸みのある片側を2.2~2.8cmにわたり、切り込みを入れている。この木器の形は紡織具の一部分となる布巻具あるいは経巻具と推定される。16は長方形の板状で、全長41.5cm、幅7.1cm、厚み9mmを測る。両端は欠損する。端辺近くに1個と端辺から6.5~14.5cmにわたって円孔(2~4mm)が11個、円弧を描いて並んでいる。17は角材状で、全長32.3cm、幅1.1×2.8cmを測る。断面は変形した台形を呈し、両端部は欠損している。18は方形の板状で、1辺11.9×20.6cm、厚み2.3cmを測り、一部が欠損する。19は長方形を呈する小さな木片で、全長6.5cm、幅2.8×1.8cmを測る。断面は三角形を呈し、径2mmの円孔が4個穿たれている。20は角材状で、全長27.7cm、幅2~3cmを測る。一端は焼け焦げている。21は薄い板状で、全長18.9cm、幅1.1~2.8cm、厚み1cmを測る。内縁は2箇所内彎し、外縁は外彎している(第44図~第47図)。



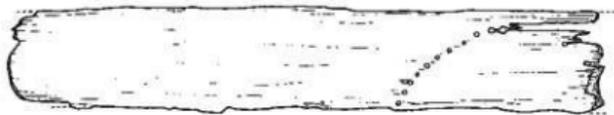
第44図 SE1 平断面図



第45図 SE1出土遺物実測図



15



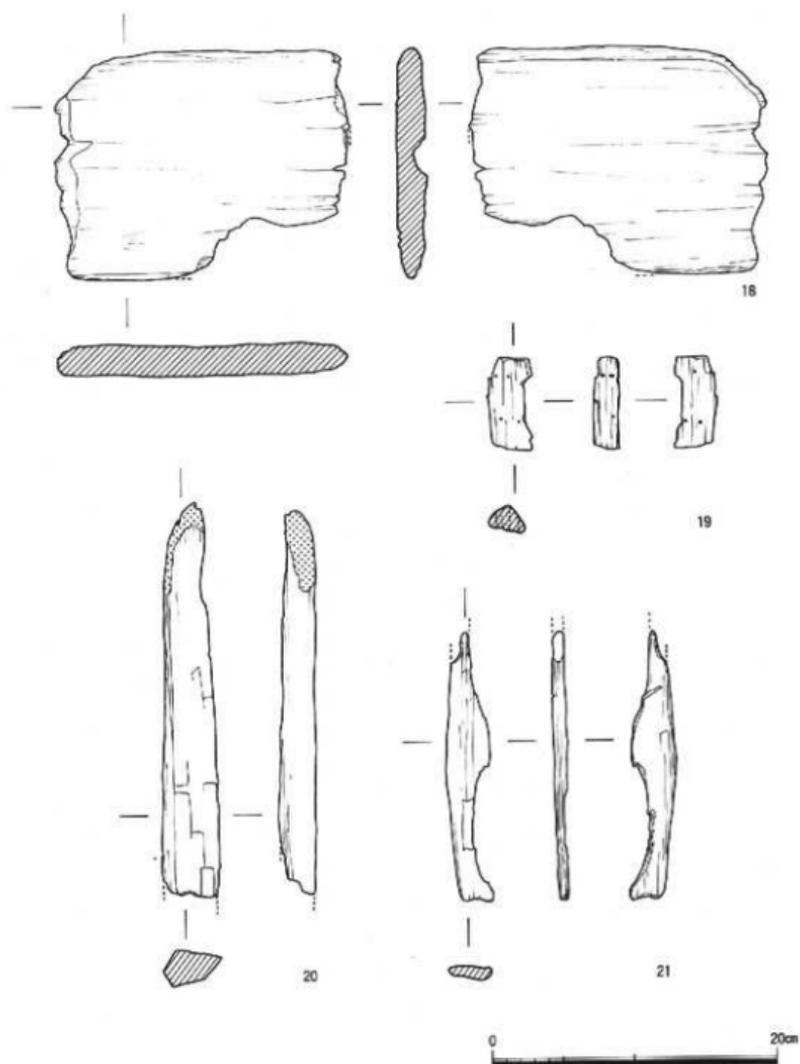
16



17



第46圖 S E 1 出土木製品実測図1



第47図 SE1出土木製品実測図2

土坑 (SK)

SK 1

GⅣ-b 5区で検出した土坑である。東部は調査区外に至る。規模は検出部で、東西1.4m以上、南北0.92m、深さ28cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

小穴 (SP)

SP 1~SP 7

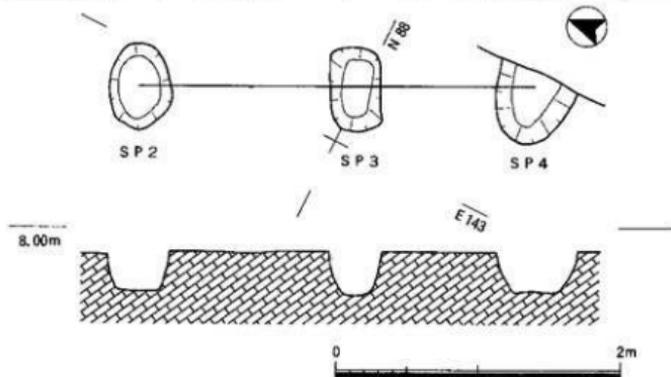
GⅣ-a 5区で1個とGⅣ-b 5区で6個の計7個の小穴を検出した。平面の形状には楕円形のもの3個 (SP 1・SP 2・SP 4)、方形のもの1個 (SP 3)、円形のもの3個 (SP 5~SP 7)がある。断面は逆凸形のもの1個 (SP 1)、逆台形のもの6個 (SP 2~SP 7)である。堆積土は暗灰褐色砂混粘土で、遺物は出土していない。これらの小穴内には建物の一部と考えられる小穴列 (小穴列1) が1箇所みられる。小穴列1はSP 2・SP 3・SP 4からなる南北方向 (2.8m) に並ぶもので、柱間は北西から1.5m、1.3mを測る (第48図)。

なお、個々の小穴の法量・形状については第5表に記した。

第5表 第1調査面小穴 (SP) 一覧表

※ 単位: cm

遺構番号	地区	平面形	断面形	径	深さ	堆積土	備考
SP 1	GⅣ-a 5	楕円形	逆台形	26~36	20	暗灰褐色砂混粘土	柱痕 (径10)
SP 2	GⅣ-b 5	楕円形	逆台形	46~56	26.6	暗灰褐色砂混粘土	小穴列 1
SP 3	GⅣ-b 5	方形	逆台形	36~60	30	暗灰褐色砂混粘土	小穴列 1
SP 4	GⅣ-b 5	楕円形	逆台形	52~59	28	暗灰褐色砂混粘土	小穴列 1
SP 5	GⅣ-b 5	円形	逆台形	14	23.5	暗灰褐色砂混粘土	
SP 6	GⅣ-b 5	円形	逆台形	20	27	暗灰褐色砂混粘土	
SP 7	GⅣ-b 5	円形	逆台形	15	11	暗灰褐色砂混粘土	



第48図 小穴列1平面断面図

第2調査面

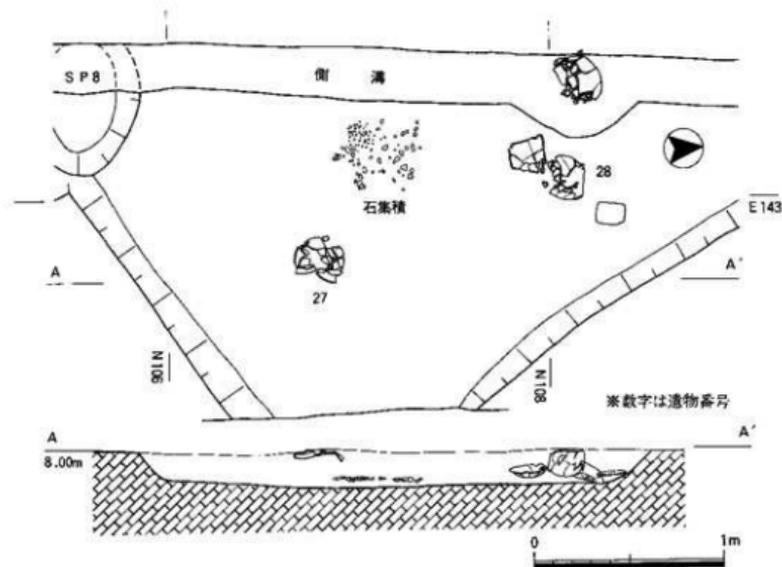
土坑(SK)

SK2

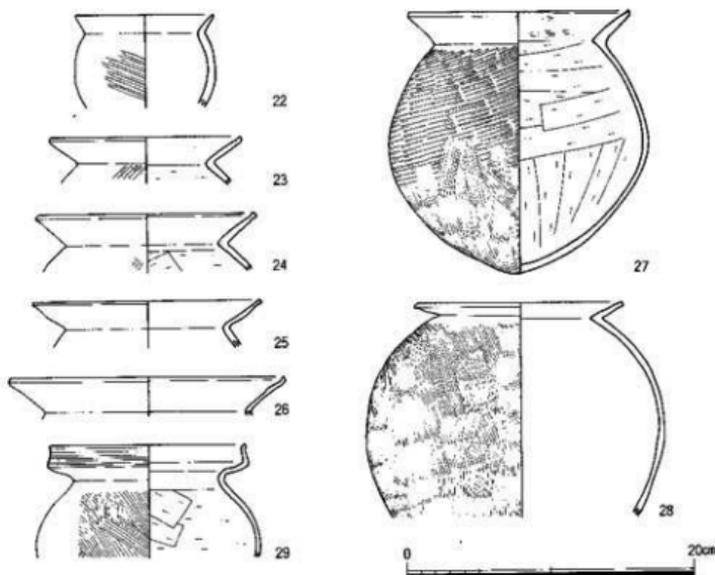
FⅣ-j 5区で検出した土坑である。平面の形状は東から見るとW形を呈する。東西部は共に調査区外に至る。規模は検出部で、東西10m、南北0.6~2m、深さ9~11cmを測る。断面は浅い逆台形を呈し、底面には若干の起伏がみられ、中央部付近に平面ほぼ円形で、径52cm、深さ17cmを測る小穴(SP8)と、これより北側約1.5mに径約50cmを測る範囲内に小石(径0.5~5cm)が約4cmの厚さで集積していた。堆積土は淡茶灰色砂礫(粗砂)混粘土・暗灰茶色シルト混粘土に分れる。遺物は北側の基底面近くに転がり横たわった状態の土器が点在していた。器種はすべて甕で、第V様式系甕(22)・庄内式甕(23~27)・東部瀬戸内系甕(28)・吉備系甕(29)がみられる。時期は庄内式新相に位置付けられよう(第49図・第50図)。

SK3

FⅣ-j 5区~GⅣ-a 5区で検出した土坑である。平面は溝状を呈する。東西はともに調査区外に至る。南部にはSD1が合流している。規模は検出部で、東西2m以上、南北2.3m、深さ15~20cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰茶色シルト混粘土である。底面で



第49図 SK2北部検出遺物平面断面図



第50図 SK 2 出土遺物実測図

は小穴（SP 9～SP 12）を検出した。小穴は平面楕円形を呈し、SP 9が東西64cm、南北84cm、深さ22cm、SP 10が径26～50cm、深さ24cm、SP 11が径22～50cm、深さ41cm、SP 12が径28～40cm、深さ16cmをそれぞれ測る。堆積土は暗灰茶色シルト混粘土である。遺物は、土坑内から土師器の小片が少量出土している。

SK 4

GN-a～b 5区で検出した土坑である。北部は近代の井戸によって切られ、東部はともに調査区外に至る。平面は不定形を呈する。規模は検出部で、東西2m、南北5.8m、深さ10cmを測る。断面は浅い逆台形を呈する。堆積土は暗灰茶色シルト混粘土である。遺物は、堆積土内から土師器の小片がごく少量出土している。

SK 5

GN-b 5区で検出した土坑である。東側はSD 2を切り、西側は調査区外に至る。平面は方形を呈すると思われる。規模は検出部で、東西0.86m、南北1.8m、深さ41cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰色粘土である。遺物は、堆積土内から土師器の小片が少量出土している。

溝 (SD)

SD 1

GⅣ-a 5区で検出した溝である。方向は南東—北西方向を示す。北西部はSK3に合流し、南東部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅22~48cm、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰茶色シルト混粘土である。遺物は出土していない。

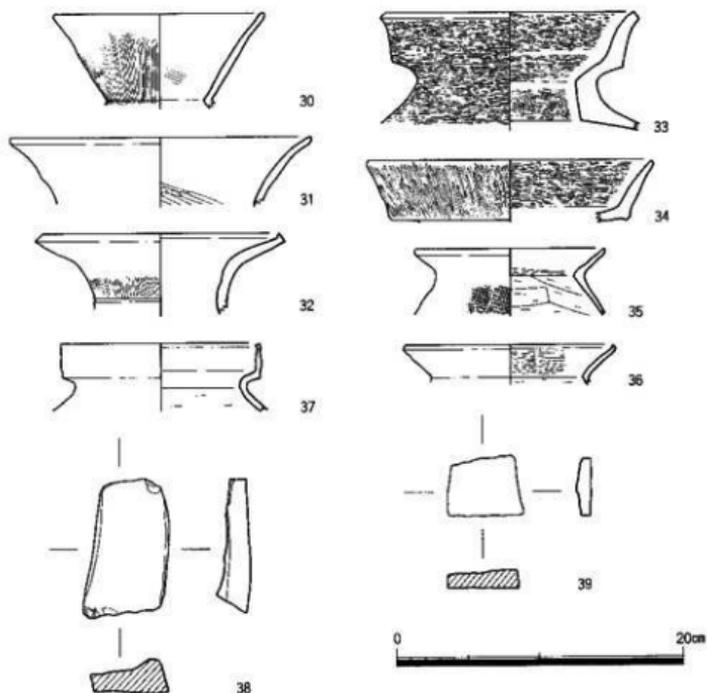
SD 2

GⅣ-b 5区で検出した溝である。平面は円弧を描き、北端はSK5に切られ、南端は河川2によって切られている。規模は検出部で、幅34~60cm、深さ16cmを測る。断面は半円形を呈する。堆積土は暗灰茶色シルト混粘土である。遺物は出土していない。

自然河川

河川 1

FⅣ-i 5区で検出した自然河川である。方向は南東—北西方向を呈する。規模は検出部で、

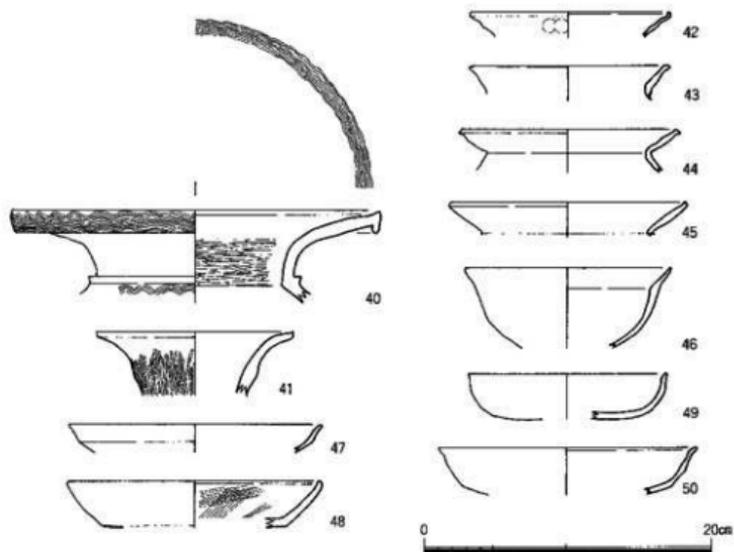


第51図 河川1出土遺物実測図

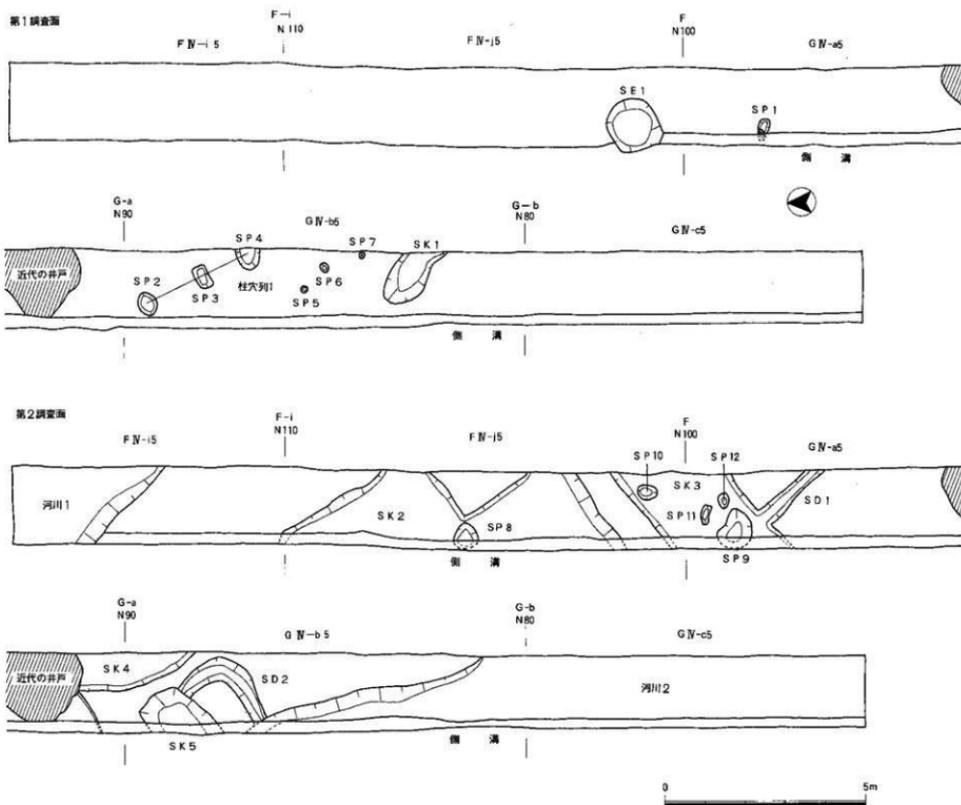
幅約3m、深さ1.1mを測る。断面は西肩の斜面が緩やかな傾斜を呈する。堆積土は、上方から淡茶灰色砂礫（及び粗砂）混粘土・暗灰色粘土・暗灰色粗砂と暗灰褐色粗砂混粘土の互層である。遺物は、河川底近くで古墳時代前期に比定される土器の小片が少量出土している。器種には壺（30～34）・庄内式甕（35・36）・吉備系甕（37）などがある（第51図）。

河川2

GV-b～c 5区で検出した。方向は南東―北西方向と考えられる東肩の一部だけを検出した。西肩は第7調査区GV-b 3区で検出している河川1にあたる。当調査区で検出した規模は幅およそ20m、深さ0.5～0.8mを測る。底面には一部溝状を呈する窪みが見られる。堆積土は淡茶灰色粗砂混粘土・淡黄灰色微砂と暗茶褐色～淡灰色粗砂が互層で、砂層を基調としている。遺物は、堆積土内から古墳時代～奈良時代にかけての土器の小片が少量出土している。器種には古墳時代前期に比定される壺（40・41）・庄内式甕（42～45）・鉢（46）、奈良時代に比定される土師器の杯（47～50）がある（第52図）。



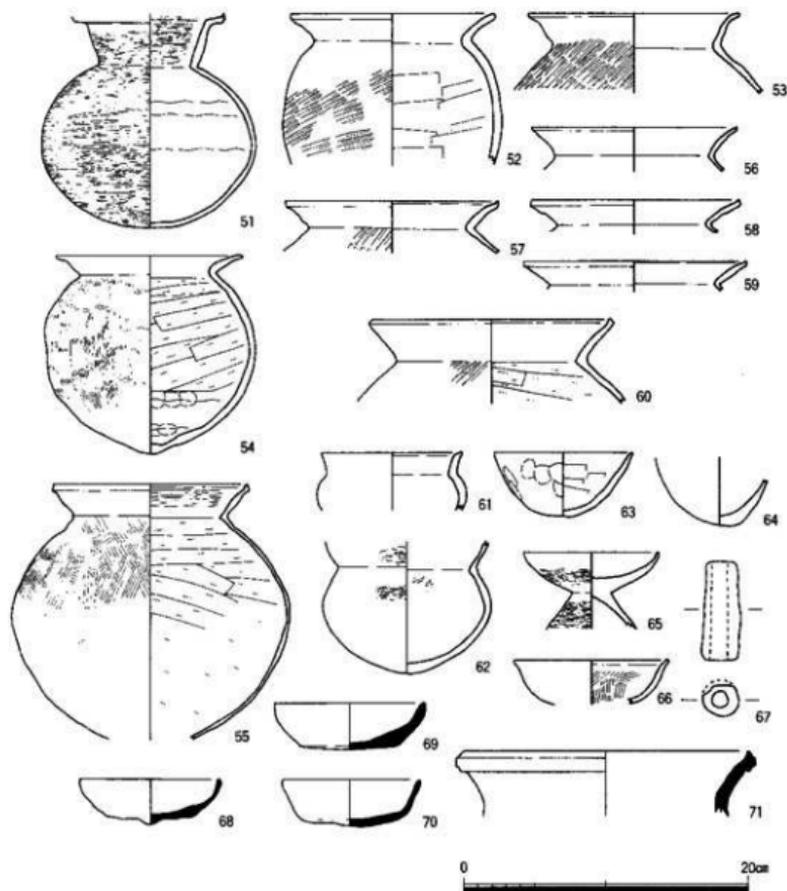
第52図 河川2出土遺物実測図



第53図 遺構平面図

Ⅲ 遺構に伴わない出土遺物

第3層と第4層で遺物が出土している。第4層内からは古墳時代前期に比定される土器の小片が少量出土している。第3層内からは古墳時代～奈良時代に至る土器の小片が少量出土している。出土量はコンテナ箱にして約1箱分を数える。図示できたものは21点で、古墳時代前期に比定される壺(51)・第V様式系甕(52・53)・庄内式甕(54~60)・小型丸底壺(61・62)・鉢(63・64)・器台(65)・高杯(66)・土釜(67)と、古墳時代後期末に比定される須恵器の杯身(68~70)・甕(71)である(第54図)。



第54図 包含層出土遺物実測図

第6節 第6調査区

第3調査区の南部に設定した南北に長い調査区（長さ約13m）である。調査面積は約26㎡を測る。

I 基本層序

当調査区で普遍的にみられる7層を基本層序とした。現地表面は標高9.4mを測る。

第1層盛土：層厚70～80cm。区画整理の工事による盛土である。

第2層耕土：層厚12～16cm。昭和57年まで耕作土として耕されていた土層である。

第3層茶褐色粘砂土：層厚8～14cm。耕土の床土である。

第4層茶灰褐色～灰茶褐色粘質土：層厚18～22cm。古墳時代～鎌倉時代にかけての土器の小片が少量出土している。

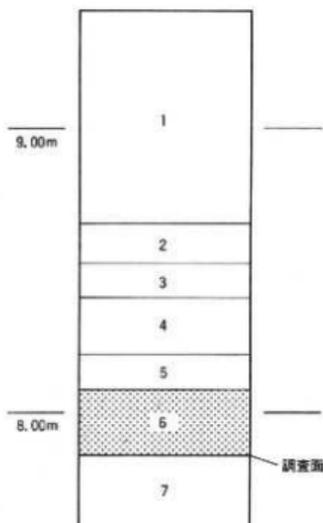
第5層暗茶褐色粗砂混粘質土：層厚8～20cm。古墳時代に比定される土器の小片が少量出土している。

第6層暗茶褐色灰色粗砂混粘土：層厚20cm。古墳時代前期に比定される土器片が出土している。

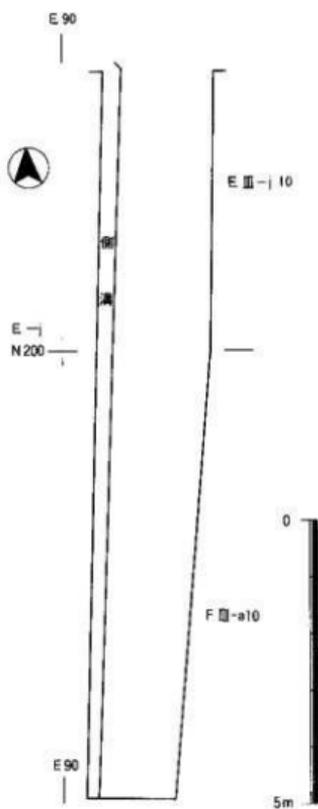
第7層茶灰色シルト混粘土：層厚25cm以上。この上面が調査面で、標高7.8mを測る。

II 検出遺構・出土遺物

当調査区では第7層上面を調査面としたが、遺構は検出されなかった。出土遺物は第3層～第6層内から古墳時代前期～鎌倉時代に比定される土器の小片が出土している。出土量はコンテナ箱にして約半箱分程度である。このうち、ほとんどの遺物が第6層内からの出土である。この層は古墳時代前期に比定される包含層と考えられ、庄内式土器などの小片が出土している。器種には壺・第V様式系甕・庄内式甕・高杯などがみられる。



第55図 基本層序柱状図（S=1/20）



第56図 第6調査区平面図

第7節 第7調査区

当調査区は第5調査区南端から西側に設定した東西に長い調査区（長さ40m）で、昭和58年度第3次調査の28地区の東部にあたる。調査面積は約80㎡を測る。

I 基本層序

当調査区で普遍的にみられる6層を基本層序とした。現地表面は標高9.2 m前後を測る。

第1層耕土及び里道の盛土：層厚15～50cm。調査前までの耕作土と調査前までの里道である。

第2層濃灰茶色砂礫混砂質土：層厚18～24cm。

旧里道の土層である。

第3層灰褐色粘砂～砂質土：層厚18～28cm。

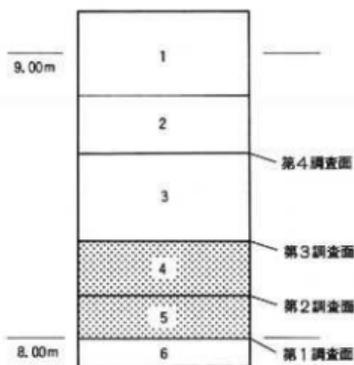
層内には鎌倉時代～江戸時代の遺物が含まれ、上面は標高8.6 mを測る。

第4層茶灰色砂礫混粘質土：層厚10～18cm。

土層内には鎌倉時代の遺物が含まれている。この上面は標高8.3 mを測り、江戸時代に比定される溝が切り込まれている。

第5層黄褐色砂礫混粘質土：層厚10cm。古墳時代～鎌倉時代の土器の小片が少量出土している。上面は標高8.1 mを測る。

第6層淡灰色微砂：層厚10cm。この上面には古墳時代前期に比定される遺構が切り込まれている。標高8.0 mを測る。



第57図 基本層序柱状図 (S=1/20)

II 検出遺構・出土遺物

当調査区では、第3面上面（第4調査面）、第4層上面（第3調査面）、第5層上面（第2調査面）、第6層上面（第1調査面）の4面を調査面とした。その結果、第1調査面では古墳時代前期に比定される溝2条（SD1・SD2）と、平安時代に比定される自然河川1条（河川1）を検出した。第2調査面では平安時代後期～鎌倉時代に至る井戸1基（SE1）・土坑1基（SK1）・小穴2個（SP1・SP2）・溝2条（SD3・SD4）を検出した。第3調査面では鎌倉時代後期～室町時代に至る溝6条（SD5～SD10）を検出した。第4調査面では江戸時代に比定される溝8条（SD11～SD18）を検出した。

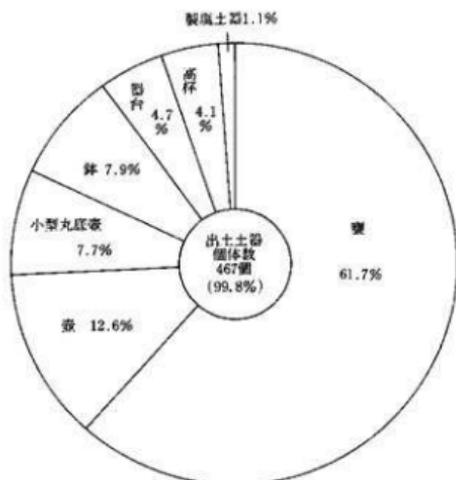
第1調査面

溝(SD)

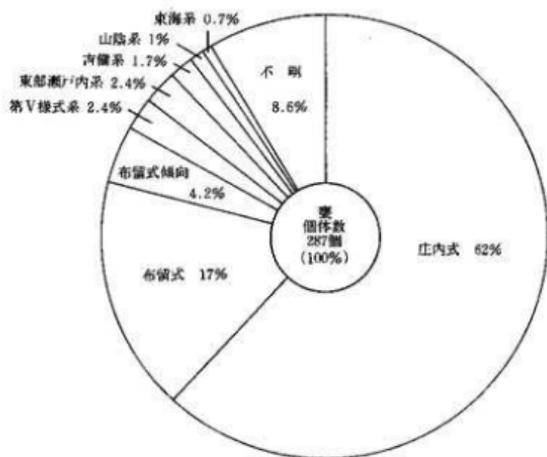
SD1

GⅣ-d 2区で検出した溝である。方向は南東—北西方向を示す。南北はともに調査区外に至るが、南側に位置する第9調査区の第1調査面から検出しているSD1に続くものと考えられる。規模は検出部で、幅約7m、深さ70cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は、上方から第1層茶灰色粘質土・第2層暗茶灰色粘質土・第3層茶灰褐色砂混粘質土・第4層灰褐色粘質土(細砂ブロック含む)・第5層黄褐色砂礫混粘質土・第6層黒灰色粘土(炭・細砂を含む)・第7層暗青灰色砂混粘土・第8層暗青灰色粗砂・第9層暗灰青色粘質土で構成されている。(第58図)。

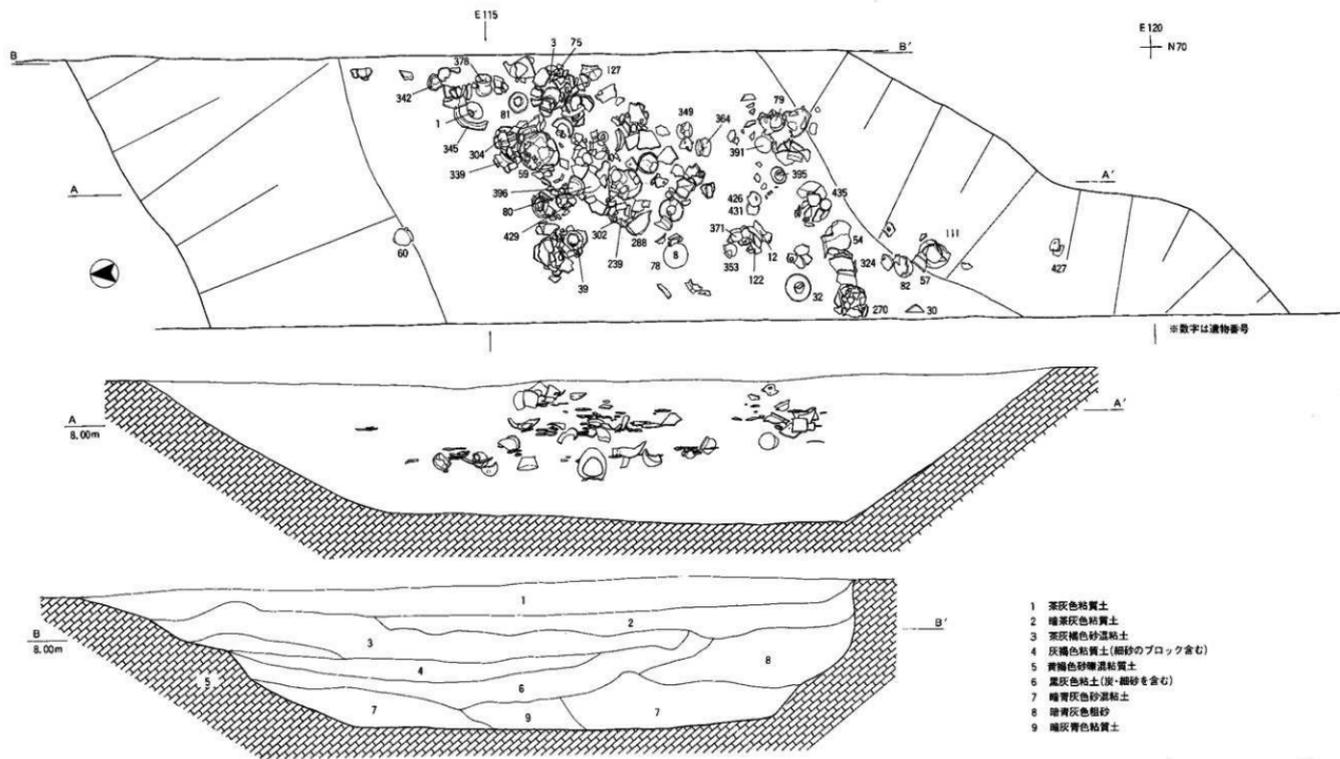
遺物は、第1層から底面付近までに堆積する土層内から古墳時代前期(庄内式新相～布留式古相)に比定される土器が多量に出土した。出土した土器は上層(第1層～第5層)と、下層(第6層～第8層)に分けて取上げている。しかし、土器の出土状況を見ると、上層から底面付近まで土器の破片が密に詰まった状態である。上層と下層の土器には時期差がみられなかった。出土量は上層が20箱分、下層が10箱分で計30箱分を数える。このうち図示できたものは467点を数える。器種には壺59点(1～59)・第V様式系甕7点(60～66)・庄内式甕178点(67～244)・布留式傾向甕12点(245～256)・布留式甕48点(257～304)・東部瀬戸内系甕7点(329～335)・吉備系甕6点(337～342)・山陰系甕3点(343～345)・東海系甕2点(346～347)・その他の甕25点(305～328・336)・小型丸底壺34点(348～381)・ミニチュア壺1点(410)・鉢39点(382～409・411～421)・器台22点(422～443)・高杯19点(444～462)・製塩土器5点(463～467)がある(第58図～第85図)。器種別の割合は甕が6割を占め、圧倒的に多い。このうち約6割が庄内式甕である。以下、器種別では壺12.6%、甕61.7%、小型丸底壺7.7%、鉢7.9%、器台4.7%、高杯4.1%、製塩土器1.1%の割合である(第6表)。また、土器には他地域の土器がみられる。割合は全体の約1割程度である。器種には壺・甕・鉢・高杯・製塩土器がある。このうち壺に多くみられる。地域ごとにとみると、摂津、紀伊、大和、吉備、山陰、東海などの地方のものがみられる。甕(個体数287点)でみる割合は庄内式62%、布留式傾向4.2%、布留式17%、第V様式系2.4%、東部瀬戸内系2.4%、吉備系1.7%、山陰系1.0%、東海系0.7%、不明の甕8.6%である(第7表)。また、庄内式甕には大和型に多い左上りのタタキ目をもつ甕5点(240～244)がみられるが、胎土は生駒山西麓にみられる特徴をもつもので、中河内方の庄内式甕と考えられる(第59図～第85図)。



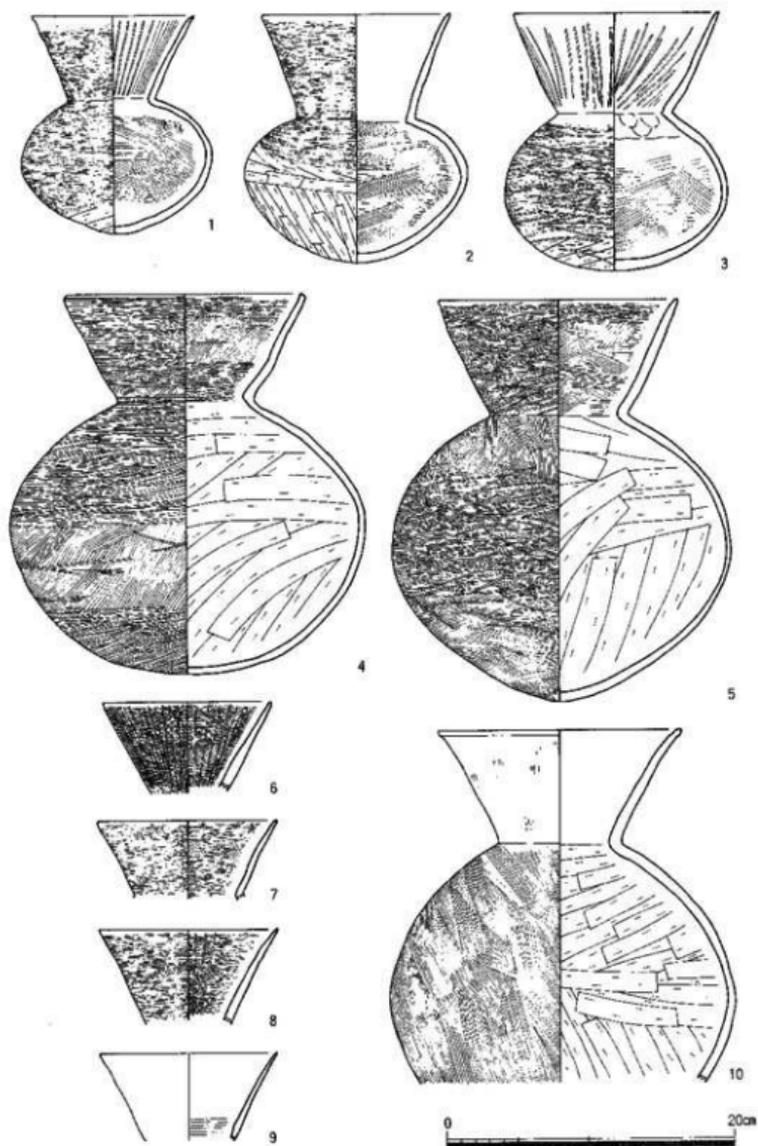
第6表 SD1 出土土器種別割合表



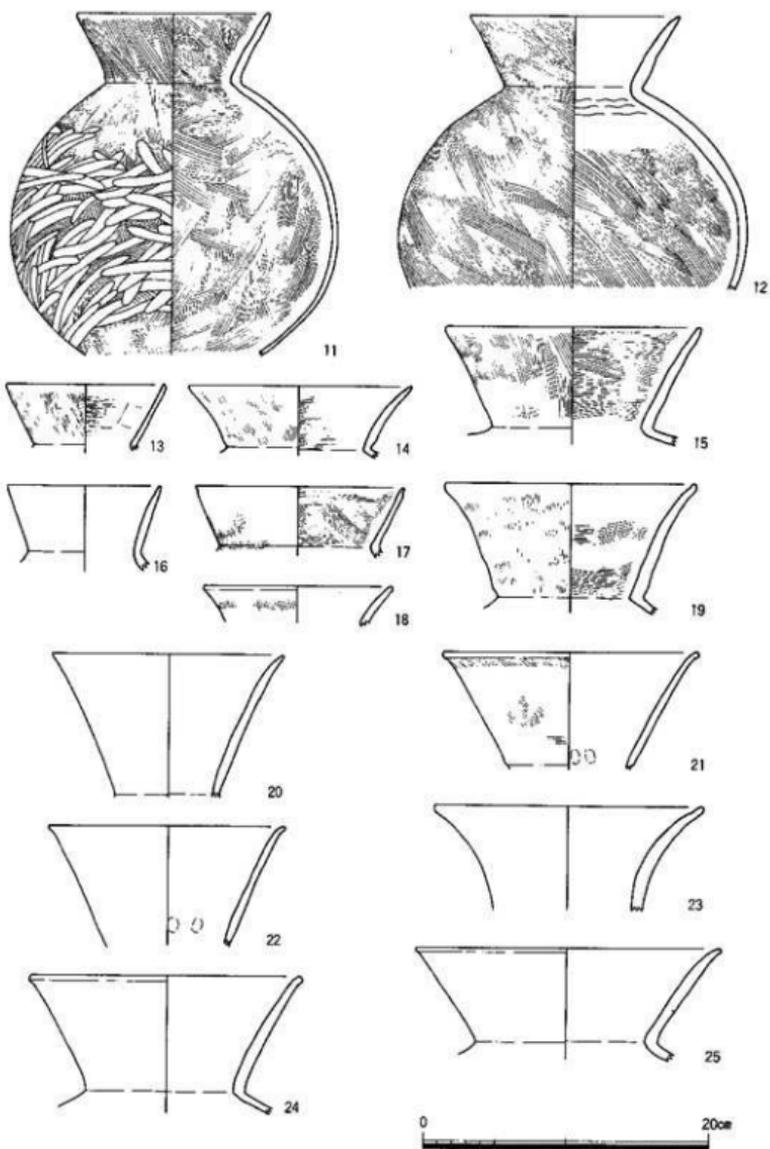
第7表 SD1 甕分類表



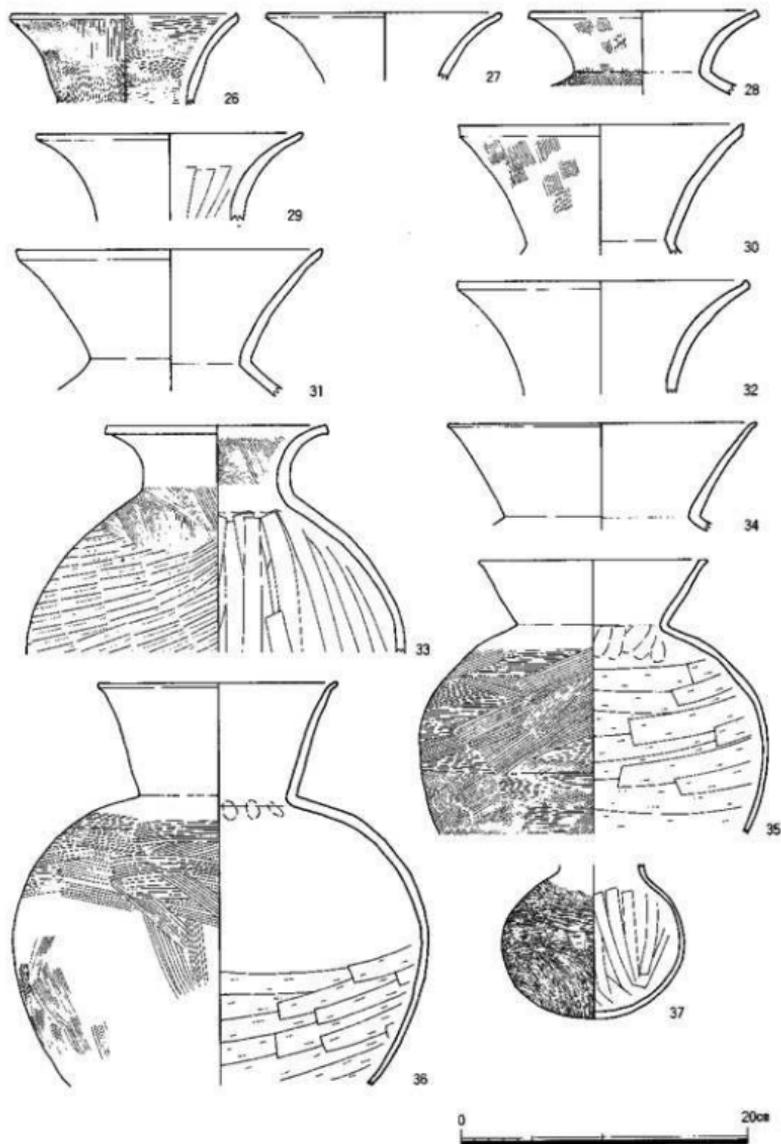
第58図 SD1 検出遺物平面図及び断面図



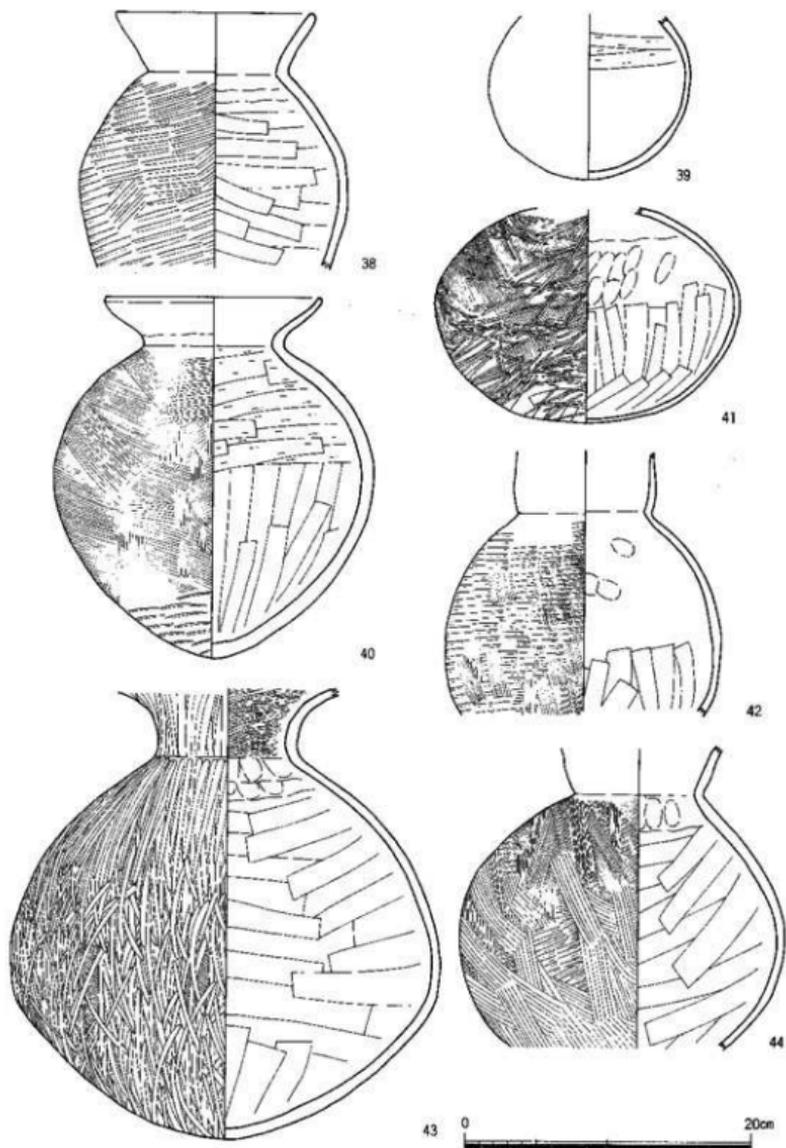
第59圖 SD 1 出土遺物実測図 1



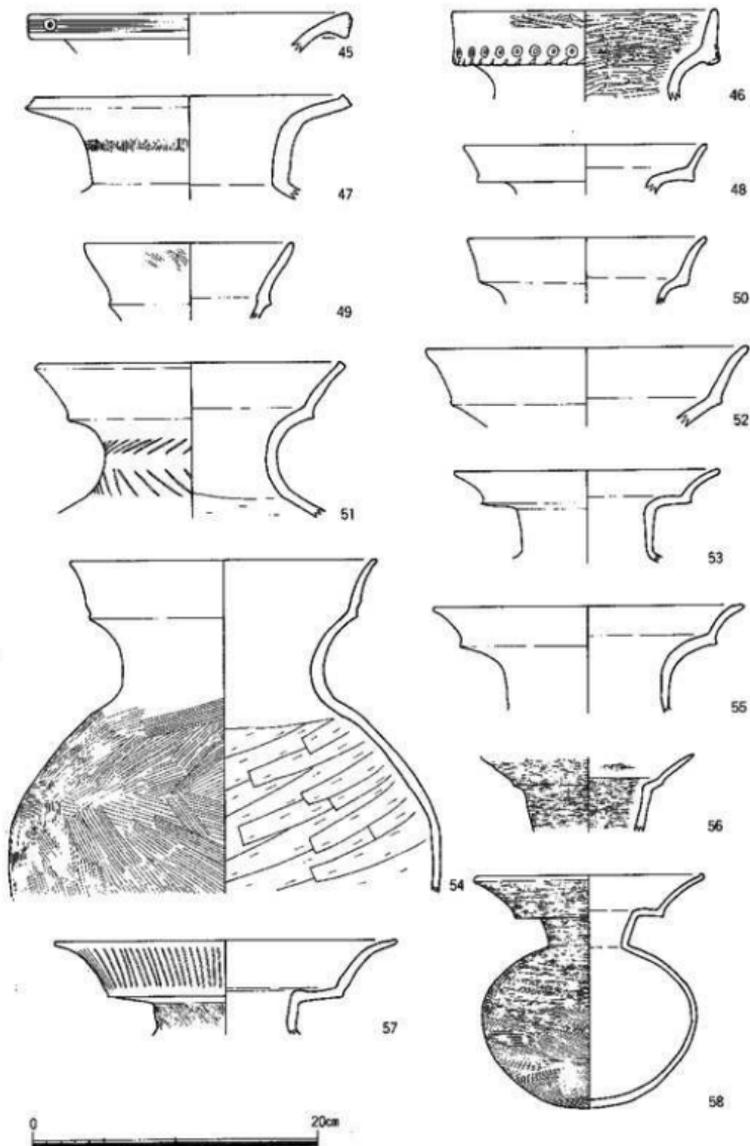
第60圖 SD1 出土遺物実測圖2



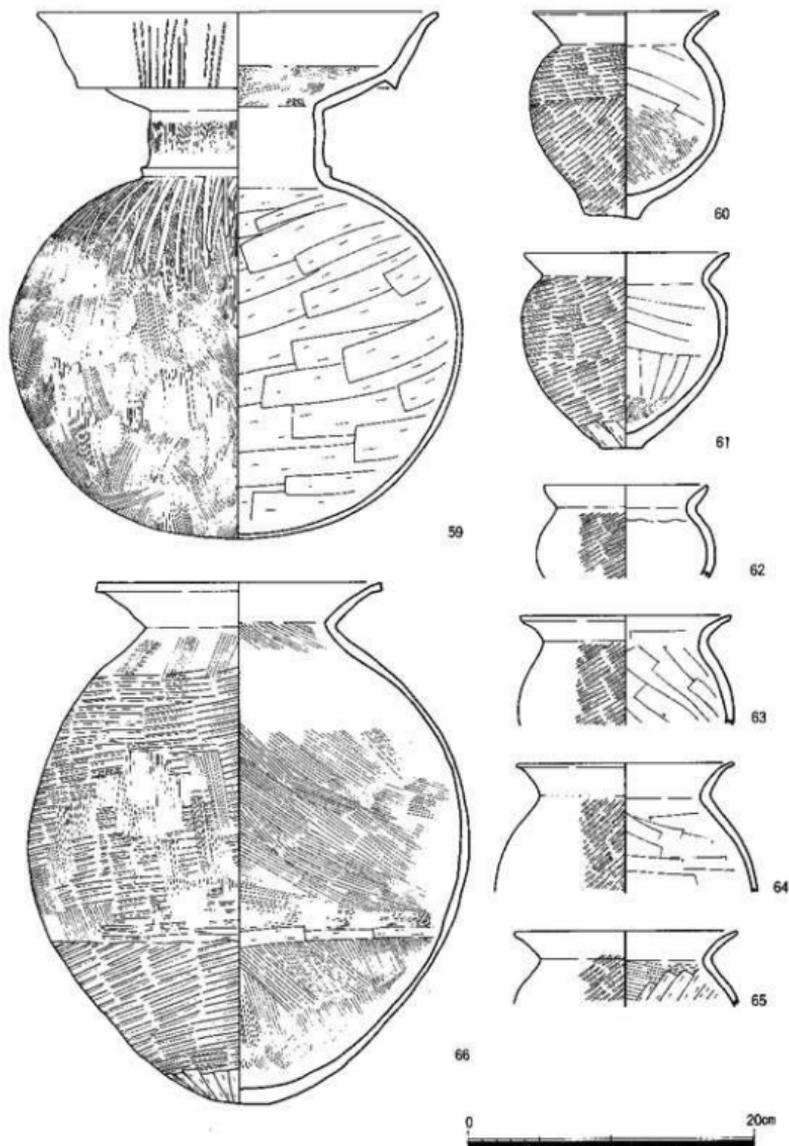
第61图 SD1出土器物实测图3



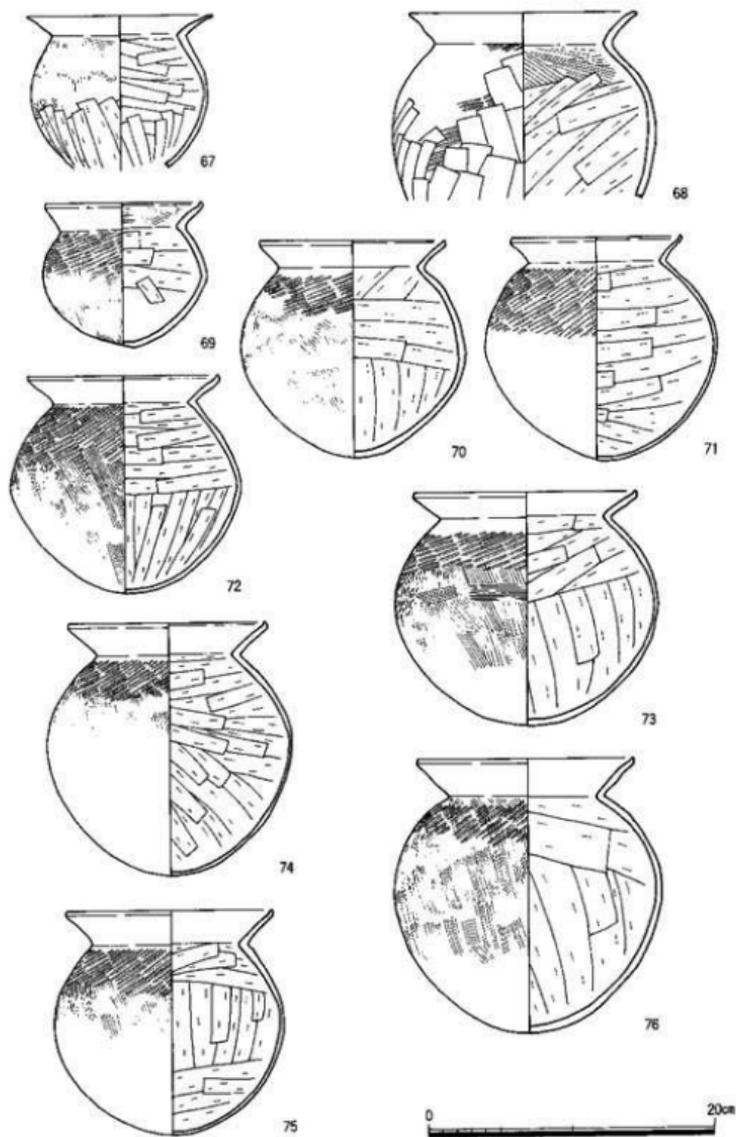
第62図 S D 1 出土遺物実測図4



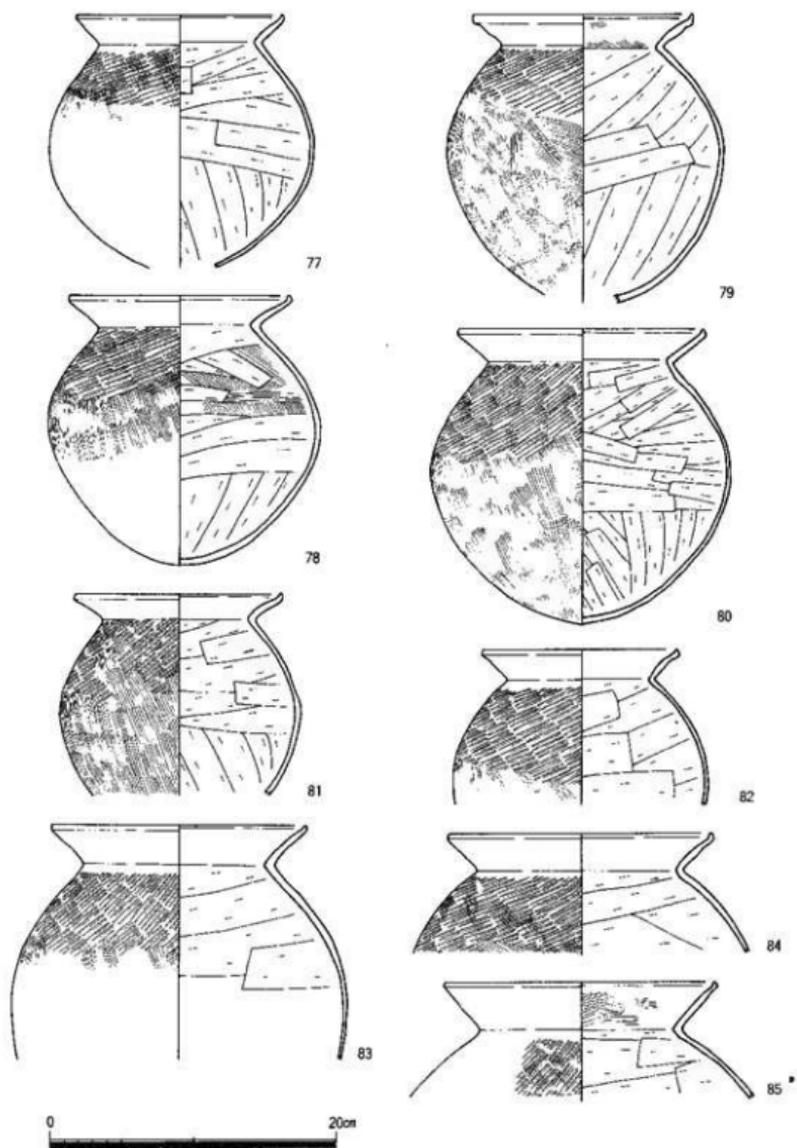
第63図 S D 1 出土遺物実測図5



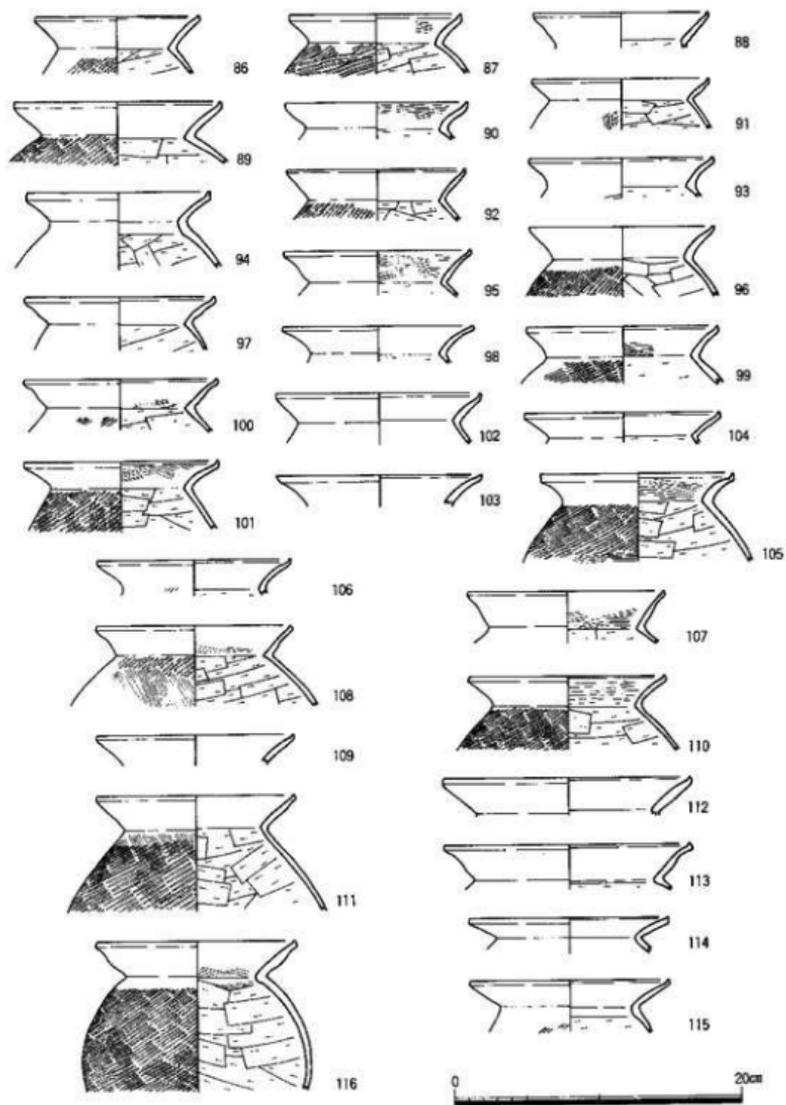
第64图 S D 1 出土遺物実測図6



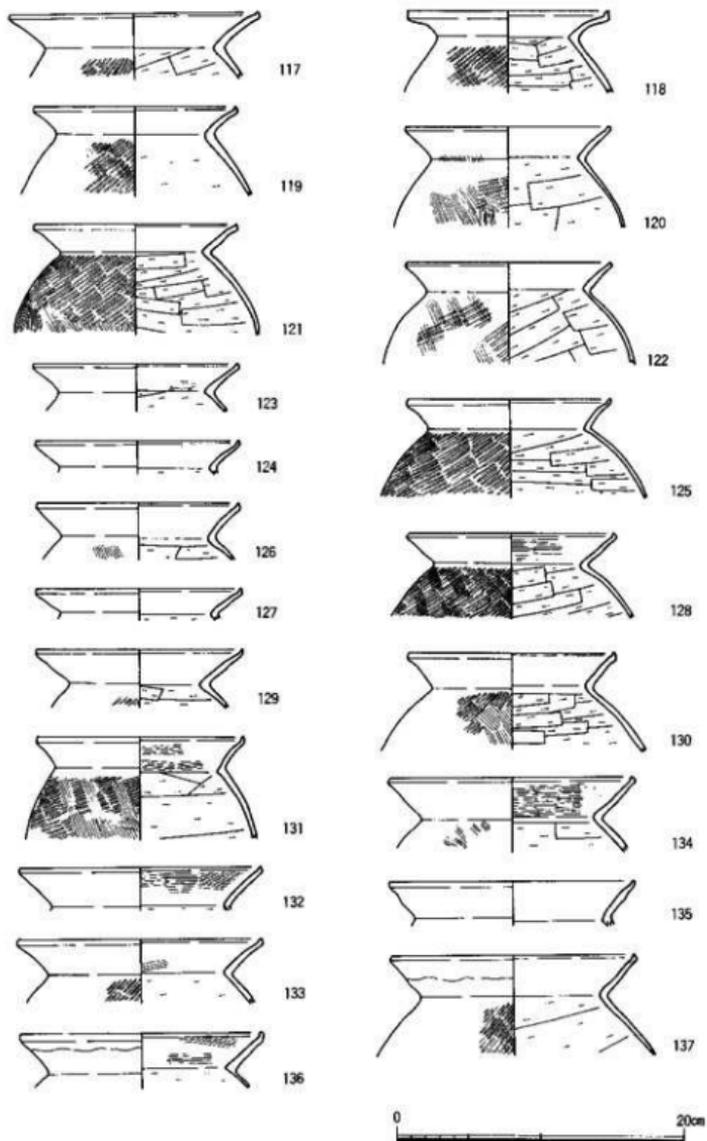
第65図 S D 1 出土遺物実測図7



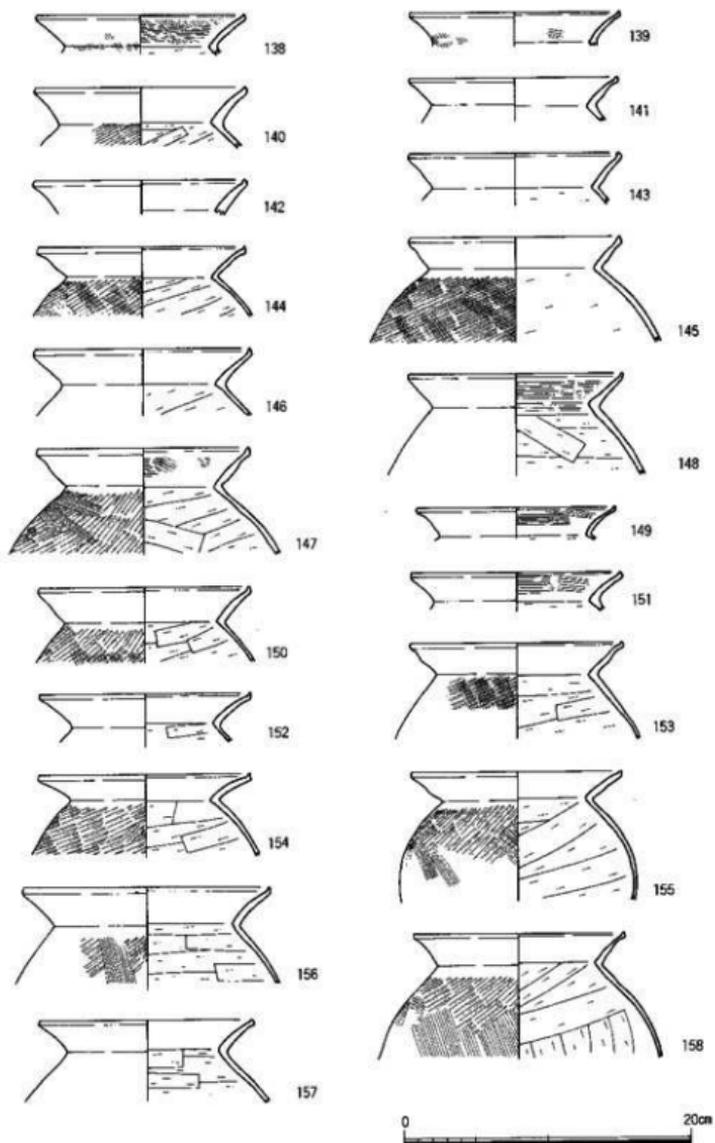
第66图 SD1出土遺物実測図8



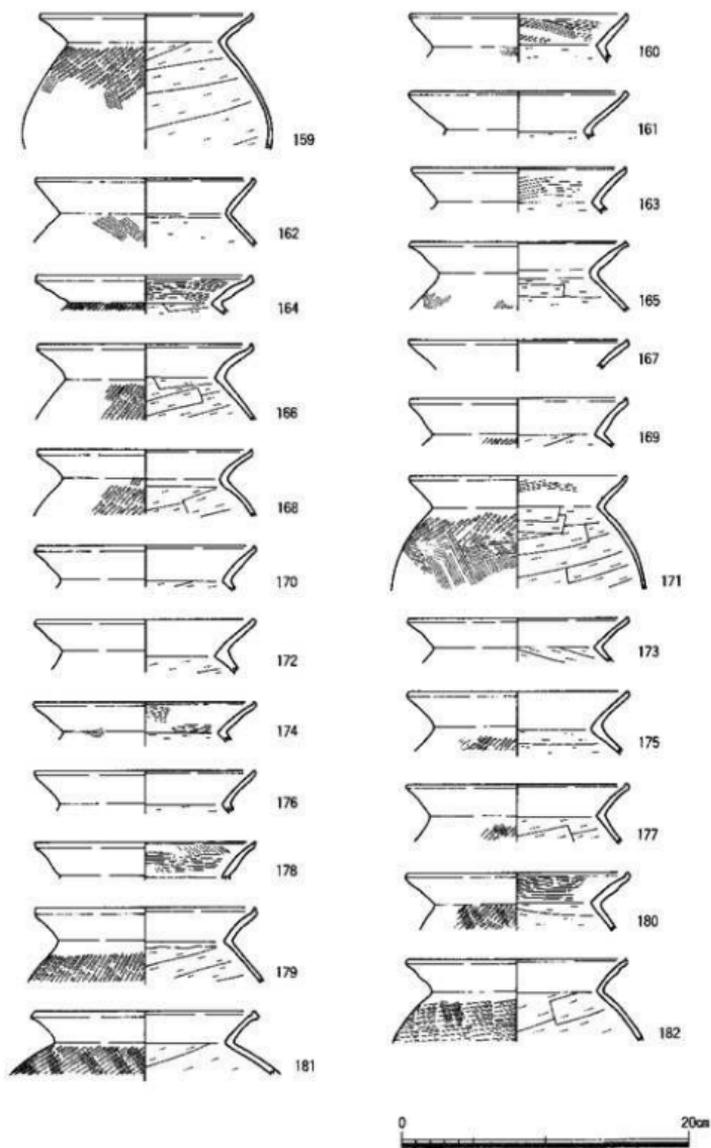
第67図 SD1出土遺物実測図9



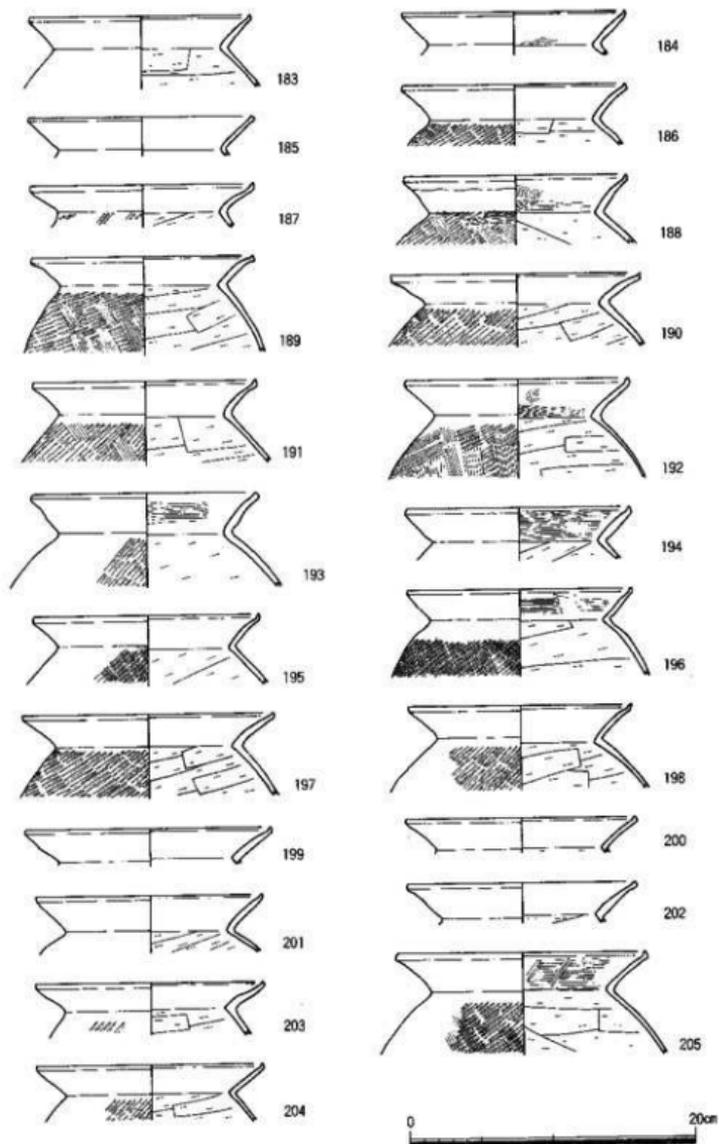
第68圖 SD1出土遺物実測圖10



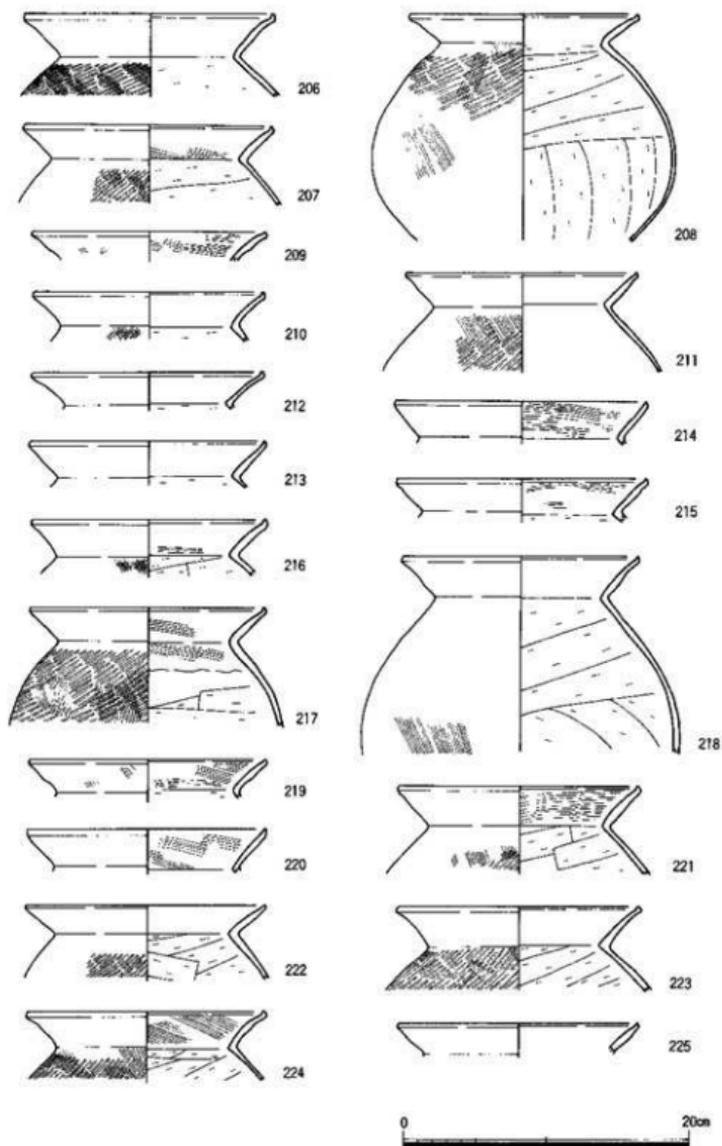
第69図 S D 1 出土遺物実測図11



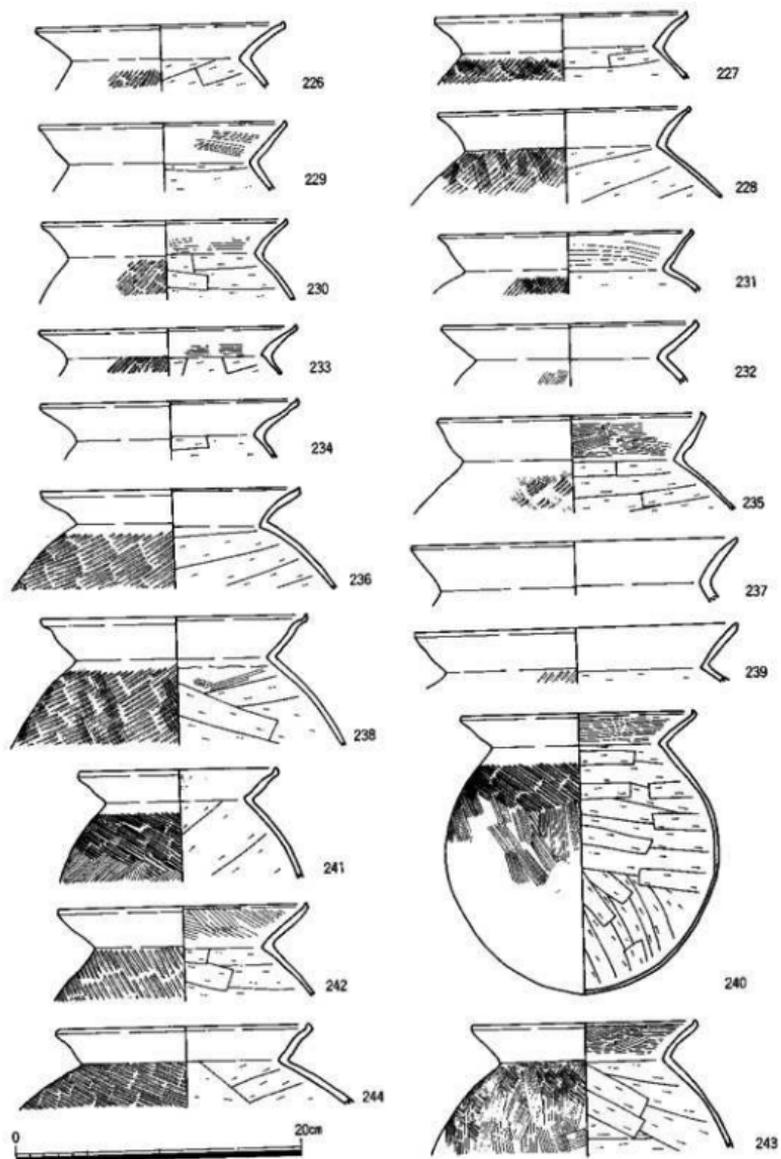
第70图 S D 1 出土遗物实测图12



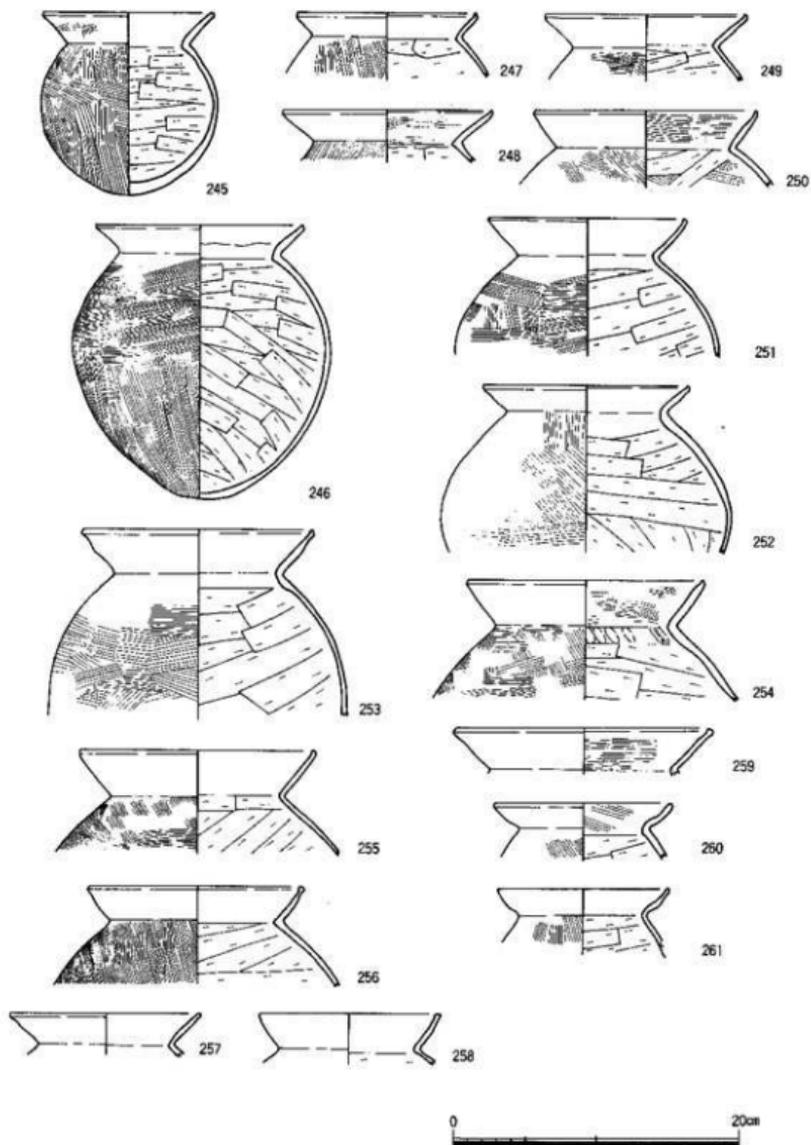
第71圖 SD1出土遺物実測図13



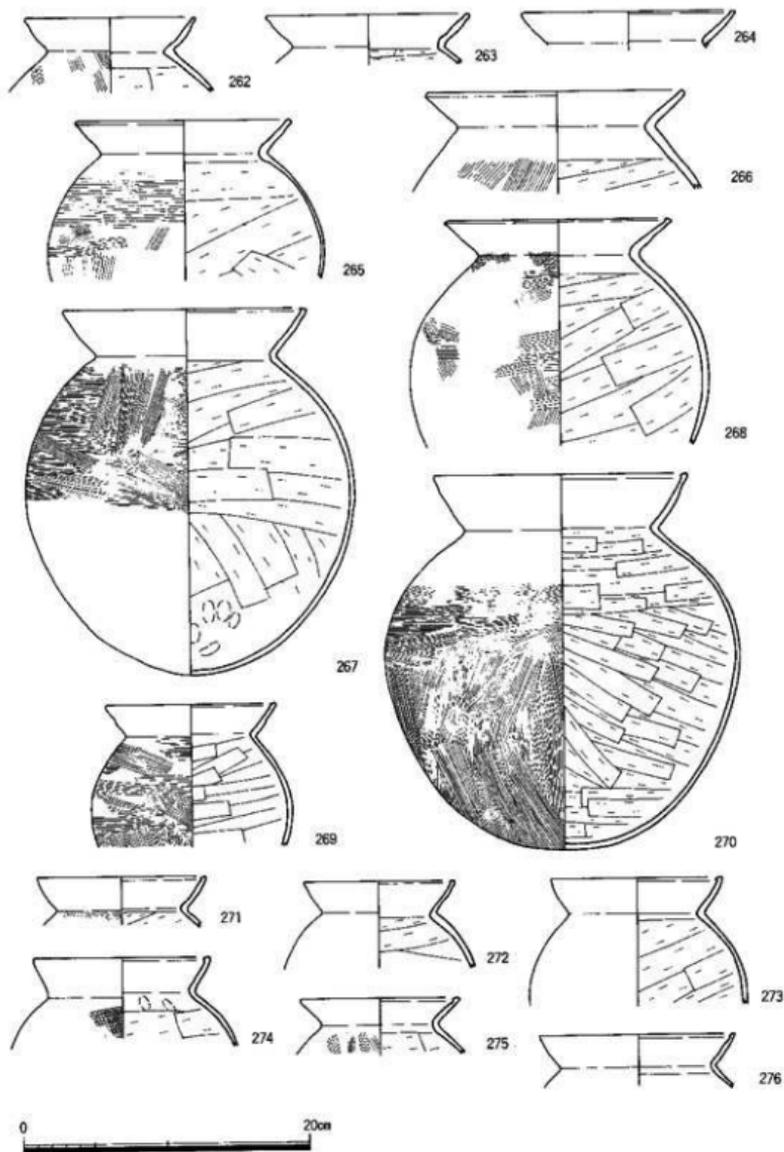
第72图 S D 1 出土遗物实测图14



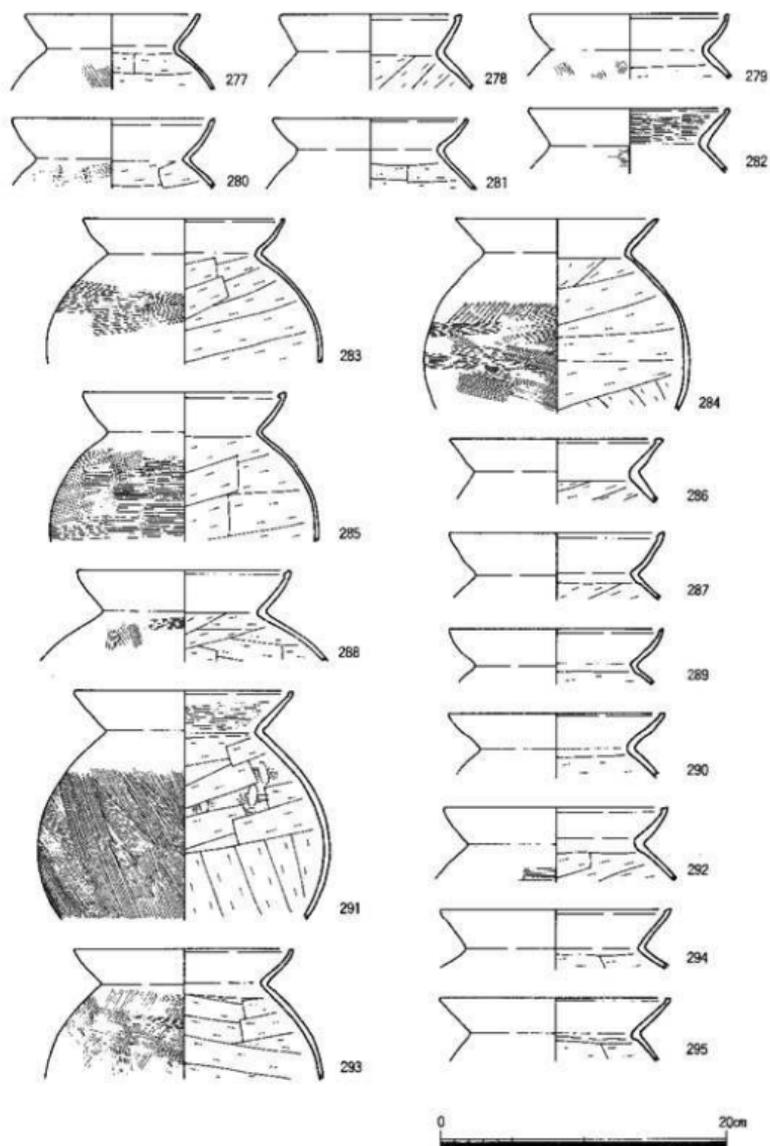
第73図 S D 1 出土遺物実測図15



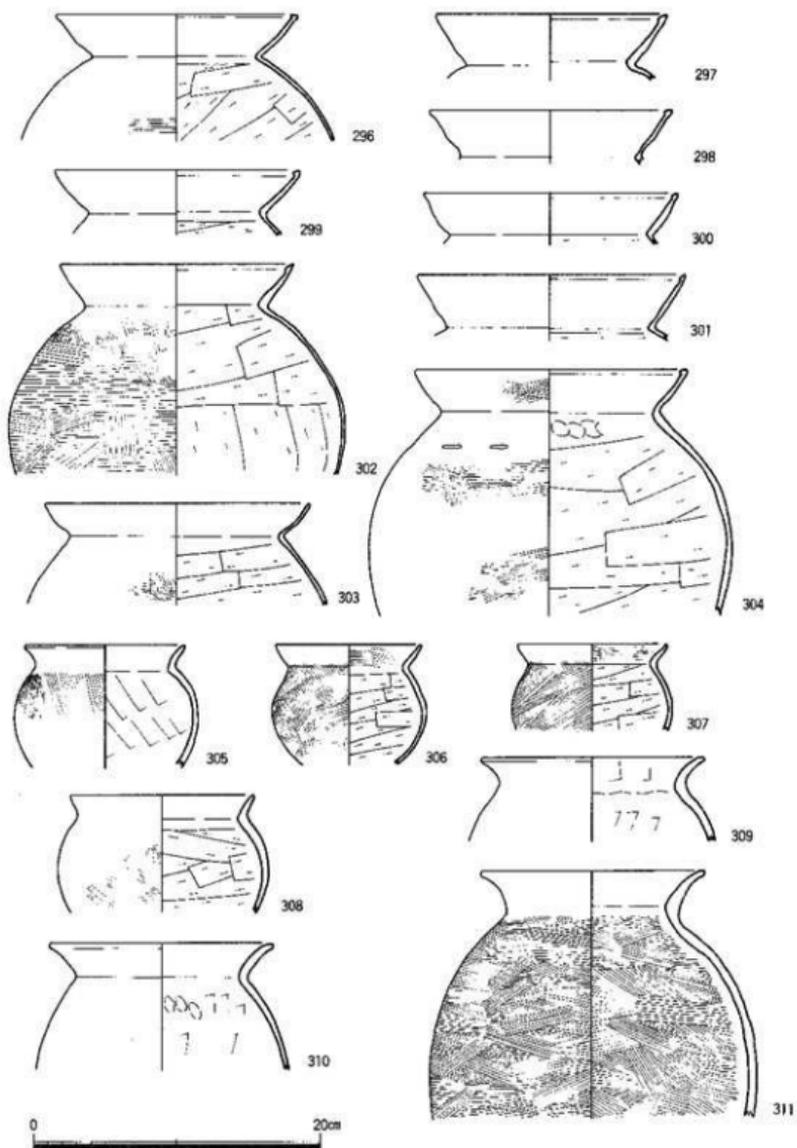
第74图 SD 1 出土遗物实测图16



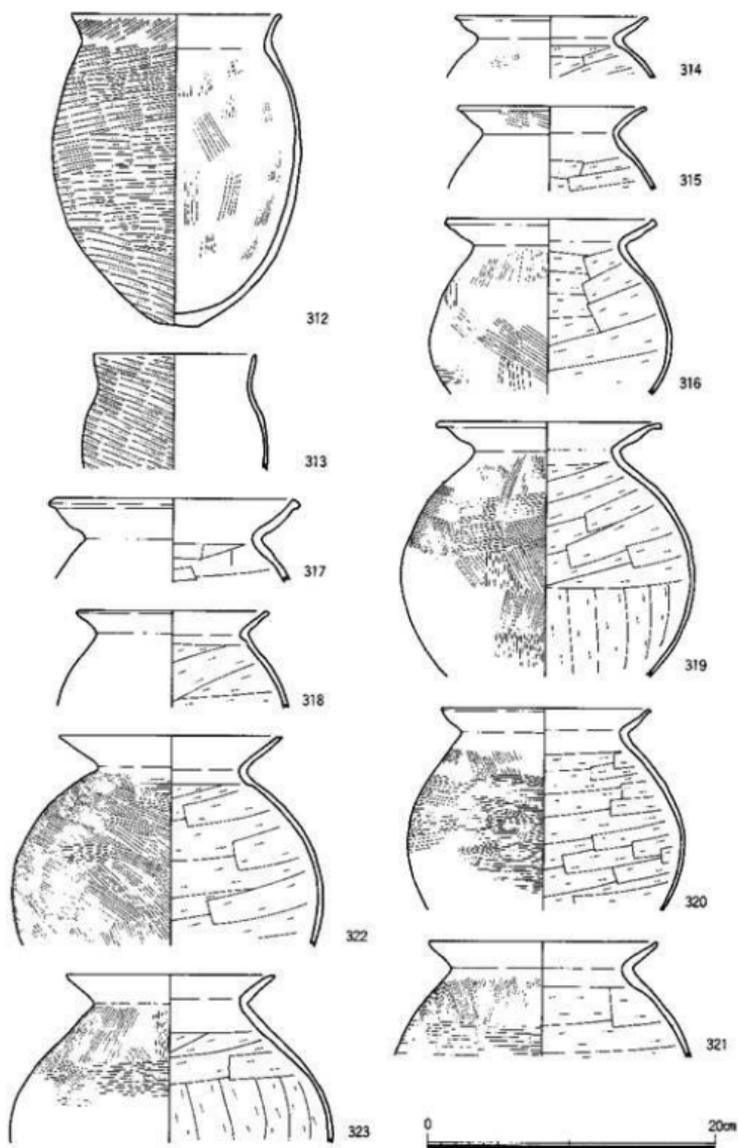
第75図 S D 1 出土遺物実測図17



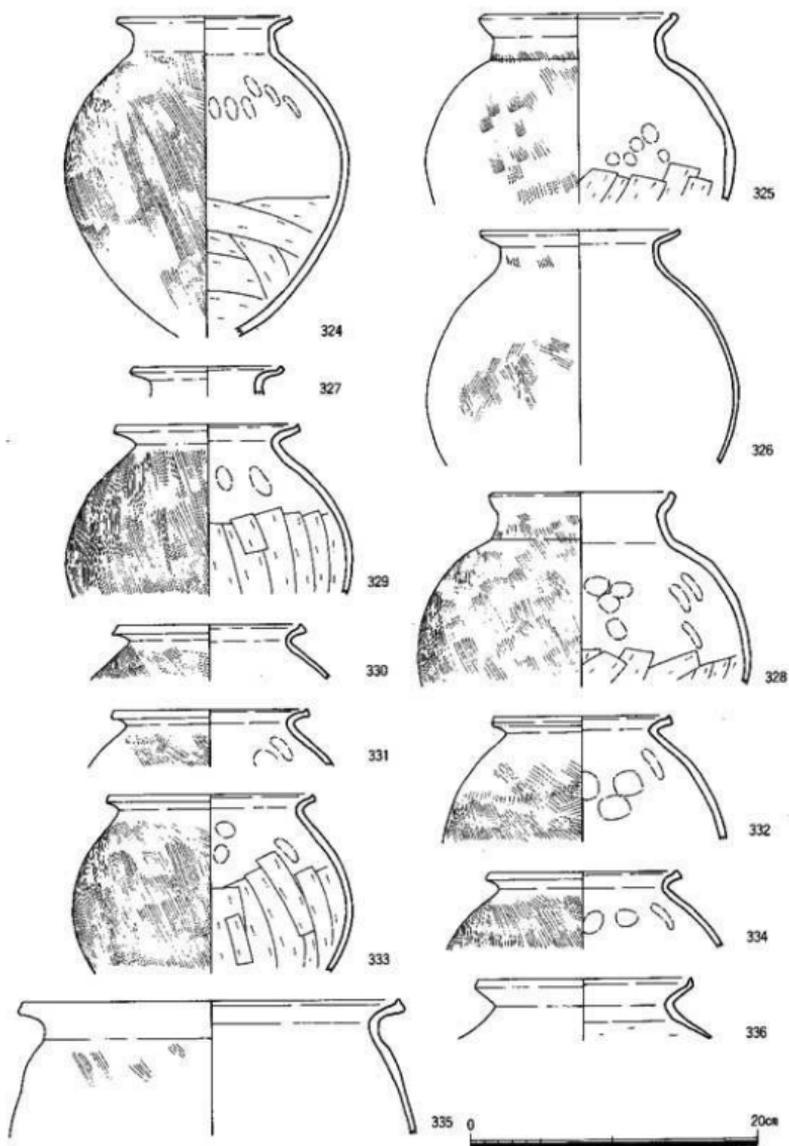
第76図 S D 1 出土遺物実測図18



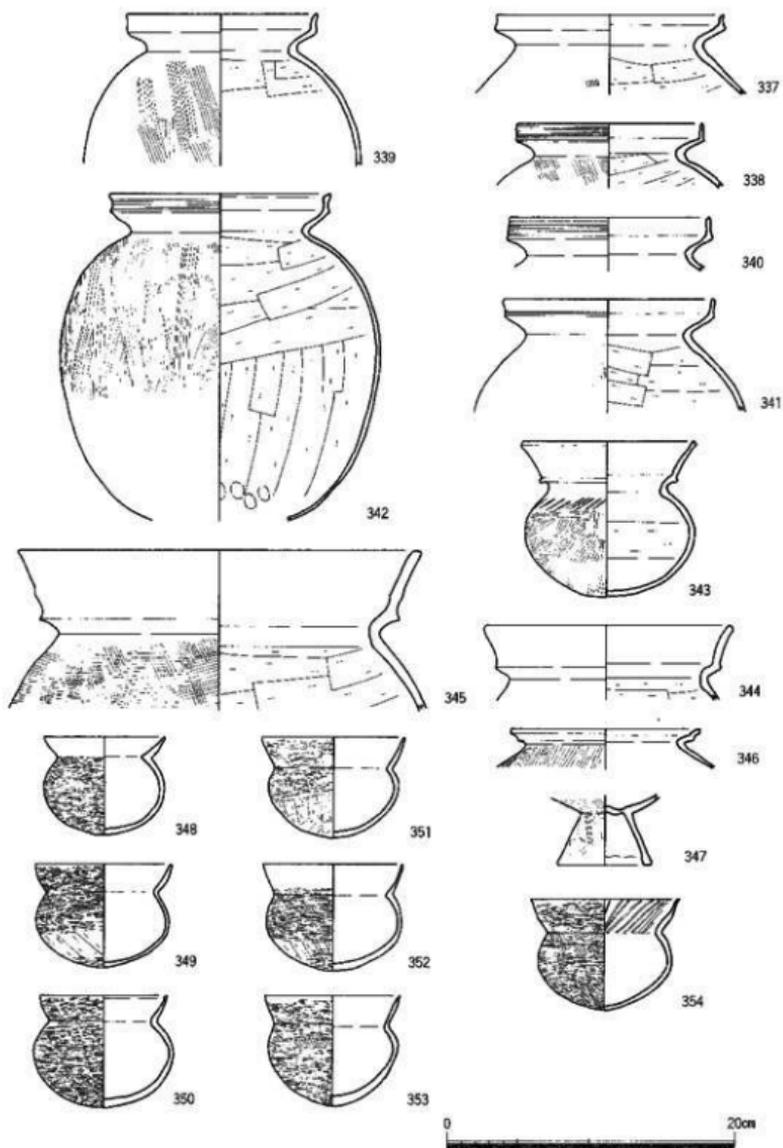
第77图 SD 1 出土遗物实测图19



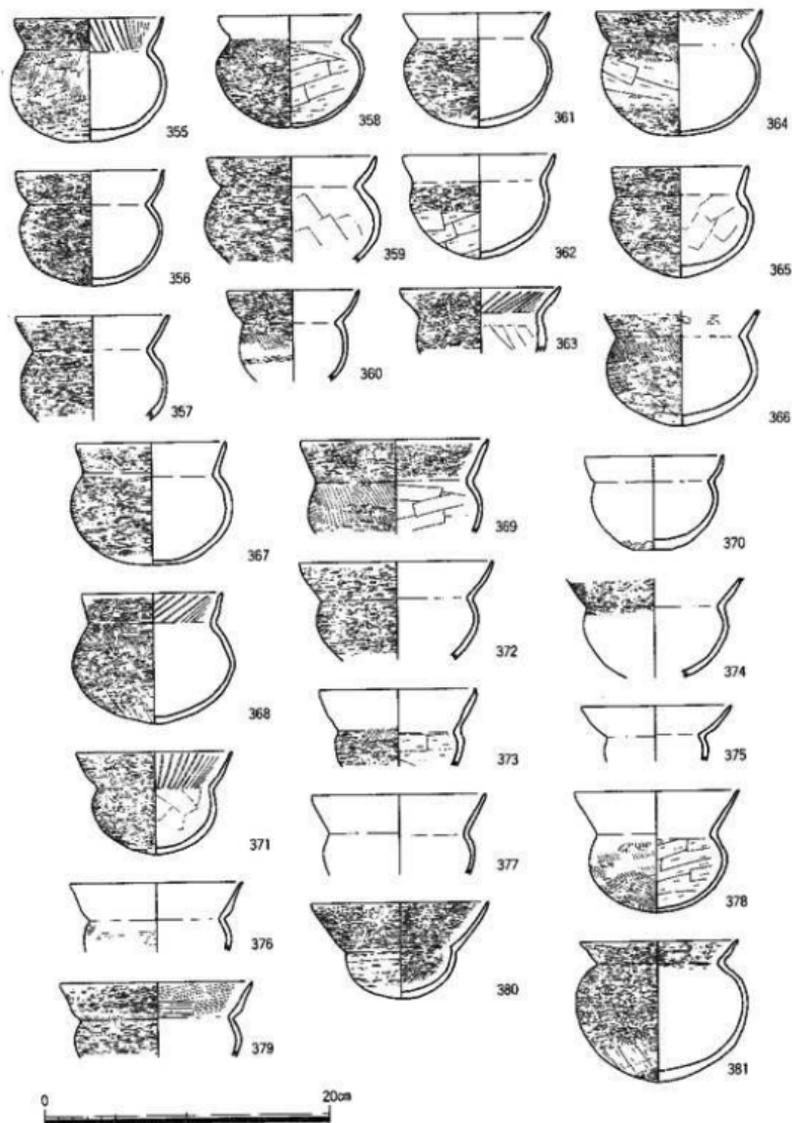
第78図 S D 1 出土遺物実測図20



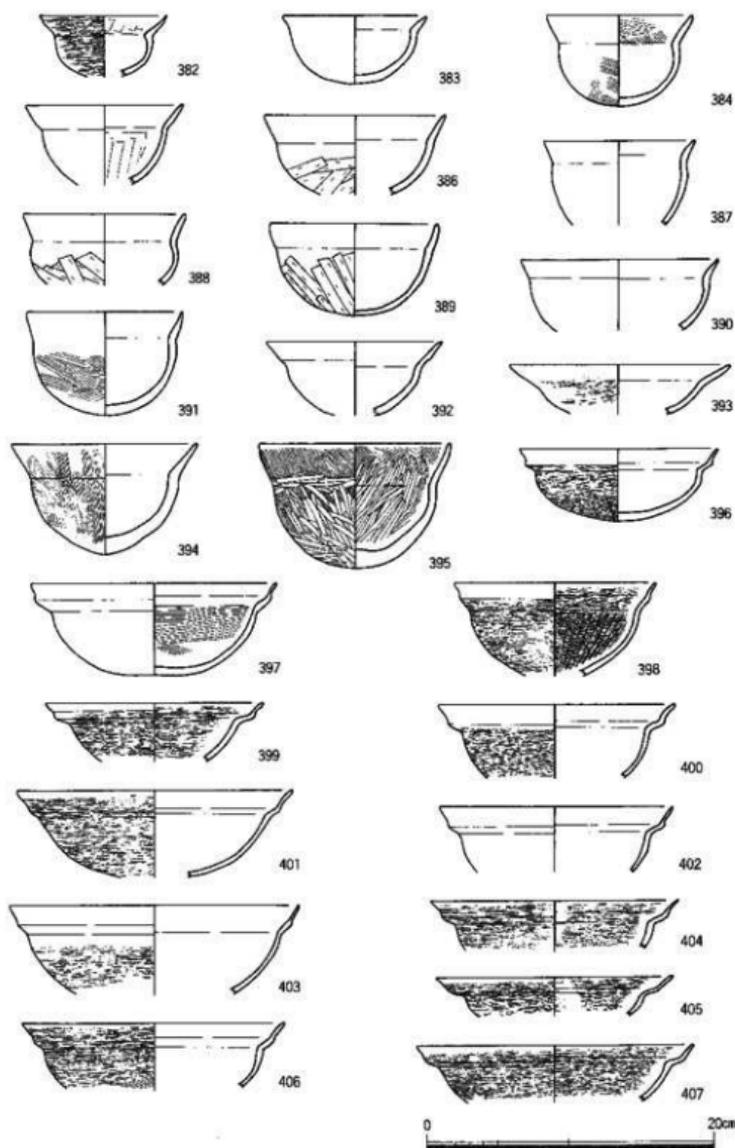
第79図 S D 1 出土遺物実測図21



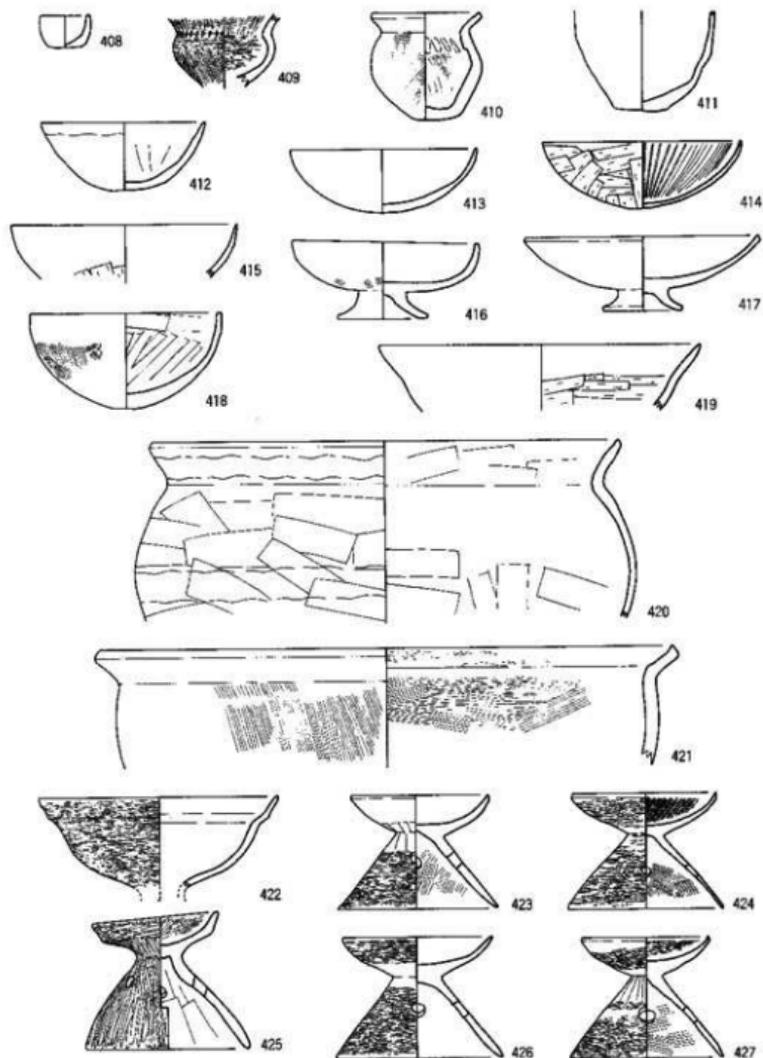
第80圖 S D 1 出土遺物実測圖22



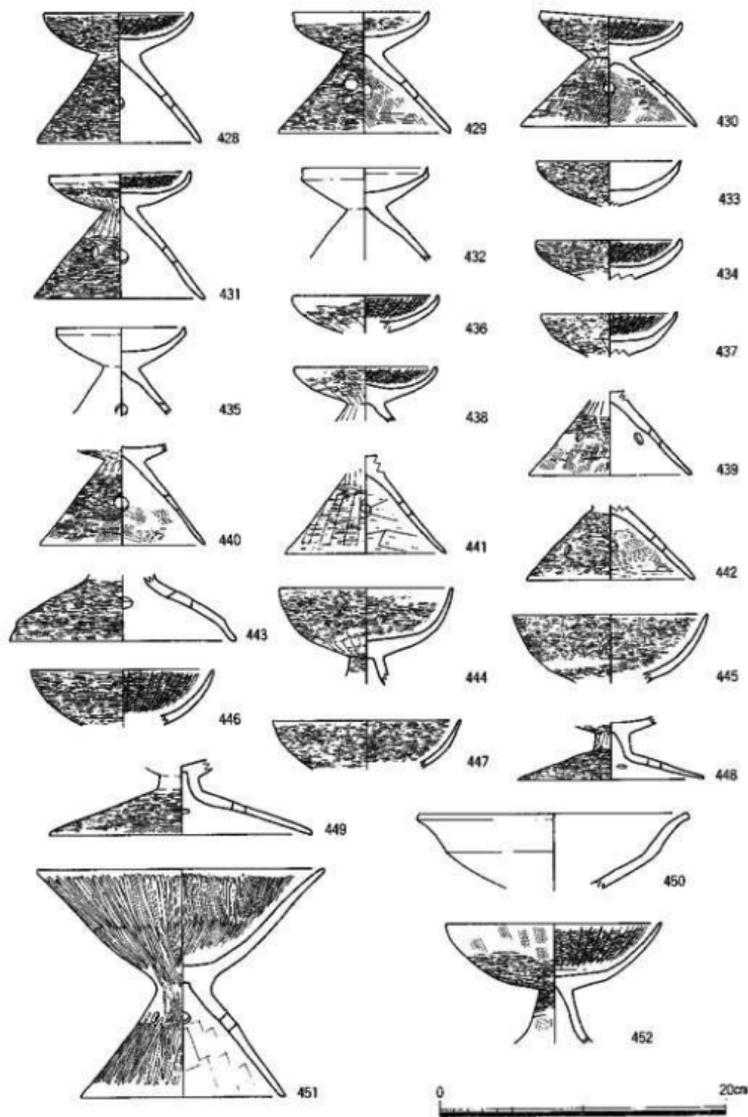
第81図 SD1出土遺物実測図23



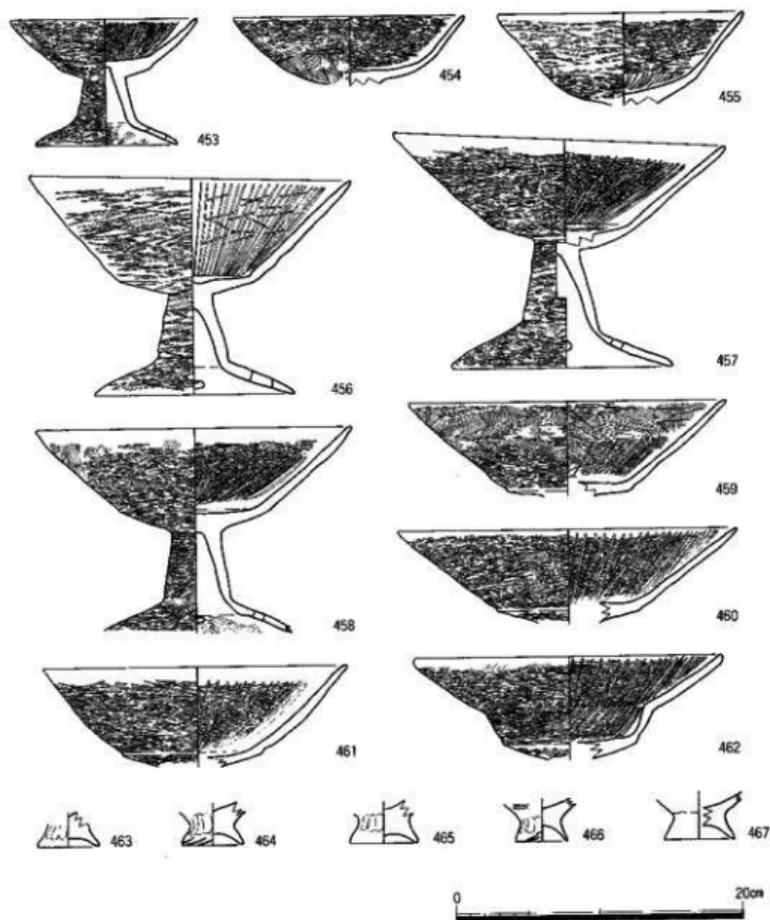
第82图 SD1出土遺物実測図24



第83图 S D I 出土遗物实测图25



第84图 S D 1 出土遗物实测图26



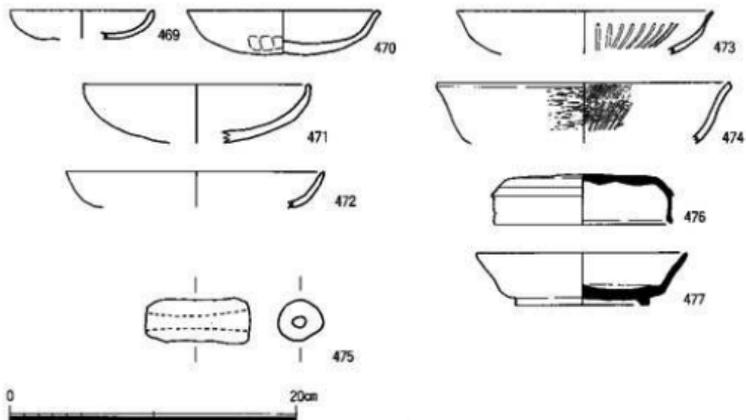
第85図 SD1出土遺物実測図27

SD2

GⅣ-d3区で検出した溝である。方向は南東-北面方向を示す。南東部は途中で切れ、北部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅23cm、深さ5cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は淡灰茶色粗砂混粘土である。遺物は出土していない。

河川1

GⅣ-d 3～d 5区で検出した自然河川である。南北・東部はともに調査区外に至る。規模は検出部で、東西幅約19mを測るが第5調査区の南部でこの河川跡の東側を検出している。これと合せると幅約25mを測り、方向が南北方向に流れをもつものと思われる。深さは40～70cmを測り、底面には起伏がみられる。堆積土は灰白色細砂・暗灰褐色粘土・灰色粗砂・黄灰色細砂・暗灰色粗砂混粘土・淡灰褐色細砂で砂層を基調として構成されている。この河川の下流部分は昭和57年度第1次調査のA-Ⅳ地区、昭和58年度第3次調査の22地区・25地区で検出している。遺物は、堆積土内から古墳時代～平安時代にかけての土師器・須恵器の小片が少量出土している。図示できたものは9点である。器種には古墳時代前期に比定される土釜(475)、古墳時代中期に比定される須恵器の杯蓋(476)、古墳時代後期に比定される須恵器の杯身(477)、奈良時代に比定される土師器の杯(471～474)、平安時代に比定される土師器の皿(469・470)がある(第86図)。



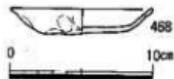
第86図 河川1出土遺物実測図

第2調査面

井戸(SE)

SE1

GⅣ-d 1区で検出した。昭和58年度第3次調査の28地区で検出したSE9の東部の部分にあたる井戸で、前回の調査では底部付近から井戸側と思われる曲物1段が検出されてい



第87図 SE1出土遺物実測図

るが、今回の調査では東部の掘形を検出した。規模は検出部で、東西1m、南北1.04m、深さ27cmを測る。堆積土は暗灰褐色細砂混粘土である。遺物は、掘形内から土師器の小片がごく少量出土している。器種には平安時代後期に比定される土師器の小皿（468）等がある（第87図）。

土坑（SK）

SK1

GN-d 3区で検出した土坑である。南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅約5m、深さ14～26cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面が南部へ行くに従い深くなっている。堆積土は暗茶褐色細砂混粘土である。遺物は、堆積土内から古墳時代～鎌倉時代にかけての土器の小片が少量出土している。器種には土師器・須恵器・瓦器類等がある。

小穴（SP）

SP1

GN-d 2区で検出した小穴である。平面は半円形を呈する。南部は調査区外に至る。規模は検出部で、東西1.1m、南北40cm、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘土である。遺物は出土していない。

SP2

GN-d 3区で検出した小穴である。平面はほぼ円形を呈する。規模は検出部で、径44～48cm、深さ11cmを測る。断面は逆凸形を呈し、下段の西寄りには平面円形を呈する柱痕（径16cm、深さ27cm）がある。堆積土は暗灰褐色細砂混粘土である。遺物は出土していない。

溝（SD）

SD3

GN-d 1区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。南部は調査区外に至る。規模は検出部で、検出長1.16m、幅46cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色シルト混粘土である。遺物は出土していない。

SD4

GN-d 1区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。規模は検出部で、幅30cm、深さ16cmを測る。断面は半円形を呈する。堆積土は暗灰褐色シルト混粘土である。遺物は出土していない。

第3調査面

SD5

GN-d 1区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。東西部はともに途中で切れ、中央部はSD6と合流する。規模は検出部で、全長1m、幅25cm、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SD6

GIⅣ-d 1区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。東西方向のSD5とSD8とは交差し、南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅33cm、深さ8cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SD7

GIⅣ-d 1区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。東西方向のSD8によって切られている。規模は検出部で、幅1.25m、深さ17cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質シルトである。遺物は、堆積土内から土師器の小片がごく少量出土している。

SD8

GIⅣ-d 1～d 2区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。南北方向のSD6と交差し、南北方向のSD7を切っている。南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅30cm、深さ7cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SD9

GIⅣ-d 2～d 3区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅20cm、深さ7cmを測る。断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

SD10

GIⅣ-d 5区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅25cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

第4調査面

SD11

GIⅣ-d 1～d 2区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。南北部はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅25～35cm、深さ7cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

SD12

GIⅣ-d 2～d 4区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。中間付近で屈曲している。東部はSD16と合流する。北東部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅60cm、深さ18cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

SD13

GIⅣ-d 2～d 3区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。東部はSD14・SD15と

合流する。西部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅40～60cm、深さ14cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂土である。遺物は出土していない。

SD14

GⅣ-d 3区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。北部はSD13・SD15と合流する。南部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅25～30cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

SD15

GⅣ-d 3区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。北部はSD13と合流する。南部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅1.2 m、深さ11cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

SD16

GⅣ-d 4区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。北部はSD12と合流する。南部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅80cm、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

SD17

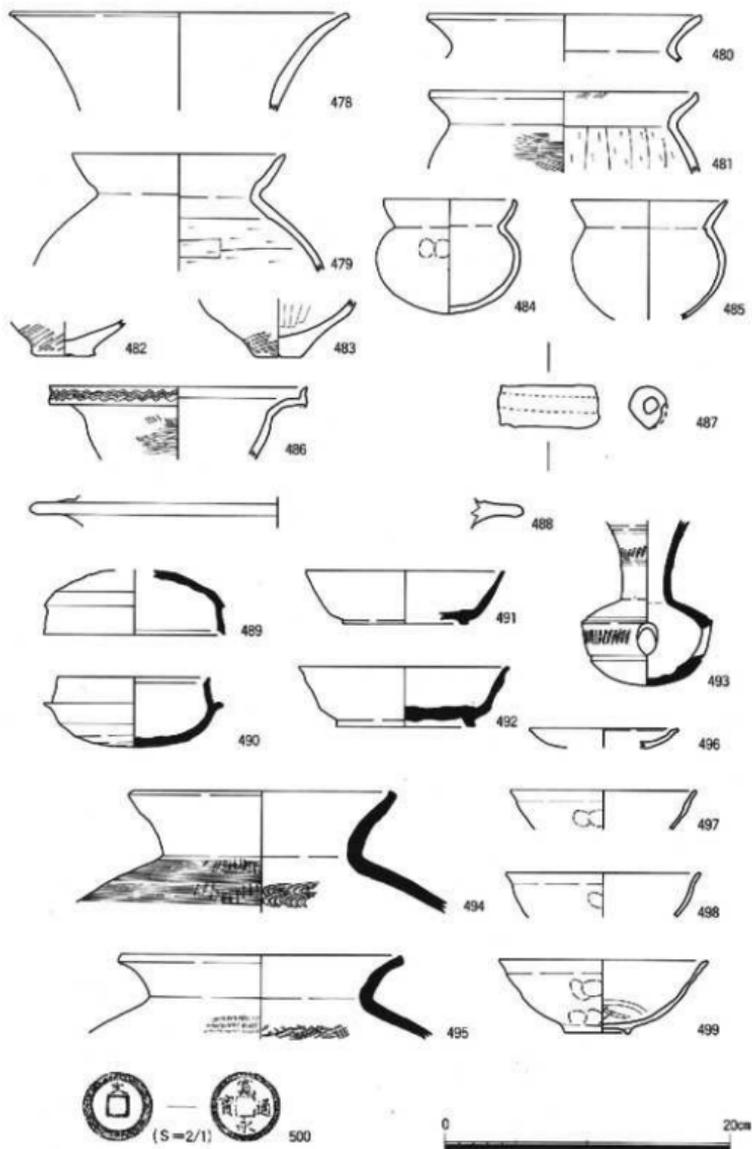
GⅣ-d 4区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。規模は検出部で、検出長1.5 m、幅30cm、深さ7 cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

SD18

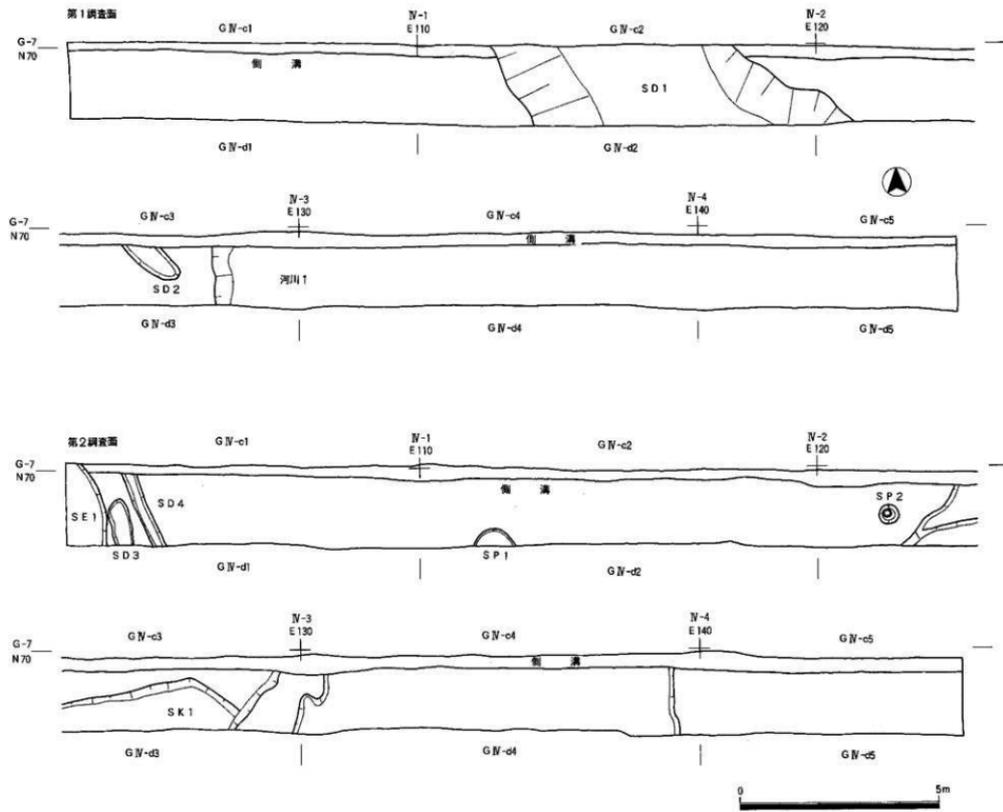
GⅣ-d 5区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅3.5 m、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

Ⅲ 遺構に伴わない出土遺物

遺物は第2層～第5層内に含まれているが、出土量の多かったのは第4層と第5層である。出土量はコンテナ箱にして約2箱分を数える。第5層内から出土した遺物は古墳時代前期～中期に比定される土器片である。器種には古墳時代前期(Ⅱ内式新相～布留式)に比定される壺(478)・布留式甕(479～481)・第Ⅴ様式系甕(482・483)・小型丸底壺(484・485)・鉢(486)・上鉢(487)、古墳時代中期に比定される須恵器の杯蓋(489)・杯身(490)、古墳時代後期に比定される羽釜(488)・須恵器の杯身(491・492)・甕(493)・甕(494・495)。第4層内からは平安時代後期～鎌倉時代に比定される遺物が出土している。器種には平安時代後期に比定される小皿(496)、鎌倉時代初頭に比定される瓦器碗(497～499)がある。第2層内からは江戸時代に比定される寛永通寶1点(500)が出土している(第88図)。



第88图 包含层出土物实测图



第89図 第1・2調査面遺構平面図

第8節 第8調査区

第7調査区から西側へ約90～130 mに設定した南北に長い調査区（長さ23m）で、昭和58年度第3次調査の28地区の南部にあたる。調査面積は約58m²である。

I 基本層序

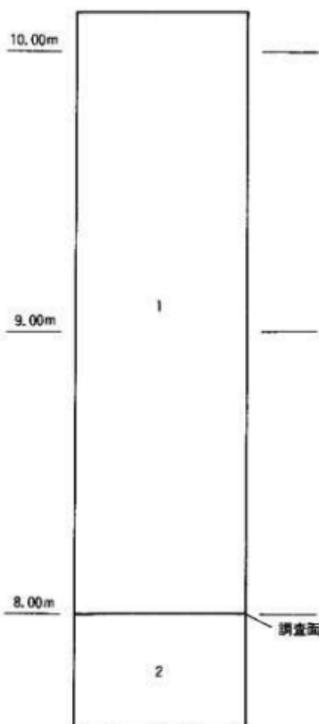
当調査区で普遍的にみられる2層を基本層序とした。現地表面は標高10.1m前後を測る。

第1層盛土：210cm。この土層は昭和50年にグラウンドの造成により整地された土層である。

第2層淡灰茶色礫混細砂：層厚40cm以上：この土層は昭和57年度第1次調査と昭和58年度第3次調査で検出した自然河川（河川1）の堆積土である。この土層の上部は整地（第1層）によって削平されている。

II 検出遺構・出土遺物

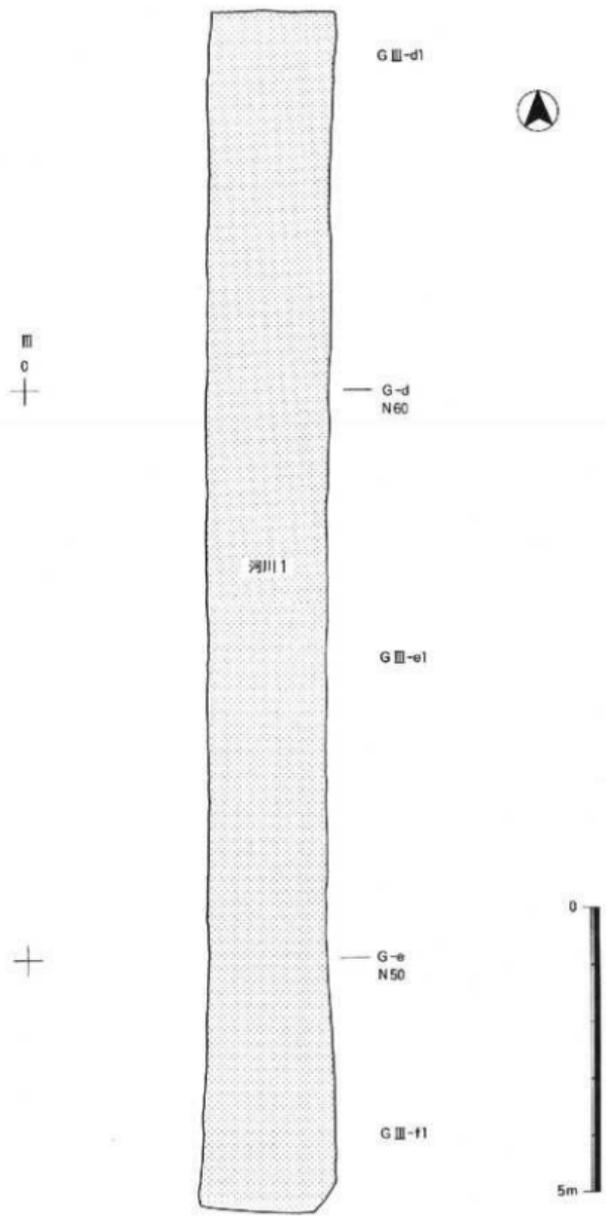
今回の調査では自然河川内に調査区を設定したかたちとなった。自然河川には砂層を基調する土層が堆積している。内部からは弥生時代後期～古墳時代前期にかけての遺物がごく少量出土している。器種には壺・第V様式系甕・庄内式甕（1・2）などがある（第92図）。



第91図 基本層序柱状図（S=1/20）



第92図 河川1 出土遺物実測図



第93図 遺構平面図

第9節 第9調査区

第7調査区の中央部から南側に設定した南北に長い調査区（長さ約32m）である。調査面積は約64㎡である。

I 基本層序

当調査区で普遍的にみられる6層を基本層序とした。現地表面は標高9.3m前後を測る。

第1層盛土：層厚20～30cm。調査前まで耕されていた土層で、近年に盛土している。

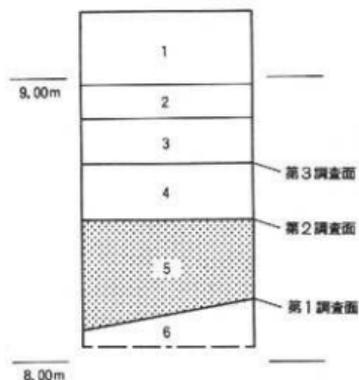
第2層旧耕土：層厚10～40cm。この土層は、盛土される前までの耕作土である。

第3層灰茶色粘質土：層厚20～30cm。この土層内から近世の遺物が出土している。

第4層明黄褐色砂質土：層厚10～30cm。この土層は、当調査区のGⅣ-c3区中央から北側に堆積する土層である。この上面から鎌倉時代以降の遺構が切り込まれている。

第5層暗茶灰色～黄褐色粘質土：層厚15～40cm。この土層内から古墳時代に比定される遺物が出土している。この上面では平安時代後期～鎌倉時代に比定される遺構が切り込まれている。標高は8.5mを測る。

第6層灰茶褐色粘土：層厚30cm以上。この土層は弥生時代後期から古墳時代中期にかけての遺構が切り込まれている。上面は標高8.1～8.2mを測り、南が高く、北へ行くに従って低くなっている。



第94図 基本層序柱状図 (S=1/20)

II 検出遺構・出土遺物

当調査区では、第4層上面（第3調査面）、第5層上面（第2調査面）、第6層上面（第1調査面）の3面を調査面とした。その結果、第1調査面では、弥生時代後期～古墳時代前期に比定される溝4条（SD1～SD4）と、古墳時代中期に比定される小穴13個（SP1～SP13）を検出した。第2調査面では、平安時代後期～鎌倉時代に比定される井戸1基（SE1）・土坑10基（SK1～SK10）・小穴20個（SP14～SP33）・溝18条（SD5～SD22）を検出した。第3調査面では、室町時代～江戸時代に比定される溝3条（SD23～SD25）を検出した。

第1調査面

小穴 (SP)

GⅣ-d 3～f 3区で小穴13個を検出した。平面の形状には楕円形のもの(8個)、円形のもの(5個)がある。特にGⅣ-d 3区に集中して検出している。規模には、径46～90cmを測る大きい小穴(SP 3・SP 7・SP 10)と、他の小穴は径20～42cmを測る小さいものがある。深さは大小の区別なく10～22cmを測る。断面は逆台形及び逆凸形を呈する。SP 3には径16cmを測る平面円形の柱痕がみられる。堆積土は暗灰褐色砂混粘質土である。遺物は、小穴内から土師器の小片がごく少量出土している。

なお、個々の小穴の法量・形状等は第8表に記した。

第8表 第1調査面小穴(SP)一覧表

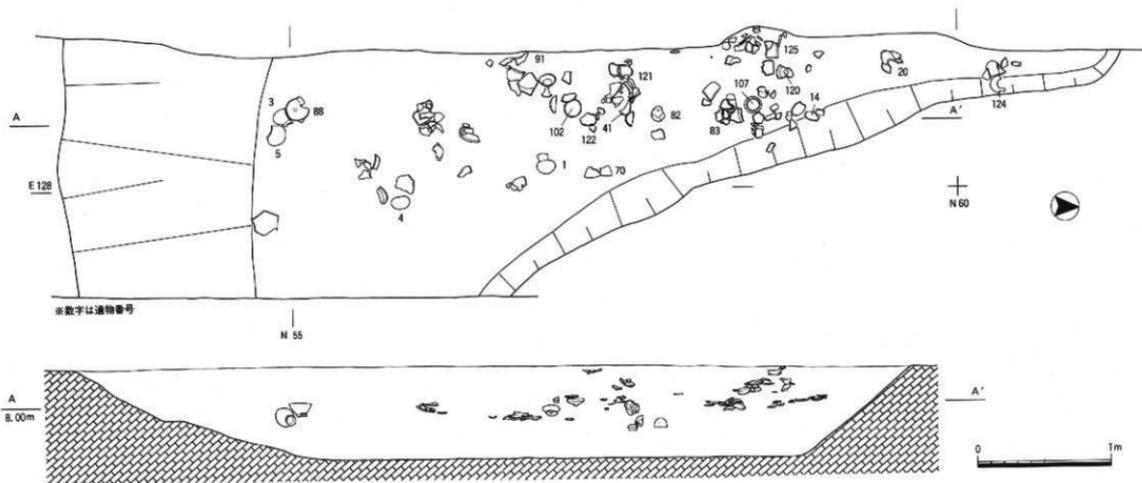
※ 単位: cm

遺構番号	地 区	平面形	断面形	径	深さ	堆 積 土	備 考
SP 1	GⅣ-d 3	円 形	逆台形	36～38	14	暗灰褐色砂混粘質土	
SP 2	GⅣ-d 3	円 形	逆台形	26	16	暗灰褐色砂混粘質土	
SP 3	GⅣ-d 3	楕円形	逆凸形	58～90	15	暗灰褐色砂混粘質土	径16cmの柱痕跡有り。
SP 4	GⅣ-d 3	円 形	逆台形	38～42	11	暗灰褐色砂混粘質土	
SP 5	GⅣ-d 3	円 形	逆台形	24	10	暗灰褐色砂混粘質土	
SP 6	GⅣ-d 3	円 形	逆台形	32	22	暗灰褐色砂混粘質土	
SP 7	GⅣ-d 3	楕円形	逆台形	46～58	12	暗灰褐色砂混粘質土	
SP 8	GⅣ-d 3	円 形	逆台形	20～22	11	暗灰褐色砂混粘質土	
SP 9	GⅣ-d 3	楕円形	逆台形	30～72	13	暗灰褐色砂混粘質土	
SP 10	GⅣ-d 3	楕円形	逆台形	34～50	10	暗灰褐色砂混粘質土	
SP 11	GⅣ-e 3	楕円形	逆台形	30～42	11	暗灰褐色砂混粘質土	
SP 12	GⅣ-e 3	楕円形	逆台形	24～32	24	暗灰褐色砂混粘質土	
SP 13	GⅣ-f 3	楕円形	逆台形	26～38	17	暗灰褐色砂混粘質土	

溝 (SD)

SD 1

GⅣ-d 3～e 3地区で検出した溝である。東西部はともに調査区外に至る。規模は検出部で南北幅約3.2～7.8m、深さ70cmを測り、第7調査区で検出したSD 1に続くものと考えられる。断面は逆台形を呈する。堆積土は、上方から第1層淡灰茶色粗砂混粘土・第2層灰色粗砂混粘土・第3層灰色微砂混粘土・第4層暗灰色粘土・第5層黄茶褐色粘土・第6層明茶灰色粗砂混粘土・第7層灰色シルト混粘土・第8層灰色シルト微砂混粘土・第9層明灰色粗砂混粘土で構成されている。堆積状況は断面観察及び出土遺物からみると二次堆積がみられ、A層(第



第95図 SD1 検出遺物平面図

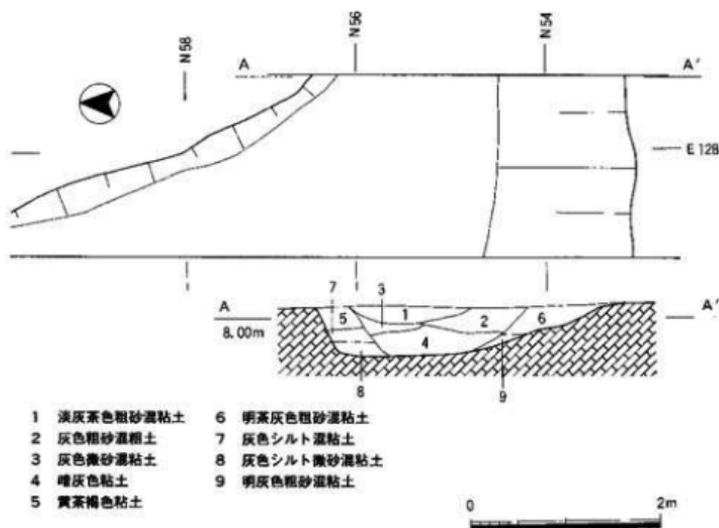
1層～第3層)とB層(第4層～第9層)に分けることができる。A層内では古墳時代前期～中期に比定される土器(土師器・須恵器)の破片が中心として出土した。B層内では古墳時代前期(庄内式新相～布留式新相)に比定される土器の破片が出土した。しかし、A層内には古墳時代前期の遺物が多く含まれていた。古墳時代前期に比定される遺物には壺(1～22)・庄内式甕(23～48)・布留式甕(49・50・53～55)・第V様式系甕(51・52)・吉備系(56・57)・小型丸底壺(73～78)・鉢(79～82・84・85)・器台(86～88)がある。古墳時代中期に比定される遺物には土師器の甕(58～71)・平底鉢(83)・高杯(89～99)・甌(100)・壺(101)・韓式系土器(72)・須恵器の杯蓋(102～106)・杯身(107～118)・高杯(119～112)・甕(123・124)がある(第95～第103図)。

SD2

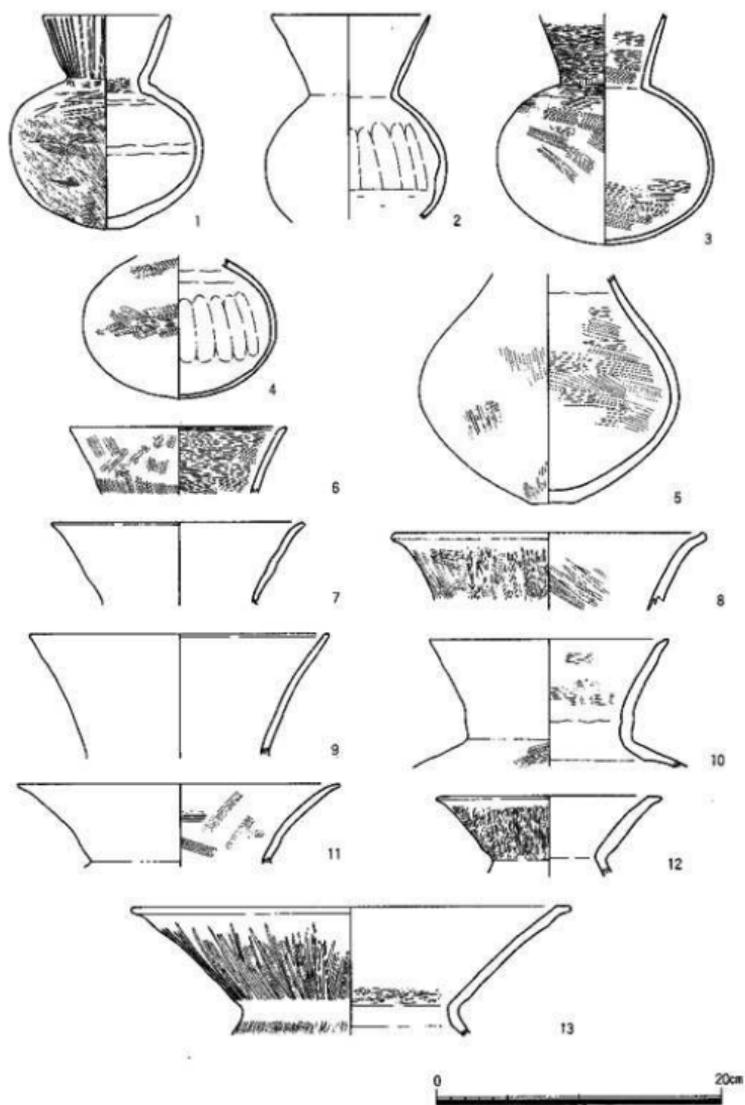
GⅣ-f 3区で検出した。方向は東西方向を示すと考えられるが、東西は調査区外に至り、南部はSD3によって切られている。規模は検出部で、幅2.7m以上、深さ16cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積上は暗灰褐色粘質シルトである。遺物は、堆積土内から土器の小片を少量出土している。器種は古墳時代前期に比定される壺・庄内式甕などがみられる。

SD3

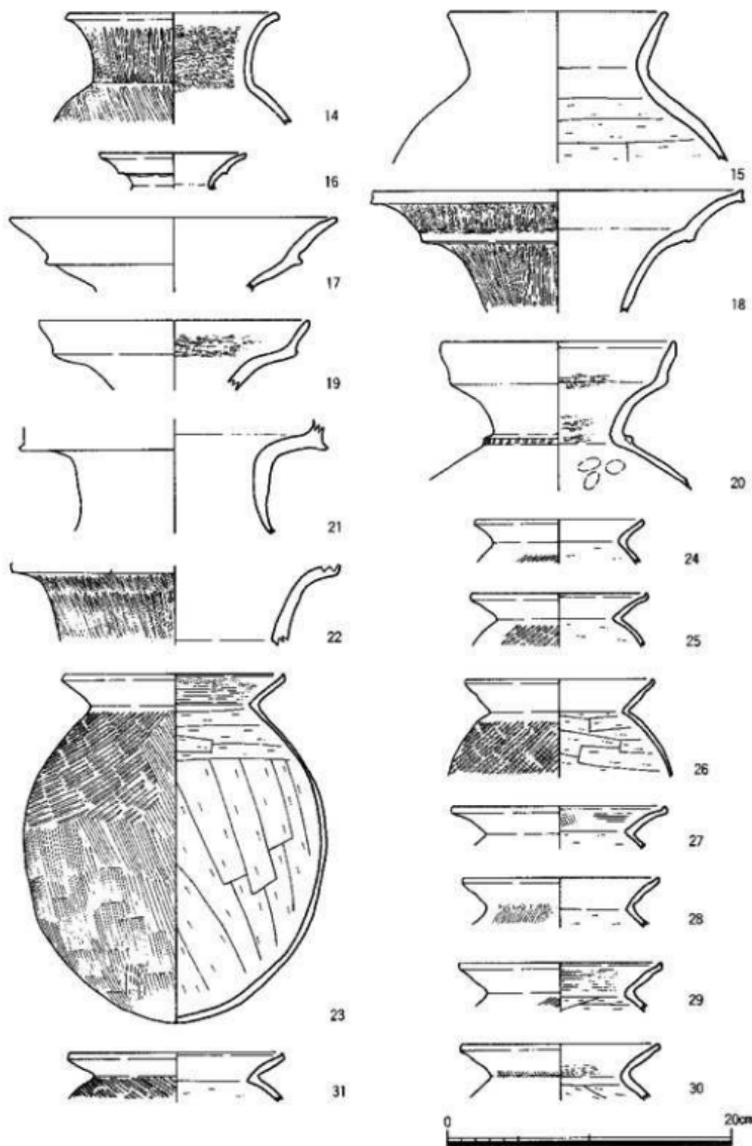
GⅣ-f 3地区で検出した。北部はSD2を切り、東西部は共に調査区外に至る遺構である。規模は検出部で東西2m、南北3.8m、深さ34cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面には起伏



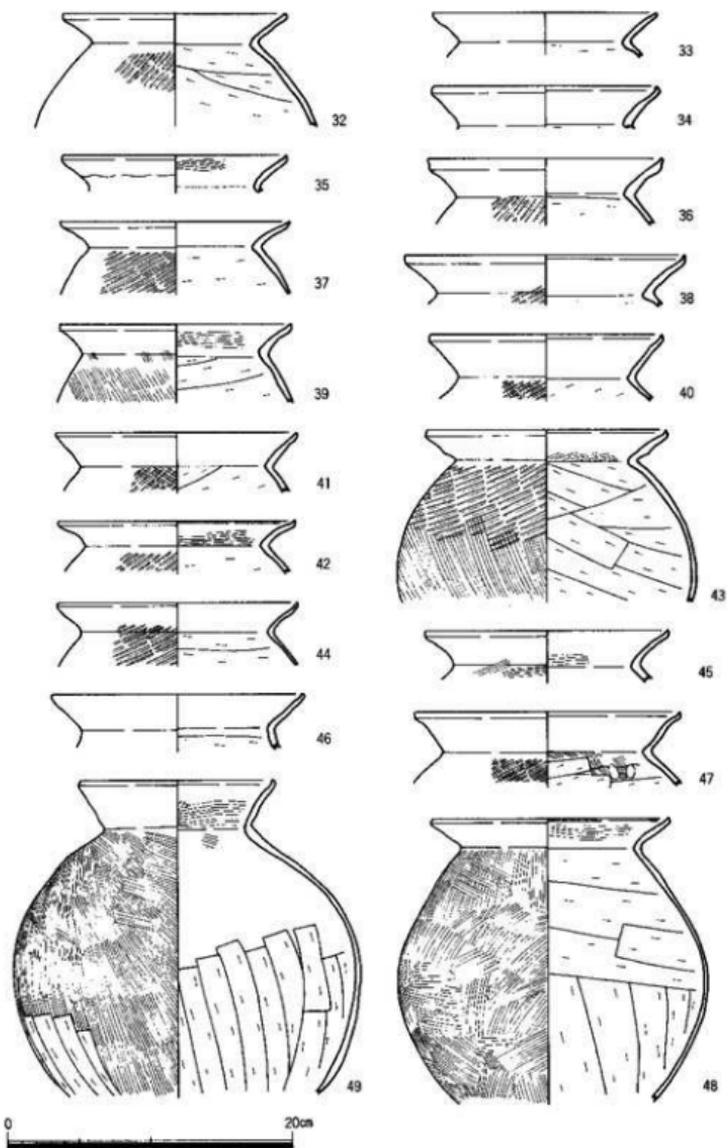
第96図 SD1 平面断面図



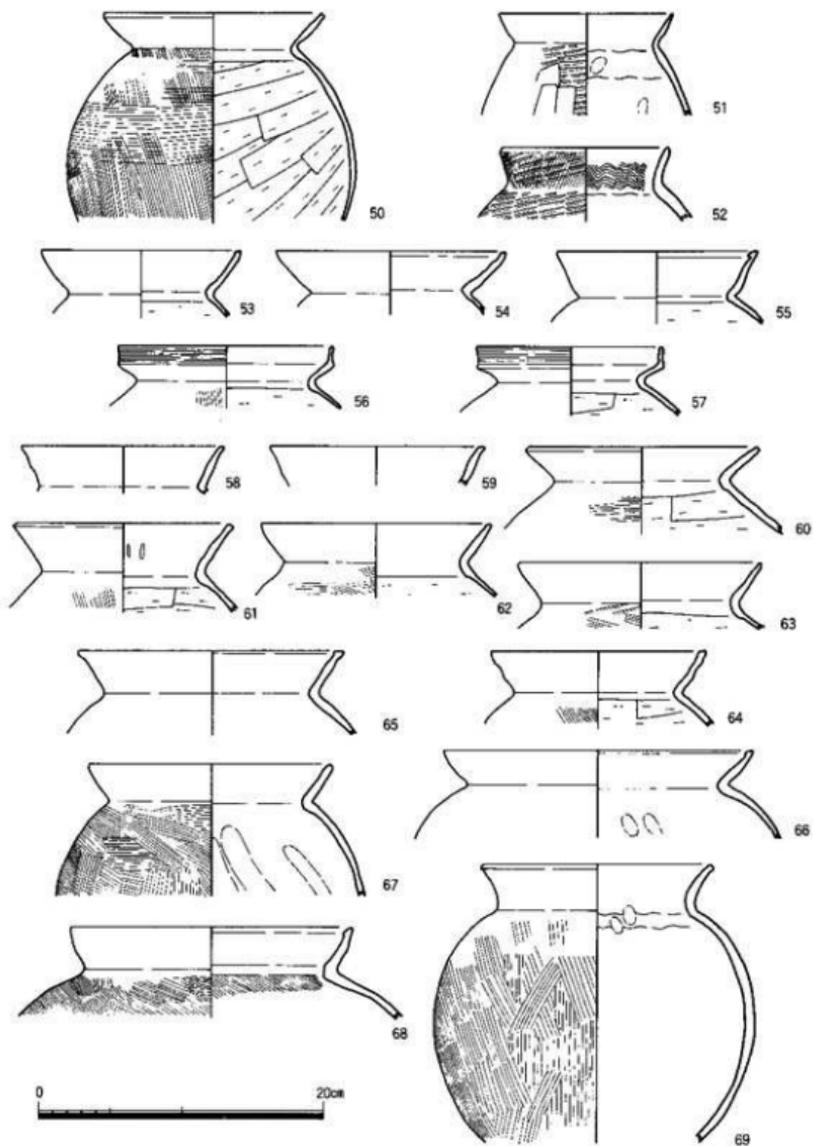
第97图 SD1出土遗物实测图1



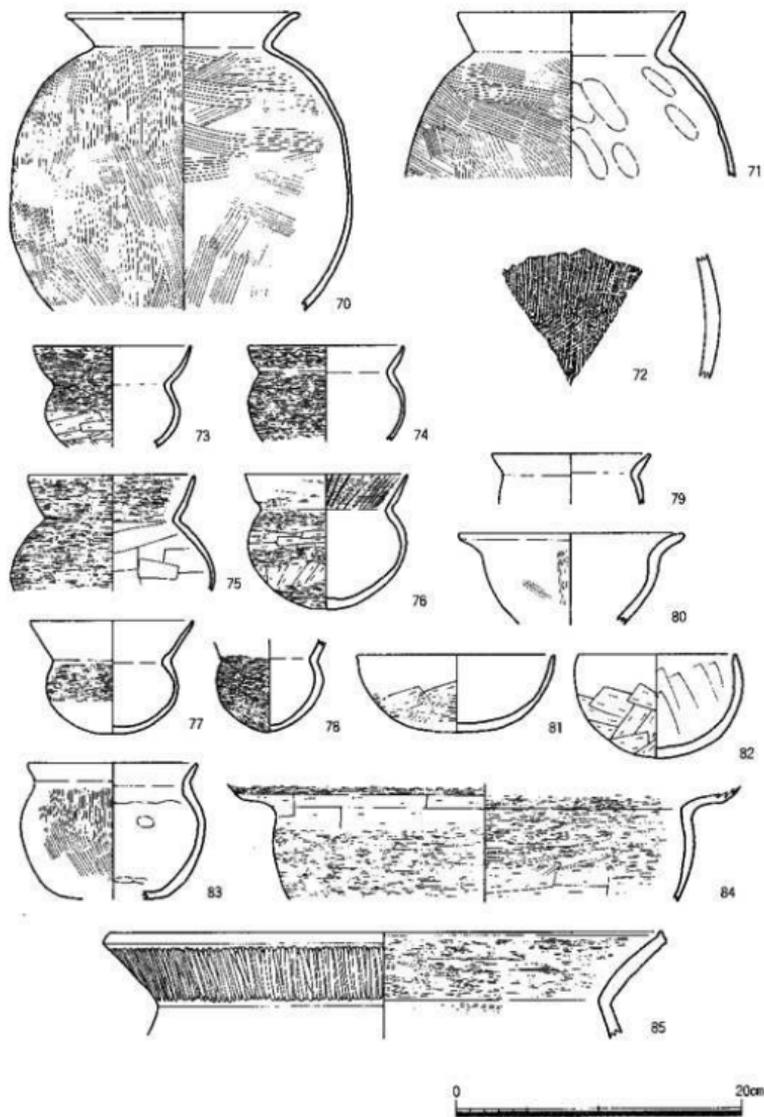
第98图 SD1出土遗物实测图2



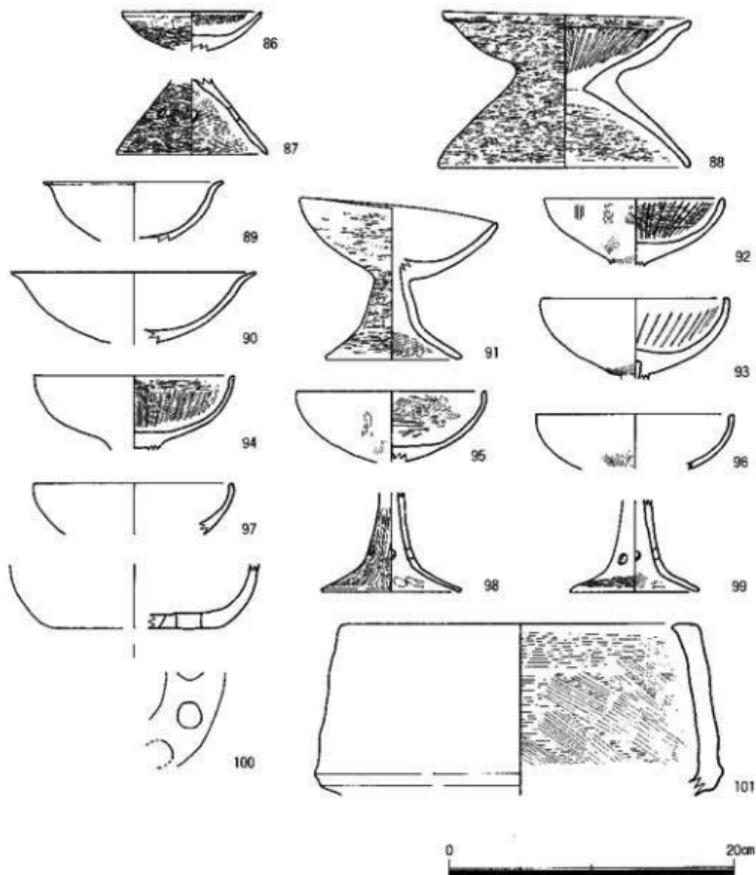
第99图 SD1出土物实测图3



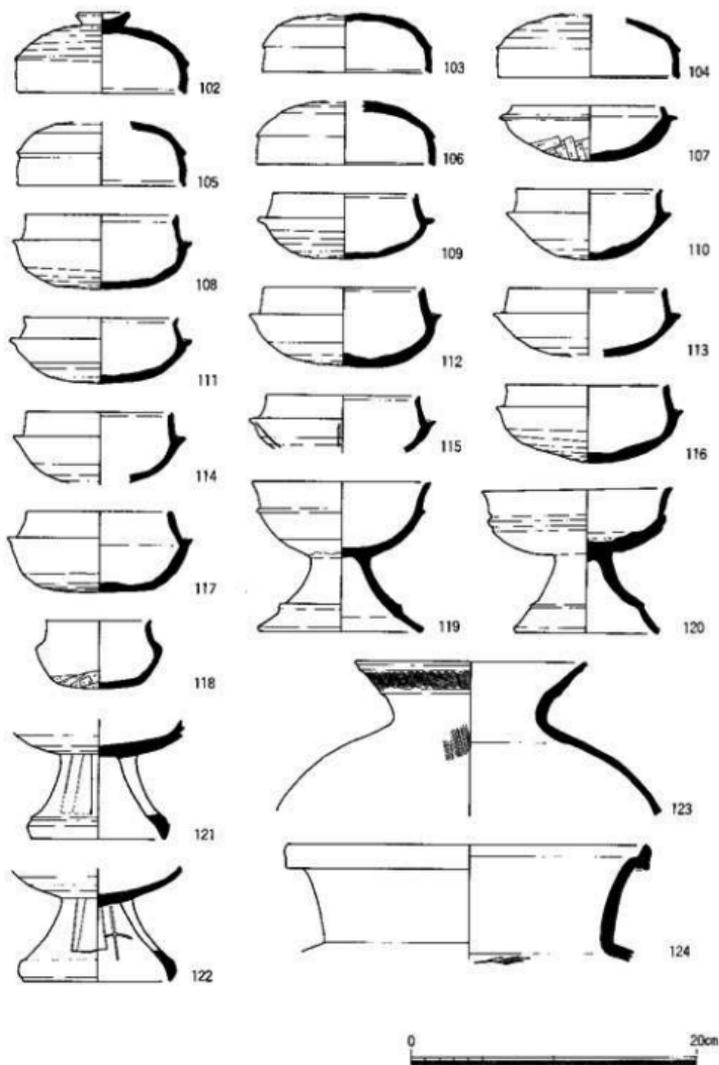
第100図 SD1出土遺物実測図4



第101图 S D 1 出土遺物実測図5



第102图 SD1出土遗物实测图6

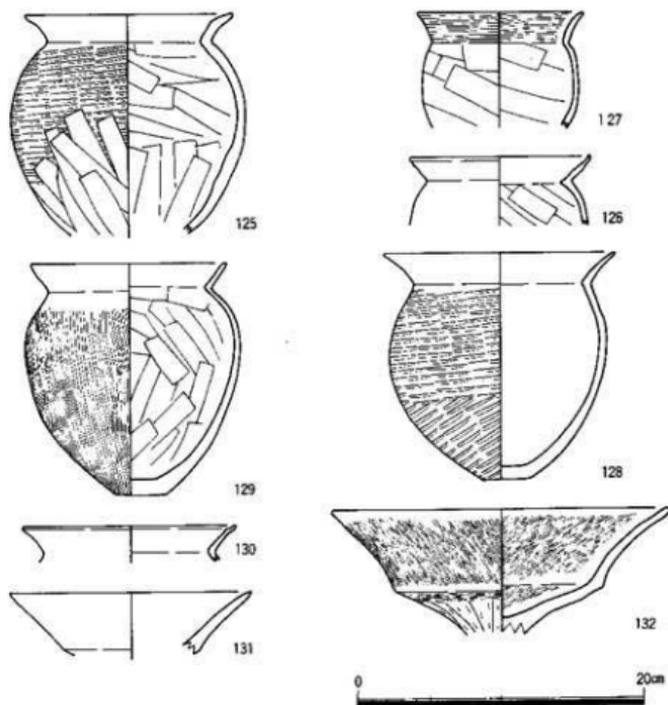


第103图 S D 1 出土遗物实测图

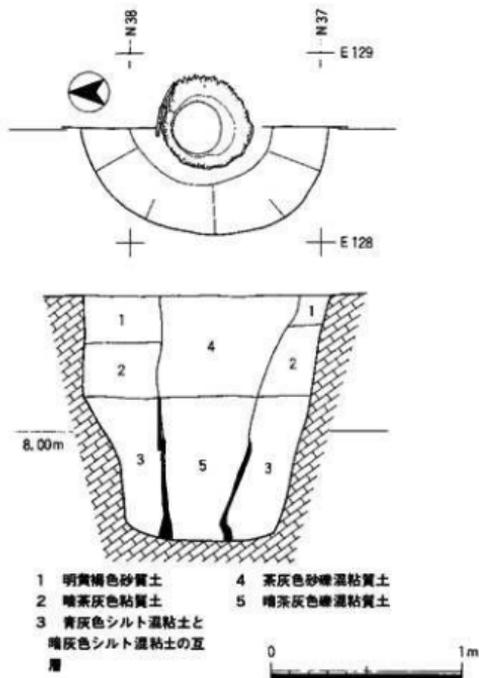
がみられる。堆積土は茶灰褐色粘土（ごく少量の砂礫を含む）・茶褐色粘質土の2層に分かれる。遺物は、堆積土内から土師器の小片がごく少量出土している。

SD4

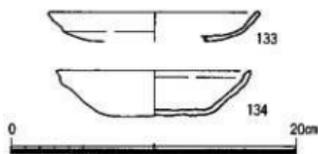
G IV-g 3 地区で検出した。南西部は調査区外に至る。規模は検出部で、東西1.26m、南北1.25m、深さ64cmを測る。平断面の形状は不明であるが、北側斜面は約30°の角度で南側へ低くなっている。堆積土は暗灰茶色砂混粘土・黒灰色土（炭・灰を含む）・暗青灰色粘土である。遺物は、堆積土内から弥生時代後期に比定される土器の破片が少量出土している。器種には第V様式系甕（125～128）甕（129・131）・高杯（131・132）などがある（第104図）。



第104図 SD4出土遺物実測図



第105図 SE1 平断面図



第106図 SE1 出土遺物実測図

第2調査面

井戸 (SE)

SE1

G IV-g 3区で検出した板材とくりぬき材を組合わせた井戸側を備えた井戸である。東部は調査区外に至り、全容は不明である。掘形は東西1.29m、南北0.96m、深さ1.31mを測る。断面は逆台形を呈する。井戸側は掘形の検出面より約60cm下位で検出した。平面は円形を呈する。規模は検出部で、上端部径50cm、下端部径40cm、高さ80cmを測り、井戸側は上下に分かれる。上位は長さ30cm、幅12cm、厚み1.3cm、板材を立てて並べる。下位は上端部で径48cm、下端部で径40cm、厚み2~8cmを測るくりぬかれた臼形と組合わけて井戸側としている。この井戸側の下位の部分は丸木をくりぬいたもので、下部より上に約15cmのところは径(34cm)を小さくして削り取っている。下部は厚み(8cm)を付けている。また、この井戸側の内面は丁寧な削り跡がみられ、この削り面には漆状のものが塗ってある。堆積上

は掘形が第1層明黄褐色砂質土・第2層暗茶灰色粘質土・第3層青灰色シルト混粘土と暗灰色シルト混粘土の互層で、井戸側内が第4層茶灰色砂礫混粘質土・第5層暗茶灰色礫混粘質土である。遺物は、第5層内から土師質皿(133・134)の小片が少量出土している。掘形内からは摩滅した土師器の小片がごく少量出土している。時期は平安時代後期から末期であろう(第105図・第106図)。

土坑 (SK)

SK 1

GN-d 3区で検出した土坑である。東部は調査区外に至る。平面は南北方向に長い方形を呈する。規模は検出部で、東西0.8m、南北2.5m、深さ9cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰褐色粘土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

SK 2

GN-e 3区で検出した土坑である。平面は楕円形を呈し、西側はSP22によって切られている。規模は検出部で、東西94cm以上、南北52cm、深さ9cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰褐色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

SK 3

GN-e 3区で検出した土坑である。平面は不定形を呈する。西側はSP23によって切られている。規模は検出部で、東西0.54m、南北1.24m、深さ9cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰褐色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

SK 4

GN-e 3区で検出した土坑である。平面は不定形を呈する。東部はSP24によって切られ、SK5を切っている。西部は調査区外に至る。規模は検出部で、東西0.7m、南北1.56m、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面に緩やかな起伏がみられる。堆積土は茶灰褐色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

SK 5

GN-e 3区で検出した土坑である。平面は不定形を呈する。西部はSK4・SP24に切られている。東部は調査区外に至る。規模は検出部で、東西52cm、南北54cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

SK 6

GN-e 3区で検出した土坑である。平面は不定形を呈し、南部はSK7に切られ、東部は調査区外に至る。規模は検出部で、東西0.9m、南北1.8m、深さ9cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰褐色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土した。

SK 7

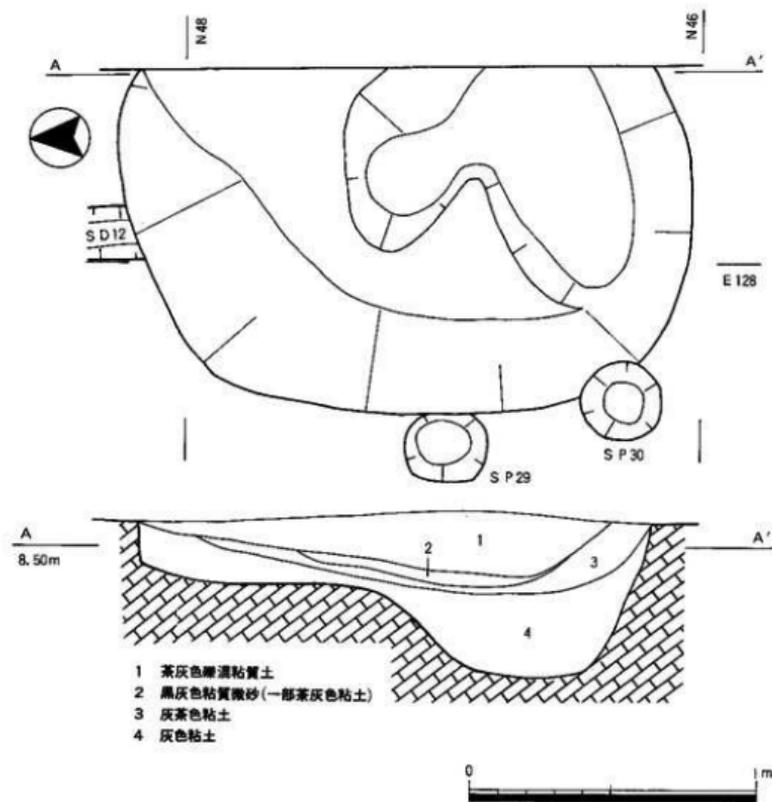
GN-e 3区で検出した土坑である。平面は不定形を呈する。SD11に切られ、規模は検出部で、東西1.72m、南北1.9m、深さ6cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面には緩やかな起伏がみられる。堆積土は茶灰褐色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

SK 8

G IV-f 3区で検出した土坑である。検出面ではSD12・SP29を切り、SP30に切られる。東部は調査区外に至る。平面は検出部で半円形を呈する。規模は検出部で、東西1.2m、南北2.06m、深さ0.72mを測る。断面は逆台形を呈し、底面は南側に深くなっている部分が見られる。堆積土は、上方から第1層茶灰色礫混粘質土・第2層黒灰色粘質微砂（一部茶灰色粘土）第3層灰茶色粘土・第4層灰色粘土で構成されている（107図）。遺物は、第2層から平安時代後期に比定される土器の小片が出土している。器種には土師質皿（135～146）、瓦器の小皿（147～149）・椀（150～157）がある（第108図）。

SK 9

G IV-f 3区で検出した土坑である。平面は不定形を呈する。西部は調査区外に至る。

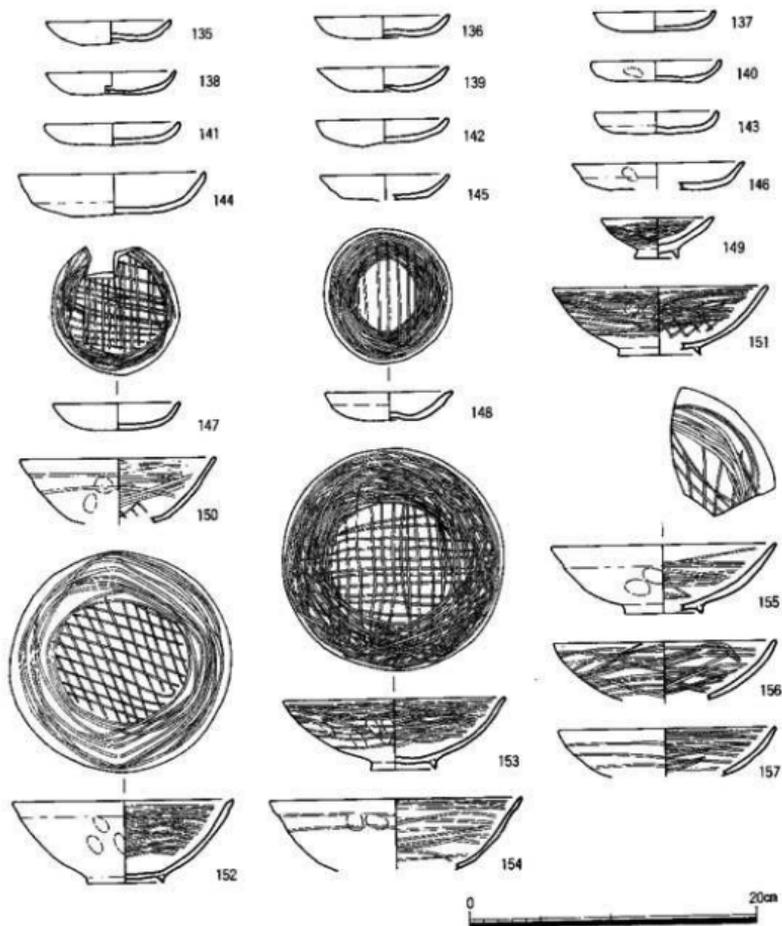


第107図 SK 8 断面図

規模は検出部で、東西0.18~1.3 m、南北1.14m、深さ6cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰褐色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

S K 10

GⅣ-a 3区の南西隅で検出した土坑である。西部・南部はともに調査区外に至り、全容は不明である。規模は検出部で、東西1.6m、南北1.96m、深さ22cmを測る。堆積土は灰茶褐色粘土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。



第108図 SK 8 出土遺物実測図

小穴 (SP)

SP14~SP33

小穴は20個を数える。検出した小穴には調査区外に至るものもある。平面の形状には方形のもの2個 (SP25・SP27)、円形のもの12個 (SP15・SP18・SP19・SP21~SP24・SP28~SP31・SP33)、楕円形のもの6個 (SP14・SP16・SP17・SP20・SP26・SP32) がある。規模は検出部で、径15~60cm、深さ10~30cmを測る。断面の形状には逆台形のもの (SP14~SP18・SP20・SP22~SP25・SP28~SP33)、逆凸形のもの (SP19・SP21・SP26・SP27) がある。また、小穴SP19内には径6~12cmの柱痕がみられる。小穴内堆積土はほとんどが1層 (暗茶褐色砂混粘質土) である。小穴には建物跡に伴う柱穴と考えられるものもあるが、限られた調査区である為、規則性のある配列をもつものは見出せなかった。



第109図 SP16出土遺物実測図

遺物は、小穴の堆積土内から遺物の小片が少量出土しただけであり、時期を決定づけるものはSP16内都から出土した瓦器の腕1点 (158) だけである (第109図)。他の小穴は層位や周辺の検出遺構で判断すると平安時代後期から鎌倉時代初頭ごろであろう。なお、個々の小穴の法量・形状などについては第9表に記した。

第9表 第2調査面小穴 (SP) 一覧表

※ 単位: cm

遺構番号	地区	平面形状	断面形状	径	深さ	堆積土	備考
SP14	GN-d3	楕円形	逆台形	38~58	9	暗茶褐色砂混粘質土	
SP15	GN-d3	円形	逆台形	26~28	10	暗茶褐色砂混粘質土	
SP16	GN-d3	楕円形	逆台形	36~60	8	暗茶褐色砂混粘質土	
SP17	GN-d3	楕円形	逆台形	46~56	7	暗茶褐色砂混粘質土	
SP18	GN-d3	円形	逆台形	28~30	8	暗茶褐色砂混粘質土	
SP19	GN-d3	円形	逆凸形	16~20	14	暗茶褐色砂混粘質土	径6~12柱痕有り
SP20	GN-d3	楕円形	逆台形	50~62	12	暗茶褐色砂混粘質土	
SP21	GN-d3	円形	逆凸形	28~32	32	暗茶褐色砂混粘質土	
SP22	GN-e3	円形	逆台形	38	17	暗茶褐色砂混粘質土	
SP23	GN-e3	円形	逆台形	28	24	暗茶褐色砂混粘質土	
SP24	GN-e3	円形	逆台形	26	16	暗茶褐色砂混粘質土	
SP25	GN-e3	方形	逆台形	28~34	16	暗茶褐色砂混粘質土	
SP26	GN-e3	楕円形	逆凸形	20~50	16	暗茶褐色砂混粘質土	
SP27	GN-f3	方形	逆凸形	24~38	37	暗茶褐色砂混粘質土	
SP28	GN-f3	円形	逆台形	22	8	暗茶褐色砂混粘質土	
SP29	GN-f3	円形	逆台形	26~28	9	暗茶褐色砂混粘質土	
SP30	GN-f3	円形	逆台形	28	10	暗茶褐色砂混粘質土	
SP31	GN-f3	円形	逆台形	26	9	暗茶褐色砂混粘質土	
SP32	GN-f3	楕円形	逆台形	46~68	12	暗茶褐色砂混粘質土	
SP33	GN-g3	円形	逆台形	32	10	暗茶褐色砂混粘質土	

溝(SD)

SD5

GN-d3区で検出した。方向は東西方向を示す。東西は調査区外に至り、SP15を切る。規模は検出部で、幅26cm、深さ9cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD6

GN-d3区で検出した。方向はほぼ南北方向を示し、SD8・SD9と合流する。SP19・SP20と切り合う。規模は検出部で、幅60cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD7

GN-d3区で検出した。方向は南北方向を示し、北はSP19に切られ、南はSD9と合流する。規模は検出部で、幅44cm、深さ11cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD8

GN-d3区で検出した。方向は東西方向を示す。東はSD6と合流し、西は調査区外に至る。規模は検出部で、幅30cm、深さ8cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD9

GN-d3区で検出した。方向は東西方向を示す。東西は調査区外に至り、SD6・SD7と合流する。規模は検出部で、幅60cm、深さ7cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD10

GN-e3区で検出した。方向は東西方向を示し、SK5と切り合う。規模は検出部で、幅18cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD11

GN-e3区で検出した。方向は東西方向を示す。SK7を切り、東西は調査区外に至る。規模は検出部で、幅30cm、深さ7cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD12

GN-f3区で検出した。方向は南北方向を示し、SK8に切られる。規模は検出部で、幅20cm、深さ4cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土

していない。

SD13

GN-f 3区で検出した。方向は東西方向を示す。東西は調査区外に至る。規模は検出部で、幅18cm、深さ4cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD14

GN-f 3区で検出した。方向は東西方向を示す。SD20・SD21と合流し、東西は調査区外に至る。規模は検出部で、幅74cm、深さ5cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD15

GN-f 3区で検出した。方向は東西方向を示す。SD20・SD21と合流し、東西は調査区外に至る。規模は検出部で、幅18～42cm、深さ6cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD16

GN-f 3区で検出した。方向は東西方向を示す。SD20と合流し、東西は調査区外に至る。規模は検出部で、幅30cm、深さ5cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD17

GN-f 3区で検出した。方向は東西方向を示す。SD20・SD22と合流する。規模は検出部で、幅30cm、深さ6cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD18

GN-g 3区で検出した。方向は東西方向を示し、東が一部広がっている。SD20と合流する。規模は検出部で、最大幅170cm、最小幅55cm、深さ4cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD19

GN-g 3区で検出した。方向は東西方向を示す。SD20・SD22と合流する。規模は検出部で、幅22cm、深さ5cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD20

GN-g 3区で検出した。方向は南北方向を示す。SD14～SD19と合流し、SK10に切られる。規模は検出部で、幅26cm、深さ6cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色

粘質土である。遺物は出土していない。

S D21

GⅣ-f 3区で検出した。方向は南北方向を示す。S D14・S D15と合流する。規模は検出部で、幅10cm、深さ5cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

S D22

GⅣ-f 3～g 3区で検出した。方向は南北方向を示す。S D18と合流する。規模は検出部で、幅16cm、深さ5cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

第3調査面

溝(S D)

S D23

GⅣ-d 3～f 3区で検出した。方向はほぼ南北方向を示す。規模は検出部で、幅136cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

S D24

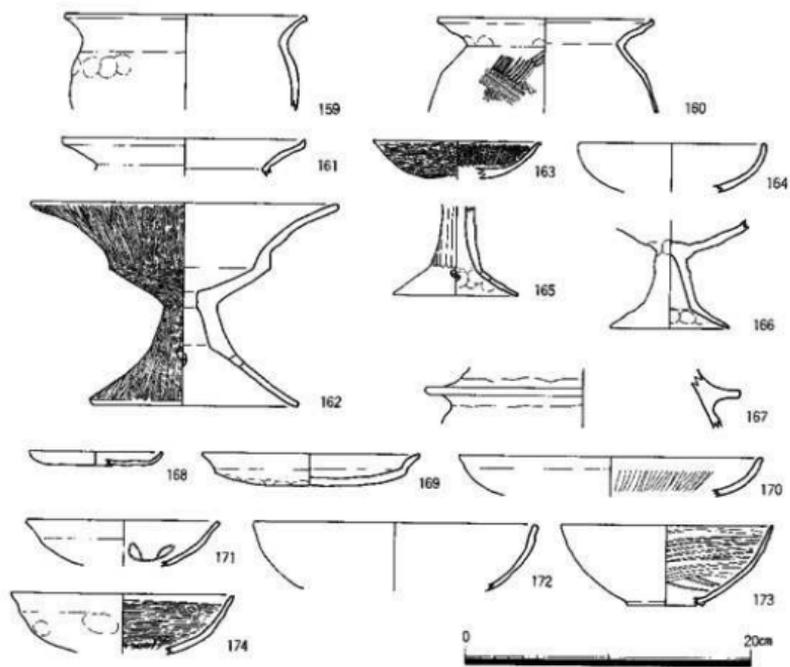
GⅣ-e 3～g 3区で検出した。方向はほぼ南北方向を示す。規模は検出部で、幅66cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

S D25

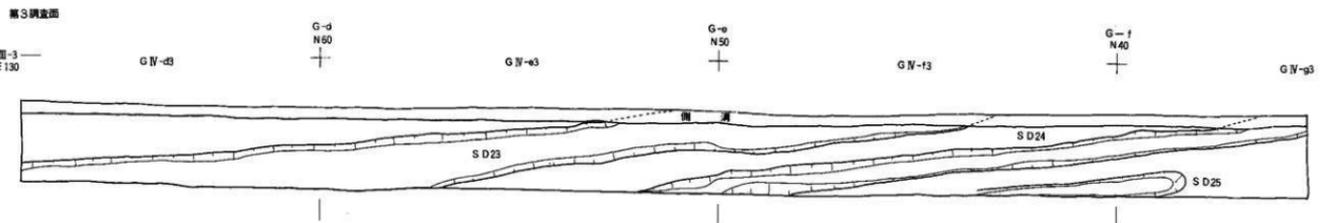
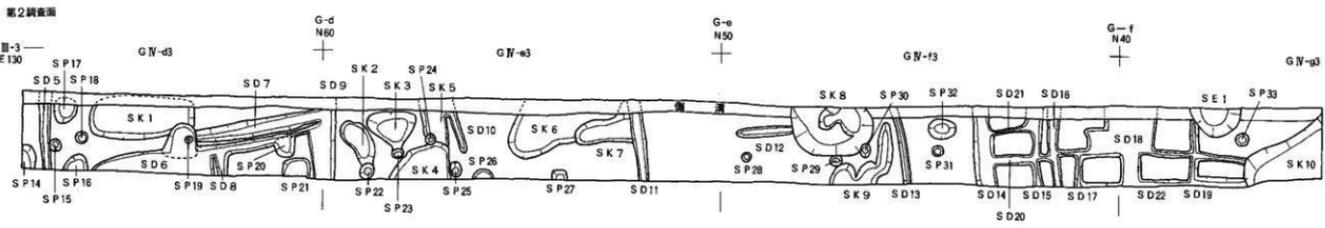
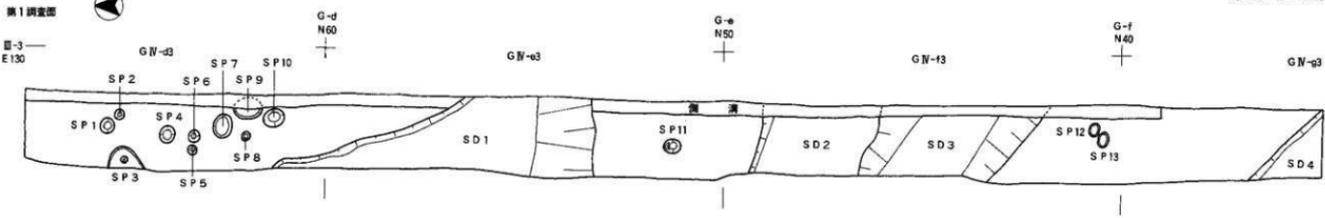
GⅣ-f 3～g 3区で検出した。方向はほぼ南北方向を示す。規模は検出部で、幅64cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

Ⅲ 遺構に伴わない出土遺物

第5層(包含層)内から遺物が出土している。出土遺物は古墳時代前期～鎌倉時代にかけてのもので、出土量はコンテナ箱にして約1箱分を数える。凶示できたものは16点を数える。器種には古墳時代前期に比定される第Ⅴ様式系甕(159)・庄内式甕(160・161)・器台(163)・高杯(162)、古墳時代中期に比定される高杯(164～166)、奈良時代に比定される土師器の皿(170)・杯(171・172)、鎌倉時代初頭に比定される土師器の小皿(168)・中皿(169)、羽釜(167)、瓦器の椀(173・174)がある(第110図)。



第110图 包含层出土物实测图



第111回 遺構平面図



第10節 第10調査区

今回の調査で最も北部に設定した南北に長い調査区（長さ79m）である。調査区の北部は小阪合ポンプ場建設の仮設道路により調査幅が狭くなっている。調査面積は約426㎡である。

I 基本層序

当調査区で普遍的にみられる7層を基本層序とした。現地表面は標高8.8mを測る。

第1層盛土：層厚60cm。工事による盛土である。

当調査区の北部だけ盛土している。

第2層耕土：層厚10～20cm。調査前まで農地として耕されていた耕作土である。

第3層暗茶褐色砂質土：層厚10～12cm。耕土の床土である。

第4層黄褐色砂礫混粘質土：層厚12～14cm。

第5層灰褐色～明茶褐色砂礫混粘質土：層厚4～16cm。北側へ行くにつれ色調が暗くなる。

第6層暗灰色砂礫混粘土：層厚20cm。古墳時代～平安時代後期までの遺物が含まれている。特に埴輪円筒棺を検出した周辺では埴輪片が多量出土している。

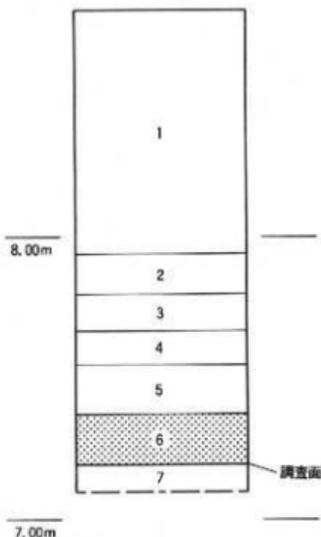
第7層青灰色砂質土～シルト：層厚20cm以上。この上面で古墳時代前期～平安時代後期にかけての遺構を検出した。標高7.2mを測る。

II 検出遺構・出土遺物

第7層上面を調査面とした。その結果、古墳時代中期に比定される埴輪円筒棺1基・土坑1基（SK1）と、平安時代後期に比定される土坑1基（SK2）・溝14条（SD1～SD14）を検出した。

埴輪円筒棺

AN-f10地区で検出した。朝顔形円筒埴輪と円筒埴輪を組合せた埴輪円筒棺である。検出面は第7層上面で、平面が長方形を呈する掘形を検出した。掘形の規模は検出部で、最長幅2m、最短幅約0.8mを測る。掘形内には朝顔形埴輪（1）と円筒埴輪（2）が南西～北東の方向に設置されていた。朝顔形埴輪は口縁部を南西側に向けて設置し、底部の北東側には円筒埴輪が同じ方向に設置されていた。朝顔形埴輪と円筒埴輪の間には10cmの隙間があり、上半部は



第112図 基本層序柱状図 (S=1/20)

内側へ折れて潰された状態で検出した。また、埴輪円筒棺の南西部と北東部の両口には塞いだ形跡がみられなかった。人骨・副装品等は埴輪円筒棺内外部から検出されていない。時期は埴輪の編年（川西編年）によるⅡ期に比定されよう（第114図・第115図）。

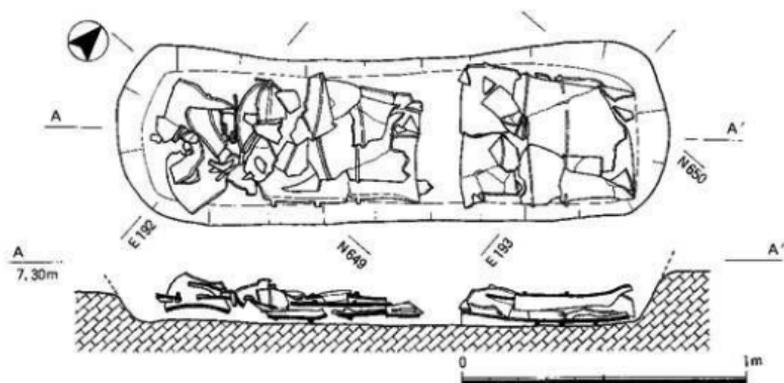
土坑（SK）

SK 1

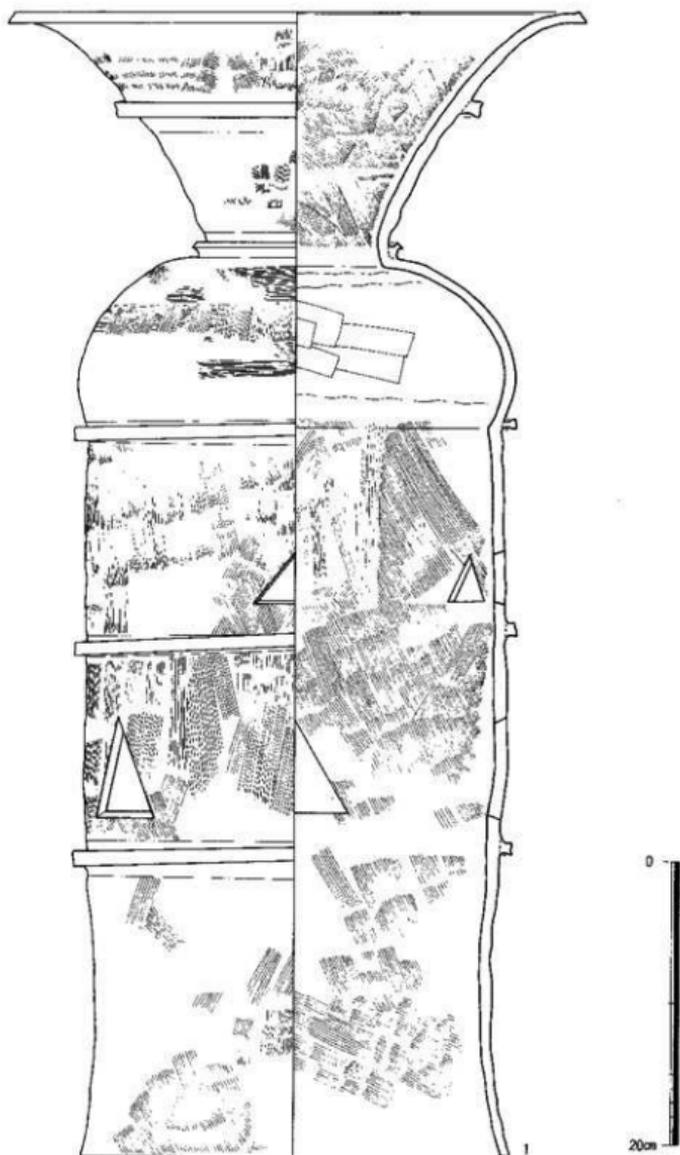
A V-i 1区で検出した。平面はほぼ円形を呈する。規模は検出部で、径90cm、深さ60cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は、堆積土内から古墳時代中期に比定される土師器の小片が少量出土している。

SK 2

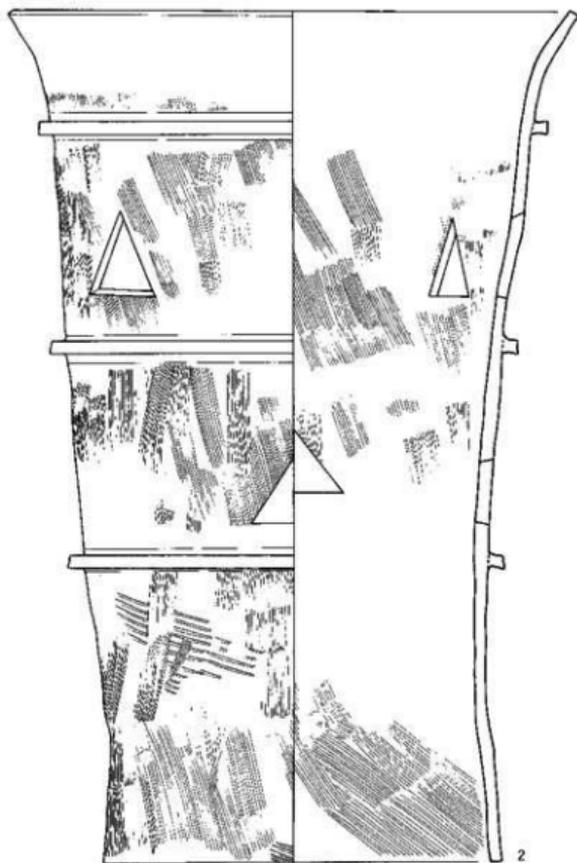
A IV-e 9区で検出した。東部は調査区外に至り不明である。平面は不定形を呈する。規模は検出部で、最大幅3m、最小幅1m、深さ13~21cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面にはやや起伏がみられる。堆積土は暗灰褐色細砂混シルトである。遺物は、堆積土内から土師器の小片が少量出土している。



第113図 埴輪円筒棺出土平断面図



第114図 朝鮮形埴輪実測図



第115図 円筒埴輪実測図

溝 (SD)

SD 1

AⅣ-d 9区で検出した。方向は南北方向を示す。規模は検出部で、幅22cm、深さ5cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD 2

AⅣ-d 9区で検出した。方向は南北方向を示す。規模は検出部で、幅22cm、深さ7cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD 3

AⅣ-d 9区で検出した。方向は南北方向を示す。規模は検出部で、幅24cm、深さ7cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD 4

AⅣ-d 9区で検出した。方向は南北方向を示す。規模は検出部で、幅34cm、深さ6cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD 5

AⅣ-e 9区で検出した。方向は南北方向を示す。規模は検出部で、幅28~37cm、深さ8cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD 6

AⅣ-e 10区で検出した。方向は南北方向を示す。SD 7と切り合う。規模は検出部で、幅22cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD 7

AⅣ-e 10区で検出した。方向は南北方向を示す。SD 6と切り合う。規模は検出部で、幅24cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD 8

AⅣ-e 10区で検出した。方向は南北方向を示す。規模は検出部で、幅24cm、深さ17cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD 9

AⅣ-f 9~f 10区で検出した。方向は東西方向を示す。規模は検出部で、幅20cm、深さ16cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD 10

AⅣ-h 1区で検出した。方向は南東-北西方向を示す。規模は検出部で、幅58cm、深さ13

cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SD11

AV-j 1区で検出した。方向は東西方向を示す。規模は検出部で、幅48cm、深さ11cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD12

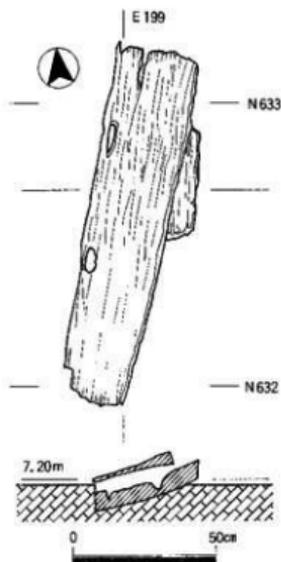
AV-j 1区で検出した。方向は東西方向を示す。規模は検出部で、幅56~84cm、深さ5~13cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD13

AV-j 1区で検出した。方向は東西方向を示す。規模は検出部で、幅2.1~4.4m、深さ20~24cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土で、この上面にSD14が切り込まれている。遺物は出土していない。

SD14

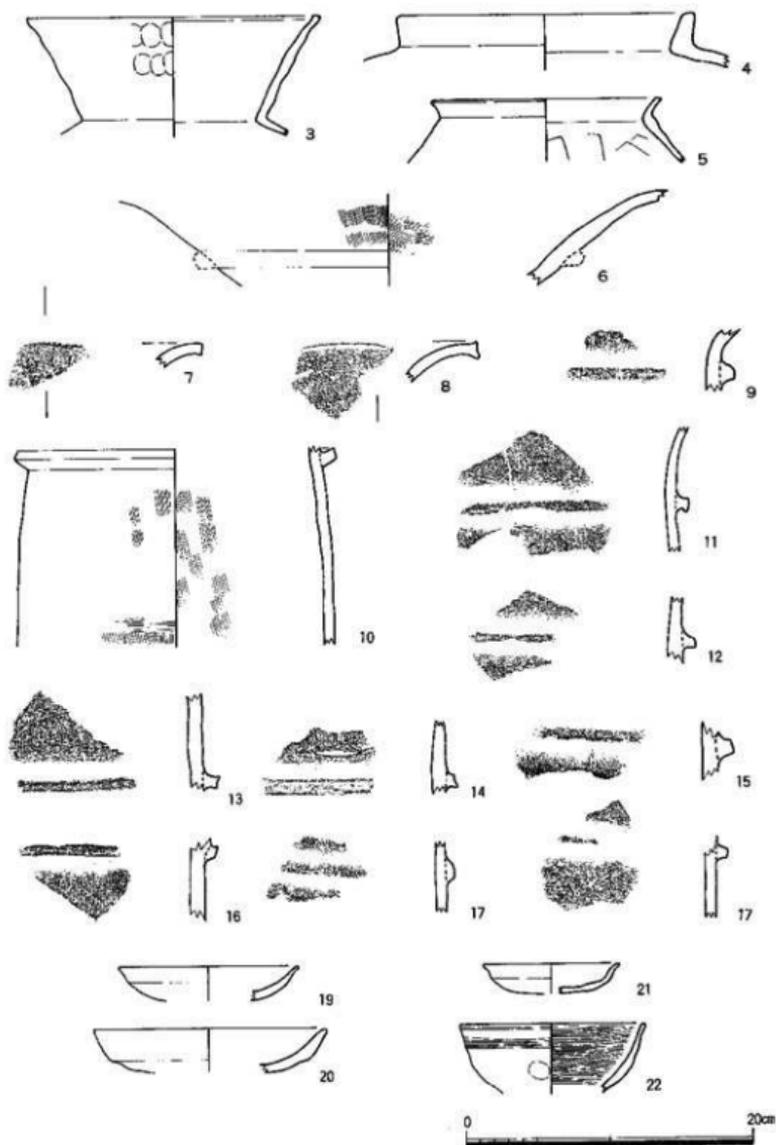
AV-j 1区で検出した。方向は東西方向を示す。堆積されたSD13の上面から切り込んでいる。規模は検出部で、幅25cm、深さ5cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。



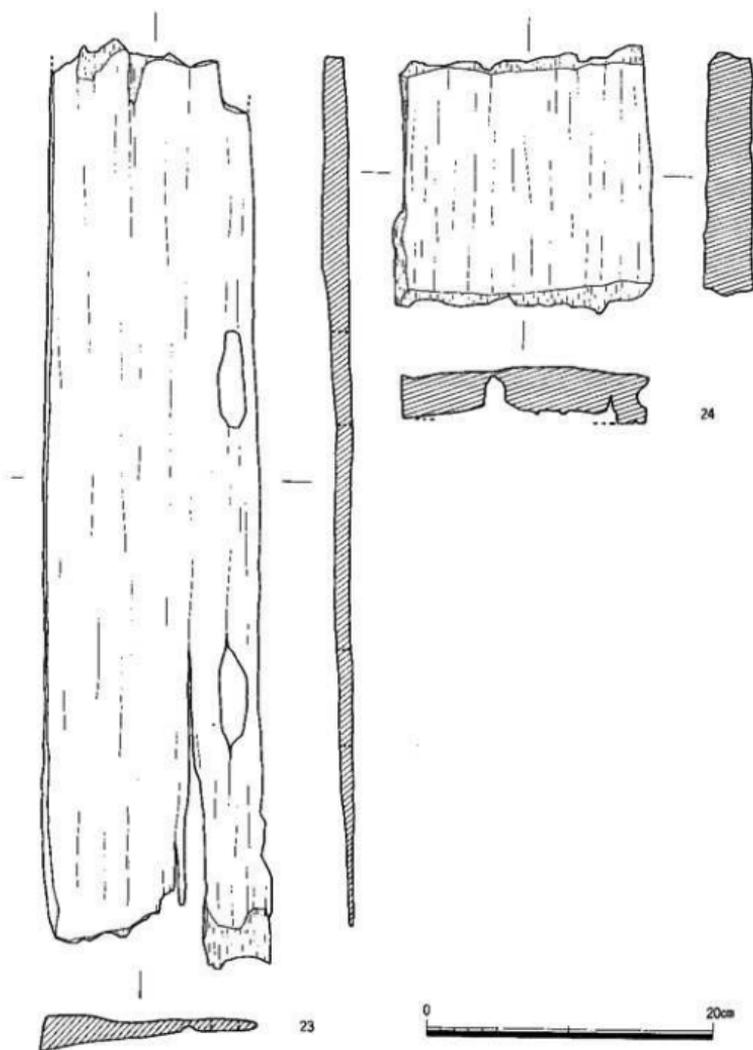
第116図 第6層検出木製品平断面図

Ⅲ 遺構に伴わない出土遺物

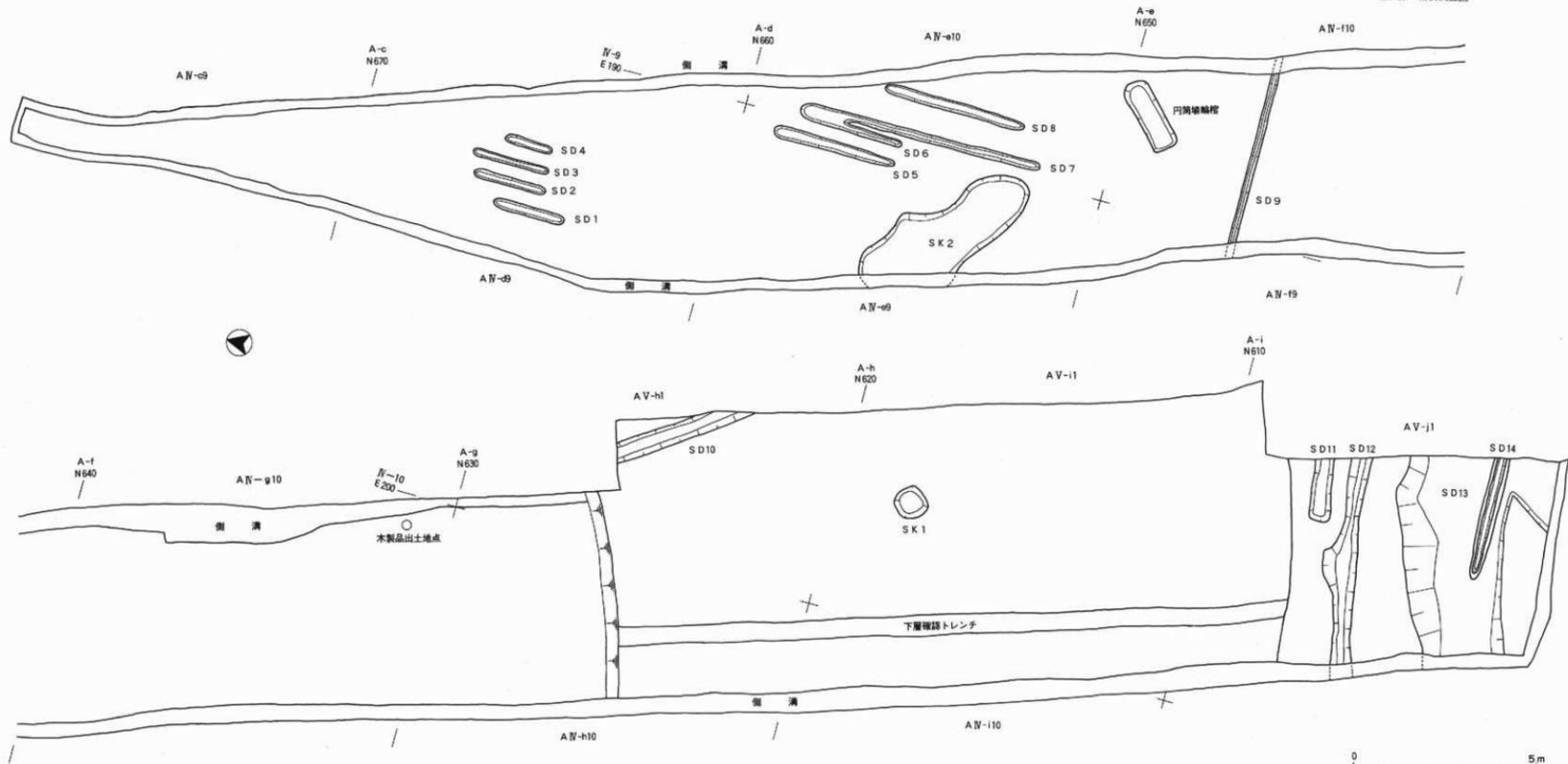
第6層内からは古墳時代前期~平安時代末期に至る遺物が出土している。出土量はコンテナ箱にして約2箱分を数える。図示したものは20点である。時期別には古墳時代前期(布留式古相)に比定される壺(3)、布留式新相に比定される土師器の壺(4)・甕(5)、朝顔形埴輪(6~9)・円筒埴輪(10~18)、平安時代末期に比定される土師器の小皿(19)・中皿(20)、瓦器の小皿(21)・椀(22)が出土している(第117図)。その他には、AV-h 1区東壁の第6層の上面で木製品2点(23・24)が重なって検出している。上部の木製品(23)は長方形の板状で、両端は腐敗して欠損している。全長131cm、幅30cm、厚み3.8cmを測る。長辺の片側付近には両端からそれぞれ30cmと38cmの所に長方形の孔(13.6×3.7cmと17.5×3.9cm)がある。下部の木製品(24)は方形の板状で、幅34.5×31.7cm、厚み7cmを測る(第116図・第117図)。



第117図 包含層出土遺物実測図2



第118图 第6层出土木製品実測图



第119図 遺構平面図

第11節 第11調査区

第10調査区の南部へ約50mに設定した南北に長い調査区(長さ37m)である。調査面積は222㎡を測る。当調査区と第10調査区の間には昭和57年度第1次調査のC-II地区と、昭和59年度に大阪府教育委員会が小阪合ポンプ場の関係工事に伴う発掘調査を実施された調査地があり、古墳時代前期～江戸時代にかけての遺構・遺物が検出されている。

I 基本層序

当調査区で普遍的にみられる6層を基本層序とした。現地表面は標高8.1mを測る。

第1層 耕土：層厚10～20cm。調査前まで耕されていた土層である。

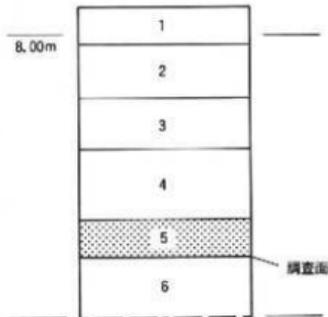
第2層 床土：層厚20～25cm。耕土の床土である。

第3層 茶灰色粘質土：層厚18～24cm。北側へ行くに従い灰色に変わり、粘性が強くなる。

第4層 暗灰色細砂混粘質土：層厚25～28cm。

第5層 青灰色粘質シルト：層厚10～15cm。古墳時代～鎌倉時代に至る土器の小片が含まれる。

第6層 青灰色粘土：層厚25cm以上。粘性の強い土層である。上面は標高7.2mを測る。



第120図 基本層序柱状図 (S=1/20)

II 検出遺構・出土遺物

第6層上面を調査面とした。その結果、鎌倉時代に比定される土坑1基(SK1)・小穴1個(SP1)・溝6条(SD1～SD6)を検出した。

土坑(SK)

SK1

BV-i4区で検出した。東部の一部はSD4に切られている。平面はほぼ円形を呈する。規模は検出部で、東西0.64m、南北1.54m、深さ13cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面は平坦である。堆積上は暗茶褐色細砂混粘質土と暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

小穴(SP)

SP1～SP3

BV-h4～i4区で3個検出した。平面はすべて円形を呈する。規模は検出部で、SP1が径24cm、深さ12cm、SP2が径18～24cm、深さ6.7cm、SP3が径22cm、深さ11.5cmをそれぞれ測る。断面はすべて逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

溝 (SD)

SD1

BV-h4区で検出した。方向は南東-北西を示し、南東端はSD2に切られ、北部は調査区外に至る。規模は検出部で、検出長2m、幅48cm、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD2

BV-h4~i4地区で検出した。方向はほぼ南北方向を示す。西北部はSD1を切っている。規模は検出部で、検出長4m、幅20~62cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色砂混粘質土である。遺物は出土していない。

SD3

BV-i4区で検出した。方向はほぼ南北方向を示し、中央部の東側はSD4を切っている。規模は検出部で、検出長約4m、幅40cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

SD4

BV-i4区で検出した。方向は南北方向を示す。北端はSD3によって切られ、南側はSK1を切っている。規模は検出部で、検出長3m、幅36cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD5

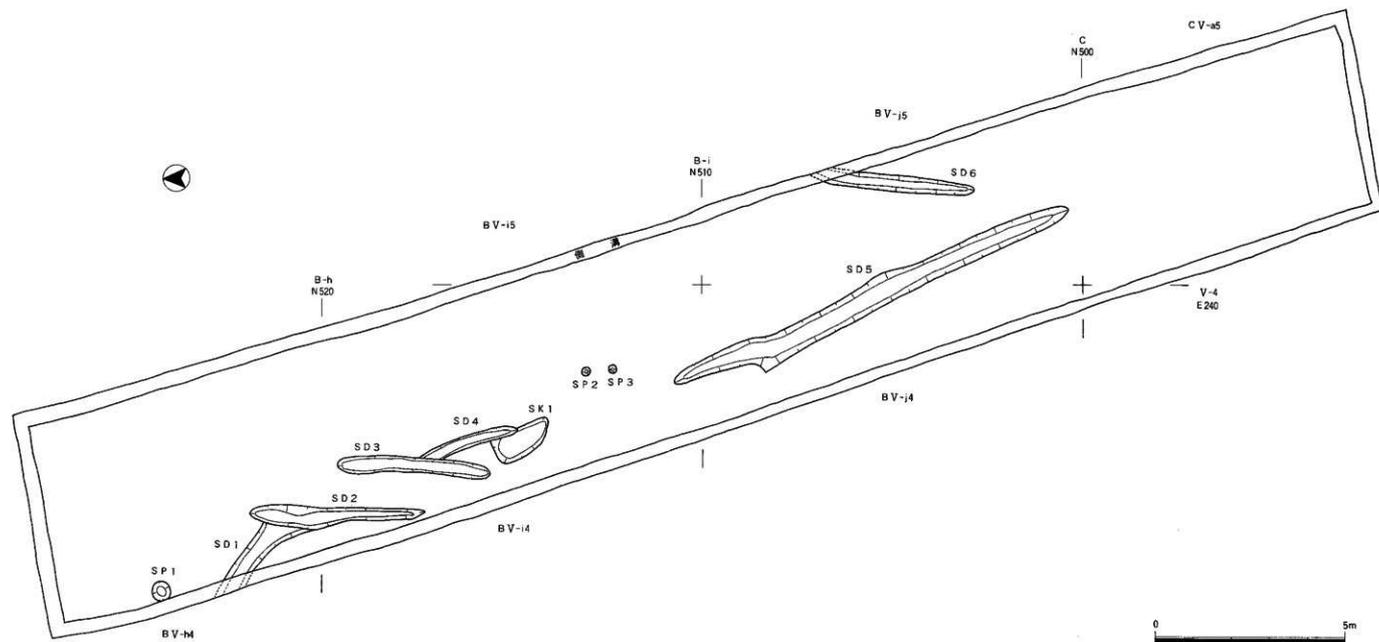
BV-i4~j5区で検出した。方向は南東-北西を示す。規模は検出部で、検出長11m、幅62cm、深さ19mを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

SD6

BV-j5区で検出した。方向はほぼ南北方向を示し、北側は調査区外に至る。規模は検出部で、検出長約4m、幅26~36cm、深さ5cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

Ⅲ 遺構に伴わない出土遺物

当調査区では第5層から古墳時代前期~鎌倉時代にかけての遺物が出土している。出土量はコンテナ箱にして約半箱分で、ほとんどの遺物は摩滅した土器の小片である。図示できたものはないが、器種が判別できたものには、古墳時代前期に比定される第V様式甕・庄内式甕、古墳時代後期に比定される須恵器の杯身、鎌倉時代に比定される土師器小皿・瓦器碗などがある。



第121図 遺構平面図

第12節 第12調査区

第11調査区の南部約15mを位置する南北に長い調査区（長さ102m）である。調査面積は612㎡を測る。

I 基本層序

当調査区において普遍的にみられる7層を基本層序とした。現地表面は標高9.2mを測る。

第1層盛土：層厚140cm。宅地開発によって埋立てられた層である。

第2層旧耕土：層厚12～16cm。近年まで耕作されていた層である。

第3層黄灰色粘砂土：層厚14～25cm。耕土の床土である。

第4層茶灰色粘質土：層厚14～22cm。

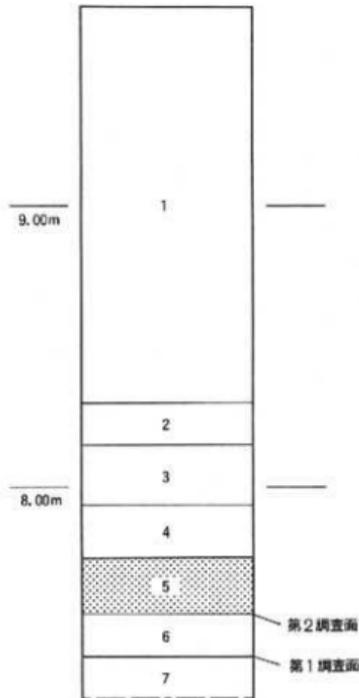
第5層黄褐色灰色細砂混粘質土：層厚10～26cm。
古墳時代～鎌倉時代にかけての遺物が摩耗した状態でごく少量出土している。また下位には砂層が堆積している部分が見られ、一時的な氾濫によって堆積したものと考えられる。

第6層暗灰色～青灰色粘質土：層厚12～18cm。
鎌倉時代～室町時代の耕作土である。この上面は標高7.8mを測り、上面の一部には足跡状の窪みが多数みられる（第2調査面）。

第7層青灰色粘土：層厚15cm以上。この上面で耕作によってできた溝が検出された。この上面は標高7.6mを測る。

II 検出遺構・出土遺物

第6層上面（第2調査面）と第7層上面（第1調査面）の2面を調査面とした。その結果、第1調査面では鎌倉時代に比定される溝10条（SD1～SD10）を検出した。第2調査面では鎌倉時代～室町時代に比定される足跡状遺構を検出した。



第122図 基本層序柱状図（S=1/20）

第1調査面

溝(SD)

第6層上面から切込む南北方向に伸びる溝10条(SD1～SD10)を検出した。この溝の堆積土は第5層と同じ土層である。これは農耕に関連するものと考えられる。以下、溝の法量・方向等については第10表に記した。

第10表 第1調査面溝(SD1)一覽表

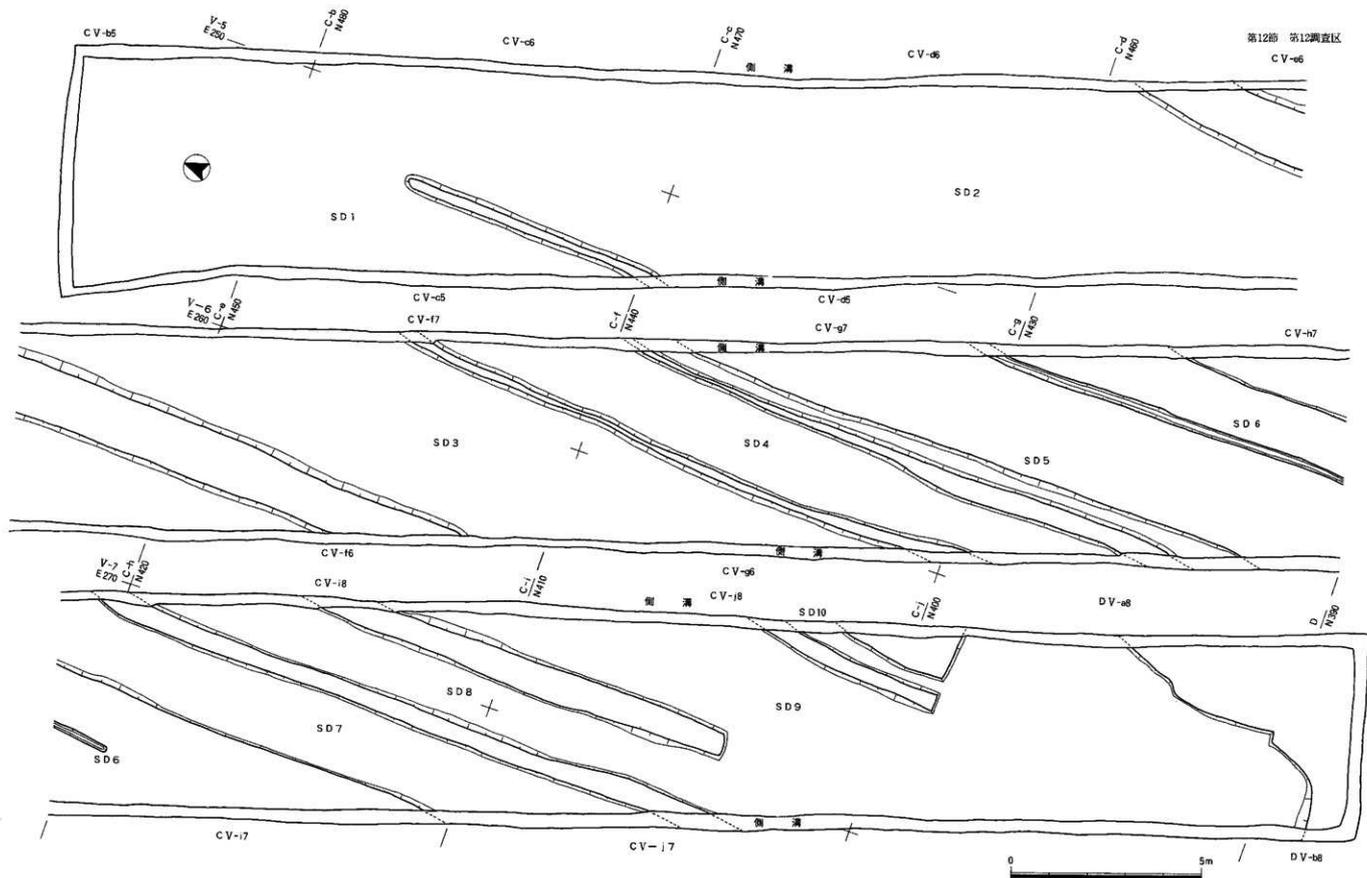
※ 単位:cm

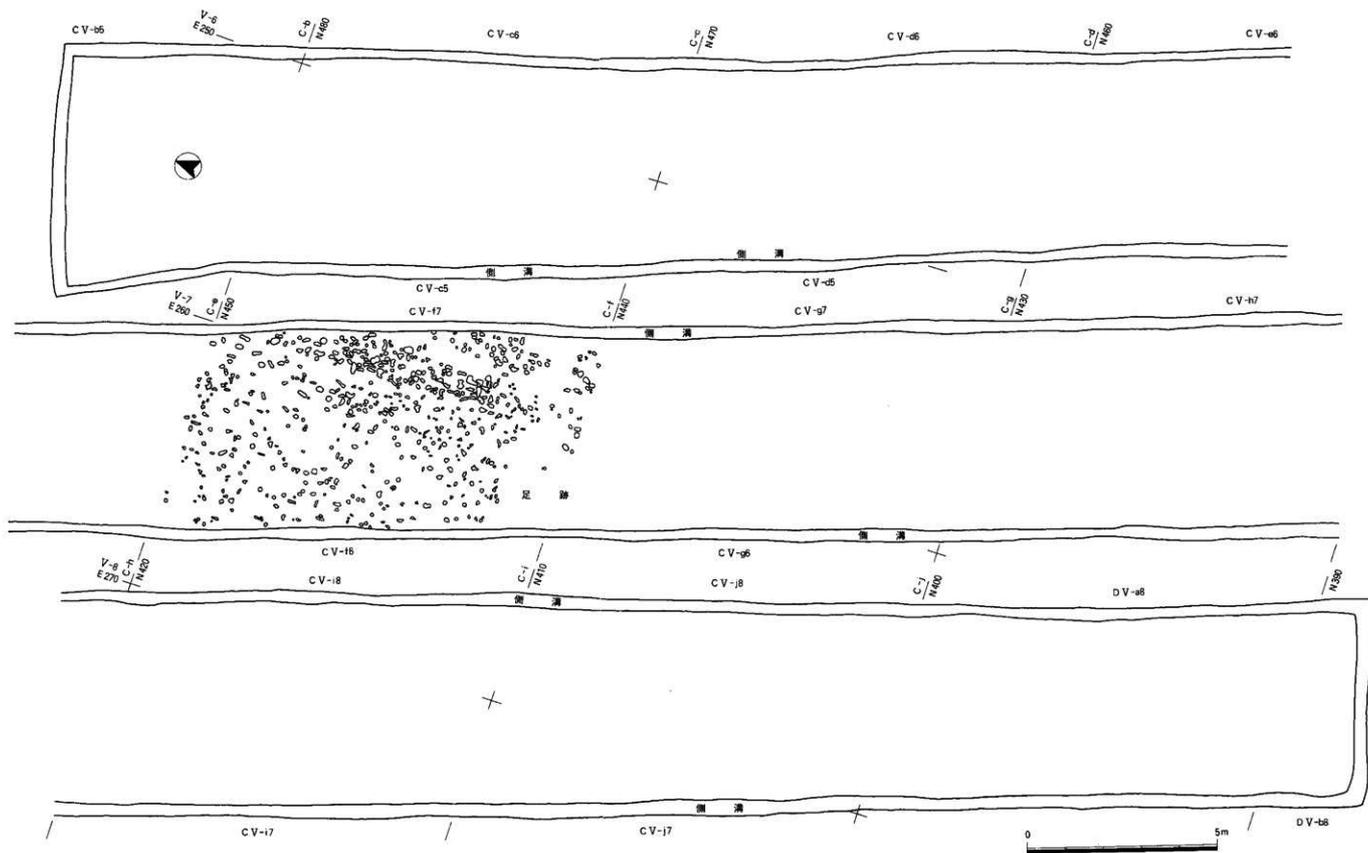
遺構番号	調査区	幅	深さ	方向	質面形	堆積土	備考
SD1	CV-c5	560	13	南北	逆台形	暗灰色粘質土	
SD2	CV-e5~f6	1484	12	南北	逆台形	暗灰色粘質土	
SD3	CV-e6~g6	470	6	南北	逆台形	暗灰色粘質土	
SD4	CV-f7~h7	226	12	南北	逆台形	暗灰色粘質土	
SD5	CV-g7~h7	54	13	南北	逆台形	暗灰色粘質土	
SD6	CV-g7~i7	30	8	南北	逆台形	暗灰色粘質土	
SD7	CV-h7~j7	200	13	南北	逆台形	暗灰色粘質土	
SD8	CV-i8~j8	156	13	南北	逆台形	暗灰色粘質土	SD9と合流
SD9	CV-i8~j8	288	15	南北	逆台形	暗灰色粘質土	SD8・SD10と合流
SD10	CV-j8 ~DV-a8	46	14	南北	逆台形	暗灰色粘質土	SD9と合流。

第2調査面

足跡状遺構

CV-f6~f7区に集中した状態で検出した。規模は径5~25cm、深さ4~12cmを測る。平面の形状には円形のもの、楕円形のもの、不定形のみがみられる。内部には第6層上面に薄く覆っている砂層が堆積している。遺物は、砂層内から鎌倉時代~室町時代に比定される土器の小片がごく少量出土している(第124図)。





第124图 第12调查区第2调查面遗构平面图

第4章 出土遺物觀察表

第1調査区

※タタキ・ハケ目の条線の数は1cmの値

調査番号	出土地点	種別	(cm) 口径	口径高さ	形態・調整等の特徴	色	試料	胎土	焼成	備考
1	壘 (土師器)		口径 14.4		口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。底部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(7本)、外部外面タタキ、内面ヘラナデ。	淡灰褐色	長石・雲母・角閃石・赤褐色酸化鉄等の粗粒砂を多量に含む。	良好		口縁部外面に煤付着
		SK1								
2	同上		口径 16.6		口縁部は外上方へ外反して伸び、端部はつまみ上げる。底部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(9本)、外部外面タタキ、内面ヘラナデ。	淡褐色	長石・石英・雲母・角閃石等の粗粒砂等を多量に含む。	良好		口縁部外面に煤付着。
		SK1								
3	同上		口径 15.0		口縁部は外上方へ内彎して伸び、端部は欠損。底部は欠損。 口縁部内外面ナデ、外部外面ナデ、内面ヘラナデ。	淡黄褐色	赤褐色酸化鉄・雲母・石英・チャート等を微量に含む。	良好		
		SK1								
4	同上		口径 12.8		上内方に内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する凹面をもつ。底部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、外部外面ハケナデ(6本)、内面ヘラナデ。	淡灰色	石英・長石・雲母等の粗粒砂を多量に含む。	良好		外部外面に煤付着。
二九		SK1								
5	小型壺		口径 6.4	器高 8.1	球形の体部より上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底部は丸底。体部内面に2本の接合痕を有す。 口縁部内外面・肩部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ・滑面。	淡紫灰色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好		
二九		SD1								
6	同上		口径 5.1	器高 6.6	扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。底部は丸底。 口縁部内外面ハケナデ(7本)、外部外面上位角縁の為不明、下位ハケナデ(7本)内面ナデ。	淡灰紫色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好		
二九		SD1								
7	同上		口径 5.8	器高 7.6	扁平な球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(13本)、外部外面上位ヘラミガキ、下位ヘラナデ、内面ナデ。	淡紫灰色	1mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好		
二九		SD1		最大径 8.1						
8	同上		口径 8.6	器高 8.6	扁平な球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、外部外面ハケナデ(6本)、肩部内面ヨコナデ、滑面、体部内面ヘラナデ。	暗褐色	2.5mm以下の長石・雲母等を多量に含む。	良好		完形。
二九		SD1								
9	同上		口径 9.15	器高 9.45	最大径を上位にもつ扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。肩部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ハケナデ、外部外面ハケナデ後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	外 淡灰褐色 内 孔灰褐色	3mm以下の長石・石英等を少量含む。	良好		外面に黒斑有り。
二九		SD1		最大径 10.4						

産物番号 採集地	採出 土地点	(cm) 口径 口径 口径	11 口径 口径 口径	形態・調整等の特徴	色調	胎上 調整	備考
10	小型重 (土師器)	口径 8.6 口径 9.9 最大径 10.4		扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。体部内面は上位に3本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、肩部内面指頭痕、体部内面ヘラ削り。	淡茶灰色	1mm以下の微砂粒を含む。	良好 定形。
三〇	SD1						
11	同上	口径 7.8 口径 11.5		扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ナデ・指ナデ、底部外面板状工具によるナデ。	灰褐色	3.5mm以下の長石・角閃石・雲母等を多量に含む。	良好
三〇	SD1						
12	同上	口径 10.6 口径 14.2 最大径 13.7		扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部外面ハケナデ後ナデ、内面ナデ、底部内面指ナデ。	灰茶色	0.4mm以下の微砂粒を含む。	良好
三〇	SD1						
13	同上	口径 13.2 最大径 17.8		内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。肩部内面に3本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面割離の為不明、体部外面割離の為不明、内面上位ナデ、指頭痕、中位ヘラ削り。	外 乳灰褐色 内 暗灰褐色	3.5mm以下のチャート・石英・赤褐色酸化粒等を多量に含む。	良好
三〇	SD1						
14	同上	口径 11.4 口径 15.2 最大径 15.8		球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く丸い。底部は丸底。 口縁部内外面割離の為不明、体部外面ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	灰茶色	1mm以下の赤石・石英・長石等の微砂粒を含む。	良好 定形。体部外面下位に脈付着。
三〇	SD1						
15	同上	口径 7.1 最大径 16.05		体部は球形である。底部は丸底。口縁部端部は欠損。底部内面に1本の接合痕を有す。 体部外面割離の為不明、内面ナデ、底部内面指頭痕。	灰黄褐色	5mm以下の石英・長石・チャート・赤褐色酸化粒・雲母等を多量に含む。	良好 体部外面下位に脈付着。
三〇	SD1						
16	同上	口径 11.6		上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラナデ、内面ヘラ削り。	外 黄褐色 内 灰褐色	3mm以下の長石・石英・チャート・雲母等を多量に含む。	良好
三一	SD1						
17	同上	口径 20.6		内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。口縁部中位以下は欠損。口縁部外面に3本と肩部内面に3本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ後ヘラナデ、内面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面指頭痕ヘラナデ。	外 乳灰褐色 内 暗灰褐色	2.5mm以下の長石・石英・チャート・雲母等を多量に含む。	良好 口縁部内面に炭化物付着。
三一	SD1						

遺物番号 採取層	出土地点	種別	(cm) 口径 口径高	形部・調整等の特徴	色調	胎土	焼成温度	考
18	豊 (土師窑)		口径 15.3	口縁部は上外方へ外反して伸びた後屈曲して上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面上位ヨコナデ、下位ナデ、体部外面ヨコナデ、内面へう割り。	乳灰褐色	1.5mm以下の長石・長石・チャート等を多量に含む。	良好	
三一	SD 1							
19	同上		口径 11.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。腹部内面に2本の接合痕を有す。 口縁部外面ハケナデ(8本)後ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)後ナデ、内面ナデ。	淡茶灰色	4mm以下の細砂粒を含む。	良好	
三一	SD 1							
20	同上		口径 11.6	口縁部は上外方へ外反斜味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面調整不明、内面折面。	褐色	0.5mm以下の長石・石英・角閃石等の微砂粒を多量に含む。	良好	
	SD 1							
21	同上	口径 15.7 最大径 23.7		筒形部と思われる体部より屈曲し、外反して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(13本)後ナデ、内面へう割り。	淡褐色灰色	3mm以下の細砂粒を含む。	良好	
三一	SD 1							
22	同上	口径 14.2		内上方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、腹部内面ナデ、体部内面へう割り。	外 淡灰色 内 黒褐色	2mm以下の細砂粒を含む。	良好	
	SD 1							
23	同上	口径 21.4		口縁部は斜上方へ伸び、端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ヨコナデ。	淡灰褐色	2mm以下の細砂粒を少量含む。	良好	口縁部内外面・体部内面に磨削。
	SD 1							
24	同上	口径 13.6		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反斜味に伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)後ヘラナデ、内面へう割り。	外 暗茶灰色 内 茶灰色	1mm以下の長石・角閃石等の細砂粒を少量含む。	良好	
三一	SD 1							
25	同上	口径 17.4 最大径 29.6 最大径 26.5		最大径を中位よりやや上にもつ扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は内方につまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(11本)、内面ナデ。	茶灰褐色	1mm以下の長石等の細砂粒を少量含む。	良好	筒形。
三二	SD 1							
26	同上	口径 12.0 最大径 18.2		球形の体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は欠損。体部内面に2本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面ナデ、底部内面ハケナデ。	茶灰色	5.5mm以下の細砂粒を含む。	良好	外面に煤付。
三二	SD 1							

番号	種出土地点	(mm) 口径 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色	調	治	土	硬成	備考
27	壺 (土師器)	口径 11	口径 15.0	最大径を中位にもつ楕円形と思われる体部より屈曲し、上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	赭灰色		5mm以下の粗砂粒を含む。		良	体部外面中位に煤付着。
三二	SD1									
28	同上	口径 29.8	口径 29.8	最大径を上位にもつ体部より直上して伸びる。底部は突出しない小さい平底。口縁部、端部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後ハケナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、(10本)、内面上位ハケナデ(6本)、中位以下ヘラ削り。	茶灰色		1mm以下の長石・長石・角閃石等の粗砂粒を多量に含む。		良	
三二	SD1									
29	同上	口径 21.6 器高 42.4	口径 21.6 器高 42.4	楕円形の体部より屈曲し、斜上方へ外反して伸びた縁部とし、上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外方へ厚し、上に開閉をもつ。底部は丸底。口縁部内面に3本の接合痕を有す。体部外面にカゴの痕跡有り。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(13本)、口部内面ナデ、体部内面ヘラ削り。	外内 部灰藍色 部茶色		1mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化鉄・チャート等の粗砂粒を多量に含む。		良好	底部、内面に煤化物付着。
三二	SD1									
30	壺 (土師器)	口径 12.9 器高 20.6 最大径 18.6	口径 12.9 器高 20.6 最大径 18.6	最大径を中位にもつ扁平な球形の体部より屈曲し、上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。口縁部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面割離の為不明、体部外面割離の為不明、内面中位ヘラ削り、下位ヘラナデ。	灰褐色		1.5mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。		良好	外面に煤付着。
三二	SD1									
31	同上	口径 17.0 器高 26.5 最大径 23.7	口径 17.0 器高 26.5 最大径 23.7	楕円形の体部より屈曲し、上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥方する。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	外内 灰青色 部灰藍色		6mm以下の粗砂粒を含む。		良	
三三	SD1									
32	同上	口径 15.6	口径 15.6	最大径を中位にもつ扁平な球形と思われる体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部タタキ(4本)後ハケナデ(13本)、内面ヘラ削り。	外内 暗茶褐色 部灰藍色		0.5mm以下の長石・雲母・角閃石等の粗砂粒を少量含む。		良	
三三	SD1									
33	同上	口径 12.15 器高 17.95 最大径 17.6	口径 12.15 器高 17.95 最大径 17.6	球形の体部より屈曲し、上方へ内寄気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚し、内傾する曲をもつ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不定方向のハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	外内 黒褐色 部茶褐色		1.5mm以下の長石・雲母・チャート等の粗砂粒を含む。		良好	体部外面に煤付着。
三三	SD1									
34	同上	口径 13.6 器高 21.1 最大径 19.8	口径 13.6 器高 21.1 最大径 19.8	最大径を中位よりやや上にもつ球形の体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位磨減の為不明、中位ハケナデ(5本)、下位磨減の為不明、内面ヘラ削り。	外内 暗茶褐色 部灰褐色		3mm以下の長石・チャート等の粗砂粒を少量含む。		良	完形。
三三	SD1									
35	同上	口径 15.0	口径 15.0	口縁部は上方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ。	外内 淡褐色 部灰藍色		3mm以下の粗砂粒を含む。		良	
三三	SD1									

産物種別 産出地	種 出上地点	(cm) 口径 法製 高さ 最大径	形態・調整等の特徴	色調	粉土焼成	備考
36	變 (土解器)	口径 14.0 高さ 22.1 最大径 30.4	球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる 口縁部に至る。端部は内方に若干肥厚する。 底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6 本)、体部外面ハケナデ(12本)、内面へラ 削り。	外 淡藍色 内 灰茶色	3.5mm以下 の雲母・長 石・チャ ート等の細 砂粒を含む。	良好 外面に保付 着。
三三	SD1					
37	同上	口径 14.3 高さ 24.8 最大径 21.5	最大径を上位にもつ球形の体部より屈曲 し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。 端部は内方に肥厚する。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(10本)、内面へラ削り後拾頭儀。	淡灰茶色	0.4mm以下 の細砂粒を 含む。	良好 完形。 体部外面に 保付着。
三三	SD1					
38	同上	口径 13.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は鈍く尖る。 体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面調整不 齊、内面へラ削り。	淡茶色	1mm以下の 雲母・角閃 石等の細砂 粒を少量含 む。	良好
	SD1					
39	同上	口径 13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部は丸い。体部中位以下は欠損。肩部内 面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(?)、内面削りええ、ナデ。	茶褐色	1mm以下の 長石・チャ ート等の細 砂粒を少量 含む。	良好 外面に保付 着。
	SD1					
40	同上	口径 15.5	口縁部は斜上方へ内彎気味に伸び、端部 は内方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ、内面鈍縁の為不明。	乳灰褐色	1mm以下の 雲母・角閃 石等の細砂 粒を少量含 む。	良好
	SD1					
41	同上	口径 13.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は上に凹面 をもつ。体部は欠損。口縁部内面に1本の 接合痕を有す。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ、体部外 面ナデ、内面へラ削り。	淡灰色	1mm以下の 細砂粒を数 量に含む。	良好 口縁部外面 に保付着。
	SD1					
42	同上	口径 14.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲 し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至 る。端部は内方に肥厚する。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ?、内面拾頭儀。	黒色	1mm以下の 雲母・長石 等の細砂粒 を多量に含 む。	良好
	SD1					
43	同上	口径 12.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内彎 する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(5本)、内面へラ削り。	外 淡茶褐色 内 淡褐色	0.5mm以下 の細砂粒を 少許含む。	良好 外面に保付 着。
	SD1					
44	同上	口径 13.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方 に若干肥厚し、内彎する面をもつ。体部中 位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(4本)、内面へラ削り。	淡褐色	1mm以下の 細砂粒を含 む。	良好 体部外面に 保付着。
	SD1					

産物番号 同産品号	産出 土地点	(cm) 口径	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
45	斐 (土加蓋) SD1	口径	14.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は上に面をもつ。体部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(9本)。	淡灰色	1mm以下の細砂粒を微量に含む。	良好	口縁部外面に厚付着。
46	同上 SD1	口径	16.2	口縁部は上外方へ内彎狀に伸び、端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、体部内面指痕横・ヘラ削り。	灰白色	1mm以下の長石・雲母・石英等の粗砂粒を少量に含む。	良好	外面に厚付着。
47	同上 SD1	口径	12.5	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚し、内縮する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(12本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	2mm以下の雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	内面に炭化物付着。
48	同上 SD1	口径	12.5	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内縮する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不整形の内ハケナデ、内面内面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡灰茶色	2mm以下の長石・雲母・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	
49	同上 SD1	口径	13.7	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内縮する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タキ後ハケナデ(12)、内面ナゲ後ヘラ削り。	淡灰褐色	1.5mm以下の角閃石・チャート・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面・胴部外面に厚付着。
50	同上 SD1	口径	13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内縮する面をもつ。体部中位以下は欠損。胴部内外面に1本ずつ接合痕を有す。 口縁部外面・端部内面ヨコナデ、内面ハケナデ(4本)、体部外面ハケナデ(5本)、内面上位指痕横・ナデ、中位以下ヘラ削り。	外 淡乳灰色 内 茶灰色	1mm以下の細砂粒を含む。	良	厚付着。
51	同上 SD1	口径	18.0	内上方へ伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内縮する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面指痕横・ヘラ削り。	淡黄褐色	1mm以下の雲母・長石・赤褐色炭化粒等の粗砂粒を少量含む。	良好	体部外面に一部厚付着あり。
52	同上 SD1	口径	20.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ若干肥厚し、内縮する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰色	2mm以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	
53	同上 SD1	口径	14.2	上内方へ内彎狀に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内縮する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、胴部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・指痕横、体部外面ハケナデ(8本)、内面ナゲ。	外 淡茶褐色 内 淡灰色	3mm以下の砂粒を含む。	良	一部厚付着。

産物番号 出土地	標高 (m)	口径 口径	口径 口径	形態・或製等の特徴	色	質	胎土	焼成	備考
54 鎌 (七師器) SD1		口径 14.6		内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方 へ肥厚し、上に面をもつ。体部中位以下は 欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(11本)、肩部内面指頭痕、体部内面ヘラ 削り。	淡灰茶色		3.5mm以下の 粗砂粒を 含む。	良	
55 同上 SD1		口径 13.8 最大径 21.8		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾 する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(8本)、内面ヘラ削り。	外 茶灰褐色 内 茶灰色		2mm以下の 炭石・赤褐色 酸化鉄等の 粗砂粒を 多量に含む。	良	体部外面中 位に窯付着。 体部外面に 黒炭有り。
56 同上 SD1		口径 14.25 最大径 21.4		最大径を中位よりやや上にもつ球形の体 部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至 る。端部は外方に肥厚し、上に面をもつ。 端部は欠損。肩部内面上位に1半の接合痕 を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(7本)、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 灰褐色		3mm以下の 炭石・角閃 石・石英・ チャート等 の粗砂粒を 含む。	良好	外面に窯付 着。 肩部内面に 炭化物付着。
57 同上 SD1		口径 13.8		内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾 する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(10本)、内面ヘラ削り後指頭痕。	淡茶褐色		4mm以下の 砂礫粒を 含む。	良	
58 同上 SD1		口径 17.3 最大径 23.6		内上方へ内彎して伸びる体部より傾曲し、 上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端 部は外方へ肥厚する。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(6本)、内面上位ナデ、中位ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色		1mm以下の 炭石・炭屑 ・チャート等 の粗砂粒を 含む。	良好	外面に窯付 着。
59 同上 SD1		口径 13.2		口縁部は上外方へ伸びた後屈曲して直上 し、端部は外方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ヨコ ナデ。	外 淡茶灰 色 内 淡茶褐 色		1mm以下の 炭石・チャ ート・赤褐色 酸化鉄等の 粗砂粒を 多量に含む。	良好	
60 同上 SD1		口径 12.6		口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部 は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナ デ、内面ヨコナデヘラ削り。	淡灰色		1mm以下の 粗砂粒を 含む。	良	外面に窯付 着。
61 同上 SD1		口径 13.6		口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥 厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナ デ、内面ヘラ削り。	灰白色		0.5mm以下 の炭石・石 英等の粗砂 粒を少量含 む。	良好	
62 同上 SD1		口径 16.0		上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方 へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚 し、外傾する面をもつ。体部中位以下は欠 損。 口縁部内外面ヨコナデ、肩部外面ヨコナ デ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラ削 り。	淡茶褐色		2mm以下の 炭石等の粗 砂粒を少量 含む。	良好	体部外面に 窯付着。

遺物資料 図説番号	器 種 出土地点	(cm) 口径 高さ 口径	口径 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎上	焼成	備考
三四	甕 (土師器)	口径 15.5		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 肩部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。 体部は下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(8本)、内面ヘラナデ。	外 黒色 内 茶灰色	1mm以下の 雲母・チャ ート等の細 砂粒を少量 含む。	良好	口縁部外面・ 体部外面中 位以下に黒 斑有り。
三四	鉢 (土師器)	口径 23.2		上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、 上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は 上に面をもつ。体部半位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナ デ、ハケナデ(5本)、内面ハケナデ後ヘラ ナデ。	淡灰褐色	3.5mm以下の 砂粒粒を やや多量に 含む。	良好	口縁部内面・ 体部内外面 に黒斑有り。
三五	高杯 (土師器)	口径 22.45 底径 15.8		広く平肩の杯底部より上外方へ伸びた後 屈曲し、外七方へ伸びる口縁部に至る。端 部はつまみ上げる。肩部は下外方へ伸びる 柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる肩部に 至る。肩部は丸い。肩部に四方孔を有す。 杯部外面ハケ後ヘラミガキ、内面ハケ後 ヘラミゴキ後縮み状ヘラミゴキ、柱状部外 面ヘラナデのちハケナデ後ヘラミガキ、内 面ヘラナデ、縮部外面ハケナデ後ヘラミガ キ、内面上位歯頸、下位ハケナデ(13本)。	灰黄褐色	0.3mm以下の 雲母・長 石等を少量 含む。	良好	口縁部外面 瓦等・口縁 部内面内・ 縮部外面下 位に黒斑有 り。
三五	同上	口径 12.65		丸味をもつ杯底部より上外方へ内彎して 伸びる口縁部に至る。肩部は鈍く尖る。部 位以下は欠損。 杯部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後 ち縮み状ヘラミゴキ。	淡灰褐色	2.5mm以下 の長石・石 英・雲母等 を少量含む。	良好	
三五	同上	口径 19.7		杯部・柱状部は欠損。肩部は外下方へ内 彎気味に伸び、肩部は丸い。肩部上位に四 方孔を有す。 柱状部内面ヘラナデ、縮部外面ハケナ デ後ヘラミガキ、内面ハケナデ。	茶灰色	3mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	
三五	同上	口径 18.8		外上方に伸びる杯底部より上外方へ伸び た後、肩部付近で外上方へ伸びる口縁部に 至る。肩部は丸い。柱状部は下外方へ伸び る。肩部は欠損。 杯部外面ハケナデ後ナデ、口縁部内面ヨ コナデ、杯体部ナデ、柱状部外面ヘラナ デ、杯部外面上位にヘラ状工具による溝を有す。 杯部外面上位ヨコナデ、下位ハケナデ、 内面刺線の為不明、肩部内外面ナデ。	暗茶褐色	3mm以下の 粗砂粒を多 量に含む。	良好	
三五	同上	口径 16.75 高さ 11.5 口径 12.4		早らに近い杯底部より上外方へ伸びる口 縁部に至る。肩部は丸い。肩部は下外方へ 伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる 肩部に至る。肩部は内傾する面をもつ。柱 状部外面上位にヘラ状工具による溝を有す。 杯部外面上位ヨコナデ、下位ハケナデ、 内面刺線の為不明、肩部内外面ナデ。	外 乳白色 内 暗灰褐色	2.5mm以下 の長石・チ ャート・志 丹等を多量 に含む。	良好	

植物標本 55(標本号)	器 出 土 地 点	(cm) 口径 法量 器高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 上	焼 成	備 考
70	志 杯 (土師器)	口 径 15.55 器 高 12.7	丸味をもつ杯底部より上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ反気味に伸びる樽部に至る。肩部は内傾する面をもつ。 杯部外面上位ハケナデ後コナデ、下位ハケナデ(6本)、内面ハケナデ後ナデ、脚部外面ナデ、内面ナデ。	乳灰黄褐色	5.5mm以下の長石・石英・チャート・赤褐色酸化粒・雲母等を多量に含む。	良好	
三五	SD1						
71	同上	口 径 17.2 器 高 13.0 底 径 11.6	下方へ若干下る杯底部より上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は外傾する面をもつ。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる樽部に至る。肩部は内傾する面をもつ。 杯部内外面ハケナデ(10本)、柱状部外面ヘラケズリ、内面ヘラケズリ後ヘラナデ、脚部外面ナデ、内面ハケナデ。	淡灰褐色	3mm以下の粗砂粒を含む。	良	杯体部内面に黒斑有り。
三五	SD1						
72	同上	口 径 18.4	丸味をもつ杯底部より上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ(10本)、内面割離の為不明。	淡灰褐色	3mm以下の粗砂粒を含む。	良	
	SD1						
73	同上	口 径 19.1	丸味をもつ杯底部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。脚部は欠損。 杯部内外面ハケナデ(6本)。	外 灰褐色 内 灰茶色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良	
	SD1						
74	同上	底 径 12.7	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ反気味に伸びる樽部に至る。肩部は丸い。柱状部下位に三方孔を有す。 杯底部内外面割離の為不明、脚部外面割離の為不明、内面上位ナデ、下位割離の為不明。	乳黄褐色	3.5mm以下の長石・石英・チャート・炭屑・赤褐色酸化粒等を多量に含む。	良好	
	SD1						
75	同上	底 径 10.8	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びた後屈曲し、外下方へ伸びる樽部に至る。肩部は内傾する面をもつ。柱状部下位に三方孔を有す。 脚部外面割離の為不明(一部ハケナデ)、柱状部内面ヘラによるくりぬき、樽部内面ハケナデ(9本)。	外 茶灰色 内 乳灰茶色	0.5mm以下の微砂粒を含む。	良	
	SD1						
76	同上	底 径 10.9	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる樽部に至る。肩部は内傾する面をもつ。柱状部下位に三方孔を有す。 脚部外面割離の為不明、柱状部内面ヘラによるくりぬき、樽部内面ハケナデ(10本)。	淡灰茶色	0.5mm以下の微砂粒を含む。	良	
	SD1						
77	同上	底 径 11.4	杯部は欠損。脚部は下外方へ反気味に伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる樽部に至る。肩部は垂直な面をもつ。柱状部下位に三方孔を有す。 脚部内外面割離の為不明。	灰茶色	3mm以下の粗砂粒をやや多量に含む。	良	
	SD1						
78	小型盆 (土師器)	口 径 6.4 器 高 8.1 最 大 径 9.4	扁平な球部の伴部より屈曲し、上外方へ反気味に伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ハケナデ、伴部内外面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	変形。
三五	SD1						

海岸線付 位置番号	標 高 土 地 点	標 高 (m) 法 量	口 径 型 号	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色	調 胎 土	焼 成 備 考
79	壁 (土師器)	口 径 13.0		上内方へ内彎して伸びる体部より外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は内方につまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面刺離の為不明、体部外面タタキ(4本)、内面ヘツナデ。	淡茶灰色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好 煤付着。
	SD1						
80	同上	口 径 16.0		口縁部は上外方へ伸びた後端部付近で円曲し、外上方へ内彎して伸びる。端部は上につまむ。体部は欠損。端部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本?)、内面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好
	SD1						
81	壁 (土師器)	口 径 13.0		口縁部は上外方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡褐色	3mm以下の粗砂粒を多量に含む。	良
	SD1						
82	壁 (土師器)	口 径 16.6		上内方へ内彎して伸びる体部より円曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内彎する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面折痕面後ハケナデ(10本)、内面ナデ・指痕痕。	外 淡茶灰 色 内 乳茶灰 色	2mm以下の粗砂粒を多量に含む。	良好
	SD1						
83	同上	口 径 18.2		内上方へ伸びる体部より円曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外に面をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ハケナデ(8本)。	淡粉褐色	雲母・石英等を少量含む。	良好
	SD1						
84	同上	口 径 18.2		口縁部は上外方へ伸び、端部は内彎する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面刺離の為不明(一部ハケナデ有り)、内面ナデ。	淡褐色	1mm以下の粗砂粒を含む。	良 煤付着。
	SD1						
85	同上	口 径 19.4		口縁部は上外方へ伸び、端部は内彎する凹面をもち、若干肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ナデ。	乳灰灰色	1mm以下の粗砂粒を含む。	良好 煤付着。
	SD1						
86	同上	口 径 13.8 高 22.0 最大径 19.4		球形に近い体部より短曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上に凹面をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(11本)、内面ヘツナデ。	淡褐色	2.5mm以下の粗砂粒を含む。	良好 体部外面下に煤付着。
	三五 SD1						
87	同上	口 径 20.8		口縁部は上外方へ伸び、端部は内彎する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の雲母・角閃石等の粗砂粒を多量に含む。	良好 外面に煤付着。
	SD1						

通称・別名	産出地点	種別	(cm) 口径	口径器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
88	壱 (土師器)	SD1	口径	12.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は内方へ肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面割離の島不明(一部ハケナデ有り)、内面上位帯頸線・ナデ、中位ヘラ張り。	淡灰色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	
89	同上	SD1	口径	13.2	内上方に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は外につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部ハケナデ(5本)、内面ナデ・頸線痕。	淡灰褐色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	備付表。
90	同上	SD1	口径	13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は内方へ肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面上位ナデ・頸線痕、中位ヘラズリ。	淡褐色	1mm以下の細砂粒を含む。	良	
三五		SD1							
91	同上	SD1	口径 最大径	14.9 29.2	最大径を中位よりやや上にもつ扁平な球形と思われる体部より屈曲し、斜上方へ外反した後、緩やかに屈曲し、内彎気味に上方する口縁部に至る。肩部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。底部は欠損。肩部内面に2本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面上位ナデ後部ナデ、下位ヘラ張り。	淡灰褐色	4mm以下の砂粒粒を多量に含む。	良	口縁部外面・体部外面上位に黒炭有り。
三六		SD1							
92	同上	SD1	口径	19.4	口縁部は斜上方へ内彎気味に伸び、肩部は丸い。体部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡灰褐色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	
93	同上	SD1	口径	20.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。肩部は内方に若干肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラナデ。	外 淡灰褐色 内 淡乳白色	3mm以下の細砂粒を含む。	良	
94	同上	SD1	口径	15.0	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は鈍く尖る。体部中位以下は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ後部頸線痕、内面ハケナデ(8本)、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラ張り。	淡灰褐色～ 淡茶色	1mm以下の細砂粒を含む。	良	外面に備付表。
三六		SD1							
95	同上	SD1	口径	11.6	上内方へ伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ハケナデ(10本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部内外面ハケナデ(9本)。	淡灰褐色	1mm以下の細砂粒を含む。	良	

遺物番号 四角印付	出土地点	種目	(cm) 口径 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	接成	備考
96	壺 (上部部)	三六	口径 20.2		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(6本)、内面ハケナデ後ナデ・指環痕。	淡灰茶色	1mm以下の 細砂粒を含 む。	良好	外面に煤付 着。
97	同上	SD1	口径 16.0		口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部 は鈍く丸る。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ハ ケナデ(7本)、体部外面ハケナデ(8本)、 内面指環痕。	淡褐色	1.5mm以下 の粗砂粒を 微量に含む。	良好	口縁部外面 に煤付着。
98	同上	SD1	口径 10.8		上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、 上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。 端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(12本)後ヘラ削り、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	1mm以下の 細砂粒を含 む。	良好	
99	同上	SD1	口径 12.8		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(3 本)、体部内外面ハケナデ(5本)。	外 茶褐色 内 淡茶灰 色	1mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	
100	同上	SD1	口径 11.8		口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は 丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰茶色	1mm以下の 細砂粒を含 む。	良好	口縁部外面 に煤付着。
101	同上	SD1	口径 13.4		口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は 鈍く丸る。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(6本)、内面ヨコナ デ、体部内面ヘラ削り。	乳灰色	3mm以下の 粗砂粒を少 量含む。	良好	口縁部外面 に煤付着。
102	同上	SD1	口径 13.2		口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体 部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰色	3mm以下の 砂粒及び 1mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	口縁部外面 に煤付着。
103	同上	SD1	口径 16.4		上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方 へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は 鈍く丸る。体部中位以下は欠損。口部内面 に2本の接合痕を有す。 口縁部外面ハケナデ(7本)、内面ヨコナ デ後ハケナデ、体部ハケナデ(7本)、内面 ナデ。	灰褐色	3mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	
104	同上	三六 SD1	口径 13.8		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く 丸る。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハ ケナデ、体部外面ハケナデ(4本)、内面ヘ ラ削り。	淡褐色	3mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	

通称・内 図番号	品 出 土 地 点	(cm) 法量	口徑 器高	形態・調整等の特徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
105	壺 (土師器)	口徑 15.2		上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は上方へ若干肥厚し、内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	1mm以下の膏片等の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD1							
106	同上	口徑 15.2		上方へ伸びる体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は若干肥厚し、外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(11本)後ナデ、内面ナデ。	外液褐色 内乳灰褐色	1mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD1							
107	同上	口徑 14.6		上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は上に面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面ハケナデ(5本)内面ヘラ削り。	淡紫褐色	3mm以下の長石を含む。	良好	
	SD1							
108	同上	口徑 14.4		上方へ伸びる体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(12本)内面ヘラ削り。	乳灰褐色	1mm以下の粗砂粒を含む。	良	外面に煤付着。
	SD1							
109	同上	口徑 12.2 最大径 16.0		扁平な球形と思われる体部より屈曲し、外反して上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部内外面ハケナデ(9本)。	淡紫灰色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
三六	SD1							
110	小瓦丸底蓋 (土師器)	最大径 7.7		体部は最大径を中位にもつ扁平な球形である。底部は尖り梨味底。口縁部・肩部は欠損。体部内面上位に3本の接合痕を有す。体部外面ハケナデ(8本)内面上位ナデ、下位ナデ後指痕。	淡灰褐色	2.5mm以下の粗砂粒を含む。	良	
	SD1							
111	同上	最大径 9.7		体部は最大径を上位にもつ扁平な球形である。底部は丸底。口縁部・肩部は欠損。体部外面上位ヨコナデ、中位以下ナデ、内面ナデ。	淡灰褐色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好	体部外面に煤付着。
	SD1							
112	鉢 (土師器)	口徑 8.0 器高 8.0		球形の体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は丸底。胴部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ、指痕。体部外面ナデ、内面ヘラナデ。	淡灰褐色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	体部内面に炭化物付着。
三六	SD1							
113	同上	口徑 5.6		上方へ内彎気味に伸びた後垂直に下る体部より屈曲し、上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。肩部は鈍く尖る。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヨコナデ、中位ナデ、内面ナデ。	淡灰褐色	1mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							

産物種別 採取番号	器 出土地点	口径 (cm)	口径 器高	形態・調整等の特徴	色	質	胎土	焼成	備考
114	杯 (上脚器)	口径 12.2	器高 5.0	碗形の杯底部より屈曲し、外上方へ短く伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ、底部内外面ナデ。	淡茶灰色		2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
三六	SD1								
115	同上	口径 13.4		半球形と思われる杯底部より屈曲し、上外方へ短く伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。杯底部は欠損。 内外面ナデ。	淡灰茶色		5mmと3mmの砂礫粒と1mm以下の細砂粒を少量含む。	良好	
	SD1								
116	鉢 (下脚器)	口径 41.6		杯底部は欠損。口縁部は外上方へ短く伸び、肩部は外傾し肥厚する面をもつ。口縁部外面・体部内面に1本ずつ接合痕を有す。口縁部外面ハケナデ後部押さえ、内面ハケナデ(6本)、体部内外面ハケナデ(6本)。	外 内 新 灰褐色 乳灰褐色		2mm以下の粘土を多量に含む。石英・チャート・雲母・赤褐色酸化鉄等を少量含む。	良好	
	SD1								
117	同上	口径 13.4		丸味をもつ杯底部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。脚部は欠損。 杯部内外面ヘラミガキ。	淡灰褐色		5mm以下の砂礫等の砂礫粒を少量含む。	良好	杯部外面に煤付着。
	SD1								
118	同上	口径 18.0		丸味をもつ杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(8本)。	淡灰褐色		4mm以下の砂礫粒を少量含む。	良好	
	SD1								
119	同上	口径 30.2		平らに近い杯底部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は外上方へつまみ返し丸い。脚部は欠損。 底部内外面ヨコナデ、杯部外面ヨコナデ後ヘラミガキ、下位ハケナデ、内面短文状ハケナデ(8本)後ヘラミガキ。	淡青色		1mm以下の細砂粒を含む。	良好	杯部外面に煤付着。
	SD1								
120	同上	口径 12.4	器高 10.7 器底径 9.0	丸味をもつ杯底部より上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる肩部に至る。肩部は内傾する面をもつ。 杯部内外面刺磨の高不明、柱状部外面ヘラ削りで、内面しぼり目・指跡痕、底部内外面刺磨の高不明。	淡茶灰色		5mm以下の砂礫粒を微量に含む。	良	
三六	SD1								
121	同上	口径 13.2		丸味をもつ杯底部より上外方へ内彎味に伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ、内面刺磨の高不明、柱状部外面ハケナデ、内面しぼり目。	淡茶灰色		7mm以下の砂礫粒を微量に含む。	良好	
三七	SD1								
122	同上	口径 14.8		平らに近い杯底部より上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ(7本)、内面ハケナデ後ヨコナデ。	淡茶灰色		3mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD1								

遺物番号 採取番号	器 出 土 地 点	種 類	(cm) 口径 口径 口径	形態・副壺等の特徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
123	墓 塚 (土師器)	底 径	10.2	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる脚部に至る。端部は丸い。 杯底面内面ヨコナテ、脚部外至割離の不明、内面上位へうろりによるくりぬき、下位ナテ。	外 淡灰茶色 内 茶褐色	3mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
	SD 1							
124	同上	底 径	9.0	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる脚部に至る。端部は外側に面をもつ。 脚部外面上位へうろり後ナテ、下位ナテ、内面上位より日、下位ナテ。	淡茶灰色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD 1							
125	同上	底 径	12.8	杯部は欠損。脚部は下外方へ外反気味に伸びる柱状部より屈曲し、外上方へ伸びる脚部に至る。端部は内傾する面をもつ。 脚部外面上位ハテナテ後ヘラナテ、下位ヨコナテ、内面上位へうろりによるくりぬき、下位ナテ。	淡茶色	1mm以下の雲母・炭末等の細砂粒を少量含む。	良好	
	SD 1							
126	杯 蓋 (須恵器)	口 径 器 高 梗 径	13.2 3.8 13.3	やや高く丸味をもつ天弁部より外下方へ伸びる梗に至る。梗は鈍い。口縁部はわずかに外傾して下り、端部は丸い。 天弁部外面不定方向のナテ、他は回転ナテ。	淡灰色	1mm以下の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ (左方向)
	SD 1							
127	同上	口 径 器 高 つまみ径 つまみ芯 梗 径	13.0 5.4 3.4 1.0 13.1	つまみをもち低く平らに近い大弁部より斜下方へ伸びる梗に至る。梗は鋭い。口縁部は歪曲し外反気味に下り、端部は平らで内傾する面をもつ。 天弁部外面約45°回転ヘラ削り、内面不定方向のナテ、他は回転ナテ。	淡黄灰色	3mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	完形。 ロクロ (左方向)
	三七 SD 1							
128	同上	口 径 器 高 梗 径	12.0 4.2 11.8	低くやや丸味をもつ天弁部より屈曲し、下外方へ伸びる梗に至る。梗は鈍い。口縁部はわずかに外傾して下り、端部は丸い。 天弁部外面不定方向のヘラ削り、内面不定方向のナテ、他は回転ナテ。	淡灰色	1mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ。
	SD 1							
129	杯 身 (須恵器)	口 径 器 高 受部径	11.0 4.7 13.0	やや深く平坦な底部より外上方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は丸い。立ち上がりはわずかに内傾した後直立して伸び、端部は平らで内傾する面をもつ。 底外部外面約45°回転ヘラ削り、底面内面不定方向のナテ、他は回転ナテ。	淡青灰色	5mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	完形。 ロクロ (右方向)
	三七 SD 1							
130	同上	口 径 器 高 受部径	11.6 5.0 14.0	やや深く丸味をもつ底部より外上方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は丸い。 底外部外面約45°回転ヘラ削り、他は回転ナテ。	淡青灰色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	完形。 ロクロ (右方向)
	三七 SD 1							
131	鉢 (須恵器)	口 径 器 高	10.0 6.4	平坦な底部より外上方へ伸びる梗に至る。梗は2条育し、鈍い。口縁部は外反気味に直上し、端部は丸い。2条の梗の間に5条の波状文を有す。 底外部外面約45°回転ヘラ削り、他は回転ナテ。	淡灰茶色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ (左方向)
	三七 SD 1							

動物群分類 及産地	産出地点	(cm) 口径 法長 口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎上	成度	備考
132	地 (須恵器)	最大径 12.2	体部は最大径を中位にもつ扁平な球形である。底部は丸底。口縁部・肩部は欠損。肩部外面中位に1帯7条の波状文を1つと1e所円形の穿孔を有す。体部外面下位不定方向のナデ、他は回転ナデ。	淡灰色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	ロクロ(右方向)。
三七	SD 1						
133	取子付高杯 (須恵器)	口径 8.4	丸味をもつと思われる杯部より上外方へ伸びた後屈曲し、外反気味に上外方に伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部は上外方へ伸び、肩部は丸い取子をもつ。脚部以下は欠損。口縁部外面に1帯16条の波状文を1つ有す。杯部外面回転へつ削り、内面上位同転ナデ、下位不定方向のナデ。	淡灰色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	ロクロ(右方向)。 器体部内面に自然輪付着。
三七	SD 1						
134	鉢 (須恵器)	口径 32.6	底部は欠損。上外方へ内反気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ短く伸びる口縁部に至る。肩部は外傾する面をもつ。体部外面に3本の波線を有し、その波線の間に1帯8条の波状文を4つ有す。口縁部内外面・体部内面同転ナデ。	淡青灰色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	内面に自然輪付着。
	SD 1						
135	壺 (須恵器)	口径 19.2	口縁部は上外方へ外反して伸び、肩部付近で外方へ肥厚し、肩部は丸い。体部は欠損。口縁部内外面同転ナデ、体部外面タタキ(8本)、内面タタキ後ナデ。	淡灰色	2mm以下の細砂粒を少量含む。	良好	口縁部内面上位・体部外面灰かぶり。
	SD 1						
136	同上	口径 24.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、肩部付近で外方へ肥厚し、肩部は若干つまむ。体部は欠損。口縁部外面に1帯8条の波状文2つ有す。体部内面同転へつ削り、他は回転ナデ。	乳白色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	ロクロ(右方向)。
	SD 1						
137	同上	口径 21.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、肩部は外傾する凹面をもつ。体部は欠損。口縁部内外面同転ナデ。	淡青灰色	1mm以下の細砂粒を微量を含む。	良好	ロクロ(右方向)。 口縁部内外面に自然輪付着。
	SD 1						
138	同上	口径 26.0	内上方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びた後、肩部付近で若干内彎する口縁部に至る。肩部は上下に肥厚し、外傾する凹面をもつ。口縁部下方に1条の凸線を近らす。口縁部外面に1帯13条の波状文を2つ有す。口縁部内外面・体部内面同転ナデ、体部内面ナデ(一部タタキ有り)。	淡青灰色	3mm以下の長石を含む。	良好	口縁部内面上位・体部外面に自然輪付着。
三七	SD 1						
140	甕 (上須恵器)	口径 11.0 最大径 14.2	球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は欠損。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ後ハケナデ、内面指ナデ。	淡赤褐色	3mm以下の石英・長石・角閃石・志母等の粗砂粒を多量に含む。		
三八	合輪						
141	同上	口径 15.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、肩部は丸い。体部は欠損。器部内面に1本の接合痕を有す。口縁部外面タタキ(4本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラ削り。	淡赤褐色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
	合輪						

遺物番号 図録番号	器種 出土地点	(cm) 口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
142	壺 (輪式系土器)	口径 13.8	内増して上方へ伸びる体部より屈曲し、 外反して上方へ伸びる口縁部に至る。端 部は外傾する凹面をもつ。体部中位以下は 欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面縦筋ナ デキ、内面ナデ。	淡黄褐色	3mm以下の 粗砂粒を少 量含む。	良好	
三八	包含層						
143	鉢 (土師器)	口径 12.0 器高 5.6	半球形の体部より上方へ伸びる口縁部 に立る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部・体部外面ナデ後ハケナデ、口縁 部・体部内面ヘラナデ。	外 淡橙茶 色 内 淡茶灰 色	2mm以下の 長石・角閃 石等の粗砂 粒を少量含 む。	良	
144	高杯 (土師器)	口径 15.0	杯底部は欠損。口縁部は上方へ伸びた 後屈曲して上方へ伸び、端部は丸い。脚 部は欠損。 杯部内外面ヨコナデ。	淡灰白色	微量。	良好	
145	同上	口径 23.0	広く平坦な杯底部より屈曲し、外反気味 に斜上方へ伸びる口縁部に立る。端部は丸 い。脚部は欠損。 杯部外側上位縁文状ヘラミガキ、下位ハ ケナデ (14本) 後縁文状ヘラミガキ、内面 縁文状ヘラミガキ、杯底部外面ナデ。	淡橙灰色	1mm以下の 粗砂粒を含 む。	良	
三八	包含層						
146	製土土器	口径 4.6	上方へ伸びる体部より口縁部に至る。端 部は丸い。底部は欠損。 外面縦筋の高不揃、内面ナデ。	外 淡橙茶 色 内 淡茶褐 色	1mm以下の 粗砂粒を含 む。	良	
三八	包含層						
147	同上	口径 5.6	上方へ伸びる体部より口縁部に至る。 端部は丸い。底部は欠損。 外面ナデ・拍頭儀、内面ナデ。	淡黄褐色	1.5mm以下 の粗砂粒を 含む。	良好	
三八	包含層						
148	杯蓋 (須恵器)	口径 10.0 器高 5.1 口径 9.4	やや高く丸い天井部より下方へ伸びる 縁に至る。縁は鈍い。口縁部は内増して下 方へ下り、端部は段を有し、内傾する凹面 をもつ。天井部一部欠損。 天井部外面ヨコナデヘラ削り、他は回転 ナデ。	淡灰色	2mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	ロクロ (右 方向) 外面灰かよ り。
149	同上	口径 12.0 器高 4.7 口径 11.8	やや高く丸味をもつ天井部より下方へ 伸びる縁に至る。縁は微跡あり。口縁部は 垂直に下り、端部は段を有し、平らに近い 凹面をもつ。 天井部外面ヨコナデヘラ削り、他は回転 ナデ。	淡灰色	2mm以下の 粗砂粒を微 量含む。	良好	ロクロ (左 方向) 天井部外面 約与に自然 輪付着。
三八	包含層						
150	同上	口径 11.0 器高 4.75 口径 11.0	やや高く上面凹状の天井部より下方へ 伸びる縁に至る。縁は微跡あり。口縁部は 垂直に下り、端部は段を有し、内傾する凹 面をもつ。 天井部外面約与回転ヘラ削り、他は回転 ナデ。	淡灰色	3mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	ロクロ (左 方向) 天井部外面 与灰かよ り。
三九	包含層						

産地番号 調査番号	採出地点	(cm) 径 法量 器高	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
151 三九	杯蓋 (須恵器) 包含層	口径 12.8 器高 4.6 径 13.0		やや広く若干上面凹状の天井部より下方へ伸びる縁に至る。縁は鋭い。口縁部は垂直に下り、端部は段を有し、面をもつ。天井部外面的互回転へり削り、他は回転ナデ。	淡青灰色	1mm以下の細砂粒を少量含む。	良好	ロクロ(右方向)。
152	同上 包含層	口径 13.0 径 12.8		やや広く平らと思われる天井部より下方へ伸びる縁に至る。縁は鋭い。口縁部は若干平下方へ下り、端部は段を有し、内傾する面をもつ。天井部一部欠損。天井部外面的互回転へり削り、他は回転ナデ。	淡灰色	赤褐色酸化粒・雲母・石英等を微量に含む。	良好	ロクロ(右方向)。 外面灰かぶり。
153 三九	同上 包含層	口径 12.0 器高 4.15 径 11.8		広く上面平らの天井部より下方へ伸びる縁に至る。縁は鋭い。口縁部は垂直へ伸びた後下方へ外反して下り、端部は丸い。天井部外面的互回転へり削り、他は回転ナデ。	灰青色	1mm以下の細砂粒を微量に含む。	良好	ロクロ(右方向)。 外面灰かぶり。
154	同上 包含層	口径 13.0 径 12.6		やや高く丸味をもつと思われる天井部より下方へ伸びる縁に至る。縁は鋭い。口縁部は下方へ下り、端部は段を有し、平らに広い。天井部一部欠損。天井部外面的互回転へり削り、内面的互不定方向ナデ、他は回転ナデ。	外 淡青灰色 内 灰色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ(左方向)。
155 三九	同上 包含層	口径 13.0 器高 3.6 径 12.4		広く平らに広いと思われる天井部より下方へ伸びる縁に至る。縁は鋭い。口縁部は下方へ内傾して下り、端部は内傾する面をもつ。天井部一部欠損。天井部外面的互回転へり削り、他は回転ナデ。	外 灰色 内 灰青色	3.5mm以下の微砂粒を微量に含む。	良好	ロクロ(左方向)。 天井部外面灰かぶり。
156 三九	杯蓋 (須恵器) 包含層	口径 12.6 受部径 15.2		底部は欠損。肩部は上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く出る。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。 底外部外面不定方向のへり削り、他は回転ナデ。	淡青灰色	0.5mm以下の微砂粒を含む。	良好	ロクロ(右方向)。
157 三九	同上 包含層	口径 11.6 器高 4.9 受部径 13.4		やや深く平らの底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 底外部外面的互回転へり削り、他は回転ナデ。	淡灰茶色	精良。	良	ロクロ(左方向)。
158 三九	同上 包含層	口径 10.0 器高 4.9 受部径 12.0		やや深く平らに広い底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。 底外部外面的互回転へり削り、他は回転ナデ。	淡青灰色	0.5mm以下の微砂粒を少量含む。	良好	ロクロ(左方向)。
159 三九	同上 包含層	口径 10.0 器高 5.6 受部径 12.6		深く丸い底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。 底外部外面的互回転へり削り、他は回転ナデ。	淡灰色	1mm以下の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ(右方向)。

遺物多量 図説番号	出土地点	(cm) 口径 器高	形態・調整等の特徴	色	調	胎	土	焼成	備考
160	杯身 (須恵器)	口径 10.4 受部径 12.2	底部は欠損。体部は斜上方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は若干段を有し、内傾する凸面をもつ。 底・体部外面約5回転へり削り、他は回転ナデ。	淡灰色		納良。		良好	
四十	包含層								
161	同上	口径 11.0 受部径 12.8	底部は欠損。体部は外上方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は鋭い。立ち上がりは内傾し、端部は内傾する凹面をもつ。 底・体部外面約5回転へり削り、他は回転ナデ。	外 淡黄灰色 内 淡灰茶色		1mm以下の細砂粒を少量含む。		良好	ロクロ(右方向)
	包含層								
162	同上	口径 12.6 受部径 14.6	底部は欠損。体部は1/4上方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。 底・体部外面約5回転へり削り、他は回転ナデ。	灰青色		長石・雲母等の微砂粒を含む。		良好	ロクロ(右方向)
	包含層								
163	高杯 (須恵器)	口径 10.7 器高 8.7 受部径 13.0 底径 8.3	深く丸味をもつ底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は鋭い。立ち上がりは内傾し、端部は内傾する凹面をもつ。脚部は下外方へ下った後、胴部で下外方へひろく。端部は外傾する凹面をもつ。脚部中に四方孔を有す。 内外面回転ナデ。	淡灰色		1mm以下の細砂粒を含む。		良好	欠形。 ロクロ(右方向) 外面に自然輪付性。
四十	包含層								
164	同上	口径 10.0 器高 8.4 受部径 12.4 底径 8.8	深く平らの底部より上外方へ内彎して伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は鋭い。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。脚部は下外方へ伸び、端部は外傾する凹面をもつ。脚部中に四方孔を有す。 内外面回転ナデ。	灰黑色		1mm以下の細砂粒を含む。		良好	完形。 ロクロ(右方向)
四十	包含層								
165	同上	口径 11.0 器高 9.4 受部径 12.6 底径 9.4	やや深く丸味をもつ底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鋭い。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。脚部は下外方へ下る。端部は外傾する面をもつ。脚部に三方孔を有す。 底・体部外面約5回転へり削り、他は回転ナデ。	外 灰色 内 灰白色	積炭。			良好	ロクロ(左方向)
四十	包含層								
166	盞 (須恵器)	口径 18.8	口縁部は上外方へ外反して伸びた後外上方へ伸びる。端部は外面に凹面をもつ。端部付近に1条の凸輪が走る。体部は欠損。 口縁部外面に1番10条と1番13条の波状文を有す。 口縁部外面上位、内面ナデ。	外 淡灰紫色 内 淡灰色		4mm以下の砂礫粒を微量に含む。		良好	ロクロ。
	包含層								

第2調査区

植物群 区画番号	器 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎上焼成	備考	
2	壺 (土師器)	口径 8.4	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。体部外面割離の為不明、内面ナデ・指頭痕・ヘラ削り。	淡灰褐色	2mm以下の粗砂粒を多数含む。	良好	
	SK3						
3	同上	口径 14.2	口縁部は斜上方へ伸びた後屈曲して上方へ伸び、端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡茶褐色	1.5mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SK3						
4	同上	口径 15.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ナデ後ハケナデ、内面ナデ。	淡緑茶色	2mm以下の長石・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
	SK3						
5	同上	口径 8.0 器高 8.7 最大径 9.6	扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(9本)、体部外面ハケナデ(8本)、内面上位ナデ、中位以下ヘラ削り。	淡灰褐色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	完形。
	SK3						
6	同上	口径 7.8	上外方へ内傾して伸びる体部より屈曲し、外反して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(11本)、体部外面ハケナデ(11本)、内面ナデ・指頭痕。	緑茶色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	
	SK3						
7	壺 (土師器)	口径 11.0	最大径を上位にもつ球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ナデ後ハケナデ、内面上位ナデ後ヘラナデ・指頭痕、下位割離の為不明。	外 淡緑茶色 内 淡茶色	2mm以下の雲母・石英・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
	SK3						
8	鉢 (土師器)	口径 11.6 器高 6.2	碗形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上位ヨコナデ、中位以下ヘラ削り、内面ヘラナデ。	淡褐色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	完形。
	SK3						
9	高杯 (土師器)	口径 7.2	杯底部は欠損。口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。脚部は欠損。 端部付近内外面ヨコナデ、杯部外面ハケナデ(6本)、内面ナデ。	外 淡灰褐色 内 淡灰茶色	2mm以下の粒砂粒を少量含む。	良好	
	SK3						

通商番号 国産番号	出土地	種	(cm) 法量	口徑 高さ	形態・調整等の補償	色	調	胎土	焼成	備考
10	高杯 (土師器)	SK3	口徑 13.0		杯底部は欠損、口縁部は上外方へ内彎して伸び、端部は鋭く尖る。脚部は欠損。 杯部内外面上位ヨコナテ、下位ナテ。	淡茶灰色		2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
11	同上	SK3	口徑 13.6		丸味をもつ杯底部より上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部内外面ナテ。	淡橙茶色		2mm以下の長石・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
12	取手付き鉢 (須恵器)	SK3	口徑 10.4		上方へ内彎して伸びる体部より口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。底部は突出しない平底。底部一部欠損。体部外面中に1番6条の波状文を有す。体部外面に粘土粒を糊に取り付けた取手と上方に縁を有す。 口縁部内外面回転ナテ。体部外面上位回転ナテ。下位加転へつ削り、内面上位回転ナテ。下位不定方向のナテ。	淡灰色		4mm以下の砂礫粒を少量含む。	良好	口縁部外面・内面上位に自然積付層。
13	杯身 (須恵器)	SK5	口徑 9.6 器高 3.8 受部径 11.6		浅く平らに近い低体部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は尖る。立ち上がりは内傾し、端部は丸い。 底体部外面与回転へつ削り、底面内面不定方向のナテ。他は回転ナテ。	淡青灰色		3mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ (右方向)。
14	瓶 (土師器)	SP10	口徑 26.4		口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナテ、体部外面タテキ換ハケナテ、内面ヨコナテ・指頭編。	緑灰褐色		3mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
15	製瓶土器	SP14	口徑 4.4		上方へ伸びる体部より口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 外面タテキ、内面ナテ。	外 淡橙茶色 内 淡茶色		1mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
16	杯蓋 (須恵器)	SD5	口徑 13.2 縁径 13.2		天井部より斜下方へ伸びる縁に至る。縁は鋭い。口縁部は下外方へ下り、端部は丸い。天井部一部欠損。 天井部外面与回転へつ削り、他は回転ナテ。	淡灰色		3mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ (左方向)。
17	同上	SD5	口徑 13.4 縁径 13.0		やや低く丸味をもつ天井部より外下方へ伸びる縁に至る。縁部は鋭い。口縁部は下外方へ伸び、端部は鋭く尖る。内面する面をもつ。天井部一部欠損。 天井部外面与回転へつ削り、他は回転ナテ。	淡灰色		2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ (左方向)。
18	杯身 (須恵器)	SD5	口徑 11.8 受部径 14.4		底部は欠損。体部は上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は丸い。 底体部外面与回転へつ削り、他は回転ナテ。	淡灰色		2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ (左方向)。

遺物番号 四段番号	出土地点	種別	(cm) 口径 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
19	高杯 (須恵部)	S D 5	口径 9.3		杯部は欠損。脚部は下外方へ下った後、 杯部で斜下方へひろく。端部は外傾する面 をもつ。脚部に三方孔を有す。 内外面回転ナデ。	淡青灰色	2mm以下の 粗砂粒を少 量含む。	良好	
20	壺 (土師部)								
21	壺 (土師部)	四〇 包含層	口径 12.7	器高 14.15 器底径 13.75 器底径 3.9	最大径を中位よりやや上にもつ楕円形の 体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に 至る。端部は若干上につまむ。底部は突出 しない平底。肩部内面に1本の接合線を有 す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り、体 部外面上位ナデ、中位以下ハケナデ(9本) 内面ヘラ削り、底部外面ハケナデ(9本)。	淡黄褐色	赤母・赤褐 色酸化粒・ 角閃石・石 英・長石等 を微量に含 む。	良好	体部外面中 位以下・底 部外面に煤 付着。
22	同上		口径 14.6 器高 16.6 最大径 16.5 器底径 4.6						
23	同上	四〇 包含層	口径 14.9	器高 22.9 器底径 4.35 最大径 20.3	楕円形の体部より屈曲し、上外方へ伸び る口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。 底部はやや突出したくぼみ底。体部内外面 下位に1本ずつ接合線を有す。 口縁部外面ヨコナデ・ハケナデ、体部外 面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	淡灰色	1mm以下の 粗砂粒を含 む。	良	炭化物及び 煤付着。
24	同上		口径 17.0 器高 23.4 最大径 20.1 器底径 4.8						
25	同上	四一 包含層	口径 17.0	器高 26.0 最大径 24.45	楕円の体部より屈曲し、上外方へ反し て伸びる口縁部に至る。端部は内方へつま む。底部は丸底。 口縁部内外面・肩部内外面ナデ、体部外 面ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	淡黄褐色	赤褐色酸化 粒・雲母・ 長石・角閃 石・石英等 を微量に含 む。	良好	体部外面中 位以下・内 面下位に煤 付着。
26	高杯 (土師部)		口径 14.65						
28	壺 (土師部)	包含層	口径 15.6		口縁部は上外方へ伸び、端部は外側に面 をもち、垂下する。体部は欠損。体部外面 に1つの円形浮文と2本の沈線を有す。 口縁部内外面ナデ。	淡灰褐色	5mm以下の 砂粒を含む。	良	

遺物番号 四角番号	出土地点	(cm) 口径 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
29	壺 (土師器) 包含層	口径 16.0	口縁部は上外方へ伸びた後短く外上方へ外反して伸び、端部は下方へ肥厚し、外面に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面磨面の為不明、内面ナデ。	外 淡黄赤 内 淡灰色	赤褐色酸化 鉄・石英・ 角閃石等を 微量に含む。	良好	
30	同上 包含層	口径 15.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。胴部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ・指痕、内面ナデ、胴部内面ナデ後ハケナデ。	淡橙茶色	3mm以下の 雲母・角閃 石等の粗砂 粒を含む。	良好	
31	同上 包含層	口径 8.0	上内方へ伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外縁する凹面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラ削り。	淡茶色	2mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	
32	同上 包含層	口径 18.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	淡茶白色	雲母・石英 等を少量含 む。	良	
33	同上 包含層	口径 12.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部下位は欠損。胴部内面に3本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	灰茶色	1mm以下の 石英・チャ ート・長石 ・雲母等の粗 砂粒を少量 含む。	良好	
34	壺 (土師器) 包含層	口径 12.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。胴部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラナデ。	淡橙茶色	2mm以下の 雲母・長石・ 角閃石等の 粗砂粒を含 む。	良	体部外面に 灰付着。
35	同上 包含層	口径 14.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部下位は欠損。体部外面に2本と内面に3本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	淡茶褐色	3mm以下の 角閃石・長 石等の粗砂 粒を含む。	良好	
36	同上 包含層	口径 17.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 淡橙茶 色 内 淡茶色	3mm以下の 雲母・角閃 石・長石等 の粗砂粒を 含む。	良好	口縁部内面 上位に灰付 着。
37	同上 包含層	口径 15.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。胴部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ・指痕。	淡橙茶色	2mm以下の 粗砂粒を含 む。	良	

遺物番号 採取番号	出土地点	種別	(cm) 口径	口徑 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
38		甕 (土師器)		口径 18.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。肩部は鈍く実る。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ナデ。	淡橙茶色	2mm以下の角閃石・長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面上部に黒炭有り。
		包含層							
39		同上		口径 16.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	1mm以下の粗砂粒を含む。	良	煤付着。
		包含層							
40		同上		口径 15.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。肩部は若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	石英・長石・良好炭屑・角閃石等の微塵に含む。	良	外面に煤付着。
		包含層							
41		同上		口径 15.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、肩部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラ削り。	淡灰色	雲母・石英等を少量含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
		包含層							
42		同上		口径 17.6 最大径 23.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は実る。体部下位は欠損。口縁部外面に1本、体部外面に2本、肩部内面に3本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面上位ヨコナデ、中位以下タタキ(4本)、内面ナデ。	外 淡茶褐色 内 淡灰茶色	3mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
		包含層							
43		同上		口径 16.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、肩部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラ削り。	淡灰色	1mm以下の雲母等の粗砂粒を含む。	良	煤付着。
		包含層							
44		同上		口径 14.0	口縁部は上外方へ伸び、肩部は若干内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	淡橙茶色	2mm以下の雲母・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
		包含層							
45		同上		口径 14.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は内方につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面タタキ(4本)後ヨコナデ、内面ハケナデ後ナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	2mm以下の角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良	体部外面に煤付着。
		包含層							
46		同上		口径 16.8 最大径 19.4	楕円形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部はつまみ上げる。肩部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	外 灰白色 内 淡橙色	0.5mm以下の微砂粒を少量含む。	良好	
		包含層							

産物番号 国産番号	品 種 出 土 地 点	(mm) 口径 法 要 素 高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調 評 定	七 燒 成	備 考
47	壺 (七師器) 包含層	口 径 15.8 最大径 21.2	最大径を中位にもつ扁平な球形と思われ る体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸 びる口縁部に至る。端部は外傾する面をも つ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タテナ デ(5本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラ削り ハケナデ。	淡茶灰色	1mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好 灰付着。
48	同上 包含層	口 径 13.0	口縁部は斜上方へ伸び、端部は丸い。体 部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナゲハケナ デ、体部内外面ハケナデ。	淡茶灰色	1mm以下の 赤母等の粗 砂粒を含む。	良好 灰付着。
49	同上 包含層	口 径 19.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾 する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヨ コナデ、中位ヘラナデ、内面上位ナデ・指 頭皿、中位ヘラ削り。	淡茶灰色	1mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好 灰付着。
50	同上 包含層	口 径 12.6	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は 外傾する面をもつ。体部は欠損。口縁部 外面・端部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ハケナデ後ナデ、内面ハケナ デ(7本)。	淡茶灰色	2mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好
51	同上 包含層	口 径 12.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥 厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削 り。	淡茶灰色	赤母・石英 等を少量含 む。	良好
52	同上 包含層	口 径 12.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥 厚する。体部は欠損。口縁部外面に1本の 接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナ デ後ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡茶黄色	石英・長石・ 赤母・チャ ート等を少 量含む。	良好
53	同上 包含層	口 径 12.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 体部中位以下は欠損。体部外面にヘラによ る傷を2ヶ所有す。 口縁部外面ナゲ、内面ハケナデ(7本)、 体部外面ハケナデ(6本)、内面ヘラ削り。	淡緑灰色	2mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好
54	同上 包含層	口 径 17.0	口縁部は上外方へ内彎して伸び、端部は 内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ、内面ヘラ削り。	淡緑灰色	1mm以下の 赤母等の粗 砂粒を含む。	良好
55	同上 包含層	口 径 14.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥 厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ、内面ヘラ削り。	淡緑茶色	2mm以下の 赤母・黄閃 石英等の粗 砂粒を少量含 む。	良好

遺跡番号 調査番号	出土地点	(cm) 口径 高さ	口径 高さ	形態・調整器の特徴	色調	胎土	焼成	備考
56	壺 (土師器)	口径 12.8		口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ナメハケナゲ(8本)、体部内外面ハケナゲ。	淡緑茶色	3mm以下の雲母・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付層。
	包含層							
57	同上	口径 11.8		口縁部は上外方へ伸びた後屈曲して内上方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面上位髷状文、下位ヨコナゲ、内面ヨコナゲ。	外 淡緑灰色 内 橙灰色	1mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
	包含層							
58	小型丸底壺 (土師器)	側部最大径 7.9		球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部・端部は欠損。底部は丸底。 口縁部・体部外面ハケナゲ後ヘラミギキ、内面ナゲ。	外 灰褐色 内 黒褐色	0.5mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
四一	包含層							
59	同上	口径 8.35 高さ 8.45		球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。体部内面に2本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面ヘラ削り残ナゲ、内面ナゲ。	外 褐色～灰茶色 内 黒色～灰茶色	長石・雲母・赤褐色酸化鉄等を多量に含む。	良好	定形。体部外面に黒斑有り。
四一	包含層							
60	鉢 (土師器)	口径 17.35		喇叭形の体部より上外方へ内側気味に伸びた後斜上方向へ軽く伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。底部はやや突出したあぶら底。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ後ヘラミギキ、内面ヘラミギキ。	赤褐色	長石・石英・雲母等を多量に含む。	良好	体部外面上位に黒斑有り。
	包含層							
61	同上	口径 22.4		口縁部は上外方へ伸びた後軽く外上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面上位ヨコナゲ、下位ヘラミギキ。	外 淡灰褐色 内 淡灰色	0.5mm以下の角閃石・雲母・長石等を多量に含む。	良好	
	包含層							
62	同上	口径 7.8 高さ 4.0		喇叭形の体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。底部は突出したくぼみ底。 口縁部・体部・底部外面ナゲ、内面ヘラナゲ残ヨコナゲ。	赤茶褐色	雲母・チャート・角閃石等を微量に含む。	良好	
四一	包含層							
63	同上	口径 6.0		上方へ内轉して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面・体部外面上位・内面ヨコナゲ、体部外面中位以下ハケナゲ(6本)。	黒灰色	1mm以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	
	包含層							
64	有孔鉢 (土師器)	口径 3.0		体部は上外方へ伸びる。口縁部・端部は欠損。底部は突出しない小さい平底。底部に穿孔を有す。 体部外面タタキ(3本)、内面中位ナゲ、下位ナゲ・指痕痕、底部外面ナゲ。	赤系褐色	角閃石・雲母・石英・チャート等を微量に含む。	良好	
	包含層							

植物群時 代群番号	種 出 土 地 点	(mm) 法量	口徑 測定	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色	調 整 土	攪 混 考
65	鉢 (土師器) 包含層	口 径 42.7		口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面割離の為不明、内面ハケナデ(8本)。	淡灰茶色	長石・チャート・石英・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好
66	同 上 包含層	口 径 14.8 器 高 5.2		碗形の体部より上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。内外面割離の為不明、底部外面指痕度?。	乳褐色	長石・チャート・雲母等を含む。	良好 内面に黒泥有り。
67	同 上 包含層	底 径 8.4		口縁部・体部は欠損。脚部は外下方へ伸びた後下外方へ伸びる脛部に至る。端部は外傾する面をもつ。 底部内面・脚部内外面ナデ。	淡茶褐色	赤褐色酸化粒・角閃石・石英・チャート・雲母等を微量に含む。	良好
68	高 杯 (土師器) 包含層	口 径 22.7		平らに近い杯底部より屈曲し、斜上方へ伸びた後端部付近で外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ハケナデ後ヘラミガキ、杯底部外面割離の為不明。	灰茶色	1mm以下の長石・チャート・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好
69	同 上 包含層	口 径 21.9		杯底部は欠損。口縁部は上外方へ伸び、端部は若干外方へ肥厚する。脚部は欠損。 杯部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ後ヘラミガキ。	淡灰茶色	0.5mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好
70	同 上 包含層	口 径 22.4		丸味をもつ杯底部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は内彎気味に上外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる。脛部は欠損。 杯部外面上位ヨコナデ、下位ナデ、脚部外面割離不明、柱状部内面ヨコナデ。	乳褐色	2mm以下の長石・雲母・角閃石等の粗砂粒等を多量に含む。	良好
71	同 上 包含層	口 径 15.4		平らに近い杯底部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ(9本)後ヨコナデ、内面ハケナデ(10本)、杯底部内面ナデ。	淡黄褐色	雲母・石英・赤褐色酸化粒・角閃石等を微量に含む。	良好
72	同 上 包含層	口 径 18.0		丸味をもつ杯底部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は外下方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる。脛部は欠損。脚部外面上位に1本の接合痕を有す。脚部中位に一方孔を有す。 杯部外面上位ヨコナデ、中位以下ハケナデ(10本)、内面割離の為不明、脚部外面割離の為不明、柱状部内面ナデ・しぼり目、脚部内面ハケナデ。	灰茶色	長石・チャート・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好

産出地 内蔵率	器土 地点	種 法	(cm) 口径 口径	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色	調 整	胎 土	焼 成	備 考
73	高 杯 (土師器)	口 径	20.0	丸味をもつ杯底部より斜上方へ内彎して伸びた後縁部付近で外上方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。杯部内外面ナデ。	赤茶褐色		雲母・角閃石・チャート・石英等を微量に含む。	良好	
	包含層								
74	同上	口 径	17.8	杯底部は欠損。体部は外上方へ伸びた後外上方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は欠損。杯部外面ハケナデ(15本)・内面ハケナデ(15本)。	外 暗灰褐色 内 淡灰茶色		チャート・雲母・赤褐色酸化鉄等の細砂粒を多量に含む。	良好	
	包含層								
75	同上	底 径	12.0	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ外反気味に伸びる端部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部内面上位に1本の接合痕を有す。柱状部外面ヨコナデ・ハケナデ後ヘラ削り、内面ヘラ削り、端部内外面ナデ。	淡黄褐色		雲母・石英・赤褐色酸化鉄・角閃石等を微量に含む。	良好	
	包含層								
76	同上	底 径	12.4	杯部は欠損。脚部は下外方へ外反して伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる前部に至る。端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。脚部外面ナデ、柱状部内面ヘラ削り、端部内面ナデ。	赤茶褐色		赤褐色酸化鉄・石英・長石・雲母・チャート等を微量に含む。	良好	定形。 脚部内面に 顕微石あり。
	包含層								
77	製塩土器	口 径	3.8	上方へ伸びる体部より若干内方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。内外面ナデ。	淡茶灰色		1mm以下の細砂粒を含む。	良好	
	包含層								
78	瓶 (土師器)	口 径	34.0	上方へ伸びる体部よりそのまま上方へ伸びた後縁部付近で斜上方へ内彎して短く伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部下位は欠損。体部内外面中に1本ずつ接合痕を有す。口縁部外側に1番9条の液状文を有す。体部中に扁平な五角形の取手を有す。口縁部外面上位ヨコナデ。下位ハケナデ後液状文、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヨコナデ・指痕似、取手外面ナデ。	淡黄褐色		1.5mm以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	
	包含層								
79	杯 蓋 (須恵器)	口 径 器 高 底 径	12.8 3.4 12.6	やや高く丸味をもつ天井部より下外方へ内彎気味に伸びる縁に至る。縁は尖る。口縁部は下外方へ下り、端部は平らで内傾する。天井部外面的丸回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	灰白色		積良。	良好	定形。 ロクロ(右 方向)。
四一	包含層								
80	同上	口 径 器 高 底 径	10.4 4.3 12.2	やや低く上面凹凸の天井部より斜下方へ伸びる縁に至る。縁は尖る。口縁部は垂直に下り、端部は段を有し、内傾する面をもつ。天井部外面的丸回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	灰色		3mm以下の粗砂粒を含む。	良好	天井部外面 的丸回転かぶり。
四一	包含層								

遺物番号 採取番号	器 出土地点	種 類	(cm) 口径	口径 器高	形態・調整等の特徴	色	調	胎	土	焼成	備	考
81	杯蓋 (須恵器)	口徑 12.6 器高 12.0			大弁部より下方へ下る様に至る。縁は 微凹あり。口縁部は下方へ下り、端部は 段を有し、内縁する面をもつ。大弁部一部 欠損。 内外面同転ナデ。	灰色		精良。		良好		
四一	包含層											
82	杯身 (須恵器)	口徑 10.4 器高 4.3 立ち上がり高 2.1 受部径 12.4			やや深く凹状の底部より上外方へ伸びる 受部に至る。受部は外上方に伸び、端部は 丸い。立ち上がりは内傾し、端部は鈍く尖 る。 底面外部約同転へつ削り、他は同転 ナデ。	黄灰色		精良。		良好		
83	同上	口徑 13.4 立ち上がり高 1.1 受部径 15.6			丸味をもつと思われる底部より上外方へ 伸びる受部に至る。受部は外上方に伸び、 端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は 丸い。底部は欠損。 底面外部約同転へつ削り、他は同転 ナデ。	灰白色		精良。		良好		
	包含層											

第3調査区

遺物番号 採取番号	器 出土地点	種 類	(cm) 口径	口径 器高	形態・調整等の特徴	色	調	胎	土	焼成	備	考
1	壺 (土師器)	口徑 21.8			直上する頸部より外上方へ外反して伸び た後屈曲し、斜上方へ外反して伸びる口縁 部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部内外面調整 不明。	乳白色		6mm以下の 長石等の砂 塵粒を含む。		良好		
	包含層											
2	壺 (土師器)	口徑 15.0			上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方 へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸 い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (3本)、内面ヘツナデ。	赤褐色		1mm以下の 雲母・チエ ート・角閃 石等の粗砂 粒を多量に 含む。		良好		
	包含層											
3	同上	口徑 21.6			口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥 厚し、外縁する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡茶灰色		2mm以下の 長石・赤褐 色酸化粒等 の粗砂粒を 含む。		良好		
	包含層											

第5調査区

遺物番号 採取番号	器 出土地点	種 類	(cm) 口径	口径 器高	形態・調整等の特徴	色	調	胎	土	焼成	備	考
1	壺 (土師器)	口徑 18.0			口縁部は外反して頸部した後外上方へ外 反して伸び、端部は外側に面をもつ。体部 は欠損。 口縁部外面・内面土位ヨコナデ、下位ナ デ。	外 淡茶灰 色 内 淡灰色		1mm以下の 長石・石英 等の粗砂粒 を少量含む。		良好		
	SE1											
2	同上	口徑 13.6 最大径 24.3			壺形の体部より屈曲し、下方へ外反し て伸びる頸部より屈曲して直上する口縁部 に至る。端部は内外方へ肥厚する。底部は 欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。肩 部内面に1帯5条の波状文を1つ有す。 口縁部・頸部内外面ヨコナデ、体部ハケ ナデ(6本、内面へつ削り)。	赤褐色		0.5mm以下 の石英等の 粗砂粒を少 量含む。		良好	体部外反下 位に傾付す	
四二	SE1											

遺物発見 現地地名	出土地点	(m) 口径 法量	口徑 器高	形態・観察等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
	3 壺 (土師器)	口径	12.6	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、肩部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ後ハケナデ、頸部内面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡茶褐色	1mm以下の雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良好	口縁部外面に灰付着。
	SE1							
	4 同上	口径	14.4	口縁部は上外方へ伸び、肩部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ後ハケナデ、内面ヘラ削り。	外 黒色 内 暗灰褐色	0.5mm以下の雲母・チャート・長石等の微砂粒を含む。	良好	口縁部外面に灰付着。
	SE1							
	5 同上	口径 最大径	15.0 18.2	扁平な球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は内方につまみ上げる。底部は欠損。 口縁部内外面ナデ、体部外面ハケナデ(3本)、内面ヘラ削り。	外 淡灰茶色 内 淡灰色	雲母・長石・角閃石等を微量に含む。	良好	
西二	SE1							
	6 同上	口径	15.3	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、肩部は上につまむ。体部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面タタキ(7本)後ヨコナデ、内面ハケナデ(8本)、頸部外面タタキ(7本)、体部内面ナデ。	外 黒色 内 暗灰茶色	1mm以下の雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	口縁部外面に灰付着。
	SE1							
	7 同上	口径	16.8	口縁部は斜上方へ伸び、肩部は外面に凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ、内面ヘラ削り。	乳灰褐色	1mm以下の雲母・長石・角閃石等の細砂粒を含む。	良好	頸部外面に灰付着。
	SE1							
	8 同上	口径	16.4	上内方へ内傾して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・酒頑儀、口縁部内面・頸部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	淡茶色	1.0mm以下の長石・赤褐色酸化粒・雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	体部外面に灰付着。
西二	SE1							
	9 同上	口径 最大径	14.8 21.6	楕円形の体部より屈曲し、上外方へ伸びた後屈曲して内方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は欠損。古瀬地方の酒津式の特徴をもつ。 口縁部外面上位クシ状工具によるナデ、下位・口縁部内面ナデ、体部外面上位ハケナデ(11本)、下位ヘラミガキ、内面上位・中位ヘラ削り、下位ヘラ削り後指頑儀。	淡黄褐色	雲母・長石等を微量に含む。	良好	内外面に灰付着。
西二	SE1							
	10 小型壺 (土師器)	口径 器高	10.6 11.0	扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は尖り気味。 口縁部外面ヘラミガキ、内面凹文状ヘラミガキ、体部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面上位ヨコナデ、中位以下ヘラ削り。	淡茶褐色	3mm以下の長石・雲母・石英・角閃石等の細砂粒を含む。	良好	
西二	SE1							
	11 鉢 (土師器)	口径	14.2	斜上方へ内傾して伸びる体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は丸底。 頸部付近内外面ヨコナデ、口縁部・体部外面ヘラ削り、口縁部・体部内面ハケナデ(8本)。	乳灰褐色	3mm以下のチャート・長石等の微砂粒を含む。	良好	底形 凹底有り。
西二	SE1							

産物番号 産物名	産出土地点	(m) 口径 口径 口径	形態・調整等の特徴	色	胎土	焼成	備考
12	台付鉢 (土師器)	口径 6.3	体部は斜上方へ伸びた後屈曲し、内方へ伸びる。口縁部・高台は欠損。体部外面へラミガキ、内面ナデ。	外 暗茶褐色 内 淡茶灰色	1mm以下の粗砂粒を含む。	良好	外面に煤付着。
	SE 1						
13	同上	口径 9.6	上外方へ伸びる体部より内側気味に直上した後上外方へ短く伸びる口縁部に至る。底部は丸い。高台は欠損。内外面ヘラミガキ。	淡乳茶色	5mm以下の石英・赤褐色酸化鉄・床台等の粗砂粒を含む。	良好	
四三	SE 1						
14	器台 (土師器)	口径 11.6	受部は欠損。脚部は斜下方へ伸びる彎部に至る。底部は丸い。脚部中に四方孔を有す。脚部外面上位ヘラミガキ後ヘラミガキ、中位以下ハケナデ (13本) 後ヘラミガキ、内面上位ナデ、中位以下ハケナデ (7本)。	淡乳茶色	2mm以下の雲母・角閃石等の粗砂粒を微量に含む。	良好	黒垢有り。
	SE 1						
22	壺 (土師器)	口径 9.6	上内方へ内側して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。底部は丸い。体部下位は欠損。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ、内面ナデ。	淡茶灰色	3mm以下の長石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	内面に煤付着。
	SK 2						
23	同上	口径 13.2	口縁部は斜上方へ伸び、肩部はつまみ上げる。体部は欠損。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (6本)、内面ヘラ削り。	外 淡茶褐色 内 淡灰褐色	1mm以下の雲母・長石・角閃石等の粗砂粒を多量に含む。	良	
	SK 2						
24	同上	口径 15.0	口縁部は斜上方へ伸び、肩部は内方につまみ上げる。体部は欠損。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	外 淡茶褐色 内 淡茶灰色	2mm以下の雲母・長石・チャート・角閃石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
	SK 2						
25	同上	口径 15.8	口縁部は斜上方へ内側気味に伸び、肩部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の長石・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良	口縁部外面に煤付着。
	SK 2						
26	同上	口径 19.2	口縁部は外上方へ伸び、肩部は上につまむ。体部は欠損。口縁部内外面ヨコナデ。	淡茶灰色	5mm以下の長石・チャート・雲母・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
	SK 2						
27	同上	口径 15.4 口径 18.3 最大径 18.2	最大径を中位より下にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。底部はつまみ上げる。底部は尖り気味感。口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部外面タタキ (6本) 後ハケナデ (9本)、内面ヘラ削り。	暗灰褐色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良	欠形。
四三	SK 2						

遺物番号 調査番号	出土地点	(cm) 法量	口径 器高	形態・構造等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
28	壺 (土師器)	口徑 14.2		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びた後縁部に至る。端部は外傾 する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外歪タタキ 後ハケナデ(24本)、内面ヘラナデ。	淡褐色	2.5mm以下の 粗砂粒を 含む。	良好	
四三	SK2							
29	同上	口徑 13.8		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びた後縁部して直上する口縁部 に至る。端部は外方へ肥厚する。体部中位 以下は欠損。 口縁部外歪ケンシ状工具によるヨコナデ、 内面ヨコナデ、胴部内外面ヨコナデ、体部 外面ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	外内 淡茶色 淡灰茶 色	1mm以下の 長石・チャ ード等の細 砂粒を含む。	良好	
	SK2							
30	壺 (土師器)	口徑 14.8		口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体 部は欠損。 口縁部外歪ハケナデ(11本)、内面ハケナ デ後ヨコナデ。	外内 暗灰褐色 淡灰色	5mm以下の 砂粒粒を含 む。	良好	
	河川1							
31	同上	口徑 21.2		口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部 は丸い。体部は欠損。 口縁部外面割離の急不明、内面ヘラミガ キ。	乳灰褐色	3mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	
	河川1							
32	同上	口徑 17.6		口縁部は上外方へ伸びた後斜上方へ外反 して伸び、端部は内方に肥厚し、外傾する 面をもつ。体部は欠損。胴部外面に1本 の沈線を有す。 口縁部外歪上位ヨコナデ、下位ナデ後ハ ケナデ(10本)、内面ヨコナデ。	淡褐色	2mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	
	河川1							
33	同上	口徑 17.6		上方へ伸びる頸部より屈曲し、斜上方へ 伸びた後屈曲して上外方へ外反気味に伸び る口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。 体部は欠損。胴部内面に1本の接合痕を有 す。 端部外歪ナデ、口縁部・胴部内外歪ヘラ ミガキ、体部内面ハケナデ後ヘラミガキ。	乳灰色	1.5mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	
四三	河川1							
34	同上	口徑 20.0		口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。胴 部・体部は欠損。 口縁部内外面ヘラミガキ。	淡褐色	3mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	
	河川1							
35	壺 (土師器)	口徑 13.4		上内方へ伸びる体部より屈曲し、斜上方 へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部 中位以下は欠損。 口縁部外歪ヨコナデ、内面ハケナデ後ヨ コナデ、体部外歪タタキ(7本)後ハケナ デ(8本)、内面ヘラ削り。	暗灰褐色	2mm以下の 粗砂粒を地 量に含む。	良好	外側に漆付 着。
	河川1							
36	同上	口徑 15.0		口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へつ まみ上げる。体部は欠損。 口縁部外歪ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハ ケナデ(10本)、体部外歪ナデ、内面ヘラ削 り。	暗灰色	3mm以下の 雲母・角閃 石等の粗砂 粒を含む。	良好	
	河川1							

通物番号 採取番号	産出地点	種 目	(mm) 法量	口径 径高	形態・調整等の特長	色	質	粒	土	焼成	備	考	
37	栗 (土師器)	口	径	14.0	斜上方へ外反して伸びる腹部より屈曲し、 直上する口縁部に至る。肩部は内方へ肥厚し、 内傾する面をもつ。吉備地方の酒津式の特長をもつ。 口縁部・腹部内外面ヨコナデ、体部内面へうなり。	淡赤褐色		1mm以下の粗砂粒を含む。		良好			
	河川1												
40	壺 (土師器)	口	径	25.6	口縁部は上外方へ外反して伸び、肩部はたれ下がる。体部は欠損。肩部外面に1番9条と内面に1番8条と体部外面に1番4条の波状文を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面上位ナデ、下位へうミゴキ、体部内面ナデ。	外 淡橙孔 内 灰色 淡褐色		3mm以下の粗砂粒を含む。		良好	保存者。		
	河川2												
41	同上	口	径	14.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、肩部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面上位ヨコナデ、中位以下へうミゴキ、内面ヨコナデ。	淡橙灰色		1mm以下の雲母等の粗砂粒を含む。		良好			
	河川2												
42	壺 (土師器)	口	径	14.0	口縁部は上外方へ伸び、肩部は内方へつまみとげる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・帯頸飾。	赤褐色		1mm以下の雲母・角閃石・チャート等の粗砂粒を少量含む。		良好			
	河川2												
43	同上	口	径	14.2	口縁部は上外方へ伸び、肩部は若干内方に肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・帯頸飾、内面ヨコナデ。	暗茶褐色		0.5mm以下の粗砂粒を少量含む。		良好	保存者。		
	河川2												
44	同上	口	径	15.2	口縁部は斜上方へ伸び、肩部は若干内方に肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面・体部内外面ヨコナデ。	乳白色		3mm以下の石英・長石等を含む。		良好			
	河川2												
45	同上	口	径	16.4	口縁部は斜上方へ伸び、肩部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面へうなり。	外 暗茶灰色 内 淡灰色		2.5mm以下の石英・雲母・角閃石・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を多量に含む。		良好	口縁部外面に保存者。		
	河川2												
46	鉢 (土師器)	口	径	14.6	上外方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。基部は欠損。 内外面ヨコナデ。	赤淡黄色		雲母・長石等の微量を含む。		良好	体部外面下位に黒斑有り。		
	河川2												
47	杯 (土師器)	口	径	18.0	口縁部は上外方へ外反斜めに伸び、肩部は丸い。体部・基部は欠損。 口縁部内外面ナデ。	淡赤褐色		赤褐色酸化鉄・雲母・角閃石等を微量に含む。		良好			
	河川2												

産物番号 採集番号	器 出上地 種 立	(cm) 法量 口径 器高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色	調 節	土 地 成	備 考
57	壺 (土師器)	口径 13.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、肩部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)内面ヘラ削り。	茶褐色	1mm以下の雲母・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	外面に灰付着。
	包含層						
58	同上	口径 14.6	口縁部は斜上方へ伸び、肩部は上につまみ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 黒赤褐色 内 赤褐色	0.3mm以下の雲母・石英・角閃石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	口縁部外面に灰付着。
	包含層						
59	同上	口径 15.6	口縁部は斜上方へ伸び、肩部は外側に面をもち、若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	茶褐色	角閃石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
	包含層						
60	同上	口径 16.6	口縁部は上外方へ伸び、肩部は外傾する面をもち、内方につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ、内面ヘラ削り。	茶褐色	4mm以下の灰石等の粗砂粒を含む。	良好	
	包含層						
61	小型丸底壺 (土師器)	口径 10.0	上内方へ内彎して伸びる体部より同曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は欠損。 内外面ナデ。	淡赤赤褐色	2mm以下の赤褐色酸化粒・角閃石・雲母・長石・チャート等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
	包含層						
62	同上	胴部最大径 11.8	上内方へ内彎して伸びる体部より同曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は欠損。底部は丸底。 内外面細絶の為不明。	灰茶色	長石・チャート・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
	包含層						
63	鉢 (土師器)	口径 9.8 器高 4.1	上外方へ伸びる体部より口縁部に至る。肩部は丸い。底部は欠損。 外面ナデ・掻痕状、内面ヘラナデ。	暗茶褐色	1mm以下の長石・雲母・石英・角閃石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	黒斑有り。
四三	包含層						
64	同上		体部は上外方へ内彎気味に伸びる。底部は扁平した丸底。口縁部は欠損。 外面細絶の為不明、内面ナデ。	暗褐色	1mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	底部外面に灰付着。
四三	包含層						
65	器台 (土師器)	口径 9.5	受部は上外方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。肩部は内方へ肥厚する。胴部は下外方へ伸びる。底部は欠損。胴部内面に1本の接合痕を有す。 受部・胴部外面ヘラミガキ、受部内面削絶の為不明、胴部内面ナデ。	淡灰茶色	長石・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
	包含層						

遺物番号 採取番号	出土地点	(cm) 口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎上	焼成	備考
66	鉢 (土師器) 包含層	口径 11.0	上外方へ内彎して伸びる脛部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。底部は欠損。 外底・口縁部内面ナデ、脛部内面ハケナデ(6本)。	淡赤褐色	1mm以下の角閃石・雲母・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	外面に自然釉付着。
67	土罐 (土師質) 包含層		袋状形。	淡赤茶褐色	3mm以下の雲母・チャート・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
68	杯身 (須恵器) 包含層	口径 9.7 器高 3.2	上面凸状の大脛部より下外方へ伸びる。脛は微縁なし。口縁部は内彎気味に下外方へ下り、端部は丸い。 外面は不定方向のナデ、他は回転ナデ。	青灰色	長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	ロクロ。
69	同上 包含層	口径 10.4 器高 3.3	平らに近い大脛部より下外方へ伸びる。脛は微縁なし。口縁部は下外方に伸び、端部は丸い。 外面約半不定方向ナデ、他は回転ナデ。	青灰色	長石等の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ。
70	同上 包含層	口径 8.8 器高 3.3	丸味をもつ底部より断面し、上外方へ伸びる。受部は微縁なし。口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。 外面約半不定方向のナデ、他は回転ナデ。	青灰色	精良。	良好	ロクロ。
71	甕 (須恵器) 包含層	口径 20.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は若干上下に肥厚し、外増面する凸面状を成す。脛部は欠損。 内外面回転ナデ。	灰白色	精良。	良好	ロクロ。

第7調査区

遺物番号 採取番号	出土地点	(cm) 口径 器高 最大径	形態・調整等の特徴	色調	胎上	焼成	備考
1	甕 (土師器) 四四 SD1	口径 11.4 器高 15.3 最大径 13.5	最大径を中位より若干上にもつ扁平な球形の脛部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍い。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ後端文状のヘラミガキ、脛部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(10本)。	淡灰茶色	長石・雲母・赤褐色酸化粒を含む。	良好	
2	同上 四四 SD1	口径 12.8 器高 17.6 最大径 15.4	脛部に張りをもつ球形に近い脛部より鋭く屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ後ヨコナデ、脛部外面上位ヘラミガキ、下位ヘラミガキ、内面ハケナデ(11本)。	淡灰茶色	1mm以下の赤褐色酸化粒・チャート・長石等を含む。	良好	完形。

管内番号 200年号	掘 出 地 点	(cm) 口径 器高	形 態 ・ 測 量 等 の 特 徴	色 調	粒 土	焼 成	備 考
3	壁 (土師器)	口 径 14.2 器 高 18.4 最大径 14.8	最大径を中位にもつ球形の体部より鋭く屈曲し、上外方へ内彎角味に伸びる口縁部に至る。端部は鋭く尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ後ヘラミガキ、体部外面上位ハケナデ後ヘラミガキ、中位以下ヘラ剛後ヘラミガキ、内面上位指ナデ・指頭僅、中位以下ハケナデ(8本)、内面外面ヘラ剛り。	淡灰茶色	0.5mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化鉄等の微砂粒を含む。	良好	変形。
四四	SD1						
4	同上	口 径 16.6 器 高 26.8 最大径 25.1	最大径を中位にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎角味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ハケナデ後ヘラミガキ、体部外面上位ハケナデ後ヘラミガキ、中位ハケナデ(10本)、下位ヘラ剛り後ヘラミガキ内面ヘラ剛り。	淡灰茶色	0.5mm以下の雲母・赤褐色酸化鉄等の微砂粒を含む。	良好	変形。 底部外面に黒点有り。
四四	SD1						
5	同上	口 径 17.0 器 高 28.3 最大径 23.8	最大径を中位にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ内彎角味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(11本) 後端部付近にヘラミガキ、体部外面ハケナデ(11本) 後中位にヘラミガキ、内面上位ヘラナデ、中位以下ヘラ剛り。	外 淡灰茶色 内 灰色	長石・チャート等の細砂粒を多量に含み、雲母等の微砂粒を微量に含む。	良好	変形。
四四	SD1						
6	同上	口 径 12.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠削。 口縁部内外面ハケナデ後ヘラミガキ後放射状結文。	淡茶灰色	0.5mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化鉄等の微砂粒を含む。	良	外面に一部窪付着。
	SD1						
7	同上	口 径 12.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠削。 口縁部内外面ハケナデ(10) 後ヘラミガキ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・チャート・赤褐色酸化鉄等の細砂粒を含む。	良好	
	SD1						
8	同上	口 径 12.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は尖る。体部は欠削。 口縁部外面ヘラミガキ・一部ハケナデ(12本)、内面ヘラミガキ後結文。	淡茶灰色	0.5mm以下の長石・赤褐色酸化鉄・石英等の微砂粒を含む。	良好	
	SD1						
9	同上	口 径 12.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は尖る。体部は欠削。 口縁部外面調整不明、内面ハケナデ(5本) 後ナデ。	淡灰茶色	0.5mm以下の長石・赤褐色酸化鉄等の微砂粒を含む。	良	
	SD1						
10	同上	口 径 17.0 最大径 24.2	最大径を中位にもつ球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠削。 口縁部外面ハケナデ後ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラ剛り。	灰褐色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を多量に含む。	良好	
	SD1						

通称番号 図例番号	出土地点	口径 (cm) 口径 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
11	壺 (上唇部)	口径 13.6 最大径 23.2		最大径を中位にもつ球形と思われる体部より起出し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ハケナデ(9本)、体部外面上位ハケナデ(8本)、中位以下タキ後ハケナデ(7本)後ヘラミガキ、内面指ナデ後ハケナデ(9本)。	外 淡灰茶色 内 黄灰色	チャート等の粗砂粒を多量に含み、長石・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	
西四	SD1							
12	同上	口径 14.6		上内方へ内彎して伸びる体部より起出し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下部は欠損。体部内面上位に3本の接合痕を有す。 口縁部外面ハケナデ(9本)、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面上位ナデ・中位ハケナデ(9本)。	淡灰褐色	1mm以下のチャート・石英・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
西五	SD1							
13	同上	口径 11.0		口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後ヘラ状工具によるナデ。	淡灰褐色	3mm以下のチャート・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							
14	同上	口径 15.6		内上方へ伸びる体部より起出し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナデ(外11本、内10本)後ヨコナデ。	淡灰茶色	1mm以下の雲母・長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							
15	同上	口径 18.0		内上方へ伸びる体部より起出し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(9本)後ヨコナデ、内面ハケナデ(8本)。	淡灰茶色	角閃石等の粗砂粒を多量に含み、石英・赤褐色酸化鉄・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
西五	SD1							
16	同上	口径 10.9		上内方へ伸びる体部より起出し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							
17	同上	口径 14.6		上内方へ伸びる体部より起出し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は小さく外方へ肥厚する。体部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ハケナデ(外11本、内12本)、頸部内面滑痕。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英・雲母・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に黒磨有り。
	SD1							
18	同上	口径 13.0		口縁部は斜上方へ伸び、端部は外側に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(5本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・チャート・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							
19	同上	口径 17.6		上内方へ伸びる体部より起出し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナデ(7本)後ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ナデ。	灰褐色	1.5mm以下の雲母・長石・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							

産物番号 D065外	品名・種別 出土地点	(cm) 注 法 規 格	形状・調整等の特徴	色 調	断 片	産 品 評 定	備 考
20	煮 (土解石) SD1	口 径 16.4	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は鋭く尖る。体部は欠損。 口縁部外面割離の角調整不明、内面ヨコナデ、端部付近割離の角調整不明。	淡灰褐色	3mm以下の石英・チャート・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
21	同上 SD1	口 径 17.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は外面に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(12本)後ナデ、端部付近ヘラミダキ、内面ナデ、断面内面指張痕。	暗灰褐色	3mm以下の石英・長石・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
22	同上 SD1	口 径 16.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は外面に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、断面内面指張痕。	茶褐色	3mm以下の角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
23	同上 SD1	口 径 18.8	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡灰褐色	0.5mm以下の雲母・石英・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
24	同上 四五 SD1	口 径 19.0	内上方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外横する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ナデ。	暗灰茶色	1mm以下の石英・雲母・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
25	同上 SD1	口 径 15.8	斜下方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ小さく肥厚する。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
26	同上 SD1	口 径 16.3	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後ハケナデ(5本)、内面ハケナデ(6本)。	暗灰褐色	0.5mm以下の角閃石・長石等の微砂粒を含む。	良好	
27	同上 SD1	口 径 16.3	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は内方へ小さく肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面割離の角調整不明。	灰茶色	1.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
28	同上 SD1	口 径 15.7	内上方へ伸びる体部より屈曲し、外反して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(13本)、内面ナデ・指張痕。	淡灰茶色	1mm以下のチャート・石英・長石・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	

通称番号 図録番号	器 器土地点	(m) 口径 法線 器高	形態・調整等の特徴	色	調	胎	土	焼成	備	考
29	委 (土師器) SD1	口径 18.7	口縁部は上方外へ外反して伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ヘラナデ。	淡灰茶色		1mm以下の長石・チャート・石英・雲母等の粗砂粒を含む。		良好		
30	同上 SD1	口径 20.0	口縁部は上方外へ外反斜めに伸び、端部は外側に凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ナデ後ハケナデ(12本)、内面ナデ。	淡黄褐色		3mm以下の粗砂粒を多量に含む。		良好		
31	同上 SD1	口径 21.6	上方へ伸びる体部より屈曲し、上方外へ外反斜めに伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。体部は欠損。 口縁部・体部内外面距離の高調整不明。	淡灰茶色		0.5mm以下の長石・チャート・石英等の粗砂粒を含む。		良好		
32	同上 SD1	口径 20.0	口縁部は上方外へ外反して伸び、端部は若干内方につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡灰茶色		3mm以下の長石・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を多量に含む。		良好		
四五	SD1									
33	同上 SD1	口径 15.4	上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、短く直上した後上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外側に凹面をもつ。体部中位以下は欠損。胃部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(10本)、胃部外面ハケナデ(8本)、体部外面ダタキ(4本)、内面ハケナデ後ヘラナデ。	外 淡灰褐色 内 淡灰色		1mm以下のチャート・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を多量に含む。		良好		
四五	SD1									
34	同上 SD1	口径 21.4	内上方へ伸びる体部より屈曲し、上方外へ伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面距離の高調整不明。	淡灰茶色		2mm以下の長石・長石・チャート・雲母等の粗砂粒を含む。		良好		
35	同上 SD1	口径 16.0	内上方に内彎して伸びる体部より屈曲し、上方外へ伸びる口縁部に至る。端部は上方へ若干肥厚し、上に面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)後ナデ、内面上位ナデ、中位ヘラ削り。	暗灰茶色		2mm以下のチャート・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。		良好		
四五	SD1									
36	同上 SD1	口径 15.6	口縁部に張りをもつ球型に近いと思われる体部より屈曲し、上方外へ伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(10本)後ナデ、胃部内面折痕、体部外面ハケナデ(10本)、内面上位ナデ、中位ヘラ削り。	暗灰茶色		1mm以下のチャート・長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。		良好		
四五	SD1									
37	同上 SD1	最大径 12.5	体部は最大径を中位にもつ球形である。底部は丸底。口縁部は欠損。 体部外面ヘラミガキ、内面上位折痕、中位以下ヘラナデ、底部ヘラミガキ。	淡灰茶色		1mm以下のチャート・雲母・石英等の粗砂粒を含む。		良好		
四五	SD1									

産物名 国産番号	器種 出上地点	(cm) 法量 口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土焼成	備考	
38	壺 (土師器)	口径 13.7 最大径 18.8	最大径を中位にもつ楕円形と思われる体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部内面上位に2本の接合痕を有す。 口縁部外面割線の為調整不明、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	3mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
	陶六 SD1						
39	同上	最大径 14.2	体部は最大径を中位にもつ球形である。底部は先底。口縁部・底部の一部欠損。体部内面に2本の接合痕を有す。 体部外面磨耗の為調整不明、内面上位へラ削り、中位以下ナデ。	乳灰茶色	4mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	体部下位・底部外面に黒斑有り。
	同上 SD1						
40	同上	口径 15.2 器高 25.5 最大径 22.6	最大径を中位より若干上にもつ楕円形の体部より屈曲し、上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は外屈する面をもつ。底部は尖り気味底。器部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面上位へラ削り、中位以下ヘラナデ、器部外面タタキ(2本)後ナデ。	淡灰茶色	5mm以下の粗砂粒を含む。	良好	完形。
	陶六 SD1						
41	同上	最大径 21.4	体部は最大径を中位より若干上にもつ扁平な球形である。底部は先底。口縁部は欠損。体部内面上位に1本の接合痕を有す。 体部外面上位・中位ハケナデ(11本)後ヘラミガキ、下位へラ削り後ヘラミガキ、内面上位指ナデ、中位以下ヘラナデ、底部へラ削り後ヘラミガキ。	淡灰茶色	1mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
	同上 SD1						
42	同上	最大径 19.6	上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部・体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(11本)、内面ナデ後ヘラ削り・上位指痕。	淡茶色	2.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
	同上 SD1						
43	同上	最大径 30.3	最大径を中位より若干下にもつ扁平な球形の体部より屈曲し、上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底部は先底。体部内面上位に2本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラナデ、内面ヘラミガキ、体部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ヘラナデ、上位指ナデ。	淡灰茶色	3mm以下の長石・石英・チャート・赤褐色酸化粒を多量に含む。	良好	
	陶六 SD1						
44	同上	最大径 22.8	最大径を中位にもつ球形と思われる体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁部に至る。端部・体部下位は欠損。体部内面上位に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(10本)、内面上位指ナデ、中位ヘラナデ。	外 淡灰茶色 内 淡黄灰色	1mm以下の石英・長石・チャート・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	体部外面下位に黒斑有り。
	陶六 SD1						
45	同上	口径 22.2	口縁部は上方へ外反気味に伸び、端部は垂下し、外面に面をもつ。体部は欠損。端部に5条の平行沈線を描し、円形浮文を付着する。 口縁部内外面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の赤褐色酸化粒・長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
	同上 SD1						

通内番号 図号	部 出 土 地 点	種 類	(cm) 口径	口径 器高	形態・調整等の特徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
46	同上	壺 (七脚器)	口径	18.4	口縁部は上外方へ外反して伸びた後屈曲して上方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。肩部外面に内彫行笄文・ヘラキガミを施す。頸部外面に粘土のつなぎ目を有す。 口縁部外面ヘラミガキ接目コナデ、内面ヘラミガキ、肩部外面ナデ、内面ヘラミガキ。	外 淡灰茶色 内 灰褐色	2mm以下の長石・肉肉石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
四六	同上	S D I							
47	同上	同上	口径	21.8	内上方へ伸びる体部より屈曲して上外方へ伸びた後屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまみ、外積する凸面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ (11本) 後ヨコナデ、端部付込ヨコナデ、内面ヨコナデ。	淡灰褐色	1mm以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒等の細砂粒を多量に含む。	良好	
四六	同上	S D I							
48	同上	同上	口径	17.0	口縁部は外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反気味に伸び、端部は外側に面をもつ。頸部・体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部内面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
四六	同上	S D I							
49	同上	同上	口径	14.6	口縁部は上外方へ外反して伸びた後屈曲して上外方へ伸び、端部は丸い。頸部・体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ・大部分割離の為調整不明、内面ヨコナデ、大部分割離の為調整不明、頸部外面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒・雲母等の細砂粒を多量に含む。	良好	
四六	同上	S D I							
50	同上	同上	口径	16.6	口縁部は上外方へ外反して伸びた後屈曲して上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。頸部・体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰茶色	4mm以下のチャート・雲母・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を多量に含む。	良好	
四六	同上	S D I							
51	同上	同上	口径	21.3	内上方へ伸びる体部より緩やかに屈曲し、上外方へ外反して伸びた後屈曲して斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。体部は欠損。頸部外面にヘラキガミを施す。 口縁部・頸部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡灰茶色	3mm以下の長石・石英・チャート・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
四六	同上	S D I							
52	同上	同上	口径	22.4	口縁部は外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。頸部・体部は欠損。 口縁部外面割離の為調整不明、内面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
四六	同上	S D I							
53	同上	同上	口径	18.4	上方へ伸びる頸部より屈曲し、水平に伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部・頸部内外面ヨコナデ。	淡灰茶色	3mm以下の長石・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
四六	同上	S D I							
54	同上	同上	口径	21.3	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びた後屈曲して上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部・頸部外面ヨコナデ、内面割離の為調整不明、体部外面ハケナデ (12本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	3mm以下の長石・石英・チャート等の粗砂粒を多量に含む。	良	口縁部外面・体部外面に黒灰有り。
四七	同上	S D I							

遺物番号 出土地	標 点	(cm) 法量	口徑 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎上	焼成	備考
55	壺 (土師器)	口徑 21.4		上方へ伸びる頸部より屈曲し、外上方へ外反して伸びた後屈曲して外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部は欠損。頸部内面に1本の押合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部外面ヨコナデ、内面折板痕。	淡灰茶色	1mm以下の長石・長石・石英・チャート・赤褐色酸化鉄等の微砂粒を多量に含む。	良好	
	同上			同上方へ内彎気味に伸びる頸部より屈曲し、外上方へ短く伸びた後屈曲して外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。肩部・体部は欠損。 口縁部・頸部内外面ヘラミガキ。	灰茶色	0.3mm以下の長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	
57	同上	口徑 24.0		外上方へ伸びる頸部より屈曲し、水平に伸びた後屈曲して外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、頸部内外面ヨコナデ、頸部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ。	淡灰茶色	3mm以下のチャート・石灰・長石・雲母・赤褐色酸化鉄等の微砂粒を多量に含む。	良好	肩部付近外面に黒斑有り。
58	同上	口徑 16.0 器高 16.5		最大径を中位にもつ球形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる頸部より屈曲し、水平に伸びた後屈曲して外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。肩部は若干つまみ上げる。底部は丸底。 口縁部・頸部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ後ヘラミガキ、下位ハケナデ (11本)、内面ナデ。	暗灰茶色	0.5mm以下の長石・雲母・石英等の微砂粒を含む。	良好	完形。
59	同上	口徑 27.8 器高 37.4 最大径 31.6		最大径を中位にもつ球形の体部より屈曲し、直上する頸部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びた後屈曲して外上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。口縁部外面は垂下する。頸部外面に凸帯を有す。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ後ヘラミガキ、内面ヨコナデ、口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ (9本)、頸部外面ハケナデ (7本)、内面ヨコナデ、頸部屈曲部外面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ (10本) 後ヘラミガキ、中位以下ハケナデ (10本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英・赤褐色酸化鉄等の微砂粒を含む。	良好	底部外面に黒斑有り。
60	壺 (土師器)	口徑 13.0 器高 14.6 底径 3.7		球形の体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。肩部は外傾する面をもつ。底部は突出した平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (4本)、内面上位ヘラナデ、下位ハケナデ (9本)、底部外面ナデ・指痕痕。	茶褐色	4mm以下の長石・赤褐色酸化鉄・雲母等の微砂粒を含む。	良好	完形。
61	同上	口徑 14.2 器高 13.8 底径 3.0		肩部に張りをもつ横内形に近い体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は突出しない小さい平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (4本)、内面上位・中位ヘラナデ、下位ハケナデ (15本)、底部外面ヘラ削り。	外 暗灰褐色 内 灰褐色	4mm以下の角閃石・雲母・長石・赤褐色酸化鉄等の微砂粒を含む。	良好	完形。 外面全面に煤付着。

産物番号 採取地	種 出土地点	(m) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色	備	七	焼成	備	考
62	壺 (土師器)	口径 11.6	上方へ内脣して伸びる体部より屈曲し、 上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 体部下位は欠損。体部内面上位に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (4本)内面ナデ。	外 内 淡灰褐色	0.1mm以下の雲母・角閃石等の微砂粒を少量含む。	良好	外面全面に煤付着。		
	SD1								
63	同上	口径 15.0	上方へ内脣して伸びる体部より屈曲し、 上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 端部は外側に面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (3本)内面ヘラナデ。	外 内 茶褐色 淡灰茶色	0.5mm以下の石英等の微砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。		
	SD1								
64	同上	口径 15.0	上方へ内脣気味に伸びる体部より屈曲し、 上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外に若干つまむ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面割線の急調整不明、体部外面タタキ(3本)内面ヘラナデ。	淡灰茶色	2mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面・体部外面中位に煤付着。		
	SD1								
65	同上	口径 15.6	口縁部は斜上方に外反気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (4本)後ナデ、内面ヘラナデ(6本)後ヘラナデ。	乳灰茶色	3mm以下の粗砂粒を多量に含む。	良好			
	SD1								
66	同上	口径 19.8 器高 27.0 最大径 30.8	楕円形の体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する凹面をもつ。底部は丸底。体部外周下に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (2本)後ヘラナデ(8本)内面上位ヘラナデ(11本)ナデ、中位以下ヘラナデ後ヘラナデ(11本)。	淡灰茶色	2.5mm以下の長石・雲母・赤褐色燼化粒、石英等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面下に黒炭着り。		
	SD1								
67	同上	口径 12.6	壺形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヘラナデ(14本)下位ヘラナデ、内面ヘラナデ。	淡灰褐色	2mm以下の長石・チャート・石英等の粗砂粒を含む。	良好			
	SD1								
68	同上	口径 15.8 器高 18.4	上方へ内脣して伸びる体部より屈曲し、 上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ヘラナデ、内面ヘラナデ(4本)後ヘラナデ。	外 内 淡灰黄褐色 灰褐色	3.5mm以下の長石・チャート・角閃石・石英等の微砂粒を多量に含む。	良好			
	SD1								
69	同上	口径 10.8 器高 10.2 最大径 11.5	最大径を中位にもつや偏平な壺形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラナデ(7本)体部外面タタキ(6本)後ヘラナデ(10本)内面上位ヘラナデ・指ナデ、下位ナデ。	淡灰褐色	0.5mm以下の長石・赤褐色燼化粒、雲母等の微砂粒を含む。	良好	完形。		
	SD1								
70	同上	口径 13.0 器高 15.3 最大径 15.9	球形の体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ上げる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラナデ(7本)内面ヘラナデ。	灰褐色	4mm以下の雲母・赤褐色燼化粒、長石等の微砂粒を多量に含む。	良	体部外面中位以下に煤付着。 体部内面下位に炭化物付着。		
	SD1								

遺物層の 深さ	器 出 土 地 点	種 類	(cm) 法 量	口 径 器 高 最 大 径	形 態 ・ 測 量 等 の 特 徴	色 調	結 土	焼 成	備 考
71	壺 (土師器)	口 径 器 高 最 大 径	12.2 15.7 16.3	球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面へう削り。	灰褐色	0.1mm以下の長石・角閃石・赤褐色炭化粒等の微砂粒を含む。	良好	完形。体部外面中位以下に煤付着。	
四八	SD1								
72	同上	口 径 器 高 最 大 径	13.6 15.4 16.2	球形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(8本)、内面へう削り。	灰褐色	0.1mm以下の雲母・角閃石等の微砂を含む。	良好	外面全面に煤付着。	
四八	SD1								
73	同上	口 径 器 高 最 大 径	15.6 16.5 18.4	球形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は小さく上につまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(10本)、内面へう削り。	灰褐色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。	
四九	SD1								
74	同上	口 径 器 高 最 大 径	13.8 17.8 17.2	最大径を中位より若干上にもつ球形に近い体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(7本)後ハケナデ(7本)、中位以下刻線の高麗整不明、内面へう削り。	暗灰褐色	2mm以下の長石・雲母・角閃石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。	
四九	SD1								
75	同上	口 径 器 高 最 大 径	14.4 15.8 16.1	球形の体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(11本)、内面へう削り。	灰褐色	0.5mm以下の雲母・長石・角閃石等の微砂粒を含む。	良好	完形。体部外面中位以下に煤付着。体部内面下位に炭化物付着。	
四九	SD1								
76	同上	口 径 器 高 最 大 径	15.0 19.3 18.8	最大径を中位より若干上にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。底部に穿孔を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(9本)、内面へう削り。	灰褐色	4mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	完形。体部外面に煤付着。	
四九	SD1								
77	同上	口 径 器 高 最 大 径	14.4 18.6	最大径を中位にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(11本)、内面へう削り。	外 茶褐色 内 灰褐色	5mm以下の長石・角閃石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面中位以下に煤付着。体部内面に炭化物付着。	
四九	SD1								
78	同上	口 径 器 高 最 大 径	15.3 19.0 19.0	最大径を中位にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、つまみ上げる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)後ハケナデ(16本)、下位煤付着の高麗整不明、内面ハケナデ(11本)後へう削り、下位指痕あり。	暗茶褐色	0.5mm以下の長石・角閃石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	完形。外面全面に煤付着。体部内面下位に炭化物付着。	
四九	SD1								

遺物番号 図面番号	出土地点	口径 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
79	壺 (土剣器)	口径 15.4 最大径 19.4		最大径を中位にもつ楕円形に近い体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。肩部はつまみ上げる。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本) 後ヨコナデ、外部外面タタキ(9本) 後ハケナデ(11本、内面へ削り。	外 灰茶色 内 灰褐色	4mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂礫粒を含む。	良好	体部外面に煤付着。 体部内面下位に炭化物付着。
50	SD1							
80	同上	口径 17.0 器高 20.8 最大径 21.2		杯形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。肩部はつまみ上げる。底部は尖り気味。 口縁部内外面ヨコナデ、外部外面タタキ(6本) 後ハケナデ(7本、内面へ削り。	淡灰褐色	0.1mm以下の長石・雲母・角閃石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面中位以下に煤付着。
50	SD1							
81	同上	口径 14.4 最大径 16.9		最大径を中位にもつ楕円形に近いと思われる体部より屈曲し、外上方へ伸びると思われる。肩部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、外部外面タタキ(5本) 後ハケナデ(10本、内面へ削り。	暗褐色	5mm以下の長石・角閃石・雲母等の砂礫粒を多量に含む。	良好	体部外面に煤付着。
50	SD1							
82	同上	口径 13.6		内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。肩部は内方に肥厚し、若干つまむ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、外部外面タタキ(4本) 後ハケナデ(6本、内面へ削り。	外 暗茶灰色 内 茶灰色	角閃石・雲母・長石等を含む。	良好	外面全面に煤付着。
50	SD1							
83	同上	口径 17.7		内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。肩部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面制断の高調整不明。外部外面タタキ(7本) 後ハケナデ(8本、内面へ削り。	淡灰茶色	3mm以下の長石・赤褐色燧石粒・石英・角閃石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	口縁部外面・肩部付近内面・体部外面中位に煤付着。
50	SD1							
84	同上	口径 18.4		内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、外部外面タタキ(7本) 後ハケナデ(11本、内面へ削り。	淡灰褐色	1mm以下の雲母・長石・赤褐色燧石等の粗砂粒を含む。	良好	
50	SD1							
85	同上	口径 19.0		内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。肩部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、外部外面タタキ(8本) 後ハケナデ(6本、内面へ削り。	淡灰褐色	3mm以下の石英・長石・角閃石・赤褐色燧石等の粗砂粒を含む。	良好	
50	SD1							
86	同上	口径 11.4		口縁部は外上方へ外反気味に伸び、肩部は若干上につまみ、外彎する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、外部外面タタキ(5本)、内面へ削り。	暗褐色	2mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD1							
87	同上	口径 12.0		内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。肩部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(5本)、外部外面タタキ(7本、内面へ削り。	淡茶灰色	2mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							

産物名 採取地	出 産 地 点	種 別	(cm) 法 益	口 徑 口 徑 高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	粒 径	上 焼 成 備 考
88	豊 (土師器)	SD 1	口 徑 12.2		口縁部は斜上方へ伸び、端部は若干内方に肥厚し、つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ハケナゲ(6本)、体部内面へ削り。	淡灰褐色	0.1mm以下の角閃石・長石等の微砂粒を含む。	良好
89	同上	SD 1	口 徑 14.5		内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タケナゲ(5本)、内面へ削り。	暗茶褐色	4.5mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好
90	同上	SD 1	口 徑 12.8		口縁部は斜上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ヨコナゲ後ハケナゲ(5本)、体部内面へ削り。	淡黄褐色	2mm以下の角閃石・長石・雲母・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好
91	同上	SD 1	口 徑 12.4		上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面ハケナゲ(12本)、内面へ削り。	淡茶色	1mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好
92	同上	SD 1	口 徑 12.6		上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タケナゲ(6本)、内面へ削り。	乳白色 (口縁部に黒褐色のところや茶灰色のところがある)	2mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好
93	同上	SD 1	口 徑 12.8		口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は外傾する凹面をもち、上に小さくつまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タケナゲ、内面へ削り。	灰褐色	1.5mm以下の緑石・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好
94	同上	SD 1	口 徑 12.8		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面ヨコナゲ、内面へ削り。頸部ヨコナゲ。	暗茶褐色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好 外面全面に厚付。
95	同上	SD 1	口 徑 13.0		口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ヨコナゲ後ハケナゲ(7本)、体部内面へ削り。	乳白色	2mm以下の雲母・角閃石・長石・石英・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好
96	同上	SD 1	口 徑 13.0		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タケナゲ(7本)、内面へ削り。	淡茶灰色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好

遺物調査 区画番号	遺物 出土地点	(m) 口径 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
97	変 (上師西) SD1	口径 13.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナダ、体部外面磨耗の 為調整不明、内面ヘラ削り。	外 暗灰赤 褐色 内 灰茶色	1mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の粗砂粒を 含む。	良好	
98	同上 SD1	口径 13.4	口縁部は斜上方へ外反して伸び、端部は 若干下につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナダ、体部内面ヘラ削 り。	淡灰褐色	1.5mm以下 の角閃石・ 長石・雲母・ 赤褐色酸化 粒等の粗砂 粒を少量に 含む。	良好	
99	同上 SD1	口径 13.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方 へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナダ、内面ヨコナダ後ハ ケナダ(6本)、体部外面タタキ(7本)後 ハケナダ(5本)、内面ヘラ削り。	乳灰褐色	2mm以下の 長石・雲母・ 赤褐色酸化 粒等の粗砂 粒を含む。	良好	外面に煤付 着。
100	同上 SD1	口径 13.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、斜上方 へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ る。体部は欠損。 口縁部外ヨコナダ、内面ハケナダ(7 本)後ヨコナダ、体部外面ハケナダ(6本) 後タタキ(5本)、内面ヘラ削り。	外 灰褐色 内 淡灰褐色	0.1mm以下 の雲母・角 閃石・長石 等の粗砂粒 を含む。	良好	
101	同上 SD1	口径 13.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲 し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至 る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は 欠損。 口縁部外面ヨコナダ、内面ヨコナダ後ハ ケナダ(10本)、体部外面タタキ(6本)後 ハケナダ(8本)、内面ヘラ削り。	淡褐色	1.5mm以下 の角閃石・ 雲母・長石 等の粗砂粒 を含む。	良好	
102	同上 SD1	口径 14.5	上内方へ伸びる体部より屈曲し、斜上方 へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部・体部外面ヨコナダ、内面割磨の 為調整不明。	外 淡灰褐色 内 淡黒褐色	0.5mm以下 の角閃石・ 長石・石英 等の粗砂粒 を含む。	良好	内外面全面 に煤付着。
103	同上 SD1	口径 14.6	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部 は外側に向をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナダ。	淡灰褐色	0.3mm以下 の長石・雲 母・角閃石 等の粗砂粒 を含む。	良好	
104	同上 SD1	口径 13.6	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上 げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナダ、体部内面ヘラ削 り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.5mm以下 の角閃石・ 雲母等の粗 砂粒を少量 含む。	良好	外面全面に 煤付着。
105	同上 SD1	口径 13.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲 し、外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。 端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナダ、内面ヨコナダ後ハ ケナダ(7本)、体部外面タタキ(7本)後 ハケナダ(11本)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	1.5mm以下 の角閃石・ 雲母・石英 等の粗砂粒 を含む。	良好	外面全面に 煤付着。

遺物番号 図帳番号	出土地点	(cm) 口径 高さ	形態・調整等の特徴	色	胎土	焼成	備考
106	壺 (土師器) SD1	口径 13.6	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ内面へラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰茶色	0.1mm以下の角閃石・長石等の微砂粒を含む。	良好	口縁部外面に黒付着。
107	同上 SD1	口径 13.8	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(18本)、体部内面へラ削り。	灰褐色	0.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
108	同上 SD1	口径 13.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(10本)、内面へラ削り。	灰褐色	1mm以下の角閃石・石英・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に黒付着。
109	同上 SD1	口径 13.8	口縁部は斜上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	3.5mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
110	同上 SD1	口径 13.8	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外面に凹面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(8)、内面へラ削り。	淡茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
111	同上 SD1	口径 13.8	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(9本)、内面へラ削り。	暗茶灰色	1.5mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に黒付着。
112	同上 SD1	口径 17.2	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	灰褐色	0.1mm以下の角閃石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
113	同上 SD1	口径 17.2	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。器部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面へラ削り。	灰褐色	1mm以下の角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
114	同上 SD1	口径 14.0	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部は外面に残り凹面をもち、器下につまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(3本)、内面ヨコナデ、体部外面タタキ。	淡灰褐色	0.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	
115	同上 SD1	口径 14.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(僅の為不明瞭)、内面へラ削り。	外 黒褐色 内 灰褐色	2mm以下の角閃石・長石・赤褐色炭化粒等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面・端部付近凹面に黒付着。

遺物番号 採取場所	出土地点	口径 [cm]	口徑 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
116	同上 SD1	口径	13.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部下部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(3本)ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(6本)、内面へ削り。	淡灰褐色	1.5mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
117	同上 SD1	口径	14.6	体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部内面へ削り。	外 黒褐色 内 灰褐色	2.5mm以下の角閃石・雲母・赤褐色酸化鉄・長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
118	同上 SD1	口径	14.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)後タタキ(6本)、内面へ削り。	暗灰褐色	1mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良	
119	同上 SD1	口径	14.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(9本)、内面へ削り。	灰褐色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良	外面に煤付着。
120	同上 SD1	口径	14.1	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(12本)、内面へ削り。	淡灰褐色	1mm以下の雲母・角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
121	同上 SD1	口径	14.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)後タタキ(5本)、内面へ削り。	暗灰褐色	0.1mm以下の角閃石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
122	同上 SD1	口径	14.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(10本)、内面へ削り。	灰褐色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
123	同上 SD1	口径	14.2	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・一部ハケナデ、体部内面へ削り。	淡灰褐色	0.1mm以下の角閃石・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
124	同上 SD1	口径	14.2	体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面へ削り。	淡灰褐色	0.2mm以下の雲母・長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。

通称番号 採取番号	器 出上地点	種 目	(mm) 口径	口径 高さ	形態・調整等の特徴	色	陶	胎	土	焼成	備	考
125	壺 (土師器)	口徑	14.2	SD1	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (6本)、内面ヘラ削り。	暗灰色		3mm以下の 角閃石・角閃 石・雲母・ 石英等の粗 砂粒を含む。	良好			
126	同上	口徑	14.2	SD1	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(6本)、内面ヘラ削り。	灰褐色		1mm以下の 角閃石・雲 母等の粗砂 粒を含む。	良好		外面全面に 煤付着。	
127	同上	口徑	14.4	SD1	体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸 びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。 体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削 り。	外 内 淡灰褐色		0.1mm以下 の角閃石・ 雲母・石英 等の微砂粒 を少量含む。	良好		外面全面に 煤付着。	
128	同上	口徑	14.4	SD1	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつま み上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハ ケナデ(7本)、体部外面タタキ(6本)後 ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	暗茶灰色		1.5mm以下 の角閃石・ 雲母・長石 等の粗砂粒 を含む。	良好		口縁部外面 に煤付着。	
129	同上	口徑	14.4	SD1	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつま み上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (5本)内面ヘラ削り。	暗灰茶色		4mm以下の 角閃石・雲 母・石英等 の粗砂粒を 含む。	良好			
130	同上	口徑	14.4	SD1	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 端部は若干上につまむ。体部中位以下は欠 損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (6本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色		0.5mm以下 の石英・雲 母・角閃石 等の微砂粒 を含む。	良好			
五一	同上	口徑	14.4	SD1	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲 し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至 る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は 欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(8 本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(8 本)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色		2mm以下の 角閃石・石 英・長石等 の粗砂粒を 含む。	良好		外面全面に 煤付着。	
132	同上	口徑	17.0	SD1	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部 はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7 本)、体部内面ヘラ削り。	暗灰褐色		0.3mm以下 の角閃石・ 長石・雲母 等の微砂粒 を含む。	良好		口縁部外面 に煤付着。	
133	同上	口徑	17.0	SD1	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲 し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至 る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ一 部ハケナデ(7本)、体部外面タタキ(5本) 後ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色		1mm以下の 角閃石・雲 母・長石・ 石英等の粗 砂粒を含む。	良			

遺物等 採取番号	出土地点	(m) 口径 高さ	形態・調整等の特徴	色	調子	土質	備考
134	竪 (土師器)	口径 17.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 内上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部はつまみ上げ、外縁する凹面をもつ。 口縁部外面はコナデ、内面はナデハケナ デ、(8本)、体部外面ハケナデ(8本)内面 ヘラ削り。	外内 灰褐色 淡灰褐色	1mm以下の 角閃石・雲母 等の細砂粒 を含む。	良好	
	SD1						
135	同上	口径 17.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は若干つま み上げる。体部は欠損。 口縁部内外面はコナデ。	灰褐色	0.3mm以下 の角閃石・ 雲母等の微 砂粒を含む。	良好	
	SD1						
136	同上	口径 17.0	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上 げ、上に面をもつ。体部は欠損。口縁部外 面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面はコナデ、内面はコナデ後ハ ケナデ(6)、体部内面ヘラ削り。	灰褐色	2.5mm以下 の角閃石・ 長石・雲母・ 石英等の粗 砂粒を含む。	良好	
	SD1						
137	同上	口径 17.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲 し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は つまみ上げる。体部中位以下は欠損。口縁 部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面はコナデ、体部外面はタキ (4本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	1mm以下の 雲母・角閃 石・赤褐色 酸化粒・砂 石等の細砂 粒を含む。	良好	
	SD1						
138	同上	口径 14.6	口縁部は斜上方へ外反気味に伸び、端部 はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面はコナデ、一部ハナナデ(10 本)、内面ハケナデ(9本)、体部内面ヘラ削 り。	灰褐色	0.3mm以下 の角閃石・ 雲母等の微 砂粒を含む。	良好	
	SD1						
139	同上	口径 14.6	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部 はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面はコナデ、一部ハケ目、内面 ハケナデ。	外内 黒茶色 淡灰褐色	1mm以下の 角閃石・雲 母・石英等 の粗砂粒を 含む。	良好	外面全面に 灰付着。
	SD1						
140	同上	口径 14.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲 し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至 る。端部は若干つまみ上げる。体部は欠損 口縁部内外面はコナデ、体部外面はタキ (7本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.3mm以下 の角閃石・ 長石・石英 等の微砂粒 を含む。	良好	
	SD1						
141	同上	口径 14.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部は上につま み。体部は欠損。 口縁部・体部外面はコナデ、内面割離の 為調整不明。	淡灰褐色	3mm以下の 角閃石・長 石・石英等 の粗砂粒を 多量に含む。	良好	口縁部外面 に灰付着。
	SD1						
142	同上	口径 14.6	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上 げる。体部は欠損。 口縁部内外面はコナデ。	淡灰褐色	0.5mm以下 の角閃石・ 長石・雲母 等の微砂粒 を含む。	良好	
	SD1						

調査番号 図説番号	調査地点	(cm) 口径 高さ	形態・調整等の特徴	色	開始	土	説文	備考
143	壘 (土師器) SD1	口径 14.6	口縁部は上方外へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)内面へラ削り。	灰褐色	1mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に扉付着。	
144	同上 SD1	口径 14.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(9本)内面へラ削り。	灰褐色	1mm以下の角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面に一部扉付着。	
145	同上 SD1	口径 14.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(7本)内面へラ削り。	暗茶灰色	3mm以下の長石・角閃石・赤褐色燻化粒・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面に一部扉付着。	
146	同上 SD1	口径 15.0	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・指頭痕、内面ヨコナデ、体部外面割断の為調整不明、内面へラ削り。	外 淡茶色 内 灰褐色	3mm以下の雲母・角閃石・石英・長石等の粗砂粒を含む。	良		
147	同上 SD1	口径 14.7	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本)、体部外面タタキ(9本)後ハケナデ(10本)内面へラ削り。	外 灰褐色 内 暗灰褐色	3mm以下の長石・角閃石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好		
148	同上 SD1	口径 15.0	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干内方へ肥し、上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ハケナデ(7本)、体部外面ヨコナデ、内面へラ削り。	茶褐色	5mm以下の角閃石・石英・雲母等の砂礫粒を多量に含む。	良好		
149	同上 SD1	口径 14.0	口縁部は上方外へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(8本)、体部内面へラ削り。	淡茶灰色	1mm以下の長石・石英・赤褐色燻化粒等の粗砂粒を含む。	良好		
150	同上 SD1	口径 14.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(12本)内面へラ削り。	暗茶灰色	3mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に扉付着。	
151	同上 SD1	口径 14.8	口縁部は斜上方へ外反して伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(6本)、体部内面へラ削り。	茶灰色	2.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	端部付近外面に扉付着。	

地質調査 図面番号	掘 削 土 地 点	(cm) 口径 高さ	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色	土 質	土 質 成 成	備 考
152	壁 (土留部) SD1	口径 14.8	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面へり割り。	外 内 樹茶色 灰褐色	3mm以下の 角閃石・雲 母・石英等 の粗砂粒を 含む。	良好	
153	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(7本)、内面へり割り。	黒褐色	1mm以下の 角閃石・雲 母・石英等 の粗砂粒を 含む。	良好	
154	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面へり割り。	緑灰色	3mm以下の 角閃石・雲 母・石英等 の粗砂粒を 含む。	良好	外面全面に 煤付着。
155	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(15本)、内面へり割り。	褐色	8mm以下の 角閃石・雲 母等の砂礫 粒を含む。	良好	
156	同上 SD1	口径 17.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(9本)後ハケナデ(11本)、内面へり割り。	外 内 淡灰褐色 淡灰褐色	1mm以下の 雲母・長石 角閃石等の 粗砂粒を多 量に含む。	良好	
157	同上 SD1	口径 14.9	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面へり割り。	外 内 黒褐色 淡灰褐色	0.1mm以下 の角閃石・ 雲母・長石 等の微砂粒 を含む。	良好	外面全面に 煤付着。
158	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(6本)、内面へり割り。	褐色	3mm以下の 角閃石・石 英・雲母等 の粗砂粒を 含む。	良好	外面全面に 煤付着。
159	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(10本)、内面へり割り。	褐色	3.5mm以下 の角閃石・ 石英・雲母 等の砂礫粒 を含む。	良好	体部外面に 煤付着。
160	同上 SD1	口径 15.2	口縁部は斜上方へ伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ハケナデ(8本)、体部外面ナデ後ハケナデ(7本)、内面へり割り。	淡灰褐色	4mm以下の 角閃石・石 英・雲母等 の砂礫粒を 含む。	良好	

産物部 図説番号	産 出 地 点	(cm) 口徑 法基 器高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	粒 上	焼 成	備 考
161	斐 (土師器) SD1	口 徑 15.0	口縁部は外上方へ伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。腹部内面に1本の採合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面刺刺の鳥脚壁不明、体部内面へつ削り。	淡緑褐色	1mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	
162	同上 SD1	口 徑 15.0	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面へつ削り。	淡緑褐色	1mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	口縁部外面に採付者。
163	同上 SD1	口 徑 15.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部内面へつ削り。	外 黒茶色 内 淡灰茶色	0.1mm以下の雲母・長石・角閃石等の微砂粒を含む。	良好	口縁部外面に採付者。
164	同上 SD1	口 徑 15.0	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げ、外側に浅い凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(7本)、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面へつ削り。	暗茶灰色	3.5mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に採付者。
165	同上 SD1	口 徑 15.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ・ハケナデ(9本)、内面へつ削り。	淡灰茶色	0.5mm以下の雲母・長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	
166	同上 SD1	口 徑 13.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面へつ削り。	暗茶灰色	2.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
167	同上 SD1	口 徑 13.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は若干つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗灰褐色	0.1mm以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に採付者。
168	同上 SD1	口 徑 15.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面へつ削り。	外 乳灰褐色 内 灰褐色	1.5mm以下の角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
169	同上 SD1	口 徑 15.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面へつ削り。	暗褐色	2.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を少量含む。	良好	

通称番号 採取番号	基 出 土 地 点	(cm) 口径 法量 器高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	折 上	焼 成	備 考
170	壘 (土師器) SD1	口 径 15.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面へ削り。	淡灰褐色	1mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
171	同上 SD1	口 径 15.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は着子内方に肥厚し、上につまむ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(9本)、内面へ削り。	淡灰褐色	3mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	体部外面中に煤付着。
172	同上 SD1	口 径 15.2	口縁部は斜上方へ伸び、端部は内方に若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面へ削り。	淡灰褐色	1.5mm以下の長石・チヤート・石英等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
173	同上 SD1	口 径 15.4	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面へ削り。	灰褐色	0.5mm以下の雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
174	同上 SD1	口 径 15.4	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。蓋部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、一部ハケナデ(8本)、体部内面へ削り。	外 内 黒褐色 淡灰褐色	0.5mm以下の角閃石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
175	同上 SD1	口 径 15.3	上内方へ伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(11本)、内面へ削り。	灰褐色	3.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の砂粒粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
176	同上 SD1	口 径 15.4	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面へ削り。	淡灰褐色	2mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
177	同上 SD1	口 径 15.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(8本)後ハケナデ(8本)、内面へ削り。	淡灰褐色	0.3mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
178	同上 SD1	口 径 15.4	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(9本)。	外 内 黒褐色 灰褐色	1.5mm以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。

調査番号 調査番号	産出地点	(cm) 口径 深さ	形態・調整等の特徴	色	陶胎	土質	焼成	備考
179	栗 (土割器) SD1	口径 15.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラ削り。	灰茶色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好		
180	同上 SD1	口径 15.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(8本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	暗灰色	2mm以下の角閃石・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。	
181	同上 SD1	口径 13.4	内七方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	2mm以下の角閃石・長石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	外面に一部煤付着。	
182	同上 SD1	口径 15.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。口縁部外面ヨコナデ、端部付延に指押きえ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	茶灰色	角閃石・長石・雲母等を含む。	良		
183	同上 SD1	口径 15.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面割離の高調整不明、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	1mm以下の角閃石・長石・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好		
184	同上 SD1	口径 15.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(4本)後ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.1mm以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好		
185	同上 SD1	口径 15.6	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。口縁部内外面ヨコナデ。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.5mm以下の角閃石・雲母等の微砂粒を多量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着。	
186	同上 SD1	口径 15.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(8本)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	2mm以下の角閃石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好		
187	同上 SD1	口径 15.6	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	2mm以下の石英・長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。	

産物番号 調査番号	掘出地点	(cm) 口径 法量	口径 高さ	形態・調整等の特徴	色	胎 胎	と 焼成	備 備	考
188	埴 (土師器)	Li 様	15.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 端部はつまみ上げる。体部は欠損。口縁部 外面に1本の捺合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・ハ ケナデ(6本)、体部外面タタキ(6本)後 ハケナデ(7本)、内面へう割り。	暗茶灰色	1mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の粗砂粒を 含む。	良	外面に一部 灰付着。	
	SD1								
189	同上	Li 様	15.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面タタキ (5本)後ハケナデ(7本)、内面へう割り。	淡茶灰色	2.5mm以下 の角閃石・雲 母・石英等 の粗砂粒を 含む。	良好		
	SD1								
190	同上	Li 様	17.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 端部はつまみ上げ、外縁する面をもつ。体 部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (7本)、内面へう割り。	灰褐色	8mm以下の 角閃石・雲 母・石英等 の粗砂粒を 含む。	良		
	SD1								
191	同上	Li 様	15.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、 上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 端部は上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (7本)後ハケナデ(7本)、内面へう割り、 端部に指押さへ。	淡茶灰色	3mm以下の 長石・角閃 石等の粗砂 粒を含む。	良好	体部外面一 部灰付着。	
	SD1								
192	同上	Li 様	13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつま み上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハ ケナデ(7本)、体部外面タタキ(5本)後 ハケナデ(6本)、内面へう割り。	淡茶色	2mm以下の 角閃石・雲 母・石英等 の粗砂粒を 含む。	良好	外面全面に 灰付着。	
	SD1								
193	同上	Li 様	15.6	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、 上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は 平上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハ ケナデ(6本)、体部外面タタキ(9本)、内 面へう割り。	暗茶灰色	2mm以下の 雲母・角閃 石・長石等 の粗砂粒を 含む。	良		
	SD1								
194	同上	Li 様	15.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上 げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(8 本)、体部外面ヨコナデ、内面へう割り。	暗褐色	1mm以下の 雲母・石英 等の粗砂粒 を少量含む	良好		
	SD1								
195	同上	Li 様	15.8	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方 へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は つまみ上げる。体部中位以下は欠損。端部 付近外面に1本の捺合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ・指合痕、内面ヨコ ナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7 本)、内面へう割り。	淡灰茶色	4mm以下の 雲母・角閃 石・長石・ 石英等の砂 粒を少量 含む。	良好		
	SD1								
196	同上	Li 様	15.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につ まむ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデによるヨ コナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナ デ(12本)、内面へう割り。	暗茶褐色	長石・角閃 石・石英・ 赤褐色酸化 粒・雲母等 を少量含む。	良好		
	SD1								

遺物番号 四角番号	出土地点	(cm) 口径 法装 器高	形製・調整等の特徴	色	胎土	焼成	備考
197	裏 (土師器) SD1	口径 17.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 肩部はつまみ上げ、外側に浅い凹面をもつ。 体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (6本)、内面へう割り。	灰茶色	2mm以下の 角閃石・長 石等の粗砂 粒を含む。	良好	
198	同上 SD1	口径 15.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 肩部は外方に肥厚し、つまみ上げる。体部 中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (5本)、内面へう割り。	外 味茶灰 内 茶灰色	角閃石・雲 母・長石等 を含む。	良好	外面全面に 煤付着。
199	同上 SD1	口径 17.4	口縁部は外上方へ伸び、肩部はつまみ上 げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面へう割 り。	淡褐灰色	2.5mm以下 の角閃石・ 雲母・石英 ・赤褐色炭化 粒等の粗砂 粒を含む。	良好	
200	同上 五一 SD1	口径 16.0	口縁部は外上方へ伸び、肩部はつまみ上 げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面へう割 り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.5mm以下 の角閃石・雲 母等の粗砂 粒を少量含 む。	良好	外面全面に 煤付着。
201	同上 SD1	口径 16.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部はつま み上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナ デ、内面へう割り。	外 灰褐色 内 緑灰色	5mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の粗砂粒を 多量を含む。	良好	
202	同上 SD1	口径 16.0	口縁部は外上方へ伸び、肩部はつまみ上 げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ、 内面へう割り。	灰紫色	3mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の粗砂粒を 含む。	良好	
203	同上 SD1	口径 16.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (3本)、内面へう割り。	淡茶灰色	3mm以下の 雲母・角閃 石・長石等 の粗砂粒を 含む。	良好	
204	同上 SD1	口径 16.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (4本)、内面へう割り。	褐茶色	2.5mm以下 の角閃石・ 石英・雲母 等の粗砂粒 を含む。	良好	
205	同上 SD1	口径 17.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 肩部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7 本)へう先による傷(4本)、体部外面タタ キ(6本)後ハケナデ(8本)、内面へう割り。	暗灰褐色	1mm以下の 雲母・角閃 石等の粗砂 粒を少量含 む。	良好	外面全面に 煤付着。

遺物番号 図版番号	出土地点	(cm) 口径 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
206	壺 (土師器) SD1	口径 17.6	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(11本)、内面ヘラ削り。	淡灰黄色	2mm以下の雲母・角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
207	同上 SD1	口径 17.2	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	3mm以下の角閃石・長石・石英・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	
208	同上 SD1	口径 16.0 最大径 21.3	最大径を中位にもつ球形と思われる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	5.5mm以下の長石・角閃石・石英・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	
209	同上 SD1	口径 16.2	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ一部ハケナデ、内面ハケナデ(8本)。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.1mm以下の角閃石・雲母・石英等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
210	同上 SD1	口径 16.2	口縁部は上上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(13本)、内面ヘラ削り。	茶灰色	長石・雲母等を含む。	良	
211	同上 SD1	口径 16.2	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(11本)、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰茶色	2mm以下の長石・石英・角閃石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
212	同上 SD1	口径 16.2	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げ、外に小さい面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	1mm以下の角閃石・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
213	同上 SD1	口径 16.4	口縁部は上上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	乳灰褐色	0.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
214	同上 SD1	口径 17.6	口縁部は上上方へ伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(6本)、体部内面ヘラ削り。	灰褐色	1mm以下の雲母・角閃石・石英・チャート等の粗砂粒を多量に含む。	良好	

通称 四角番号	種 出土地点	(cm) 口径 油盤 器高	形態・調整等の特徴	色	調 胎 土	焼成	備 考
215	壁 (土師器)	口径 17.6	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部内面へラ削り。	外 内 黒茶色 灰褐色	0.5mm以下の角閃石・長石・赤褐色酸化鉄等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に保存者。
	SD1						
216	同上	口径 16.4	内上方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(7本)、内面へラ削り。	外 内 黒褐色 暗灰褐色	1mm以下の角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に保存者。
	SD1						
217	同上	口径 16.4	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。胴部内面・体部内面上位に1本ずつの接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本)後ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(11)、内面ハケナデ(7本)後ナデ、へラ削り。	黒褐色	5mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	外面全面に保存者。
五一	SD1						
218	同上	口径 16.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面へラ削り。	茶灰色	4.5mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂礫粒を多量に含む。	良好	
五二	SD1						
219	同上	口径 16.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、一部ハケナデ(7本)、内面ハケナデ(8本)、体部内面へラ削り。	淡灰褐色	0.1mm以下の角閃石・長石等の微砂粒を含む。	良好	
	SD1						
220	同上	口径 16.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナゲハケナデ(5本)。	灰褐色	1mm以下の雲母・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1						
221	同上	口径 16.8	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(10本)、内面へラ削り。	灰褐色	0.1mm以下の角閃石・雲母・石英等の微砂粒を多量に含む。	良好	
	SD1						
222	同上	口径 16.8	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は斜上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面へラ削り。	茶灰褐色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1						
223	同上	口径 16.8	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(6本)、内面へラ削り。	黒褐色	2.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1						

産物名 所産番号	採 出 土 地 点	(cm) 口径 法量 器高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	給 土	焼 成	備 考
224	覆 (土師器) SD1	口径 16.8	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(10本)、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	2mm以下の角閃石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
225	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は外上方へ伸び、端部は外挿する凹面をもち、若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ナデ。	淡灰褐色	雲母等を微量を含む。	良好	
226	同上 SD1	口径 17.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	1mm以下の角閃石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
227	同上 SD1	口径 17.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.3mm以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を多量に含む。	良好	
228	同上 SD1	口径 17.6	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)後タタキ(7本)、内面ヘラ削り。	褐色	2mm以下の角閃石・長石・石英等の粗砂粒を含む。	良	
229	同上 SD1	口径 17.2	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(11本)、内面ヘラ削り。	外 淡灰茶色 内 淡灰褐色	1mm以下の角閃石・長石・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
230	同上 SD1	口径 17.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	0.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
231	同上 SD1	口径 17.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	暗灰褐色	2mm以下の角閃石・石英・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良	外面全面に煤付き。
232	同上 SD1	口径 17.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部は内方へつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヨコナデ。	淡灰褐色	2mm以下の雲母・長石・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	

遺物番号 出土番号	器 種 出土地点	(cm) 口径 高さ	形状・調整等の特徴	色	胎土	焼成	備考
233	壺 (土師器) SD1	口径 18.0	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ヨコナゲ、後ハケナゲ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラ削り。	茶褐色	4.5mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂礫粒を含む。	良好	
234	同上 SD1	口径 18.2	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面ヨコナゲ、内面ヘラ削り。	暗茶褐色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に腐付着。
235	同上 SD1	口径 18.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ハケナゲ(8本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナゲ(8本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
236	同上 SD1	口径 18.2	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外面に凹面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	3.5mm以下の長石・角閃石・雲母・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	外面全面に腐付着。
五二	同上 SD1	口径 22.8	上方向へ伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部・体部外面タタキ、内面ヨコナゲ。	淡灰褐色	3mm以下の角閃石・雲母・長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
238	同上 SD1	口径 18.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。体部内面上位に1本の結土のつまみ目がある。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ハケによるヨコナゲ、体部外面タタキ(7本)後ハケナゲ(5本)、内面ハケナゲ後ヘラ削り。	外内 茶灰色 灰褐色	3mm以下の角閃石・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
239	同上 SD1	口径 22.8	体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナゲ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラ削り。	茶褐色	0.1mm以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
240	同上 SD1	口径 16.4 器高 19.8 最大径 19.4	球形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干内方に肥厚し、つまみ上げる。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ヨコナゲ後ハケナゲ(6本)、体部外面タタキ(5本)後ハケナゲ(11本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.5mm以下の長石・角閃石・雲母・石英等の微砂粒を含む。	良好	体部内面下位に炭化物付着。
五二	同上 SD1	口径 13.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ヨコナゲ後ハケナゲ(7本)、体部外面タタキ(7本)後ハケナゲ(8本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	2mm以下の雲母・角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面に腐付着。

産物番号 内訳番号	産 出 地 点	種 別	(cm) 口径 高さ	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
242	栗 (土神原)	SD1	口径 17.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる11線部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口線部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(5本)、内面へう割り。	淡灰茶色	1.5mm以下の石英・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	11線部外面に煤付着。
243	同上	SD1	口径 15.7	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる11線部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口線部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(8本)後ハケナデ(7本)、内面へう割り。	暗灰褐色	2mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	外面全面に煤付着。
244	同上	SD1	口径 17.6	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口線部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口線部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)一部ハケナデ、内面へう割り。	淡灰褐色	2mm以下の角閃石・長石・石英・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	外面唇部に煤付着。
245	同上	SD1	口径 11.8 器 高 12.9	球形の体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口線部に至る。端部は丸底。底部は丸底。 口線部外面ハケナデ(7本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面へう割り。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英・チャート・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	
246	同上	SD1	口径 14.4 器 高 19.4 最大径 18.1	最大径を中位にもつ楕円形の体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口線部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は丸底。口線部内面に1本の接合痕を有す。 口線部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(13本)、内面へう割り。	灰褐色	0.5mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	底部、外面全面に煤付着。
247	同上	SD1	口径 12.5	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口線部に至る。端部はつまみ上げ、外側に浅い凹面をもつ。体部中位以下は欠損。 口線部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面へう割り。	茶褐色	1mm以下の角閃石・赤褐色酸化鉄・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	外面全面に煤付着。
248	同上	SD1	口径 14.6	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口線部に至る。体部は欠損。器部内面に1本の接合痕を有す。 口線部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面へう割り。	暗灰褐色	0.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	口線部外面に煤付着。
249	同上	SD1	口径 14.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口線部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口線部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(12本)、内面へう割り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	1mm以下の角閃石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
250	同上	SD1	口径 15.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口線部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口線部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面ハケナデ(8本)、内面へう割り後ハケナデ(7本)。	乳灰褐色	2mm以下の雲母・角閃石・石英・赤褐色酸化鉄・長石等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物等の 図説番号	発 掘 土 地 点	(cm) 口 径 口 徑 高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色	調 整 土	焼 成	備 考
251	慶 (土師器)	口 径 13.6	斜上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(11本)、内面ヘラ削り。	灰茶色	3.5mm以下の石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面中に保付着。
	SD 1						
252	岡 上	口 径 16.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(13本)、内面ヘラ削り。	淡褐色	1.5mm以下の雲母・長石・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
五二	SD 1						
253	岡 上	口 径 16.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	灰茶色	2.5mm以下の石英・長石・雲母・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を多量に含む。	良好	体部外面中に保付着。
	SD 1						
254	岡 上	口 径 16.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。胴部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面(8本)、内面ヘラ削り、胴部に指頭痕。	淡褐色	1.5mm以下の雲母・長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
	SD 1						
255	岡 上	口 径 14.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	灰茶色	2.5mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に保付着。
	SD 1						
256	岡 上	口 径 14.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干1.につまむ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(5本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	2.5mm以下の石英・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に保付着。
	SD 1						
257	岡 上	口 径 13.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部・体部内外面ヨコナデ。	外 淡灰茶色 内 乳灰茶色	1mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD 1						
258	岡 上	口 径 12.6	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は外方へ若干肥厚し、内彎する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	0.5mm以下の長石・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD 1						
259	岡 上	口 径 17.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(8本)。	外 黄褐色 内 淡茶灰色	1mm以下の雲母・長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に保付着。
	SD 1						

通称番号 採取番号	採出地点	(m) 口径 高さ	形状・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
260	壁 (土師器)	口径 12.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(6本)、体部外面タキ後ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	乳白褐色	1mm以下の長石等の細砂粒を含む。	良好	
	SD1						
261	同上	口径 11.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	3mm以下の長石・雲母・長石等の粗砂粒を少量含む。		外面全面に煤付着。
	SD1						
262	同上	口径 11.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干外方へ肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タキ(6本)、内面ヘラ削り。	灰白色	1.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1						
263	同上	口径 14.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥厚し、上にもをもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	淡褐色	1mm以下の石英・雲母・長石等の細砂粒を多量に含む。	良好	
	SD1						
264	同上	口径 15.0	口縁部は外上方へ内彎気味に伸び、端部は内方へ若干肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	乳白褐色	1mm以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1						
265	同上	口径 14.6 最大径 19.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	2mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
	SD1						
五三							
266	同上	口径 17.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヨコナデ・ヘラ削り。	灰紫色	3mm以下の石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1						
267	同上	口径 16.5 器高 25.9 最大径 23.3	最大径を中位にもつ楕円形に近い体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り、下位に指痕痕、底部刺痕の痕跡不明。	淡灰紫色	0.5mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒・石英等の微砂粒を含む。	良好	底部、外面全面に煤付着。
	SD1						
五三							
268	同上	口径 15.1 最大径 21.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(15本)、内面ヘラ削り。	灰褐色 淡灰褐色	4mm以下の長石・石英・雲母・チャート等の砂粒を多量に含む。	良好	
	SD1						

通称番号 採取番号	部 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土焼成	備考
269	変 (土師器)	口径 11.8 最大径 14.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方 に肥厚する。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ (10本)、内面ヘラ削り。	乳白褐色	0.5 mm以下の 長石・石英・雲母・ 赤褐色酸化 鉄等の粗砂 粒を含む。	良好
五三	SD 1					
270	同上	口径 17.6 器高 26.4 最大径 24.9	最大径を中位より若干上にもつ球形の体 部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる 口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内彎 する面をもつ。底部は丸延。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ (10本)、内面ヘラ削り、 底面外面ハケナ デ (10本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.5 mm以下の 長石・石英・雲母等の粗 砂粒を多量 に含む。	良好
	SD 1					
271	同上	口径 11.8	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部 は内方へ肥厚し、内彎する面をもつ。体部 は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ後 ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	1mm以下の 雲母・角閃 石・石英・ 長石等の粗 砂粒を含む。	良好
	SD 1					
272	同上	口径 10.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部は内方へ肥厚し、内彎する面をもつ。 体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナ デ、内面ヘラ削り。	乳白色	1.5 mm以下の 石英・長石・角閃石 雲母・チラー ト等の粗砂 粒を含む。	良
	SD 1					
273	同上	口径 12.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部は内方へ肥厚し、内彎する面をもつ。 体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、 内面ヘラ削り	淡褐色	1.5 mm以下の 石英・長石・雲母等の粗 砂粒を含む。	良好
	SD 1					体部外面に 煤付着。
274	同上	口径 12.4	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部は内方へ肥厚し、内彎する面をもつ。 体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ後タタキ (5本)、内面指頭痕・ヘラ削り。	淡灰褐色	0.5 mm以下の 石英・長石・雲母・ 赤褐色酸化 鉄等の粗砂 粒を含む。	良好
五三	SD 1					外面全面に 煤付着。
275	同上	口径 11.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は 内方へ肥厚し、内彎する面をもつ。体部は 欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ (10本)、内面ヘラ削り。	淡灰色	2mm以下の 石英・長石・ 赤褐色酸化 鉄等の粗砂 粒を含む。	良
	SD 1					口縁部内面 に煤付着。
276	同上	口径 13.8	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部 は内方へ肥厚し、内彎する面をもつ。体部 は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナ デ、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	2mm以下の 長石・石英・雲母等の粗 砂粒を含む。	良好
	SD 1					
277	同上	口径 12.3	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部は上に面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ (10本)、内面ヘラ削り。	暗灰色	2mm以下の 石英・雲母・ 長石等の粗 砂粒を含む。	良好
	SD 1					

植物標本号 国産番号	産出地点	(cm) 鉢径 口径 器高	形態・調整等の特徴	色	調剤土	養成	備考
278	變 (土師器)	口徑 12.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面へう割り。	淡褐色	2mm以下の雲母・石英・長石等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面の一部に煤付着。
	SD1						
279	同上	口徑 14.0	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ若干肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ後ハケナデ(8本)、内面へう割り。	乳灰褐色	2mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
	SD1						
280	同上	口徑 14.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(11本)、内面へう割り。	淡茶灰色	2mm以下の石英・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1						
281	同上	口徑 13.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面へう割り。	乳灰褐色	2mm以下の雲母・石英・長石等の粗砂粒を少量含む。	良好	外面全面に煤付着。
	SD1						
282	同上	口徑 14.0	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(8本)、体部外面ハケナデ(8本)、内面ナデ。	淡灰紫色	2mm以下の雲母・石英・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1						
283	同上	口徑 14.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(15本)、内面へう割り。	灰紫色	5mm以下の石英・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
	SD1						
284	同上	口徑 14.2 最大径 18.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(16本)、内面へう割り。	灰紫色	5mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
	SD1						
285	同上	口徑 14.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(15本)、内面へう割り。	外 暗灰紫色 内 茶灰褐色	1mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
五三	SD1						
286	同上	口徑 14.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、上に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面割龜の高調整不明、内面へう割り。	暗茶灰色	1mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	外面全面に煤付着。
	SD1						

遺跡番号 国史番号	出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色	胎土	焼成	備考
287	變 (土師器) SD1	口径 15.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面へう割り。	紫灰色	1mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
288	同上 五三 SD1	口径 14.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面へう割り。	淡灰褐色	2mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
289	同上 SD1	口径 15.0	口縁部は上外方へ内彎して伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面へう割り。	乳灰褐色	1mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に灰付着。
290	同上 SD1	口径 15.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナゲハケナデ、内面へう割り。	乳灰色	0.5mm以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
291	同上 五四 SD1	口径 15.0 最大径 20.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部下位は欠損。 口縁部外面・体部外面上位ヨコナデ、口縁部内面ハケナデ(6本)、体部外面中位ハケナデ(7本)、内面ハケナデ後へう割り・指痕俱。	外 淡灰茶色 内 灰茶色	1mm以下の雲母・赤褐色酸化粒・長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	外面全面に灰付着。
292	同上 SD1	口径 15.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する浅い凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面へう割り。	暗灰色	2mm以下の石英・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に灰付着。
293	同上 SD1	口径 15.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は若干内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面へう割り。	灰褐色	2mm以下の石英・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部・体部外面中位に灰付着。
294	同上 SD1	口径 16.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナゲ、内面へう割り。	淡赤褐色	1.5mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
295	同上 SD1	口径 16.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、上へ面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面磨耗の急角度不明、体部外面磨耗の急角度不明、内面へう割り。	暗赤褐色	2.5mm以下の石英・長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	

調査番号	種出土地点	(cm) 口径 法量 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
296	壺 (土師部) SD1	口径 16.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 肩部は内方へ肥厚し、上に凹面をもつ。体 部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(5本)、内面へう削り。	灰白色	1.5mm以下の 石英・長石 等の粗砂粒 を含む。	良好	口縁部外面 に産付着。
297	同上 SD1	口径 16.2	口縁部は内彎気味に上外方へ伸び、肩部 は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部 は欠損。 口縁部・体部内外面ヨコナデ。	乳茶色	1.5mm以下の 雲母・石英 ・長石等の 粗砂粒を含 む。	良好	
298	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は外上方へ伸び、肩部は内方へ肥 厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 茶灰色 内 茶褐色	1mm以下の 雲母・長石 ・石英等の 細砂粒を含 む。	良好	
299	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は外上方へ内彎気味に伸び、肩部 は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部 は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナ デ、内面へう削り。	淡灰褐色	0.5mm以下 の雲母・石 英・長石等 の微砂粒を 含む。	良好	
300	同上 SD1	口径 17.8	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、肩部 は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部 は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面へう削 り。	乳黄色	1mm以下の 石英・雲母 ・長石等の 細砂粒を含 む。	良好	
301	同上 SD1	口径 18.8	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、肩部 は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部 は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面へう削 り。	外 淡茶灰 内 乳灰橙 色	1mm以下の 長石・石英 ・雲母等の 細砂粒を含 む。	良好	
302	同上 SD1	口径 18.3 最大径 23.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 肩部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。 体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナ デ後ハケナデ(8本)、内面へう削り。	茶灰色	1.5mm以下 の長石・石 英・赤褐色 酸化鉄等の 粗砂粒を含 む。	良好	
303	同上 SD1	口径 18.3	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、 上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。 肩部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。 体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナ デ・ハケナデ(10本)、内面へう削り。	乳灰褐色	3mm以下の 長石・石英 等の粗砂粒 を少量含む。	良好	口縁部外面 と体部外面 中位に産付 着。
304	同上 SD1	口径 18.8 最大径 25.3	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 肩部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。 体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・一部ハケナデ(8 本)、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(13 本)、上位にへう先による罫(2本)、内面へ う削り・指痕痕。	淡茶灰色	2mm以下の 石英・雲母 ・長石等の 粗砂粒を多 量に含む。	良好	外面(口縁 部・体部上 位の一部) に産付着。
五四	SD1						

遺物番号 図面番号	出土地点	(cm) 口径 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
305	壺 (土師器)	口 径 11.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。肩部は外彎する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面上位ハケナデ(9本)、中位割離の高調整不明、内面ヘラナデ。	暗褐色	3mm以下の角閃石・雲母・チャート・長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
五四	SD 1						
306	同上	口 径 10.2	球形と思われる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ハケナデ(10本)、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラナデ。	暗灰色	1mm以下の長石・雲母・石英等の細砂粒を含む。	良好	
	SD 1						
307	同上	口 径 10.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は上に若干つまむ。体部下位は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ハケナデ(9本)、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラナデ。	淡灰褐色	0.5mm以下の長石・チャート・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
五四	SD 1						
308	同上	口 径 12.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラナデ。	淡茶褐色	1.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
五四	SD 1						
309	同上	口 径 15.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。肩部は外に若干つまむ。体部中央以下は欠損。腹部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラナデ、体部外面ナデ、内面ヘラナデ。	暗褐色	0.1mm以下の角閃石・長石・石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
	SD 1						
310	同上	口 径 15.6	上内方へ内彎斜めに伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反斜めに伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面割離の高調整不明、内面ヘラナデ・滑り痕。	淡灰褐色	2mm以下の長石・チャート・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
	SD 1						
311	同上	口 径 15.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部下位は欠損。腹部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ハケナデ(8本)。	淡橙褐色	4mm以下の石英・雲母・長石等の砂粒を多量に含む。	良好	外面全面に塗付済。
五四	SD 1						
312	同上	口 径 14.6 器 高 22.0 底 径 2.8 最大径 17.5	楕円形の体部より屈曲し、上外方へ外反斜めに伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は突出しない小さい平底。 口縁部外面タタキ(2本)、内面ナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ハケナデ(8本)、底部外面タタキ(2本)。	外 白灰色 内 灰褐色	1.5mm以下の石英・赤褐色酸化鉄・チャート等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
五五	SD 1						
313	同上	口 径 11.4	上内方へ内彎斜めに伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部・体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	淡茶灰色	1mm以下の石英・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD 1						

遺物及び 採取番号	出土地点	口径 (cm)	高さ (cm)	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
314	壁 (土師器)	口径 13.0		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部は外方へ肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面へり削り。	乳灰褐色	1mm以下の 石英・長石・ チャート等の 粗砂粒を 多量に含む。	良好	
	SD 1							
315	同上	口径 13.0		上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部は外側する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ一部ハケナデ、内 面ヨコナデ、体部外面磨耗の高調整不明、 内面へり削り。	淡乳灰色	2mm以下の 石英・チャ ート・赤褐色 酸化鉄等の 粗砂粒を 含む。	良好	
	SD 1							
316	同上	口径 14.4 最大径 17.0		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部は若干つまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(6本)、内面へり削り。	灰褐色	2.5mm以下の 石英・雲 母等の粗砂 粒を含む。	良好	体部外面中 位に煤付着。
	SD 1							
317	同上	口径 16.8		上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、 外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。 体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナ デ、内面へり削り。	乳白色	1.5mm以下の 重層・石 英・チャ ート・赤褐色 酸化鉄等の 粗砂粒を含 む。	良好	
	SD 1							
318	同上	口径 13.		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干 外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部中 位以下は欠損。 口縁部外面磨耗の高調整不明、内面ヨコ ナデ、体部外面磨耗の高調整不明、内面へ り削り。	外 淡黄褐色 内 淡灰黄 褐色	1.5mm以下の 長石・石 英・赤褐色 酸化鉄・雲 母等の粗砂 粒を少量含 む。	良好	外面全面に 煤付着。
	SD 1							
319	同上	口径 15.8 最大径 20.6		腰型と思われる体部より屈曲し、外上方 へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚 し、外側に面をもつ。端部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ (4本) 後ハケナデ(12本)、内面へり削り。	灰褐色	3mm以下の 長石・雲母・ 石英等の粗 砂粒を多量 に含む。	良好	外面全面に 煤付着。 体部下位内 面に炭化物 付着。
	SD 1							
320	同上	口径 14.6 最大径 19.4		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。 体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(11本)、内面へり削り。	淡灰紫色	0.5mm以下の 長石・石 英・赤褐色 酸化鉄等の 粗砂粒を含 む。	良好	体部外面中 位に煤付着。
	SD 1							
321	同上	口径 16.2		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(7本)、内面へり削り。	淡茶灰色	2mm以下の 石英・長石 等の粗砂粒 を含む。	良好	外面全面に 煤付着。
	SD 1							
322	同上	口径 15.6 最大径 21.9		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部は上に凹面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(13本)、内面へり削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	2mm以下の 長石・石英・ 雲母等の粗 砂粒を多量 に含む。	良好	外面全面に 煤付着。
	SD 1							

通称番号 試験番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法数 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
323	甕 (十部器) SD1	口径 14.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。 体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(16本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	2.5mm以下の 長石・石 英・赤褐色 酸化粒等の 粗砂粒を含 む。	良好	
324	同上 SD1	口径 12.0 最大径 19.8	最大径を中位より若干上にもつ楕円形の 体部より屈曲し、上方へ伸びた後屈曲して 外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 肩部はつまみ上げる。底部は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ、体部外 面ハケナデ(8本)、内面上位ナデ・指頭痕、 下位ヘラ削り。	乳灰茶色	5mm以下の 石英・長石・ 赤褐色酸化 粒等の粗砂 粒を多量に 含む。	良好	体部外面に 黒斑有り。
325	同上 SD1	口径 13.2	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 内上方へ伸びた後屈曲して上外方へ伸びる 口縁部に至る。肩部はつまみ上げ、外傾す る面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ハケナデ後ナデ、 肩部外面ハケナデ(10本)後ヨコナデ、内 面ナデ、体部外面ハケナデ(8本)後ナデ、 内面上位ナデ・指頭痕、中位ヘラ削り。	淡灰茶色	0.5mm以下の 雲母・長石・ 赤褐色酸化 粒等の粗砂 粒を少量含 む。	良好	体部外面中 位に黒斑有 り。
326	同上 SD1	口径 14.0 最大径 22.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びる口縁部に至る。肩部はつま み上げる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ後 ハケナデ(16本)、内面ナデ。	淡粉褐色	2mm以下の 長石・雲母・ 赤褐色酸化 粒等の粗砂 粒を含む。	良好	
327	同上 SD1	口径 10.3	口縁部は上方へ伸びた後屈曲して外上方 へ内彎気味に伸び、肩部はつまみ上げ、外 傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ナデ、内面ナデ。	外内 黒灰色 淡灰黄 色	2mm以下の 石英・チャ ート等の粗 砂粒を多量 に含む。	良好	外面全面に 黒斑有り。
328	同上 SD1	口径 12.4 最大径 23.3	内上方へ内彎して体部より屈曲し、上方 へ伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部 に至る。肩部はつまみ上げ、外傾する面を もつ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(10 本)、肩部外面ハケナデ(10本)、内面ヨコナ デ、体部外面ハケナデ(10本)、内面上位ナ デ、指頭痕、中位ヘラ削り。	淡灰色	2.5mm以下の 石英・雲母・ 赤褐色酸化 粒等の粗砂 粒を少量含 む。	良好	
329	同上 SD1	口径 12.8 最大径 19.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 肩部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。 体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(12本)、内面上位ナデ・指頭痕、中位ヘ ラ削り。	外内 黒茶色 淡褐色 色	2mm以下の 石英・雲母・ 赤褐色酸化 粒等の粗砂 粒を含む。	良好	外面全面に 黒斑有り。
330	同上 SD1	口径 13.0	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、 外上方へ外反して短く伸びる口縁部に至る。 肩部はつまみ上げ、外傾する面をも つ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(8本)、内面ナデ。	淡灰褐色	4mm以下の 雲母・赤褐 色酸化粒等 の粗砂粒を 含む。	良好	

奥平山 調査番号	出土地点	(mm) 口径 法域	形態・調整等の特徴	色	調質	土	焼成	備考
331	変 (七郎器) SD1	口径 13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ外反して短く伸びる口縁部に至る。 端部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部 中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(7本)、内面ナデ・指頭痕。	淡灰褐色		1.5mm以下の 長石・赤 褐色酸化粒 等の粗砂粒 を含む。	良好	
332	同上 SD1	口径 12.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ外反して短く伸びる口縁部に至る。 端部はつまみ上げ、端部に1本の縦線がみ られる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヨ コナデ、中位ハケナデ(8本)、内面ナデ・ 指頭痕。	淡黄褐色		1mm以下の 長石・赤褐 色酸化粒等 の粗砂粒を 含む。	良好	
333	同上 SD1	口径 15.2 最大径 20.0	球型と思われる体部より屈曲し、外上方 へ外反気味に短く伸びる口縁部に至る。端 部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部 下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(6本)、内面ナデ後へう割り・指頭痕。	淡黄褐色		1.5mm以下の 長石・雲 母・赤褐色 酸化粒等の 粗砂粒を含 む。	良好	体部外面中 位に欠け割。
334	同上 SD1	口径 13.2	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ外反して短く伸びる口縁部に至る。 端部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部 中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(7本)、内面ナデ・指頭痕。	淡乳茶色		2.5mm以下の 長石・雲 母・赤褐色 酸化粒等の 粗砂粒を含 む。	良好	
335	同上 SD1	口径 26.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲 し、外上方へ外反して短く伸びる口縁部 に至る。端部はつまみ上げ、外傾する面を もつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(7本)、内面ナデ。	灰茶色		2mm以下の 長石・石英・ 赤褐色酸化 粒・雲母等 の粗砂粒を 含む。	良好	
336	同上 SD1	口径 15.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲 し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面刺刺の 為調整不明、内面へう割り。	乳灰色		2mm以下の 長石・雲母・ 赤褐色酸化 粒等の粗砂 粒を含む。	良	
337	同上 SD1	口径 15.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲 し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は 上方に拡張する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面磨耗の 為調整不明、一部にハケナデの縦線有り、 内面へう割り。	乳茶灰色		2mm以下の 石英・赤褐 色酸化粒等 の粗砂粒を 含む。	良好	
338	同上 SD1	口径 12.9	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上方 に拡張する。体部は欠損。吉備地方の酒 罎式の特徴をもつ。 指頭部外面縦線き文(10条)、内面ヨコ ナデ、口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハ ケナデ(9本)、内面へう割り。	外内 淡灰茶 色 淡灰茶 色		2mm以下の 長石・雲母・ 石英等の粗 砂粒を含む。	良好	

産物番号 産出番号	産出地点	種 類	(cm) 口径 法長	口径 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
339	豊 (土師石)		□ 径	13.2	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びるI線部に至る。端部は上方に拡張する。体部中位以下は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面磨き文(7条)、内面ヨコナデ、口線部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(18本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	2mm以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
五六	SD 1								
340	同上		II 径	13.8	体部より屈曲し、外上方へ伸びる口線部に至る。端部は上方に拡張する。体部は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面磨き文(8条)、内面ヨコナデ、口線部内外面ヨコナデ、体部内外面ヨコナデ。	乳灰茶色	1mm以下の石英・赤褐色酸化粒・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	
五七	SD 1								
341	同上		□ 径	14.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びるI線部に至る。端部は上方に拡張する。体部中位以下は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面磨き文(磨耗の為不明瞭)、内面ヨコナデ、口線部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	淡乳灰茶色	3mm以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
五七	SD 1								
342	同上		□ 径 最大径	15.4 22.6	最大径を中位より若干上にもつ球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口線部に至る。端部は上方に拡張する。底部は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面磨き文(8条)、内面ヨコナデ、口線部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、ヘラ状工具による溝(3本)、内面ヘラ削り・指痕。	淡黒灰色	1mm以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面下位に窪付者。
五七	SD 1								
343	同上		□ 径 高	11.8 11.0	球形の体部より屈曲し、上方に外反して伸びる後屈曲して上方へ伸びるI線部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は欠損。山陰地方に見られる二重I線の變の形態をもつ。 口線部内外面ヨコナデ、体部外面上位クシ状工具によるヘラキザミ、中位以下ハケナデ(16本)、内面上位ナデ、中位ヘラ削り、下位ナデ、底面ハケナデ(16本)。	□ 灰色	1.5mm以下の石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面中位・下位・底面外面に窪付者。
五七	SD 1								
344	同七		I 径	17.2	口線部は外上方へ伸びた後屈曲して上方へ外反斜めに伸び、端部は丸い。体部は欠損。山陰地方に見られる二重I線の變の形態をもつ。 口線部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.5mm以下の石英・雲母・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	
五七	SD 1								
345	同上		II 径	26.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反して伸びた後屈曲して外上方へ伸びる口線部に至る。端部は上に面をもつ。体部中位以下は欠損。山陰地方に見られる二重I線の變の形態をもつ。 口線部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	淡乳灰色	1.5mm以下の石英・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
五七	SD 1								

通称番号 図説番号	器 種 出土地点	(cm) 口径 口径 口径	口径 口径 口径	形態・調整等の特徴	色	胎土	焼成	備考
346	甕 (土師器)	口径	13.2	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外彎気味に伸びた後後屈曲して外上方へ短く伸びる口縁部に至る。肩部は外側に面をもつ。体部中位以下は欠損。東海地方に見られるS字口縁の甕の形態をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(5本)、内面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							
347	同上	高台径	6.6	体部大半は欠損。肩部は下方へ伸び、端部は内方へ肥厚する。胴部下位に輪上のつなぎ目を有す。東海地方に見られるS字口縁の甕の形態をもつ。 口縁部外面ハケナデ(7本)、内面ハケナデ、胴部外面ハケナデ(7本)、内面ナデ。	灰灰茶色	1mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							
348	小型丸蓋甕 (土師器)	口径 器高	8.6 6.9	最大径を中位にもつ体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。肩部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							
349	同上	口径 器高	9.6 7.3	最大径を中位にもつ扁平な球形の体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。肩部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	1.5mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部・体部外面に黒疵有り。
	SD1							
350	同上	口径 器高 最大径	9.0 7.8 9.8	最大径を中位より若干上にもつ球形に近い体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。肩部は丸底。 口縁部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰褐色	0.1mm以下の雲母・長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	定形。 口縁部外部・体部外面等に黒疵有り。
	SD1							
351	同上	口径 器高	10.0 7.1	胴部に張りをもつ半球形に近い体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ハケナデ(9本)後ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5mm以下の長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	定形。 口縁部外部・体部外面上中位に黒疵有り。
	SD1							
352	同上	口径 器高	9.8 7.4	最大径を中位より若干上にもつ球形に近い体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。肩部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ナデ。	暗灰色	1.5mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	定形。 内外面に濃を塗ってある可能性有り。
	SD1							
353	同上	口径 器高	9.4 7.7	最大径を上位にもつ半球形に近い体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は鈍く尖る。底部は尖り気味底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ(5本)後ヘラミガキ、下位ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰褐色	1mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	定形。 体部外面下位・底部外面に黒疵有り。
	SD1							

通称番号 国産番号	産出地点	種別	(cm) 口径 口径 口径	調整等の特徴	色調	組成	構成	備考
354	小笠原成波 (上野)	円筒	口径 10.4 口径 7.7	最大径を中位にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ、体部外面上位ハケナデ(10本) 後ヘラミガキ、下位ヘラミガキ、内面上位指ナデ、中位以下ナデ。	乳灰茶色	1mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	定形。
五八	SD1							
355	同上	円筒	口径 10.4 口径 8.6 最大径 10.9	最大径を中位にもつ扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ、体部外面ハケナデ(10本) 後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰乳茶色	1.5mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	定形。
五八	SD1							
356	同上	円筒	口径 10.4 口径 8.1	最大径を上位にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は丸底。 口縁部・体部外面ヘラミガキ、内面剥離の調整不明。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英・チャート・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
五九	SD1							
357	同上	円筒	口径 10.8	球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠底。 口縁部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5mm以下の長石・チャート・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
五九	SD1							
358	同上	円筒	口径 9.8 口径 7.9 最大径 10.2	最大径を上位にもつ扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(12本) 後ヘラミガキ、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	1mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
五九	SD1							
359	同上	円筒	口径 10.8	最大径を中位にもつ扁平な球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	暗赤茶色	1.5mm以下の長石・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好	
		SD1						
360	同上	円筒	口径 9.2	最大径を中位にもつ球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本) 後ヘラミガキ、内面ナデ。	外内 灰茶色 緑灰色	0.5mm以下の石英・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	
		SD1						
361	同上	円筒	口径 10.4 口径 8.0	最大径を中位より若干上にもつ扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面暗文状ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	乳灰茶色	0.5mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	定形。
五九	SD1							
362	同上	円筒	口径 10.6 口径 7.3	平球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は尖り気味底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面上位ヘラミガキ、中位以下ヘラ削り、内	淡赤茶色	2mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を少量含む。	良好	
五九	SD1							

産物名 採掘番号	産出地点	(m) 口径 器高	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
363	小型丸底蓋 (土師器)	口径 器高	11.2 8.8	上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。体部内面上位に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラミガキ、内面踵文状ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	暗灰茶色	0.1mm以下の長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	
	SD1							
364	同上	口径 器高	11.5 8.8	扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く丸る。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナゲ後ハケナデ(8本)、体部外面上位ハケナデ(10本)後ヘラミガキ、中位ヘラ削り、下位ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	完形。
五九	SD1							
365	同上	口径 器高	9.4 7.8	最大径を上位にもつ半球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は尖り気味底。体部内面上位に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ後ヨコナゲ、体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	淡乳茶色	1.5mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
六〇	SD1							
366	同上	最大径	10.9	最大径を中位にもつ扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ、体部外面上位ハケナデ(9本)後ヘラミガキ、下位ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5mm以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
六〇	SD1							
367	同上	口径 器高	10.4 8.6	最大径を上位にもつ扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く丸る。底部は丸底。 口縁部・体部外面ハケナデ(11本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡赤茶色	2.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を少量含む。	良好	
六〇	SD1							
368	同上	口径 器高 最大径	10.0 9.4 11.4	最大径を中位にもつ扁平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面踵文状ヘラミガキ、体部外面上位・中位ハケナデ(13本)後ヘラミガキ、下位ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5mm以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	完形。
六〇	SD1							
369	同上	口径 器高	13.0 6.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部下位は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ハケナデ(外8本・内5本)後ヘラミガキ、体部外面ハケナデ(8本)後ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	0.5mm以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	
	SD1							
370	同上	口径 器高	9.6 6.6	最大径を上位にもつ半球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は小さい平らな面が見られる。 口縁部・体部内外面ナデ、底部外面ヘラ削り。	暗灰褐色	0.5mm以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	完形。 口縁部内外面・体部外面約5・内面約4に黒斑有り。
六〇	SD1							

産物名 採取地	種 出上地点	(mm) 法量	口徑 器高	形態・副型等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
371	小型丸底壺 (土器)	口徑 11.0 器高 7.2		半球形の体部より屈曲し、上方向へ内彎し、 気味に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。 底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナテ後 階段状ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、 内面ヘラナテ。	淡灰茶色	2mm以下の 長石・石英・ 雲母・赤褐色 酸化粒等 の粗砂粒を 含む。	良好	定形 体部内外面 下位に黒斑 有り。
六〇	SD1							
372	同上	口徑 13.6		最大径を上位にもつ扁平な半球形と思わ れる体部より屈曲し、斜上方へ内彎気味に 伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は 欠損。 口縁部外面ハケナテ後ヘラミガキ、内面 ヨコナテ、体部外面ハケナテ(9本)後ヘ ラミガキ、内面ナテ。	外 内 淡灰茶 色	0.3mm以下 の石英・雲 母等の微砂 粒を含む。	良好	
	SD1							
373	同上	口徑 11.0		上方向へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾 する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ナテ、体部外面ハケナテ(9 本)後ヘラミガキ、内面ヘラナテ。	淡灰茶色	1mm以下の 長石・赤褐 色酸化粒等 の粗砂粒を 少量含む。	良好	
	SD1							
374	同上			最大径を上位にもつ半球形と思われる体 部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至 る。端部・底部は欠損。口縁部外面に粘土 のつなぎ目有す。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナテ、 体部内外面ナテ。	灰茶色	5mm以下の 長石・石英・ 雲母等の砂 粒を含む。	良好	
	SD1							
375	同上	口徑 10.4		上方向へ内彎気味に伸びる体部より屈曲 し、斜上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至 る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部外面刺刺の副型不明、内面ヨコ ナテ、体部外面刺刺の副型不明、内面ナ テ。	灰茶色	0.5mm以下 の長石・雲 母・赤褐色 酸化粒等 の微砂粒を 含む。	良好	
	SD1							
376	同上	口徑 12.2		上方向へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナテ、体部外面ハケナ テ後ヘラミガキ、内面ナテ。	淡灰茶色	0.1mm以下 の赤褐色酸 化粒・長石・ 石英等の微 砂粒を含む。	良好	
	SD1							
377	同上	口徑 12.2		上方向へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナテ、体部外面ヨコナ テ、内面ナテ。	淡赤褐色	2mm以下の 長石・雲母・ 赤褐色酸化 粒等の粗砂 粒を含む。	良	
	SD1							
378	同上	口徑 11.4 器高 8.6		最大径を上位にもつ扁平な半球形の体部よ り屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。 端部は丸い。底部は尖り気味底。 口縁部内外面ヨコナテ、体部外面ハケナ テ(7本)、内面ヘラナテ。	淡灰茶色	1mm以下の 長石・石英・ 雲母・赤褐 色酸化粒等 の粗砂粒を 含む。	良好	
六〇	SD1							
379	同上	口徑 13.6		上方向へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。 体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ハケナテ (9本)、体部外面ハケナテ(9本)、体部外 面ヘラミガキ、内面ナテ。	外 内 淡灰茶 色	0.3mm以下 の長石・雲 母等の微砂 粒を含む。	良好	
	SD1							

遺物発見 採取番号	露出地 地点	層位 (m)	口径 法球 径	高さ	形態・試料等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
380	小型丸底瓦 (土師器)	口徑 器高	12.4 6.7		半球形の体部より屈曲し、外上方へ内彎 気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖 る。底部は丸底。 口縁部・体部内外正ヘラミガキ。	茶灰色	0.5mm以下 の長石・石 英・雲母等 の微砂粒を 少量含む。	良好	完整。
六〇	SD 1								
381	同上	口徑 器高 最大径	11.0 9.9 11.8		肩部に張りをもつ球形に近い体部より屈 曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部 は丸い。底部は尖り気味部。 口縁部内外面ヨコナデ後ヘラミガキ、体 部外面上正・中位ヘラミガキ、下位ヘラミ ガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	2.5mm以下 の長石・石 英等の微砂 粒を含む。	良好	体部外面に 煤付着。
六一	SD 1								
382	鉢 (土師器)	口径	9.0		半球形と思われる体部より屈曲し、外上 方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部 は丸い。底部は欠損。 口縁部外正ヘラミガキ、内面ヘラナデ後 ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	暗褐色	0.5mm以下 の雲母・赤 褐色酸化鉄 等の微砂粒 を含む。	良好	
	SD 1								
383	同上	口径 器高	10.0 4.9		半球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸び る口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部・体部内外面ナデ。	灰赤褐色	雲母・赤褐 色酸化鉄・ 石英等を微 量に含む。	良好	完整。 外面全周灰 かぶり。
六一	SD 1								
384	同上	口径 器高	10.0 6.4		半球形の体部より屈曲し、上外方へ伸び る口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(9 本)、体部外面ハケナデ(8本)、内面ナデ。	茶灰色	4.5mm以下 の長石・石 英・雲母等 の微砂粒を 含む。	良好	
六一	SD 1								
385	同上	口径	11.0		半球形と思われる体部より屈曲し、上外 方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底 部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、 内面ヘラナデ。	淡灰褐色	0.1mm以下 の長石・石 英等の微砂 粒を含む。	良好	
六一	SD 1								
386	同上	口径	12.6		半球形と思われる体部より屈曲し、上外 方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底 部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外正ヘラ削 り後ナデ、内面ナデ、内面ナデ。	淡灰褐色	0.1mm以下 の長石・石 英等の微砂 粒を少量含 む。	良好	外面全面に 煤付着。
	SD 1								
387	同上	口径	10.4		半球形と思われる体部より屈曲し、上外 方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。 底部は欠損。 口縁部外正ヨコナデ、内面ナデ、体部外 面ハケナデ後ナデ。	淡灰褐色	0.1mm以下 の雲母・石 英等の微砂 粒を含む。	良好	
	SD 1								
388	同上	口径	11.4		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。 端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラ削 り、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5mm以下 の長石・石 英・赤褐色 酸化鉄等の 微砂粒を含 む。	良好	
	SD 1								

産物番号 採出地点	(cm) 口径 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土 組成	備考
六一 SD1 鉢 (土師器)	口径 11.4 高さ 6.5	半球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ハケナデ (11本)、内面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り、内面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好
六一 SD1 同上	口径 13.5	碗形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ上げ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヨコナデ、下位ナデ、内面ヨコナデ。	淡灰褐色	6.1mm以下の長石等の細砂粒を含む。	良好
六一 SD1 同上	口径 11.0 高さ 7.3	半球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ (3本)、内面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好
六一 SD1 同上	口径 12.2	碗形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	淡灰褐色	1mm以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好
六一 SD1 同上	口径 15.2	浅い碗形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部・体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好
六一 SD1 同上	口径 13.0 高さ 7.8	半球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部・体部外面ハケナデ (11本)、内面ナデ。	灰褐色	5mm以下の長石・石英・チャート・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む。	良好 口縁部外面・体部外面に黒炭有り。
六一 SD1 同上	口径 13.6 高さ 8.8	半球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部外面ハケナデ (13本) 後ヘラミガキ、内面ハケナデ (12本) 後研文状ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ後研文状ヘラミガキ。	淡灰茶色	0.5mm以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好 突形。 内面全面に黒炭有り。
六二 SD1 同上	口径 13.8 高さ 5.1	碗形の体部より屈曲し、上外方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好
六二 SD1 同上	口径 17.2 高さ 6.45	碗形の体部より屈曲し、上外方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。底部はやや平ら。 口縁部・体部外面磨耗の高調整不明、内面ハケナデ (9本)。	淡灰茶色	2mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好 外面全面に黒付着。

遺物番号 / 採取番号	出土地点	種別	(cm) 口径 高さ	形状・調整等の特徴	色調	胎土構成	備考
398		鉢 (土師器)	口径 14.2	半球形と思われる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は欠損。 口縁部外歪ヨコナデ、内面ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、内面碗文状のヘラミガキ。	淡灰茶色	0.1mm以下の雲母・長石等の微砂粒を少量含む。	良好
		SD1					
399		同上	口径 15.4	外上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して斜上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は欠損。 口縁部・体部内外面ヘラミガキ。	灰褐色	2mm以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好
		SD1					
400		同上	口径 16.6	外上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	暗灰茶色	0.5mm以下の長石・チャート等の微砂粒を含む。	良好
		SD1					
401		同上	口径 19.2	筒形と思われる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部・体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	灰褐色	0.5mm以下の長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好
		SD1					
402		同上	口径 16.4	外上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は欠損。 口縁部・体部外歪調整の不調整不明、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好
		SD1					
403		同上	口径 20.4	筒形と思われる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	灰褐色	0.3mm以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好
		SD1					
404		同上	口径 17.4	外上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部下位は欠損。 口縁部・体部内外面ヘラミガキ。	外内 灰褐色 茶褐色	2mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好
		SD1					
405		同上	口径 16.6	外上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。体部下位は欠損。 口縁部・体部内外面ヘラミガキ。	灰褐色	3mm以下の石英・長石等の粗砂粒を含む。	良好
		SD1					
406		同上	口径 18.6	外上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部・体部外歪ヘラミガキ・一部ハケナデ(6本)、内面ナデ。	灰褐色	3mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好
		SD1					

遺物番号 図録番号	出土地点	種別	(cm) 法量	口徑 器高	形態・調整等の特徴	色	胎土	焼成	備考
407	鉢 (土師器)	SD 1	口徑 19.4		外上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。口縁部・体部内外面ヘラミガキ。	淡灰色	2mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
408	ミニチュア (土師器)	SD 1	口徑 3.4 器高 2.3		半球形の体部より上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない小さい平底。内外面ナデ。	灰褐色	1mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	完整。
409	付付き鉢 (土師器)	SD 1			最大径を上位にもつ半球形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部・脚部は欠損。頸部外部にヘラミガキを施す。口縁部・体部内外面ヘラミガキ。	暗褐色	3.5mm以下の長石・角閃石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
410	小壺 (土師器)	SD 1	口徑 7.4 器高 7.6 最大径 7.7		最大径を中位より若干上にもつ体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ上げる。底部は突出しない小さい平底。体部内面上位に1本の接合痕を有す。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ後ハケナデ(12本)、内面上位指ナデ、中位以下ハケナデ(12本)後ヘラナデ、底部外庄ナデ。	暗灰褐色	0.5mm以下の長石・角閃石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	完整。
411	鉢 (土師器)	SD 1	底径 3.2		底部より外上方へ伸びる体部に至る。底部は突出しない平底。口縁部・端部は欠損。体部内外面ナデ。底部外面ナデ。	淡褐色	3.5mm以下の長石・角閃石・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	体部外面に面欠有り。
412	同上	SD 1	口徑 12.4 器高 4.8		半球形の体部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。口縁部外面に3本の接合痕を有す。外面ナデ、内面ヘラナデ・指痕あり。	淡灰褐色	1mm以下のチャート・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
413	同上	SD 1	口徑 13.0 器高 4.5		楕円の体部より外上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。口縁部外面ヨコナデ、内面・体部内外面ナデ。底部外面に葉脈線有り。	外 淡灰色 内 茶灰色	4mm以下の石英・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
414	同上	SD 1	口徑 14.0 器高 4.8		碗形の体部より外上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。外面ヘラナデ、内面指文。	暗灰褐色	1mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
415	同上	SD 1	口徑 15.8		外上方へ内彎して伸びる体部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。外面ナデ・ヘラナデ、内面ナデ。	外 茶灰色 内 暗灰色	1.5mm以下の石英・長石・角閃石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	

産地番号 区分番号	器 種 出 土 地 点	(cm) 口径 器 高	形態・調整等の特徴	色 割	結 晶	焼成	備 考
416	鉢 (土師器)	口径 13.0 器 高 5.5 底 径 6.0	水平に近い杯底部より緩やかに屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。脚部は外下方へ伸び、端部は丸い。杯部外面上位ヨコナデ、中位以下ハケナデ、後ナデ、内面ナデ、脚部外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡灰褐色	2.5 mm以下の石英・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	定形。脚部内面に黒斑有り。
六三	SD1						
417	同上	口径 16.4 器 高 5.2 底 径 5.4	水平に近い杯底部より外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は外上方へ伸び、端部は外面に面をもつ。杯部内面中位以下ヘラミガキ、他はナデ。	乳灰茶色	3mm以下の長石・石英・雲母・角閃石・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	
六三	SD1						
418	同上	口径 13.4 器 高 7.7	半球形の体部より上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。底部は突出しない小さい平底。口縁部外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(12本)後ナデ、内面ヘラナデ。	灰茶色	0.5 mm以下の赤褐色酸化鉄・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
六三	SD1						
419	同上	口径 22.6	上方向へ内彎して伸びる体部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。外面ナデ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ナデ。	暗灰褐色	1mm以下の角閃石・石英・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に黒斑有り。
	SD1						
420	同上	口径 22.8	上方向へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上方向へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、若干つまむ。体部下位は欠損。口縁部外面と体部外面中位に2本ずつ接合痕を有す。口縁部・体部内外面ヘラナデ。	乳灰褐色	3mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD1						
421	同上	口径 40.4	上方向へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、若干つまみ上げる。体部中位以下は欠損。口縁部内外面に1本ずつ接合痕を有す。口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)後ナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ハケナデ(9本)。	灰茶色	3mm以下の石英・長石・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1						
422	器 台 (土師器)	口径 16.8	碗形の受部より緩やかに屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上方向へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。脚部と受部の間は貫通する。受部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	暗赤灰色	1mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD1						
423	同上	口径 9.5 器 高 8.0 底 径 11.2	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は下方向へ伸びる杯部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。受部外面ヨコナデ、内面割縁の為調整不明、脚部外面へう割り、脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(7本)後ナデ。	淡茶色	2mm以下の長石・赤褐色酸化鉄・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好	
六三	SD1						

透水性 試験番号	掘 出 土 地 点	(m) 口径 高さ 口径 口径	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	結 土	焼 成 層 考
424	掘台 (土師器)	口径 10.2 高さ 8.15 口径 10.8	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる 口径部に至る。端部は外面に面をもつ。脚 部は下外方へ伸びる頸部に至る。端部は丸 い。脚部に四方孔を有す。 受部外面へ削り後ヘラミガキ、内面へ ラミガキ後噴文状ヘラミガキ、脚部外面へ ラ削り後ハケナデ(6本)後ヘラミガキ、 内面上位ナデ、中位ハケナデ(12本)、下位 ココナデ。	淡褐色	1.5mm以下 の長石・雲 母・赤褐色 酸化粒等の 粗砂粒を少 量含む。	良好
六三	SD 1					
425	同上	口径 8.7 高さ 9.4 口径 11.3	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる 口径部に至る。端部は丸い。脚部は下外 方に伸びる頸部に至る。端部は丸い。脚部 に四方孔を有す。 受部内外面・脚部外面ヘラミガキ、内面 ヘラナデ。	淡褐色	7mm以下の 長石・石英・ 雲母・赤褐 色酸化粒等 の粗砂粒を 含む。	良好
六三	SD 1					
426	同上	口径 10.4 高さ 8.5 口径 11.4	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる 口径部に至る。端部は丸い。脚部は下外 方へ伸びる頸部に至る。端部は丸い。脚部 に四方孔を有す。 受部外面ヘラミガキ、内面割離の色不明 脚部外面調整不明、脚部外面ヘラミガキ、 内面ナデ。	淡褐色	1.5mm以下 の長石・赤 褐色酸化粒 ・雲母等の 粗砂粒を多 量に含む。	良好
六三	SD 1					
427	同上	口径 8.9 高さ 8.5 口径 10.8	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる 口径部に至る。端部はつまみ上げる。脚部 は下外方へ伸びる頸部に至る。端部は丸い。 脚部に四方孔を有す。 受部内外面ヘラミガキ、脚部外面へ削 り後ヘラミガキ、内面ナデ後ハケナデ(6 本)。	灰青色	0.5mm以下 の長石・雲 母等の粗砂 粒を含む。	良好
六四	SD 1					
428	同上	口径 10.4 高さ 9.2 口径 11.5	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる 口径部に至る。端部はつまみ上げる。脚部 は下外方へ伸びる頸部に至る。端部は丸い。 脚部に四方孔を有す。 受部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後 噴文状ヘラミガキ、脚部外面上位ヘラ削 り後ヘラミガキ、中位以下ヘラミガキ、内 面上位・中位ハケナデ(8本)後ナデ、下位 ココナデ。	淡灰青色	0.1mm以下 の雲母・長 石・赤褐色 酸化粒等の 粗砂粒を多 量に含む。	良好 定形。
六四	SD 1					
429	同上	口径 9.6 高さ 8.5 口径 12.1	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる 口径部に至る。端部は上につまみ、外側に 出面をもつ。脚部は下外方へ伸びる頸部 に至る。端部は丸い。脚部は三方孔を有す。 受部外面へ削り後ヘラミガキ、端面ナ デ、内面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、 内面ハケナデ(7本)。	淡褐色	1.5mm以下 の雲母・赤 褐色酸化粒 ・長石等の 粗砂粒を少 量含む。	良好
六四	SD 1					
430	同上	口径 9.8 高さ 7.8 口径 12.4	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる 口径部に至る。端部は丸い。脚部は下外 方へ伸びる頸部に至る。端部は丸い。脚部 に四方孔を有す。 受部外面へ削り後ヘラミガキ、内面へ ラミガキ後噴文状ヘラミガキ、脚部外面上 位ヘラ削り後ハケナデ(8本)後ヘラミガ キ、中位以下ハケナデ(8本)後ヘラミガ キ、内面ハケナデ(11本)。	淡灰青色	2mm以下の 長石・石英・ 赤褐色酸化 粒等の粗砂 粒を多量に 含む。	良好
六四	SD 1					

遺物番号 四角番号	出土地点	(cm) 口径 器高 底径	口径器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
431	器台 (土師器)	口径 9.85 器高 8.8 底径 11.9		受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもち、丸い。脚部は下外方へ伸びる襷部に至る。端部は丸い。脚部に三方孔を有す。 受部外面へ削り後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後埋文状ヘラミガキ、脚部外面上位へ削り、中位以下ヘラミガキ、内面ナデ。	外 赤褐色 内 茶灰色	3mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	完形。外面全面に煤付着。
六四	SD 1							
432	同上	口径 8.8		受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもち、鈍く実る。脚部は下外方へ伸びる。端部は欠損。 受部内外面・脚部外面磨耗の為調整不明内面ナデ。	茶灰褐色	2.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
六四	SD 1							
433	同上	口径 10.2		受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 受部外面ヘラミガキ、内面磨耗の為調整不明。	淡茶色	2mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
	SD 1							
434	同上	口径 10.0		受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもち、丸い。脚部は欠損。 受部外面へ削り後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ、後埋文状ヘラミガキ。	乳灰茶色	1mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD 1							
435	同上	口径 9.0		受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。脚部は下外方へ伸びる。端部は欠損。脚部に四方孔を有す。 受部内外面・脚部外面磨耗の為調整不明内面ナデ。	淡茶色	2.5mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
六四	SD 1							
436	同上	口径 10.1		受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ若干肥厚する。脚部は欠損。 受部外面へ削り後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後埋文状ヘラミガキ。	淡灰褐色	3mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD 1							
437	同上	口径 9.5		受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ若干肥厚する。脚部は欠損。 受部外面へ削り後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後埋文状ヘラミガキ。	淡灰褐色	3mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD 1							
438	同上	口径 10.0		受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く実る。脚部は大平欠損。 受部外面へ削り後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後埋文状ヘラミガキ、脚部外面へ削り、内面ナデ。	淡灰褐色	0.1mm以下の長石・チャート・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD 1							
439	同上	底径 11.4		受部は欠損。脚部は下外方へ伸びる襷部に至る。端部は丸い。脚部に三方孔を有す。脚部外面上位へ削り、中位以下ハケナデ(8本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	灰褐色	0.5mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD 1							

産物番号 国産番号	産出地点	種 目	(mm) 口径 口径 高さ	形態・調整等の特徴	色調	粒上	焼成	備 考
440	■	脚台 (土脚器)	底径 11.6	受部は欠損。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は鈍く尖る。脚部に四方孔を有す。 受部内外面へラミガキ、脚部外面上位へラ削り、中位以下ハケナデ(7割)後へラミガキ、内面ハケナデ(8割)後ナデ・粗研磨。	乳灰茶色	0.3mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を少量含む。	良好	
		SD1						
441	■	同上	底径 11.4	受部は欠損。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。脚部外面へラ削り後へラミガキ、内面へラ削り。	乳灰茶色	0.1mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
		SD1						
442	■	同上	底径 11.8	受部は欠損。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に三方孔を有す。脚部外面へラミガキ、内面ハケナデ(7割)。	外 赤褐色 内 茶灰色	長石・石英・雲母等を含む。	良好	
		SD1						
443	■	同上	底径 15.8	受部は欠損。脚部は下外方へ伸びる裾部に内彎して伸びた後縦やかに凹出し、下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。 脚部外面へラミガキ、内面上位・中位ナデ、下位ココナデ。	淡茶色	2mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
		SD1						
444	■	高杯 (土脚器)	口径 12.2	丸い杯底部より上外方へ伸びる1脚部に至る。柱状部は下外方へ短く伸びる。端部は欠損。 杯部外面上位・中位へラミガキ、下位へラ削り後へラミガキ、内面ハケナデ後へラミガキ、柱状部外面へラ削り後へラミガキ、内面ナデ。	淡茶色	1mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
		SD1						
445	■	同上	口径 13.8	杯底部は欠損。口径部は上外方へわずかに内彎して伸び、端部は鈍く尖る。脚部は欠損。 杯部外面上位・中位へラミガキ、下位へラミガキ後へラ削り、内面へラミガキ。	淡茶灰色	2mm以下の長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を少量含む。	良好	
		SD1						
446	■	同上	口径 12.8	杯底部は欠損。口径部は上外方へわずかに内彎して伸び、端部は丸い。脚部は欠損。杯部外面へラミガキ、内面縦文状へラミガキ。	淡茶灰色	1.5mm以下の石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
		SD1						
447	■	同上	口径 13.2	杯底部は欠損。1脚部は上外方へわずかに内彎して伸び、端部は丸い。脚部は欠損。杯部内外面へラミガキ。	外 茶灰色 内 淡茶灰色	0.5mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
		SD1						
448	■	同上	底径 13.1	杯部は欠損。脚部は下外方へ短く伸びる柱状部より凹出し、下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。 杯部外面へラミガキ、内面へラミガキ後放射状研削、脚部外面へラミガキ、柱状部へラ削り、内面ナデ。	灰茶色	0.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
		SD1						

遺跡番号 調査番号	出土地 標記	(m) 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
449	高杯 (土師器)	口径 18.4		杯部は欠損。脚部は下外方へ短く伸びる柱状部より屈曲し、外下方へわずかに内彎して伸びる襷部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。 杯部外面ハケナデ(8本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	灰青色	2mm以下の雲母・長石・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							
450	同上	口径 18.8		杯底部は欠損。1段部は外上方へ外反して伸び、端部は外傾する面をもつ。脚部は欠損。 杯部内外面ナデ。	淡褐色	3mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
	SD1							
451	同上	口径 20.2 器高 16.1 底径 14.4		丸い杯底部より外上方へわずかに外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる襷部に至る。端部は丸い。脚部に一方孔を有す。 杯部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ココナテ後ヘラミガキ、脚部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	淡褐色	5mm以下の石英・雲母・長石・赤褐色酸化鉄等の砂礫粒を多量に含む。	良好	
六四	SD1							
452	同上	口径 15.0		丸い杯底部より外上方へ伸びる1段部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる。端部は欠損。 杯部外面上位・中位ハケナデ(5本)後ヘラミガキ、下位ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ハケナデ(6本)後ヘラミガキ後磨文状ヘラミガキ、柱状部外面ヘラ削り後ハケナデ(3本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡乳白色	1mm以下の石英・雲母・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							
453	同上	口径 13.0 器高 8.9 底径 9.8		平組な杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へわずかに内彎して伸びる襷部に至る。端部は丸い。脚部に一方孔を有す。 杯部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(8本)後磨文状ヘラミガキ、脚部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、杯状部内面ナデ、襷部内面ハケナデ(11本)。	淡褐色	1.5mm以下の石英・雲母・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
六五	SD1							
454	同上	口径 16.2		丸い杯底部より外上方へ伸びる1段部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面上位ヘラミガキ、下位ハケナデ(9本)、内面ヘラミガキ。	淡灰青色	1mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD1							
455	同上	口径 17.2		丸い杯底部より外上方へわずかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面上位・中位ハケナデ(8本)後ヘラミガキ、下位ヘラミガキ、内面上位・中位ヘラミガキ、下位磨文状ヘラミガキ。	淡茶褐色	1mm以下の赤褐色酸化鉄・長石・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD1							
456	同上	口径 22.6 器高 15.3 底径 14.0		平らに近い杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へわずかに内彎して伸びる柱状部より屈曲し、外上方へ伸びる襷部に至る。襷部に四方孔を有す。 杯部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後放射状磨文、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ後コナテ。	淡灰青色	4mm以下の雲母・長石・赤褐色酸化鉄等の砂礫粒を含む。	良好	変形。
六五	SD1							

発物番号 国産番号	産出地点	(mm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎上	焼成度	考
457	高杯 (土師器)	口径 23.0 器高 16.2 底径 15.0	平らに近い杯底部より外上方へ伸びる口径部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。裾部に四方孔を有す。 杯部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ハケナデ後ヘラミガキ後増文状ヘラミガキ、脚部外面ハケナデ(5本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡茶褐色	2mm以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を少量含む。	良好	
六五	SD1						
458	同上	口径 22.0	平坦な杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口径部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は欠損。裾部に四方孔を有す。 杯部外面ハケナデ(7本)後ヘラミガキ、内面ハケナデ(6本)後ヘラミガキ後増文状ヘラミガキ、脚部外面ハケナデ(6本)後ヘラミガキ、柱状部内面ナデ、裾部内面ハケナデ(6本)。	乳灰褐色	0.1mm以下の雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	
六五	SD1						
459	同上	口径 22.3	平坦な杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口径部に至る。端部は丸い。杯底部一部・脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ(9本)後ヘラミガキ、杯底部ナデ、内面ハケナデ(9本)後ヘラミガキ後放射状の増文。	灰褐色	0.5mm以下の雲母・長石等の微砂粒を微量に含む。	良好	
	SD1						
460	同上	口径 24.0	平坦と思われる杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口径部に至る。端部は丸い。杯底部一部・脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ(7本)後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後増文状ヘラミガキ。	淡茶褐色	0.3mm以下の雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	
	SD1						
461	同上	口径 21.3	丸い杯底部より外上方へ伸びる口径部に至る。端部は丸い。杯底部一部・脚部は欠損。 杯部外面ヘラミガキ、杯底部ハケナデ(5本)後ヘラミガキ、内面ハケナデ(10本)後ヘラミガキ後増文状ヘラミガキ。	乳灰褐色	0.1mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を多量に含む。	良好	
	SD1						
462	同上	口径 21.6	平坦な杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口径部に至る。端部は外側に面をもち、丸い。杯底部一部・脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ(7本)後ヘラミガキ、内面上位ハケナデ(6本)後ヘラミガキ後増文状ヘラミガキ、下位ハケナデ(6本)後増文状ヘラミガキ。	乳灰褐色	0.1mm以下の長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
	SD1						
463	製瓶土器	底径 4.2	杯部は大半欠損。脚部は下外方へ伸び、端部は丸い。 杯部内面ヘラナデ、脚部外面ナデ後指頭痕、内面ナデ。	乳茶灰色	0.5mm以下の長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	
六五	SD1						
464	同上	底径 4.3	杯部は大半欠損。脚部は下外方へ伸び、端部は丸い。 杯部内面ヘラナデ、脚部外面ナデ後クタクキ(2本)後指頭痕、内面ナデ。	乳茶灰色	0.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
六五	SD1						

測内番号 測内番号	器 出 土 地 点	種 類	(mm) 口径	口径 高さ	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 上	備 考	備 考
465	製塩土器		底 径	2.8	杯部は大平欠損。脚部は下外方へ伸び、 端部は丸い。 杯部内面ヘラナデ、脚部外面ナデ後指痕 痕、内面ナデ後指痕痕。	灰茶色	0.5mm以下 の長石・石 英・赤褐色 酸化粒等の 微砂粒を含 む。	良好	
六五	SD1								
466	同上		底 径	5.0	杯部は大平欠損。脚部は下外方へ伸び、 端部は丸い。 杯部外面ナデ・一部タタキ、内面ヘラナ デ、脚部外面ナデ後指痕痕・一部タタキ。	灰茶色	2mm以下の 長石・石英 等の粗砂粒 を含む。	良好	
六五	SD1								
467	同上		底 径	5.0	杯部は大平欠損。脚部は下外方へ伸び、 端部は丸い。頸部外面に1本の接合痕を有 す。 杯部外面ナデ、内面刺線の凸調整不明、 脚部内外面ナデ。	灰茶色	3mm以下の 石英・長石・ 赤褐色酸化 粒等の粗砂 粒を含む。	良好	
六五	SD1								
468	小 皿 (土師器)		口 径 器 高	10.0 1.8	浅く平らな底部より凹出し、上外方へ伸 びる1線部に至る。端部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、内面調整不明、底 部外面指痕痕。	乳褐色	2mm以下の 粗砂粒を含 む。	良好	
六六	SE1								
469	同上		口 径	10.0	浅く平らと思われる底部より緩やかに凹 出し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部 は丸い。底部一部欠損。 内外面指ナデ。	灰褐色	1mm以下の 雲母・角閃 石・石英等 を含む。	良好	
	河川1								
470	皿 (土師器)		口 径 器 高	13.6 3.0	平らに浅い底部より緩やかに凹出し、上 外方へ伸びる1線部に至る。端部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、底部外面指痕痕、 内面ヨコナデ。	外 灰褐色 内 褐色	精良。	良好	内面全面に 厚付着。
	河川1								
471	杯 (土師器)		口 径	16.0	外上方へ伸びる底部より緩やかに凹出し、 上外方へ内側気味に伸びる1線部に至る。 端部は丸い。底部一部欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、底部外面指ナデ、 内面ヨコナデ。	淡赤茶褐色	雲母・角閃 石・石英等 を微量に含 む。	良好	
	河川1								
472	同上		口 径	16.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は鈍く丸る。 底部は欠損。 1線部内外面ナデ。	外 赤褐色 内 黄褐色	雲母等を微 量に含む。	良好	外面全面に 黒乾有り。
	河川1								
473	皿 (土師器)		口 径	18.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は外につま む。底部は欠損。 1線部外面ナデ、内面ナデ後指文。	淡赤茶褐色	赤褐色酸化 粒・雲母等 を微量に含 む。	良好	
	河川1								

遺物番号 調査番号	器 出土地点	(mm) 口径 注記	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
474	杯 (土師器)		口径 20.4	口縁部は上外方へ伸び、肩部は若干つまみ上げる。底部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ 後噴文状ヘラミガキ。	淡灰褐色	0.5mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化鉄等の微砂粒を微量に含む。	良好	
	河川1							
475	土師器 (土師質)	長さ 7.3 口径 2.9 穴径 0.8		管状形を呈する。 ナデ。	赤茶色	雲母・長石等を少量含む。	良好	
	河川1							
476	杯蓋 (須恵器)	口径 12.4 器高 3.5 径差 12.8		低い平らな天井部より斜下方へ直線的に伸びる縁に至る。縁は鋭い。口縁部は垂直に下り、肩部は段を有し、内傾する面をもつ。 天井部外面回転ヘラ削り、口縁部内外面回転ナデ、内面回転ナデ。	暗灰色	精良。	良好	ロクロ (左方向)
	河川1							
477	杯身 (須恵器)	口径 14.8 器高 3.8 径差 9.4		平らな底部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。高台は断面方形で、低い。 内外面回転ナデ。	灰色	精良。	良好	
	河川1							
478	壺 (土師器)	口径 24.0		口縁部は上外方へ外反気味に伸び、肩部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面軽磨の為調整不明、内面ナデ。	外 新磨の為不明 内 赤茶色	7mm以下の雲母・赤褐色酸化鉄・雲母・石英等の砂粒を少量含む。	良好	
	包含層							
479	壺 (土師器)	口径 15.0		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。体部中位以下は欠損。体部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ナデ、体部外面ナデ、内面ヘラ削り。	淡赤褐色	3mm以下の雲母・赤褐色酸化鉄・石英等の粗砂粒を少量含む。	良	
	包含層							
480	同上	口径 19.2		口縁部は上外方へ外反気味に伸び、肩部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡褐色	2mm以下の長石・赤褐色酸化鉄・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好	
	包含層							
481	同上	口径 19.0		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヘラ削り後ナデ、内面ハケナデ(10本)後ナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	淡赤褐色	1.5mm以下の雲母・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を微量に含む。	良好	外面黒斑有り。
	包含層							
482	同上	径差 3.8		口縁部・体部大半は欠損。底部は突出した小さなくぼみ状。 体部外面下位タタキ(2本)、内面下位ヘラナデ、底面ナデ。	淡灰褐色	5mm以下の角閃石・雲母・石英等の砂粒を微量に含む。	良好	体部外面下位に黒斑有り。
	包含層							

産物番号 採取番号	産 出 地 点	(cm) 口径 器高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	成 成	備 考
483	壺 (土師器)	口径 3.1	口縁部・体部大半は欠損。底部はやや突出した小さくなくばみ迹。 体部外面下位タケキ(3本)、内面下位ヘラナゲ、底部タケキ(4本)。	外 内 灰褐色 黒褐色	5mm以下の 雲母・角閃 石・石英等 の粗砂粒を 微量に含む。	良好	
484	小型丸底壺 (土師器)	口径 9.2 器高 8.1 最大径 10.2	最大径を中位より若干上にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎角味に伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ココナデ。体部外面ヘラナゲ? 煎頭痕、内面調整不明。	赤褐色	3mm以下の 長石・赤褐色 酸化粒・雲母 等母等の粗 砂粒を含む。	良好	
485	鉢 (土師器)	口径 11.0	最大径を中位より若干上にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は鈍く尖る。底部は欠損。胴部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ナゲ。体部外面ナゲ、内面ナゲ、ハケナゲ。	外 内 淡褐色 赤褐色	2mm以下の 赤褐色酸化 粒・長石・ 雲母等の粗 砂粒を少量 含む。	良好	
486	同上	口径 18.0	口縁部は上外方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。肩部はつまみ上げ、外側に凹面をもつ。体部は欠損。肩部に一帶り条の遺状文を1條有す。 口縁部外面タケキ(8本)後ヘラミコギ、内面ナゲ。	茶褐色	2mm以下の 石英・長石 雲母・角閃 石等の粗砂 粒を多量に 含む。	良好	
487	土 器 (土師器)	口径 7.0 器高 2.9 穴径 1.1	管状形を呈する。 ナゲ。	淡灰白色	赤褐色酸化 粒・雲母等 を少量含む	良好	
488	羽 蓋 (土師器)		蓋は水平に伸び、肩部は丸い。他は欠損。 鈎外面ヨコナゲ。	灰褐色	3mm以下の 長石・雲母・ 角閃石等の 粗砂粒を多 量に含む。	良好	
489	杯 蓋 (須恵器)	口径 12.8	水平に近い天井部より外下方へ伸びる縁に至る。縁は鋭い。口縁部は内彎して下り肩部は段を有し、内傾する面をもつ。天井部は一部欠損。 天井部 外面約45°回転ヘラ削り、他は回転ナゲ。	灰色	精良。	良好	天井部外面約45°傾きあり。
490	杯 身 (須恵器)	口径 10.5 器高 5.3 受部径 12.6	平らに近い底部から上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、丸い。立ち上がりは内傾し、肩部は段を有し、内傾する面をもつ。 底部より約45°回転ヘラ削り、他は回転ナゲ。	淡灰色	精良。	良好	ロクロ(右方向)。
491	同上	口径 14.0 器高 8.8	底部は欠損。口縁部は上外方へ伸び、肩部は丸い。高台は断面方形で、低い。 内外面回転ナゲ。	灰色	赤褐色酸化 粒・石英等 を微量に含 む。	良好	ロクロ(右方向)。

産物番号 300番付	産出地点	種別 (cm)	口径 口径 口径	形状・調整等の特徴	色	調 試	土	調成 備 考
492	杯身 (須磨器)	口径 口径 口径	14.8 4.2 9.8	平らな底部より屈曲し、上外方へ伸びる 口径部に至る。底部は丸い。高台は断面方 形で、低い。 高台内側縁止へラ削り、他は回転ナデ。	灰色	精良。	良好	
六六	包含層							
493	瓶 (須磨器)	最大径	9.2	最大径を上位にもつ球形の体部より屈曲し、 上外方へ伸びる口径部に至る。底部は 欠損。底部は丸地。体部に一方孔を有す。 口径部外面回転ナデ後タタキ(4本)、内 面回転ナデ、体部外面上段・中位回転ナデ 後タタキ(5本)、下位回転ナデ削り、内面 回転ナデ、底部回転ナデ削り。	淡灰色	1.5mm以下 の長石等の 微砂粒を数 量に含む。	良好	ロクロ(左 方向) 裏面に「一」 のヘラ記号
六六	包含層							
494	壺 (須磨器)	口径	18.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ外反気味に伸びる口径部に至る。 底部はつまみ上げ、外縁する面をもつ。体 部中位以下は欠損。 口径部内外面回転ナデ、体部外面タタキ (3本)後回転ハケナデ(5本)、内面内弧 タタキ(2本)。	灰色	4mm以下の 微砂粒を多 量に含む。	良好	ロクロ(右 方向)
	包含層							
495	同上	口径	19.5	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ外反して伸びる口径部に至る。底 部は外縁する面をもつ。体部は欠損。 口径部内外面回転ナデ、体部外面タタキ (3本)後回転ナデ、内面内弧タタキ(4本)。	青灰色	0.5 mm以下 の長石等の 微砂粒を多 量に含む。	良好	ロクロ(右 方向)
	包含層							
496	小皿 (瓦器)	口径	10.2	口径部は外上方へ内彎気味に伸び、底部 は内縁する面をもつ。底部は欠損。 外面ヨコナデ、内面略文。	黒灰色	精良。	良好	
	包含層							
497	瓶 (瓦器)	口径	13.0	口径部は上外方へ内彎気味に伸び、底部 は丸い。底部は欠損。 口径部外面ヨコナデ、内面調整不明、体 部外面調整不明・指痕痕、内面調整不明。	黒色	精良。	良好	
	包含層							
498	同上	口径	13.6	口径部は上外方へ外反気味に伸び、底部 は丸い。底部は欠損。 口径部外面ヨコナデ、内面調整不明、体 部外面調整不明・指痕痕、内面調整不明。	黒灰色	精良。	良好	
	包含層							
499	同上	口径 器高 口径	14.8 5.2 4.6	丸味をもつ底部より上外方へ伸びる口径 部に至る。底部は丸い。高台は断面方形で、 低い。 口径部内外面ヨコナデ、体部外面指痕痕、 内面略文状のヘラミダキ。	灰褐色	精良。	良好	
六六	包含層							

第8調査区

遺物番号 調査番号	器 種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
1	壺 (土師器)	口径 17.2	口縁部は斜上方へ伸び、底部はつまみ上げ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ、内面へう割り。	明茶褐色	2mm以下の雲母・石英・角閃石・長石・赤褐色酸化粒・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	
	包含層						
2	同上	口径 17.8	口縁部は斜上方へ伸び、底部はつまみ上げ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ナデ後ハケナデ(8本)、内面ナデ。	黄褐色	2mm以下の雲母・角閃石・石英・赤褐色酸化粒・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	
	包含層						

第9調査区

遺物番号 調査番号	器 種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
1	壺 (土師器)	口径 8.9 器高 15.1 最大径 13.6	球形の体部より短曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は丸底。体部内面に4本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ後丸文状ヘラミダキ内面ヨコナデ、器部内面ハケナデ(12本)、体部外面ハケナデ後ヘラミダキ、内面ナデ。	淡灰色	0.5mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	完形。
六七	SD1						
2	同上	口径 11.2	上内方へ内彎して伸びる体部より短曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面・体部外面・内面上位ヨコナデ、体部内面中位以下粗ナデ後へう割り。	茶灰色	0.5mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
六七	SD1						
3	同上	最大径 15.3	扁平な球形の体部より短曲し、上外方へ口縁部に至る。肩部は欠損。底部は丸底。 口縁部・器部外面ハケナデ後ヘラミダキ口縁部内面ハケナデ(8本)、体部外面ハケナデ(4本)、内面ハケナデ(5本)後ナデ、底部外面磨耗の為不明。	淡灰褐色	2mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
六七	SD1						
4	同上	最大径 13.7	体部は扁平な球形である。底部は丸底。 口縁部・肩部は欠損。器部内面に2本の接合痕を有す。底部に穿孔を有す。 体部外面ハケナデ(13本)、内面ナデ後粗ナデ。	茶灰色	0.5mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
六七	SD1						
5	同上	最大径 18.0 口径 2.8	体部は最大径を中位よりやや下にもつ扁平な球形である。底部は突出しない平底。 口縁部・肩部は欠損。体部内面上位に1本の接合痕を有す。 体部外面ハケナデ後ヘラミダキ、内面ハケナデ(7本)後ナデ、底部外面ナデ。	外内 灰褐色 淡褐色	1mm以下の長石・チャート・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を微量に含む。	良好	体部外面下に虫歯有り。
六七	SD1						

産物番号 採取場所	産出地点	(cm) 口径 口径 口径	形状・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
6	壺 (土師器) SD1	口径 15.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)。	外内 淡灰色 淡褐色	1mm以下の雲母等の細砂粒を含む。	良好	
7	同上 SD1	口径 17.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ・指原儀。	淡灰色	1mm以下の雲母等の細砂粒を含む。	良好	
8	同上 SD1	口径 21.6	口縁部は上外方へ伸びた後外上方へ短く伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面上位ヨコナデ、外面中位以下ハケナデ後ヘラミゴキ、内面中位以下ヘラミゴキ。	淡赤褐色	1mm以下の長石・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
9	同上 SD1	口径 21.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡茶褐色	雲母・長石等を微量に含む。	良好	口縁部外面に黒斑有り。
10	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は鈍く尖る。体部は欠損。口縁部内面下に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面・胴部内面ハケナデ後ヨコナデ、体部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	雲母等を少量含む。	良好	口縁部外面上位に黒付着。
11	同上 SD1	口径 22.8	口縁部は外反気味に上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ。	乳灰色	1mm以下の雲母・石英・長石等の細砂粒を含む。	良好	
12	同上 SD1	口径 14.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥厚し、上に面をもつ。体部は欠損。 端部外面・口縁部内面・体部内外面ヨコナデ、口縁部外面ヘラミゴキ。	淡灰赤褐色	1mm以下の長石・石英等の細砂粒を含む。	良好	
13	同上 SD1	口径 30.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部は外方へ肥厚し、上に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(6本)後ヘラミゴキ、内面ヘラミゴキ、胴部外面ヨコナデ、体部外面ヘラミゴキ、内面ナデ。	淡灰色	2mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
14	同上 SD1	口径 14.4	口縁部は直上した後上外方へ外反して伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 端部内外面ヨコナデ、口縁部内外面・体部外面ヘラミゴキ、内面ナデ。	淡灰褐色	1mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	出土地点	(cm) 口径 口高 器高	形態・装束等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
15	壺 (土師器) SD1	口径 15.2	上内方へ内傾して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部外面・体部外面・内面上位ヨコナダ、内面中位へリ削り。	淡灰色	2mm以下の長石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
16	同上 SD1	口径 10.4	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は垂下し、面をもつ。肩曲部に稜をもつ。体部は欠損。口縁部外面中位(縁)に1本の装合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナダ。	外 乳灰茶色 内 灰茶色	2mm以下の雲母・角閃石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
17	同上 SD1	口径 23.0	口縁部は上外方へ外反して二段に屈曲して伸び、端部は丸い。肩曲部に稜をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナダ。	乳白褐色	1.5mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
18	同上 SD1	口径 26.0	口縁部は外反して上外方へ伸び、二段に屈曲して伸び、端部は外傾する浅い凹面をもつ。肩曲部に稜をもつ。体部は欠損。 端部外面ヨコナダ、口縁部外面上位へラミガキ、肩曲部外面ヨコナダ、外面中位以下へラミガキ、内面割縁の為不明。	淡茶灰色	1mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
19	同上 SD1	口径 16.4	口縁部は上外方へ伸びて屈曲した後上外方へ外反して伸び、端部は外方へ肥厚する。肩曲部に鈍い稜をもつ。体部は欠損。 口縁部外面は割縁の為不明。内面上位ヨコナダ、中位へラミガキ。	淡茶灰色	5mm以下の長石・角閃石・雲母・石英等の砂粒を含む。	良	
20	同上 SD1	口径 16.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びた後屈曲して外反気味に上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。肩曲部・頸部外面に凸帯を有す。頸部外面の凸帯にキザミ文を有す。 口縁部内外面割縁の為不明。	茶灰色	4mm以下の長石・石英・石英等の砂粒を含む。	良好	
21	同上 SD1		口縁部は直上した後丸く屈曲し、上外方へ伸び、さらに屈曲して外反気味に上がる。二重口縁を有すが、端部及び体部は欠損。 口縁部内外面割縁の為不明。	淡緑灰色	6mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂粒を含む。	良好	
22	同上 SD1		口縁部は上外方へ伸びる。口縁部・端部・体部は欠損。 口縁部外面へラミガキ、内面ヨコナダ。	灰褐色	3mm以下の角閃石・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部内面中位に備付帯。
23	壺 (土師器) SD1	口径 13.4 器高 24.6 最大径 21.4	楕円形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナダ、内面ハケナダ(6本)、体部外面タタキ後ハケナダ(7本)、内面へリ削り。	外 黒灰色 内 淡灰褐色	5mm以下の長石・角閃石・赤褐色酸化粒・雲母等の砂粒を含む。	良好	外面に備付帯。

遺物番号 調査地点	種 別	(cm) 口径 高さ	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	土 質 成 層	考 考
24	罎 (土師器)	口径 11.8	口縁部は上上方へ伸び、端部はつまみ上げる。腰部は欠損。 口縁部内外面・頸部外面ヨコナデ、腰部外面タタキ後ハケナデ、内面へう割り。	淡灰色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好 外面に煤付着。
	SD1					
25	同上	口径 12.4	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。腰部は欠損。 口縁部内外面・頸部外面ヨコナデ、腰部外面タタキ(3本)後ハケナデ、内面へう割り。	淡灰色	1mm以下の角閃石・石英等の細砂粒を含む。	良好 外面に煤付着。
	SD1					
26	同上	口径 13.2	上内方へ内側へ伸びる腰部より屈曲し、上上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方につまむ。腰部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部外面タタキ後ヨコナデ、腰部外面タタキ(7本)後ハケナデ(8本)、内面へう割り。	淡褐色色	2mm以下の雲母・長石・角閃石等の細砂粒を含む。	良好 口縁部外面・腰部外面上位に煤付着。
	SD1					
27	同上	口径 15.2	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げる。腰部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ後ナデ、腰部外面タタキ、内面へう割り。	暗灰色	1mm以下の雲母・長石・角閃石等の細砂粒を少量含む。	良好
	SD1					
28	同上	口径 13.8	口縁部は上上方へ外反気味に伸び、端部は若干上につまむ。腰部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、腰部外面ハケナデ(10本)、内面へう割り。	淡褐色色	1mm以下の雲母・石英・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良 煤付着。
	SD1					
29	同上	口径 14.4	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。腰部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・指頭部、内面ナデ後ハケナデ(7本)、腰部外面タタキ(4本)、内面へう割り。	灰色	0.5mm以下の角閃石・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好
	SD1					
30	同上	口径 13.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部は外傾する間隙をもつ。腰部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部内外面ハケナデ(7本)、腰部内面へう割り。	乳白色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好
	SD1					
31	同上	口径 15.0	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部は上につまむ。腰部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、腰部外面タタキ(5本)、内面へう割り。	茶褐色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良
	SD1					
32	同上	口径 15.6	上内方へ内傾気味に伸びる腰部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。腰部中位以下は欠損。 口縁部内外面・頸部外面ヨコナデ、腰部外面上位タタキ(5本)、中位ハケナデ(16本)、内面へう割り。	外 緑茶灰 内 茶灰色	角閃石・雲母・石英等の細砂粒を含む。	良好
	SD1					

遺物調査 図版番号	掘 出 土 地 点	(cm) 口径 法量 併高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
33	壺 (上幹部) SD1	口径 15.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面へう割り。	淡茶褐色	1mm以下の雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良好	
34	同上 SD1	口径 16.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は内方につまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・指頭痕、端部外向調整不明、内面へう割り。	灰褐色	1mm以下の雲母・角閃石等の細砂粒を少量含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
35	同上 SD1	口径 15.8	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面上位ハケナデ、下位ヨコナデ。	淡灰色	1mm以下の雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
36	同上 SD1	口径 16.4	口縁部に斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面へう割り。	灰褐色	1mm以下の雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
37	同上 SD1	口径 16.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面へう割り。	淡灰茶色	1mm以下の雲母・長石・角閃石等の細砂粒を含む。	良好	
38	同上 SD1	口径 19.7	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ。	淡灰茶色	1mm以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	煤付着。
39	同上 SD1	口径 16.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外面に面をもち、つまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(10本)、体部外面ハケナデ(10本)、内面へう割り。	淡灰褐色	2mm以下の雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良	
40	同上 SD1	口径 16.4	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ後ハケナデ(7本)、内面へう割り。	淡灰茶色	1mm以下の雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良好	
41	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ、内面へう割り。	外 淡灰褐色 内 淡灰色	2mm以下の雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。

通称 図面番号	基 出 土 地 点	種 類	(cm) 口径 法量	口径 の高	形 態 ・ 調 整 等 の 詳 細	色 調	胎 土	焼 成 層	考
42		壺 (土師器)	口径 16.8		口縁部は上方へ外反して伸び、肩部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面上位ヨコナデ 下位ハケナデ、体部外面タタキ(7本)、内 面へラ削り。	外 灰褐色 内 灰色	1mm以下の 雲母・角閃 石・長石・ 石英等の粗 砂粒を含む。	良好	
六八		SD1							
43		同上	口径 16.8		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は内方 につまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ後ヨ コナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナ デ(10本)、内面へラ削り。	褐灰色	3mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の粗砂粒を 多量に含む。	良	外面に煤付 着。
六八		SD1							
44		同上	口径 17.0		口縁部は上方へ伸び、肩部は上につま む。体部は欠損。 口縁部外面上位・内面ヨコナデ、口縁部 外面下位・体部外面タタキ(10本)、内面へ ラ削り。	淡茶褐色	1mm以下の 雲母・角閃 石・長石等 の粗砂粒を 含む。	良好	
		SD1							
45		同上	口径 17.2		口縁部は上方へ外反気味に伸び、肩部 は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後一 部ハケナデ、体部外面ハケナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の 角閃石・雲 母・長石等 の粗砂粒を 含む。	良好	
		SD1							
46		同上	口径 17.8		口縁部は斜上方へ伸び、肩部は内方へ肥 厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面調整不 明、内面へラ削り。	乳灰茶色	1mm以下の 石英・雲母・ 長石等の粗 砂粒を含む。	良好	
		SD1							
47		同上	口径 18.8		口縁部は上方へ伸び、肩部はつまみ上 げる。体部は欠損。体部内面に1本の横金 線を有す。 口縁部内外面・肩部外面ヨコナデ、体部 外面タタキ(6本)後ハケナデ(7本)、内 面ハケナデ(6本)後へラ削り・指痕痕。	外 淡灰茶 色 内 淡灰色	1mm以下の 角閃石・長 石・雲母等 の粗砂粒を 含む。	良好	煤付着。
		SD1							
48		同上	口径 16.6		最大径を中位よりやや下にもつ球形に近 い体部より屈曲し、斜外方へ外反気味に伸 びる口縁部に至る。肩部は内方へつまみ上 げる。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体 部外面ハケナデ(11本)、内面へラ削り。	茶灰色	長石・石英・ 雲母等の粗 砂粒を含む。	良好	外面に煤付 着。
六八		SD1							
49		同上	口径 13.4		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は外傾 する面をもち、内方につまみ上げる。体部 下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハ ケナデ(9本)、体部外面ハケナデ(9本) 後一部へラ削り、内面ハケナデ後ナデ後 へラ削り。	淡灰褐色	2mm以下の 石英・雲母・ 長石等の粗 砂粒を 含む。	良	体部外面中 位に黒斑有 り。
六八		SD1							
50		同上	口径 15.2		上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は外傾 する面をもち、内方につまむ。体部下位は 欠損。 口縁部内外面・肩部内面ヨコナデ、体部 外面ハケナデ(8本)、内面へラ削り。	淡灰茶色	2mm以下の 石英・雲母・ 長石等の粗 砂粒を多量 に含む。	良好	外面に煤付 着。
六八		SD1							

調査番号 及び標号	掘出地点	(cm) 口径 高さ	口径 高さ	形態・調整等の特徴	色	調	粒	土	焼成	備考
51	塚 (土師器)	口径 12.2		口内方へ伸びる体部より厚出し、上外方へ伸び、端部は大きい。体部中央以下は欠損。体部内面に3本の接合痕を有す。口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面ツツキ(3本)後ヘラナデ、内面ナデ・指痕あり。	淡灰色		1mm以下の 長石・石英 等の粗砂粒 を含む。		良好	外面に煤付着。
	SD1									
52	同上	口径 11.6		口縁部は上外方へ伸び、端部は鈍く尖る。体部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。口縁部内面に1等10本の波状文を有す。端部内外面ヨコナデ、口縁部外面ツツキ(3本)後ヘラナデ(8本)、体部外面ツツキ(4本)、内面ナデ。	淡乳灰色		3mm以下の チャート等 の粗砂粒を 含む。		良好	
	SD1									
53	同上	口径 13.8		口縁部は上外方へ内縁気味に伸び、端部は内傾する凹面をもつ。体部は欠損。口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面調整不明、内面ヘラ削り。	淡茶色		0.5mm以下の 石英・雲母・角閃石・ 赤褐色酸化 鉄等の粗砂 粒を含む。		良好	煤付着。
	SD1									
54	同上	口径 16.7		口縁部は上外方へ内縁気味に伸び、端部は内方に肥厚する。体部は欠損。口縁部内外面・体部内面ヨコナデ、外面ハクナデ。	乳灰茶色		3mm以下の 粗砂粒を 含む。		良好	
	SD1									
55	同上	口径 14.0		口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面調整不明、内面ヘラ削り。	外 淡茶色 内 淡灰茶色		1mm以下の 雲母・長石・ 石英・チャ ート等の粗 砂粒を含む。		良好	外面に煤付着。
	SD1									
56	同上	口径 15.0		口縁部は斜上方へ伸び、端部は上方に拡張し丸い。体部は欠損。古墳地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面磨き文(10条)、内面ヨコナデ、口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面ハクナデ、内面ヘラ削り。	淡茶色		0.5mm以下の 雲母・長石・ 石英等の粗 砂粒を含む。		良好	煤付着。
	SD1									
57	同上	口径 12.8		口縁部は外上方へ伸び、端部は上方に拡張し丸い。体部は欠損。古墳地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面磨き文(9条)、内面ヨコナデ、口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面ハクナデ、内面ヘラ削り。	淡茶色		0.5mm以下の 石英・長石・ 雲母・角閃石等の 粗砂粒を 含む。		良好	煤付着。
	SD1									
58	同上	口径 14.0		口縁部は上外方へ伸び、端部は外方に肥厚し、上に面をもつ。体部は欠損。口縁部内外面ヨコナデ。	乳灰茶色		1mm以下の 石英・長石・ チャート等の粗 砂粒を含む。		良好	
	SD1									
59	同上	口径 15.0		口縁部は上外方へ伸び、端部は上に面をもつ。体部は欠損。口縁部内外面ヨコナデ。	淡乳灰色		1mm以下の 石英・長石・ 赤褐色酸化 鉄等の粗砂 粒を含む。		良好	口縁部外面に煤付着。
	SD1									

調査番号 採集番号	器種 出土地点	(cm) 口径 高さ	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
60	甕 (土師器) SD1	口径 16.1	口縁部は斜上方へ伸び、端部は外傾する面をもつ。腰部は欠損。 口縁部・頸部内外面ヨコナデ、体部ハケナデ、内面へ削り。	乳白色	1mm以下の長石等の細砂粒を含む。	良好	
61	同上 SD1	口径 15.4	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥厚し、体部は欠損。 口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面へ削り。	淡灰茶色	2.5mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
62	同上 SD1	口径 16.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面へ削り。	外 淡灰茶色 内 淡乳白色	1mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
63	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面へ削り。	乳灰色	1mm以下の石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
64	同上 SD1	口径 15.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は上に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面・頸部外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面へ削り。	淡灰茶色	1mm以下の雲母・長石等の粗砂粒を少量含む。	良好	
65	同上 SD1	口径 18.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚し、上に凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	外 淡灰茶色 内 灰白色	1mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
66	同上 SD1	口径 20.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ナデ・指痕類。	淡灰色	1mm以下の長石・石英・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	煤付著。
67	同上 SD1	口径 17.2	上内方へ内彎して伸びる体部より稍出し、上外方へ伸びる口縁部に生ずる。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面指ナデ。	淡乳茶色	1mm以下の石英・チャート・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
68	同上 SD1	口径 19.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は内傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面・頸部外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ハケナデ(9本)後ナデ。	淡灰色	1mm以下の長石・石英・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 内蔵番号	出土地点	種別	(cm) 法量 口径 器高	形態・調整等の特徴	色 調	胎 土	焼成 窯 寺
69		甕 (土師器)	口径 16.0 最大径 22.6	上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は 上方へ肥厚する。底部は欠損。頸部内面 に2本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナ デ(3本)、内面上位ナデ後部顕微、中位以 下ナデ。	外 灰茶色 内 白灰色	チャート・ 長石・赤褐色 酸化鉄を含む。	良好 体部外面中 位以下に煤 付着。
六八		SD1					
70		同上	口径 16.0	楕円形と思われる体部より屈曲し、斜上 方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部 は上方へ若干つまみだし、丸い。体部下 位は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ハケ ナデ(5本)。	淡褐色	7mm以下の 石英・チャ ート・長石 ・雲母等の砂 粒を含む。	良好 体部外面に 煤付着。
六九		SD1					
71		同上	口径 16.0	上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上方 へ肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部 外面ハケナデ(7本)、内面指ナデ。	淡乳茶色	1mm以下の 石英・雲母・ 赤褐色酸化 鉄等の細砂 粒を含む。	良好
		SD1					
72		甕 (轉式系土器)		体部の破片。 外面襷帯タタキ、内面ナデ。	淡赤灰色	3mm以下の 石英等の粗 砂粒を含む。	良
六九		SD1					
73		小笠笠 (土師器)	口径 11.0	扁平な球形と思われる体部より屈曲し、 上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。 端部は鈍く尖る。底部は欠損。 口縁部外面・体部外面上位ヘラミガキ、 口縁部内面ヨコナデ、体部外面下位ヘラ ミガキ、内面ナデ。	茶灰色	0.5mm以下 の長石・雲 母等の微砂 粒を含む。	良好
六九		SD1					
74		同上	口径 10.8	上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上方 へつまむ。底部は欠損。 口縁部・体部外面ヘラミガキ、口縁部・ 頸部内面ヨコナデ、体部内面ナデ。	乳灰色	1.5mm以下 の長石・石 英等の粗砂 粒を含む。	良好
		SD1					
75		同上	口径 11.6	上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 体部中位以下は欠損。 口縁部内外面・体部外面ヘラミガキ、内 面ヘラナデ。	淡灰褐色	1mm以下の 長石・赤褐 色酸化鉄等 の細砂粒を 少量含む。	良好
		SD1					
76		同上	口径 11.4 器高 9.5	最大径を中位よりやや上にもつ扁平な球 形の体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁 部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後ヘラミガキ、内面 ハケによるヨコナデ後横文紋ヘラミガキ、 体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	外 淡茶灰 色 内 淡灰黒 色	0.5mm以下 の雲母・赤 褐色酸化鉄 等の微砂粒 を含む。	良好
六九		SD1					
77		同上	口径 11.4 器高 8.0	扁平な球形の体部より屈曲し、上方へ 伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底 部は欠損。 口縁部割離の凸不明、内面ヨコナデ、体 部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	茶褐色	3mm以下の 雲母・赤褐 色酸化鉄・ 長石・石 英等の粗砂 粒を含む。	良好
六九		SD1					

通称番号 包頭番号	種 出 土 地 点	(cm) 口径 高さ	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
78	小型壺 (土師器)		体部は球形である。口縁部・肩部は欠損。 底部は丸底。 体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	外 茶灰色 内 白灰色	長石・雲母・ 赤褐色酸化 粒等を含む。	良好	体部外面に 黒皮有り。
六九	SD1						
79	鉢 (土師器)	口径 11.2	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方 へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い、体部 中位以下は欠損。 内外面ヨコナデ。	灰褐色	1mm以下の 雲母・石英 等の細砂粒 を含む。	良好	
	SD1						
80	同 七	口径 16.0	上外方へ伸びた後短く直上する体部より 屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部 に至る。肩部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面・体部内面ナデ、体部外面 ハケナデ。	外 淡橙茶 色 内 淡茶色	1mm以下の 長石・石英・ 雲母等の細 砂粒を含む。	良好	腹部内面に 黒付着。
	SD1						
81	同 上	口径 13.8 器 高 5.5	上外方へ内彎して伸びる体部より上外方 へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。肩部は 丸い。底部は丸底。 口縁部内外面・体部内面ナデ、外面ヘラ 削り後ハケナデ(8本)。	茶灰色	内関石・長 石・雲母等 を含む。	良好	
七十	SD1						
82	同 上	口径 10.85 器 高 7.4	半球形の体部より内彎気味に直上する口 縁部に至る。肩部は上に曲をもつ。底部は 丸底。 外面ヘラ削り後ナデ、内面ナデ。	灰黄褐色	3mm以下の 雲母・長石・ 石英等の粗 砂粒を多量 に含む。	良好	完形。
七十	SD1						
83	平底鉢 (土師器)	口径 11.8 器 高 9.6	平底で広い底部から上内方へ内彎して伸 びる体部に至る。口縁部は上外方へ短く外 反して伸び、肩部は丸い。底部は一部欠損。 肩部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部・肩部内外面ヨコナデ、体部外面 ハケナデ(11本)、内面ナデ・指頭砥。	灰茶褐色	1mm以下の 雲母・石英・ 赤褐色酸化 粒等の細砂 粒を含む。	良好	
	SD1						
84	鉢 (土師器)		上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、 外上方へ伸びる。口縁部・肩部・体部中位 以下は欠損。 外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘラ削 り後ヘラミガキ。	外 淡灰色 内 淡橙灰 色	1mm以下の 長石・雲母・ 石英等の細 砂粒を含む。	良好	内面に黒付 着。
	SD1						
85	同 上 (土師器)	口径 39.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部 は内方へつまみ、外縁する面をもつ。体部 は欠損。 口縁部外面ナデ後ヘラミガキ、内面・体 部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ後ナデ。	乳灰茶色	1mm以下の 赤褐色酸化 粒・長石・ 石英・雲母 等の細砂粒 を少量含む。	良好	
	SD1						
86	器 台 (土師器)	口径 9.8	受部は上外方へ緩やかに内彎して伸びる 口縁部に至る。肩部は外側に凹面をもつ。 脚部は欠損。 受部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘ ラミガキ後凹面状ヘラミガキ、底部刺刺の 痕不明。	茶灰色	0.5mm以下の 雲母・長石・ チャート等 の微砂粒を 含む。	良好	
	SD1						

調査番号 調査年度	器 出土地点	種 類	(cm) 口径 法線 器高	形 部 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼成	備 考
87	器 白 (土師器)		底 径 10.7	肩部は欠損。脚部は下方へ伸びる襷部に 至る。端部は丸い。脚部中央に二方孔を 有す。 脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナゲ(12 本)。	灰青色	0.5mm以下 の長石・雲母 等の細砂粒 を含む。	良好	
70	同上	SD1	口径 17.4 器 高 10.4 -11.0 底 径 17.6	肩部は外上方へ傾やかに内彎して伸びた 後外上方へ短く伸びる口縁部に至る。端部 は丸い。脚部は下方へ伸びる襷部に至る。 端部は丸い。脚部と肩部は貫通する。 肩部外面・脚部内外面ヘラミガキ、内面 ハケナゲ後ヘラミガキ。	茶灰色	0.5mm以下 の長石・雲母・赤 褐色酸化粒等 の細砂粒を含 む。	良好	襷部内外面 に黒斑有り。
89	高 杯 (土師器)		口径 12.6	丸いと思われる杯底部より内彎気味に上 方へ伸びた後外上方へ短く伸びる口縁部 に至る。端部は外側に面をもつ。杯底部・ 脚部は欠損。 杯部内外面ヨコナゲ。	外 灰青色 内 茶灰色	1mm以下の 長石・赤褐色 酸化粒等 の細砂粒を含 む。	良好	
90	同上		口径 17.0	丸味をもつ杯底部より斜上方へ内彎気味 に伸びた後短く外上方へ伸びる口縁部に至 る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部内外面ナゲ。	淡赤褐色	1mm以下の 長石・雲母・ 赤褐色酸化 粒等の細砂 粒を含む。	良好	
70	同上	SD1	口径 13.55 器 高 9.7 -11.45 底 径 9.2	平らに近いと思われる杯底部より外上方 へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部 は下方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下 方へ伸びる襷部に至る。端部は丸い。杯底 部外面に二本の接合痕を有す。 杯部外面ヨコナゲ後ヘラミガキ、内面腐 蝕の急不周。柱状部外面ヘラミガキ後ヘラミ ガキ、内面ナゲ、襷部外面ヘラミガキ、内 面ハケナゲ(10本)。	灰青色	1mm以下の 長石・石英・ 雲母・赤褐 色酸化粒・ チャート等 の細砂粒を含 む。	良好	完整。
92	同上	SD1	口径 12.7	平坦な杯底部より上方へ内彎して伸びる 口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナゲ後ヨコナゲ、内面ヘラ ミガキ後緑文。	淡黄褐色	1.5mm以下 の長石・雲母・ 赤褐色 酸化粒等 の細砂粒を含 む。	良好	
93	同上	SD1	口径 12.5	丸い杯底部より上方へ内彎して伸びる口 縁部に至る。端部は内方へ厚直し、上に面 をもつ。脚部は欠損。 杯部外面ハケナゲ後ヨコナゲ、内面ヨコ ナゲ後暗文状ヘラミガキ。	淡灰青色	3mm以下の 長石・石英・ 赤褐色酸化 粒・雲母等 の細砂粒を含 む。	良好	
94	同上	SD1	口径 14.0	平坦な杯底部より外上方へ伸びた後上方 へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸 い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナゲ後ナゲ、内面ヘラミガ キ後暗文状ヘラミガキ。	外 灰青色 内 黒灰色	1mm以下の 石英・雲母 等の細砂粒 を含む。	良好	
95	同上	SD1	口径 13.2	平らに近い杯底部より上方へ内彎して伸 びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠 損。 杯部外面ハケナゲ後ナゲ、内面ハケナゲ (9本)。	茶灰褐色	1mm以下の 長石・長石・ 赤褐色酸化 粒等の細砂 粒を含む。	良好	

産物番号 国産番号	器 出上地点	(cm) 口径 法 器高	形態・調整等の特徴	色	胎 土	焼成 様 考
96	高 杯 (土師器)	口 径 13.8	杯底部は欠損。体部は上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。肩部は上に面をもつ。脚部は欠損。 杯部外面ハケナテ後ヨコナゲ、内面ナテ。	系灰色	3mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好
	SD1					
97	河 上	口 径 13.8	杯底体部は欠損。口縁部は上方へ内彎して伸び、肩部は丸い。脚部は欠損。 杯部内外面ナテ。	系灰色	4.5mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化鉄等の砂礫粒を含む。	良好
	SD1					
98	岡 上	底 径 9.6	杯部は欠損。脚部は下方外へ伸びる柱状部より屈出し、外下方へ伸びる肩部に至る。肩部は外傾する面をもつ。柱状部下位に三方孔を有す。 脚部外面ヘラミガキ、柱状部内面ナテ、肩部内面ハケナテ後ナテ・指痕あり。	淡乳褐色	2mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化鉄等の粗砂粒を含む。	良好
	SD1					
99	岡 上	底 径 9.0	杯部は欠損。脚部は下方外へ伸び、外下方へ伸びる肩部に至る。肩部は丸い。柱状部下位に三方孔を有す。 脚部外面ハケナテ後ヘラミガキ、柱状部内面ナテ、肩部内面ハケナテ。	系褐色	2.5mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好
	SD1					
100	壺 (土師器)	SD1	平坦な底部より上方へ内彎して伸びる。口縁部・体部上中位は欠損。底部中央に大きな円孔(復元径約4.4cm)、周囲に小さい円孔(径約1.7cm)が通る。 内外面ヨコナゲ。	乳灰褐色	3mm以下の粗砂粒を少量含む。	良 底部内面に 指痕有り。
	SD1					
101	盃 (土師器)	口 径 24.0	口縁部は上内方へ伸び、肩部は上に面をもつ。口縁部下位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナゲ、内面ハケナゲ(6本)。	淡褐色	4mm以下の雲母・石英・粘土・角閃石等の砂礫粒を含む。	良好
	SD1					
102	杯蓋 (須恵器)	口 径 11.85 器 高 5.7 つまみ径 3.6 つまみ高 1.0 底 径 11.7	やや高く丸味をもつ天井部より下方外へ伸びる縁は鈍い。口縁部は内彎して下方に下り、肩部は段を有し内傾する面をもつ。天井部中央に断面四角のつまみをもつ。 天井部外面同転ヘラ削り、他は同転ナテ。	青灰色	1mm以下の長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好 完形。 ロクロ(右方向)。 天井部外面に自然釉付着。
七十	SD1					
103	岡 上	口 径 11.8 器 高 4.3 底 径 11.7	やや高く上面凹状の天井部より下方外へ伸びる縁に至る。縁は鋭利あり。口縁部は垂直に下り、肩部は段を有し、内傾する面をもつ。 天井部外面約1/4同転ヘラ削り、他は同転ナテ。	外 内 灰白色 暗灰色	結晶。	良好 完形。 ロクロ(左方向)。 天井部外面約1/4に自然釉付着。
	SD1					
104	岡 上	口 径 12.7 底 径 13.0	丸いと思われる天井部より下方外へ伸びる縁に至る。縁は鋭い。口縁部は垂直に下り、肩部は平らで内傾する面をもつ。天井部一部欠損。 天井部外面約1/4同転ヘラ削り、他は同転ナテ。	外 内 暗灰色 青灰色	1.5mm以下の長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好 ロクロ(右方向)。
	SD1					

遺物番号 調査番号	出土地点	種別	(cm) 法量	11 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
105	杯蓋 (須恵器)	口徑 11.6 碗径 11.05			丸味をもつと思われる天井部より下方へ伸びる縁に至る。縁は鋭い。口縁部は垂直に下り、端部は平らで内傾する面をもつ。天井部一部欠損。 底体外面的に凹縁へり削り、他は凹縁ナシ。	淡青灰色	2mm以下の長石等の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ(右方向)。
	SD1								
106	同上	口徑 12.4 器高 4.5 碗径 12.4			やや高く丸味をもつと思われる天井部より下方へ伸びる縁に至る。端部は鋭い。口縁部は垂直に下り、端部は平らで内傾する面をもつ。天井部一部欠損。 天井部外面に凹縁へり削り、他は凹縁ナシ。	暗灰色	精良。	良好	ロクロ(左方向)。
	SD1								
107	杯身 (須恵器)	口徑 10.05 器高 3.9 受部径 12.05			深く丸味をもつ底部より上方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。 底面外面に凹縁ナシ後不定方向のへり削り、他は凹縁ナシ。	青灰色	3mm以下の長石・石英・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	定形。ロクロ(左方向)。底面にへり削り有り。
七十	SD1								
108	同上	口徑 10.6 器高 5.2 受部径 12.6			深く平らに近い底部より内傾して上方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は鋭い。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 底体外面的に凹縁へり削り、他は凹縁ナシ。	乳灰色	精良。	良好	ロクロ(右方向)。
	SD1								
109	同上	口徑 10.05 器高 4.05 受部径 12.3			やや深く平らに近い底部より上方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 底体外面的に凹縁へり削り、他は凹縁ナシ。	淡灰色	3mm以下の長石等の粗砂粒を含む。	良好	定形。ロクロ(左方向)。
	SD1								
110	同上	口徑 10.1 器高 5.0 受部径 11.5			深く丸い底部より上方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鋭い。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 底体外面的に凹縁へり削り、他は凹縁ナシ。	外 暗灰褐色 内 灰白色	精良。	良好	定形。ロクロ(左方向)。
	SD1								
111	同上	口徑 10.8 器高 4.7 受部径 12.8			深く丸味をもつ底部より外上方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は鋭い。立ち上がりは内傾し、端部は内傾する面をもつ。 底体外面的に凹縁へり削り、他は凹縁ナシ。	淡灰青色	0.3mm以下の石英・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	底体外面に自然釉付着。
	SD1								
112	同上	口徑 11.1 器高 5.5 受部径 13.3			やや深く丸味をもつ底部より上方へ内傾して伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 底体外面的に凹縁へり削り、他は凹縁ナシ。	暗青灰色	3.5mm以下の石英・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	定形。ロクロ(左方向)。
	SD1								
113	同上	口徑 11.0 受部径 13.2			やや深く丸味をもつと思われる底部より斜上方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。端部一部欠損。 底体外面的に凹縁へり削り、他は凹縁ナシ。	淡青灰色	2.5mm以下の長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	底体外面に自然釉付着。
	SD1								

遺物番号 出土層	出土地点	口徑 法量	口徑 器高	形態・装束等の特徴	色	胎土	焼成	備考
114	塚身 (須恵器)	口徑 受部径	10.1 12.0	丸味をもつと思われる底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、肩部は丸い。立ち上がりは内傾し、肩部は内傾する凹面をもつ。底部一部欠損。 底部外面約1/3回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡緑灰色	3mm以下の長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ(左方向)。 底部外面に自然釉付着。
	SD1							
115	同上	口徑 受部径	10.8 13.2	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、肩部は丸い。立ち上がりは内傾し、肩部は段を有し、内傾する面をもつ。 底部外面約1/3回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	青灰色	4.5mm以下の長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ(左方向)。 底部外面にヘラ記号。
	SD1							
116	同上	口徑 器高 受部径	11.4 5.5 13.2	深く丸味をもつ底部より上外方へ内彎して伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、肩部は丸い。立ち上がりは内傾し、肩部は内傾する凹面をもつ。 底部外面約1/3回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	青灰色	2.5mm以下の長石・石英・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ(右方向)。
	SD1							
117	同上	口徑 器高 受部径	10.2 5.7 13.0	深く平らの底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は上外方へ伸び、肩部は丸い。立ち上がりは内傾し、肩部は上に平坦な面をもつ。 底部外面約1/3回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	青灰色	2mm以下の長石・チャート等の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ(右方向)。
	SD1							
118	鉢 (須恵器)	口徑 器高	7.2 4.8	上外方へ伸びる体部より上外方へ反して伸びる1/3線部に至る。肩部は丸い。底部は突出しない平底。 底部外面不定方向のナデ、他は回転ナデ。	暗青灰色	精良。	良好	
	SD1							
119	無蓋高杯 (須恵器)	口徑 器高 鉢径	12.4 10.6 11.2	丸味をもつ底部より上外方へ内彎して伸びる縁に至る。縁は丸い。1/3線部は上外方へ反気味に伸び、肩部は内傾する面をもつ。脚部は下外方へ伸びる柱状部より下外方へ伸びる裾部に至る。肩部は外方へ肥厚する。底部外面に断面-角形の凸線が通る。脚部外面上位に1本の接合痕を有す。 内外面回転ナデ。	淡青灰色	1.5mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	完形。
七十	SD1							
120	同上	口徑 器高 底径 鉢径	13.4 10.3 10.0 12.6	丸味をもつ底部より上外方へ伸びる縁に至る。縁は鋭角あり。口縁部は上外方へ伸び、肩部は内傾する面をもつ。脚部は下外方へ反気味に伸びる柱状部より下外方へ伸びる裾部に至る。肩部は垂直な凹面を成す。底部外面に凸線が通る。 内外面回転ナデ。	淡灰色	0.5mm以下の長石等の微砂粒を微量に含む。	良好	脚部外面灰かぶり。
七十	SD1							
121	同上	底径	10.4	底部は欠損。脚部は下外方へ伸びる縁部に至る。肩部は下外方へ緩やかに内彎する。柱状部に三方孔のスコシを有す。 杯底部外面約1/3回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	4mm以下の長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ(右方向)。 柱状部内面にヘラ記号。
	SD1							

産物番号 区別番号	標 上 地 立	(mm) 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
122	無蓋高杯 (須恵器)	底径 9.4	杯部は欠損。脚部は下方へ伸びる脛部に至る。端部は下方へ横やかに屈曲する。脚部に三方孔のスカシを有す。杯底部外面同転へう割り、他は同転ナデ。	灰青色	2.5mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ(右方向)杯底部内面・脚部外面に自然輪付着。
	SD1						
123	壺 (須恵器)	口径 16.2	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。縁は短路有り。端部は脛を有し、丸い。体部中位以下は欠損。口縁部外面に1帯14本の波状文を有す。 口縁部内外面同転ナデ、体部外面タタキ、内面不定方向のナデ。	青灰色	1mm以下の長石・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好	口縁部内外面・脚部外面・体部外面に自然輪付着。
七一	SD1						
124	同上	口径 25.1	口縁部は上方へ外反気味に伸び、端部は下方へ肥厚し、外端面に凹凸面を成す。体部は欠損。 口縁部内外面同転ナデ、体部内面内弧タタキ。	淡灰色	1mm以下の長石・チークト・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
七一	SD1						
125	同上	口径 14.6 最大径 15.4	最大径を上位にもつ球形に近い体部より屈曲し、上方へ伸びた後上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上段タタキ(2本)、中位下タタキ後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	淡灰褐色	7mm以下の砂礫粒を多数含む。	良好	
七一	SD4						
126	同上	口径 11.6	上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ハケナデ(7本)、体部内外面ヘラナデ。	暗茶灰色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SD4						
127	同上	口径 12.6	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラナデ。	暗灰褐色	4mm以下の雲母・角閃石・石英等の砂礫粒を含む。	良好	
	SD4						
128	同上	口径 16.4 器高 16.0 底径 3.3	最大径を中位よりやや上にもつ球形に近い体部より屈曲し、上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	暗褐色	3mm以下の粗砂粒を含む。	良	
七一	SD4						
129	同上	口径 13.6 器高 16.4 底径 3.7	楕円形の体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(24本)、内面ヘラナデ。	淡緑灰褐色	4.5mm以下の砂礫粒を多数含む。	良好	完整。
七一	SD4						
130	同上	口径 15.0	口縁部は上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	茶灰色	2mm以下の雲母・石英・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
	SD4						

植物標本の 図録番号	出 七 地 点	種 類	(mm) 口径 法 量 器 高	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 上	成 成	備 考
131	高 杯 S D 4	口 径 法 量 器 高	17.0	杯底部は欠損。口縁部は上外方へ伸び、 端部は鈍く尖る。杯部は欠損。 杯部内外面ナデ	橙褐色	2mm以下の 粗砂粒を多 量に含む。	良好	
132	同上 S D 4	口 径 法 量 器 高	23.4	斜上方へ伸びる杯底部より屈曲し、上外 方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は 丸い。杯部は欠損。 地面内外面ココナデ、杯部外面上位・中 位内面ヘラミガキ、杯部外面下位へラ削り。	淡茶灰色	4mm以下の 粗砂粒を少 量含む。	良好	
133	小 皿 S E 1	口 径 法 量 器 高	14.8	底部は欠損。体部は上外方へ伸びた後上 外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上に面 をもつ。 口縁内外面ココナデ、体部内外面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 粗砂粒を微 量に含む。	良好	体部内面に 厚付層。
134	同上 S F 1	口 径 法 量 器 高	13.8 3.2	平坦な底体部より上外方へ伸びる口縁部 に至る。端部は内方へ肥厚し、内縮する面 をもつ。 外面ナデ・胎痕面、内面ナデ。	茶灰色	0.5mm以下 の雲母等の 微砂粒を少 量含む。	良好	内外面に厚 付層。
135	同上 S K 8	口 径 法 量 器 高	8.8 1.6	凹面をもつ底体部より上外方へ伸びる口 縁部に至る。端部は丸い。 内外面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の 雲母等の粗 砂粒を少量 含む。	良好	完形。
136	同上 S K 8	口 径 法 量 器 高	9.4 1.6	凹面をもつ底体部は上外方へ伸びる口縁 部に至る。端部は丸い。 内外面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の 雲母等の粗 砂粒を少量 含む。	良好	完形。
137	同上 S K 8	口 径 法 量 器 高	8.6 1.5	平坦な底体部より上外方へ内彎して伸び る口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。 内外面ナデ。	乳灰茶色	1mm以下の 雲母等の粗 砂粒を含む。	良好	完形。
138	同上 S K 8	口 径 法 量 器 高	9.2 1.6	平坦な底体部より上外方へ内彎気味に伸 びる口縁部に至る。端部は丸い。底部に穿 孔を有す。 内外面ナデ。	淡灰茶色	1mm以下の 雲母等の粗 砂粒を少量 含む。	良好	完形。
139	同上 S K 8	口 径 法 量 器 高	9.4 1.7	凹面をもつ底体部より上外方へ伸びる口 縁部に至る。端部は丸い。 内外面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の 雲母等の粗 砂粒を含む。	良好	完形。
140	同上 S K 8	口 径 法 量 器 高	9.0 1.4	平坦な底体部より上外方へ内彎して伸び る口縁部に至る。端部は丸い。 外面ナデ・胎痕面、内面ナデ。	乳灰茶色	1mm以下の 雲母等の粗 砂粒を少量 含む。	良好	完形。
141	同上 S K 8	口 径 法 量 器 高	9.1 1.6	平らに近い底体部より上外方へ内彎気味 に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 内外面ナデ。	淡灰茶色	雲母等を少 量含む。	良好	
142	同上 S K 8	口 径 法 量 器 高	9.2 1.8	平らに近い底体部より斜上方へ伸びる口 縁部に至る。端部は鈍く尖る。 内外面ナデ。	淡灰茶色	0.5mm以下 の雲母等の 微砂粒を少 量含む。	良好	完形。

遺物番号 調査番号	出土地点	種別	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
143	小正 (土師器)	口 径 8.4 器 高 1.5	平らに近い底体部より上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。内外面ナデ。	淡茶灰色	1mm以下の雲母・石英等の細砂粒を含む。	良好		
七二	SK 8							
144	同上	口 径 13.2 器 高 2.9	平らに近い底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。内外面ナデ。	淡茶灰色	1mm以下の雲母等の細砂粒を含む。	良好	完形。	
七三	SK 8							
145	同上	口 径 9.0	平らに近いと思われる底体部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底面一部欠損。外面ヨコナデ、内面縮文状ヘラミガキ。	外 暗灰色 内 淡灰色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好		
七三	SK 8							
146	同上	口 径 12.0 器 高 1.9	平らに近い底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底面一部欠損。外面ナデ・指痕痕、内面ナデ。	外 暗灰色 内 乳白色	1mm以下の細砂粒を少量含む。	良好		
七二	SK 8							
147	小皿 (瓦器)	口 径 9.0 器 高 1.9	平らに近い底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。外面ナデ、内面ナデ後縮文状ヘラミガキ。	暗灰色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好	完形。	
七三	SK 8							
148	同上	口 径 9.0 器 高 2.0	凹面をもつ底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。外面ナデ、内面ナデ後縮文状ヘラミガキ。	淡灰色	3mm以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	完形。	
七三	SK 8							
149	同上	口 径 8.0 器 高 2.9	碗形の底体部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台断面は台形をもつ。口縁部・体部内外面ヘラミガキ、高台内外面ヨコナデ。	暗灰色	1mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好		
七三	SK 8							
150	胸 (瓦器)	口 径 13.6	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。口縁部外面上位ヨコナデ、口縁部外面下位・体部外面指ナデ後ヘラミガキ、口縁部体部内面ハケナデ(10cm)後ヘラミガキ。	淡乳紫色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好		
151	同上	口 径 15.0 器 高 4.8 底 径 5.8	碗形の底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台断面は逆三角形をもつ。口縁部・体部外面縮文・指痕痕、口縁部・体部内面縮文、底面外面・高台内外面ナデ。	灰黒色	1mm以下の粗砂粒を微量に含む。	良好		
152	同上	口 径 15.4 器 高 5.8 底 径 4.9	碗形の底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台断面は逆三角形をもつ。口縁部・体部外面ナデ・指痕痕、口縁部・体部内面縮文、高台内外面ナデ。	淡灰黒色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好		
七三	SK 8							
153	同上	口 径 15.5 器 高 5.0 底 径 4.6	碗形の底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台断面は逆三角形をもつ。口縁部・体部外面ナデ後縮文・指痕痕、口縁部内面縮文状・体部内面種子状縮文、高台内外面ナデ。	淡灰色	1mm以下の粗砂粒を含む。	良好	完形。	
七三	SK 8							

産物番号 別取番号	部 出 土 地 点	種 類 (法量)	口 径 口 径 高	形 態 ・ 周 壁 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
154	横 (瓦器)	口 径	17.6	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部外面上位ヨコナデ、口縁部外面下位・体部外面ヘラミガキ後指ナデ、口縁部・体部内面ヘラミガキ後指文。	淡灰色	2mm以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	
	SK 8							
155	同上	口 径 器 高 底 径	15.4 4.9 5.2	瓶形の体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台断面は台形をもつ。口縁部外面ヨコナデ、内面縦線状指文、体部外面指ナデ、内面上位縦線状指文、下位格子指文、高台外面ヨコナデ。	灰褐色	精良。	良好	
	SK 8							
156	同上	口 径	15.6	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 外面ナデ後指文状ヘラミガキ・指頭痕、内面ナデ後指文状ヘラミガキ。	淡灰色	1mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
	SK 8							
157	同上	口 径	15.0	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面上位ヨコナデ、口縁部外面下位・体部外面ナデ後ヘラミガキ、口縁部・体部内面ヘラミガキ後指文。	淡灰色	2mm以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	
	SK 8							
158	同上	口 径	15.6	瓶形と思われる底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。外面指ナデ後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ。	外 淡茶灰色 内 淡灰色	2.5 mm以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	内外面に黒斑有り。
	SP 16							
159	壺 (土師器)	口 径	15.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反彎に伸びる口縁部に至る。端部は外縁する面をもつ。体部中位以下は欠損。口内面内面上位に1本の接合痕を有す。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ?・指頭痕、内面ハケナデ?。	赤褐色	0.5 mm以下の微砂粒を含む。	良好	
	包含層							
160	同上	口 径	14.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面・内面上位ヨコナデ、内面下位指頭痕、体部はタタキ(4本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	茶褐色	0.5 mm以下の雲母・角閃石・長石等の微砂粒を含む。	良好	
	包含層							
161	同上	口 径	17.0	口縁部は外上方へ外反彎に伸び、端部は内方へ肥厚し、つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り。	暗灰褐色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	外面に磨付層。
	包含層							
162	高 杯 (土師器)	口 径 器 高 底 径	21.4 14.2 ~14.5 14.2	丸いと思われる杯底部より上外方へ伸びる縁に至る。縁は横線あり。口縁部は上方へ短く外反彎に伸びた後外上方へ外反して伸び、端部は丸い。胴部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。胴部中位に四方孔を有す。 杯部・脚部外面ヘラミガキ、杯部内面刷毛の不明、柱状部内面ナデ、裾部内面ハケナデ後ナデ。	淡乳茶色	2.5 mm以下の赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
	包含層							

遺物群 区画番号	出土地点	(cm) 口径 高さ	形態・装飾等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
163	高杯 (土師器) 包含層	口径 11.6	平皿と思われる底部より上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は外方へ肥厚する。底部一部・脚部は欠損。 杯部外面ヘラミガキ、内面放射状ヘラミガキ。	淡茶褐色	1mm以下の長石・雲母等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
164	同上 包含層	口径 13.0	杯底部は欠損。体部は上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。脚部は欠損。 口縁部内面ヨコナデ、他はナデ。	淡茶褐色	2mm以下の赤褐色酸化粒・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
165	同上 包含層	口径 8.6	杯部は欠損。脚部は下方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる頸部に至る。肩部は垂直な面をもつ。裾部内面に1本の接合痕を有す。腹部に四方孔を有す。 杯状部外面ヘラミガキ、内面しぼり目、裾部外面ナデ、内面指線痕。	赤褐色	2mm以下の石英・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
166	同上 包含層	口径 8.2	杯部は欠損。脚部は下方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる頸部に至る。肩部は丸い。 杯部・脚部外面ナデ、杯部内面ヘラミガキによる放射状障文、柱状部内面ナデ、裾部内面指線痕。	外 赤褐色 内 黒色	0.5mm以下の微砂粒を含む。	良好	内面に扉付巻。
167	羽釜 (土師器) 包含層	口径 22.0	脚部は水平で、肩部は丸い。外面に2本の接合痕を有す。 外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡茶褐色	1mm以下の長石等の粗砂粒を少量含む。	良好	
168	小皿 (土師器) 包含層	口径 9.2	平らに近いと思われる底部より上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。底部一部欠損。 内外面ナデ。	淡茶褐色	2mm以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	
169	中皿 (土師器) 包含層	口径 15.2 器高 2.3	平皿を底部より上方へ伸びた後屈曲し、上方へ外反して伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、底体部外面指線痕、内面割縁の為不明。	赤褐色	0.5 mm以下の微砂粒を含む。	良好	
170	杯 (土師器) 包含層	口径 21.2	底部は欠損。体部は外上方へ伸びた後上方へ伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。 口縁部内外面・体部外面ヨコナデ、内面ヘラミガキ。	赤褐色	0.5 mm以下の微砂粒を含む。	良好	
171	同上 包含層	口径 13.1	底部は欠損。体部は上方へ内彎気味に伸びた後上方へ反く伸びる口縁部に至る。肩部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラミガキ。	外 赤褐色 内 灰褐色	2mm以下の雲母・長石・角閃石等の粗砂粒を多量含む。	良好	
172	同上 包含層	口径 19.8	底部は欠損。体部は上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。肩部は内方へ肥厚し、上に面をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ。	淡茶褐色	2mm以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	

遺物番号 図面番号	器 出土地点	種 類	(cm) 口径 高さ	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
173	椀 (土器)	口 径 14.8 器 高 3.7	14.8 3.7	底部は欠損。腰部は外上方へ伸びた後七 外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 高台断面は逆三角形をもつ。 口縁部外面ヨコナデ、内面・体部内面上位 ヘラミダシ、体部外面ナデ、内面下位平 行状跡文。	灰黒色	精良。	良好	
	包含層							
174	同上	口 径 15.6	15.6	底部は欠損。腰部は外上方へ伸びた後七 外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部外面下位ヨコナデ、下位・体部外 面ナデ・指痕、口縁部・体部内面ナデ後 ヘラミダシ、底部内面ナデ後放射状跡文。	外 淡茶緑 内 淡灰褐色	1mm以下の 長石等の硬 砂粒を少量 含む。	良好	
	包含層							

第10調査区

遺物番号 図面番号	器 出土地点	種 類	(cm) 口径 高さ	形 態 ・ 調 整 等 の 特 徴	色 調	胎 土	焼 成	備 考
1	羽根形椀輪	口 径 39.4 器 高 81.0 底 径 30.0 タガ幅 0.7 タガ高 ~ 1.0 タガ高 0.8 ~ 1.0	39.4 81.0 30.0 0.7 ~ 1.0 0.8 ~ 1.0	筒状の体部で、肩部にやや張りみをも り、内上方へ内彎する。口縁部は腰部から 内曲し上方へ大きく外反して伸びる。端部 はタガ幅 0.7 上につまみ、外傾する面をも つ。端部は腰部からそのまま下方へ下り、 底縁部付近でやや外反気味に開く。端部は下 方に面をもつ。外面にはタガ3番(口縁部・ 肩部に各1番、腰部に3番)が通る。腰部 にはタガとタガの間に三角形のヒスラン 2枚ある。ヒスランは下段が大きく、上 段がやや小さい。口縁部端部付近の内 外面とタガはヨコナデ、口縁部内外面 ハケ、肩部外面横ハケ、内面ヘラナデ、 体部外面ハケ、内面ヘラナデ、内面 上位置ハケ、下位斜上方のハケナデ。	乳灰褐色	長石・チャ ート・石英 角閃石・雲 母等の硬砂 粒を少量含 む。	良好	黒所有り。
七四	椀輪円筒椀							
2	円筒椀輪	口 径 38.6 器 高 60.3 底 径 27.8 タガ幅 ~ 0.5 タガ高 ~ 1.0 タガ高 ~ 1.2	38.6 60.3 27.8 ~ 0.5 ~ 1.0 ~ 1.2	筒状の体部で、上外方へやや外反気味 に伸び、口縁部付近でやや大きく開く。端 部は外傾する面をもつ。底部端部は下に 面をもつ。体部外面には3番のタガあり、 その間に三角形のヒスラン2枚ある。ヒ スランは上段が一方、下段が二方である。 口縁部付近の内外面とタガはヨコナデ、 体部外面ハケで下位の一部にタガが残 る。内面ハケ。	乳灰褐色	長石・チャ ート・石英 角閃石・雲 母等の硬砂 粒を少量含 む。	良好	黒所有り。
七五	椀輪円筒椀							
3	椀 (土器)	口 径 20.6	20.6	体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部 に至る。端部は上に面をもつ。体部は欠 損。口縁部外面上位指痕、下位ナデ、内 面ナデ。	淡褐色	2mm以下の 長石・角閃 石・チャー ート等の硬 砂粒を多量 に含む。	良好	
	包含層							
4	椀 (土器)	口 径 20.4	20.4	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、 上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸 い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、 内面ヨコナデ。	茶褐色	4mm以下の チャート等 の硬砂粒を 多量に含む。	良好	
七六	包含層							
5	同上	口 径 15.2	15.2	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方 へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部 は外傾する面をもつ。体部中位以下は欠 損。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面割 離の気配不明、内面ヘラナデ。	黒褐色	雲母・長石・ 石英等の硬 砂粒を多量 に含む。	良好	内外面全面 に黒付着。
七六	包含層							

遺物番号 図版番号	出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色 陶 胎	上 焼成	備 考	
6	朝顔形破輪		朝顔形の口縁部と思われる。外面にタガの痕跡が見られる。タガ外面・口縁部内面下位に一本ずつの接合痕を有す。 口縁部外面上位・中位ハケナデ(9本)、下位ヨコナデ、内面ハケナデ(13本)。	淡灰茶色	3mm以下の長石・チャート・雲母等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
七六	包含層						
7	同上		朝顔形の口縁部と思われる。口縁部は外反して伸び、基部は外側に面をもつ。 内外面ナデ。	淡黄褐色	赤褐色酸化粒・石英・雲母・チャート・角閃石等を微量に含む。	良好	
七六	包含層						
8	同上		朝顔形の口縁部と思われる。口縁部は外反して伸び、基部は垂下し、外側に浅い凹面をもつ。 外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡黄褐色	雲母・角閃石・赤褐色酸化粒・石英・チャート等を微量に含む。	良好	外面に煤付着。
七六	包含層						
9	同上		朝顔形破輪の小片と思われる。外面に台形タガ(高さ1cm、上の幅0.7cm、下の幅2.2cm)がある。 外面ハケナデ(8本)、内面環状の溝調整不明。	淡黄茶褐色	3mm以下の赤褐色酸化粒・角閃石・長石・雲母・長石・チャート等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
	包含層						
10	円筒破輪		円筒破輪の破片と思われる。外面に台形タガ(高さ1.3cm、上の幅0.7cm、下の幅1.3cm)がある。 外面ハケナデ(10本)、内面ハケナデ(10本)・折頸痕。	淡黄赤褐色	雲母・石英・角閃石・赤褐色酸化粒・チャート等を微量に含む。	良好	外面全面に煤着有り。
	包含層						
11	同上		円筒破輪の破片と思われる。外面に台形タガ(高さ0.9cm、上の幅0.9cm、下の幅1.8cm)がある。 内外面ハケナデ(外8本、内11本)。	淡黄褐色	2mm以下の角閃石・石英・チャート・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を微量に含む。	良好	内面に自然煤付着。
	包含層						
12	同上		円筒破輪の小片と思われる。外面に台形タガ(高さ0.9cm、上の幅0.7cm、下の幅1.5cm)がある。 内外面ハケナデ(外6本、内9本)。	淡黄淡褐色	2mm以下の雲母・角閃石・長石・チャート・石英等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
	包含層						
13	同上		円筒破輪の小片と思われる。外面に台形タガ(高さ1.2cm、上の幅0.8cm、下の幅1.3cm)がある。 内外面ナデ、一部ハケナデ。	外 淡乳茶色 内 淡黄茶褐色	3mm以下の雲母・チャート・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
七七	包含層						

送付番号 図録番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
14 七七	円筒埴輪 包含層		円筒埴輪の小片と思われる。外面に台形 タガ(高さ0.8cm、上の幅0.9cm、下の幅 1.9cm)がある。 外面ハケナデ(9本)、内面ナデ。	外 淡灰色 内 淡茶褐色	3mm以下の 雲母・チャ ート・長石 等の粗砂粒 を含む。	良好	外面全面に 黒斑有り。
15 七七	同上 包含層		円筒埴輪の小片と思われる。外面に台形 タガ(高さ1.2cm、上の幅0.9cm、下の幅 2.1cm)がある。外面に二本、タガ断面に 1本の接合痕を有す。 内外面磨滅の程度不明。	淡黄褐色	石英・赤褐色 酸化鉄・長石・チャ ート等を微 量に含む。	良好	
16 七七	同上 包含層		円筒埴輪の小片と思われる。外面に台形 タガ(高さ0.7cm、上の幅0.8cm、下の幅 1.2cm)がある。タガ付近外面に二本、タ ガ断面に1本の接合痕を有す。 外面ハケナデ、タガはヨコナデ、内面四 ナデ。	黄褐色	赤褐色酸化 鉄・石英・長石・チャ ート・雲母 等を微量に 含む。	良好	
17 七七	同上 包含層		円筒埴輪の小片と思われる。外面に台形 タガ(高さ0.7cm、上の幅0.9cm、下の幅 2.0cm)がある。 内外面ナデ。	淡茶褐色	長石・石英 赤褐色酸化 鉄等を少量 含む。	良好	
18 七七	同上 包含層		円筒埴輪の小片と思われる。外面に台形 タガ(高さ0.8cm、上の幅0.7cm、下の幅 1.5cm)がある。タガ断面に1本の接合痕 を有す。 外面ハケナデ(9本)、内面ハケナデ後 部ナデ。	淡黄茶褐色	3mm以下の 雲母・角閃 石・チャ ート・長石・ 赤褐色酸化 鉄等の粗砂 粒を微量に 含む。	良好	
19 七七	小皿 (土師器) 包含層	口 径 12.4	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部 は丸い。底部は欠損。 内外面ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の 赤褐色酸化 鉄・雲母等 の粗砂粒を 含む。	良好	
20 七七	皿 (土師器) 包含層	口 径 16.4	平らと思われる底部より外上方へ伸びる 口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡灰褐色	1mm以下の 長石・石英 等の粗砂粒 を少量含む	良好	
21 七七	小皿 (瓦器) 包含層	口 径 9.6 器 高 2.1	平らな底部より外上方へ外反して伸びる 口縁部に至る。端部は丸い。底部は一部欠 損。 内外面調整不明。	暗灰色	精良。	良好	
22 七七	碗 (瓦器) 包含層	口 径 12.8	半球形の体部からヨコナデによつてわず かに外反する口縁部に至る。端部は丸く終る。 内面はヘラミガキ、外面上位ヨコナデ後 部ヘラミガキ、下位ナデで指痕圧痕が認め られる。	灰黑色	粗砂粒を少 量含む。	良好	

第5章 ま と め

今回の調査地は昭和57年度第1次調査と昭和58年度第3次調査を実施した調査区に接している。既往調査では弥生時代後期～鎌倉時代に至る遺構・遺物が多数検出されている。特に古墳時代前期（庄内期）に比定される土器が多量に出土しており、庄内式土器の良好な資料が得られている。さらに、この調査報告の刊行（昭和62年度）までには当調査研究会が第14次調査を実施し、多くの遺構・遺物を新たに検出している。

以下、今回の調査の成果について各時代ごとに要約して述べる。

古墳時代前期

区画整理事業区域内の南西部で実施した各調査区で遺構・遺物を検出している。居住に関連する遺構としては第5調査区で検出している。この時期の遺構としては昭和58年度第3次調査で方形周溝墓などの墓域に関連する遺構を検出しているが、居住に関連する遺構が検出されたのは当遺跡内において今回の調査がはじめてである。その後の調査では、第5調査区の南東部（約20m）で実施した調査（昭和62年度第13次調査）で居住に関連する遺構が検出しており、居住域が南東部に広がることが明らかになった。

古墳時代前期に比定される土器は第1調査区のSD1・第7調査区のSD1・第9調査区のSD1から庄内式新相～布留式新相に比定される土器が多量に出土している。この時期の土器は既往調査（昭和57年度第1次調査・昭和58年度第3次調査）でもこの時期の土器が出土しており、当遺跡における古墳時代前期の時期が土器によって変遷が明らかにされるであろう。また、出土した土器の中には他地域の土器が含まれており、当遺跡と他地域との交流が盛んに行われていたことがうかがえる。

古墳時代中期

この時期の遺構は第1調査区・第2調査区・第9調査区・第10調査区で検出している。第1調査区のSD1の第9調査区のSD1内のA層から土師器・須恵器が一括で出土している。出土した土器には初期須恵器・韓式系土器がみられる。また、第10調査区では朝顔形埴輪と円筒埴輪をセットにした埴輪円筒棺1基が検出している。この埴輪円筒棺は当遺跡内ではじめての検出である。埴輪円筒棺の検出例としては周辺遺跡で東弓削遺跡と中田遺跡の2例がみられる。

第2調査区では古墳時代中期に比定される小穴が多数検出した。この中には建物に伴うものと考えられる小穴列が検出しており、この付近に居住地が存在していたと考えられる。

平安時代後期～鎌倉時代

この時代の遺構は全調査区で検出した。当遺跡範囲内の南部に位置する第9調査区では、井戸・土坑・小穴等の居住に関連する遺構が検出されている以外、ほとんどの調査区は農耕に関連する東西・南北方向に伸びる溝である。平安時代後期以降は当遺跡内の大半は農地としていたようである。その後の調査（昭和61年度第8次調査）では当遺跡範囲内の北西部でこの時代の居住区域が検出されている。

以上、今回の調査で得られた成果である。その後の調査においても多数の遺構・遺物が検出されており、今後、当遺跡の変遷が明らかにされるであろう。

参考文献

- 佐原真「畿内地方」『弥生式土器集』木編2 1968
- 川西宏幸「門前遺跡論」『考古学総論』第64巻2号 1979
- 大阪府教育委員会「狭山遺跡・軽尾遺跡発掘調査概要」1974
- (財)大阪文化財センター「船橋」一大和川環境整備事業柏原地区高水敷整正工事に伴う船橋遺跡試掘調査報告書一 1976
- 大阪府教育委員会「笠振遺跡発掘調査概要I」一八尾市緑ヶ丘2丁目所在一 1983
- (財)大阪文化財センター「关国」一近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書一 1985
- 岡山県教育委員会「旭川放水路(百間川)改修工事に伴う発掘調査I」岡山県埋蔵文化財発掘調査報告39 1980
- 愛知県教育委員会 編集「朝日遺跡I(本文篇)」1982
- 檀香考古学研究所編(石野博信・関川尚幼他)「布留式成立に関わる発掘」『鶴岡』一奈良県桜井市境内遺跡の調査一 1976
- 八尾市教育委員会「中川遺跡調査報告II」『中川遺跡』 1975、3
- 八尾市教育委員会「東弓削遺跡」一大阪府水道部送水管布設工事に伴う埋蔵文化財調査一 1976、4
- 米川敏幸・奥田尚「土器の胎土分析方法について」『古代学研究』第99巻 1983
- 八尾市教育委員会「成法寺遺跡」一八尾市光南町1丁目29番地の調査一 1983
- 八尾市教育委員会「東郷遺跡一第5次調査一」『八尾市埋蔵文化財発掘調査概要 1980・1981年度』 1983
- (財)八尾市文化財調査研究会「小阪合遺跡(第3次調査)」『昭和58年度事業報告』(財)八尾市文化財調査研究会報告6 1985
- (財)八尾市文化財調査研究会「小阪合遺跡」『昭和59年度事業報告』(財)八尾市文化財調査研究会報告7 1985
- (財)八尾市文化財調査研究会「小阪合遺跡発掘調査概要」一流域下水道等整備に伴う発掘調査一(財)八尾市文化財調査研究会報告8 1986
- (財)八尾市文化財調査研究会「小阪合遺跡」『昭和60年度事業報告』(財)八尾市文化財調査研究会報告9 1986、4
- (財)八尾市文化財調査研究会「小阪合遺跡」一八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査一(昭和57年度 第1次調査報告書) (財)八尾市文化財調査研究会報告10 1987
- (財)八尾市文化財調査研究会「小阪合遺跡」一八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査一(昭和58年度 第2次・第3次調査報告書) (財)八尾市文化財調査研究会報告11 1987

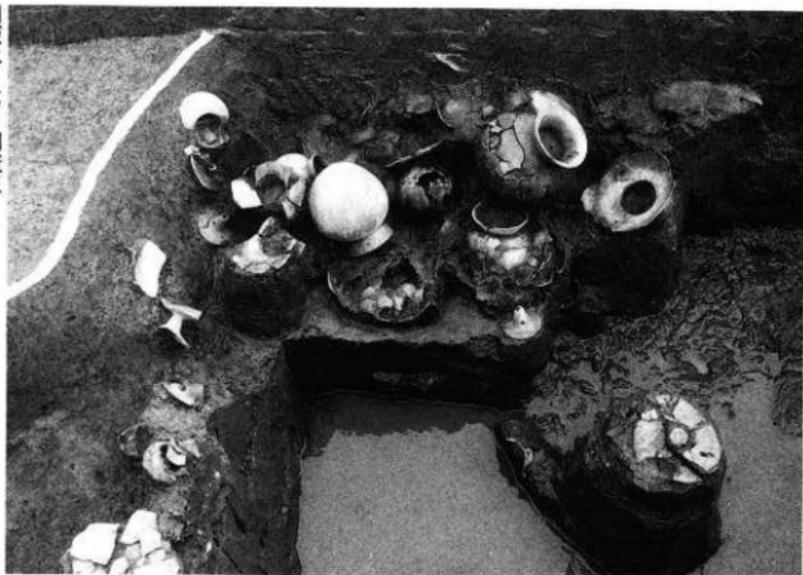
圖 版



第1調査面 (南から)



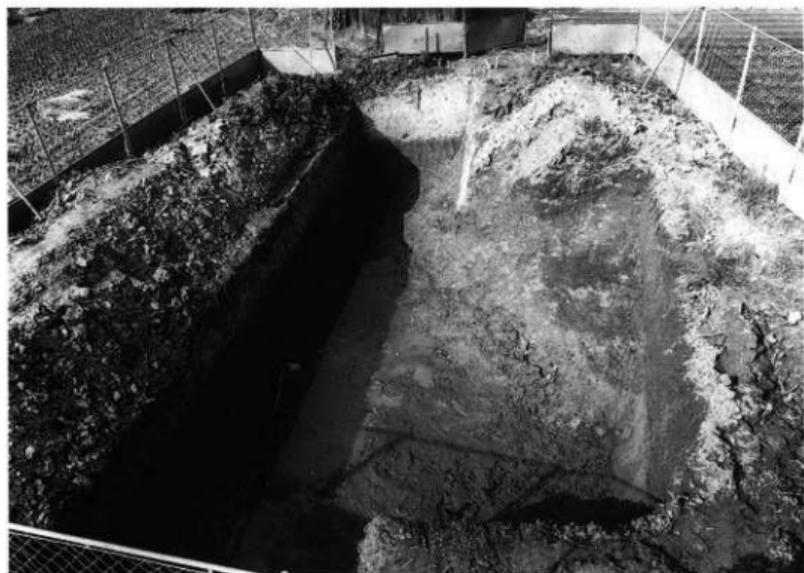
EⅡ-b6～c6区SD1遺物検出状況 (西から)



SD1 遺物検出状況 (西から)



SD1 遺物検出状況 (南から)



SD1完掘(南から)



第2調査面全景(南から)

図版四
第2調査区



第1調査面全景（東から）



DⅡ-i 8~j 8区SK1

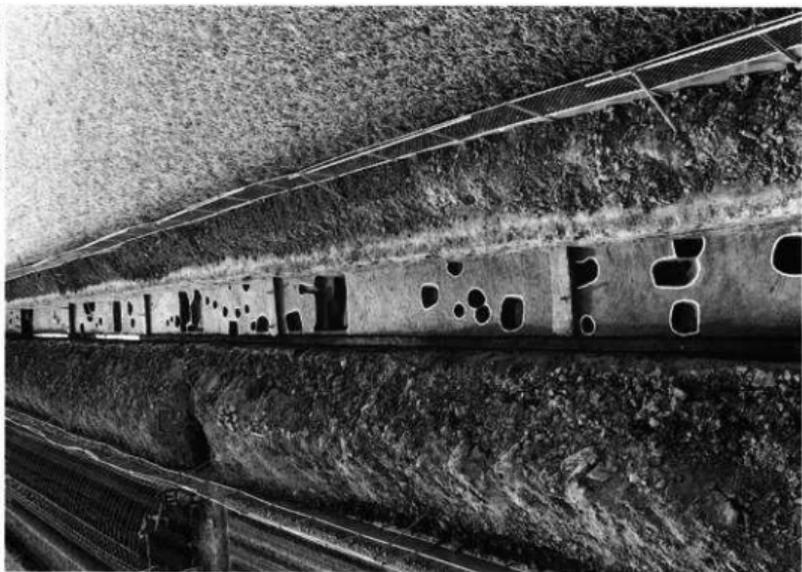


DⅡ-i 9区第1調査面 (西から)

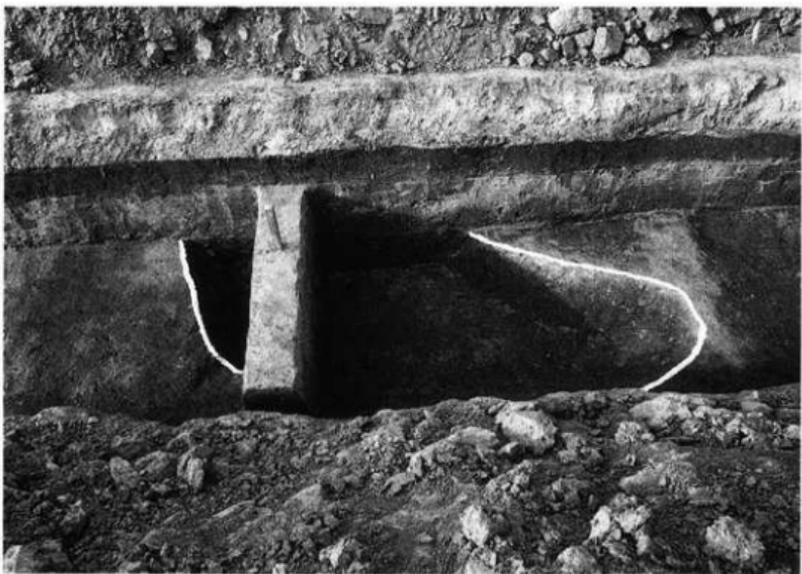


DⅡ-i 9区第7層遺物検出状況 (南から)

図版六
第2調査区



第2調査面全景 (東から)



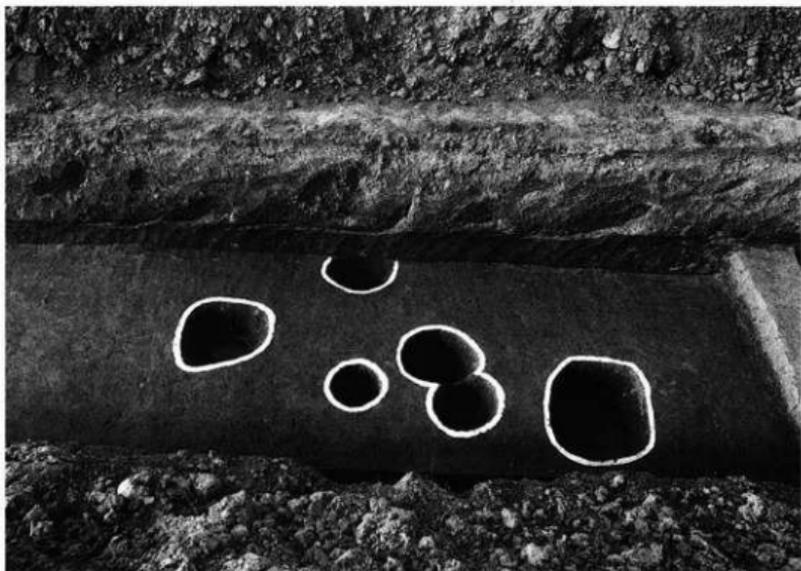
DⅡ-j6~j7区SK3 (南から)



D II-i 10区遺構状況 (西から)



D II-i 11区SD3 (南から)



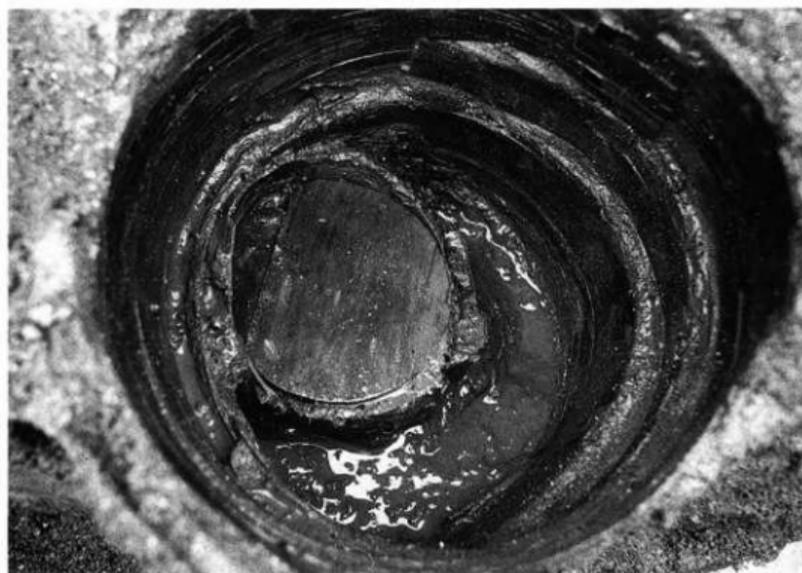
DⅡ-i 1区小穴検出状況 (南から)



DⅡ-i 2区小穴列2 (南から)



DⅡ-i 8区SE1 (南から)



DⅡ-i 8区SE1木製品検出状況 (南から)

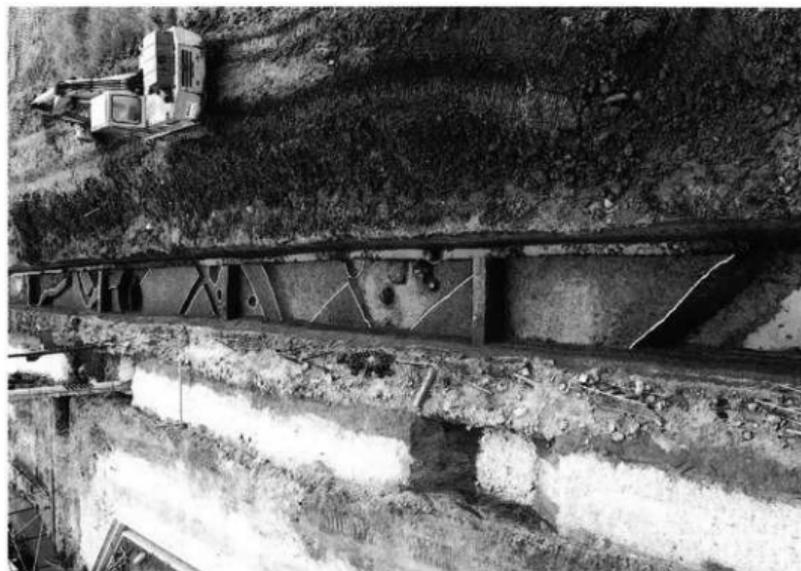
図版十 第3調査区・第4調査区



第3調査区全景 (西から)



第4調査区全景 (南から)



第1調査面全景（北から）



GⅣ-65区小穴列1（南西から）



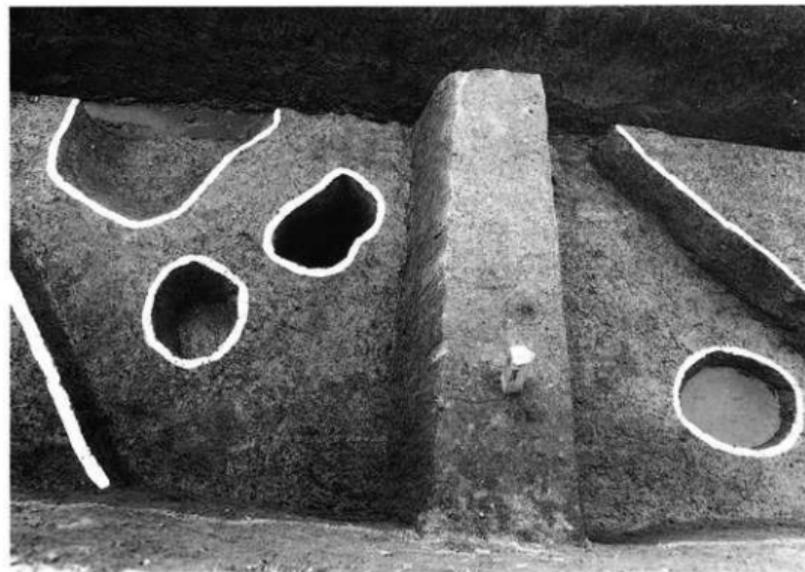
FN-j 5区SE1 (東から)



FN-j 5区SE1 底部付近木製品検出状況 (上から)



FN-j 5区SK2 (北から)



FN-j 5区~GN-a 5区SK3 (東から)